## 3. 都市基盤•產業

令和 4 年度事後評価	<u>令和 5</u>	5 年度 事務	<u>事業</u>	ミマネシ	<u> ジメン</u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	10 5 年 6	3 月作成
事務事業名 武蔵砂川駅周辺地	区道路朝	<b>を備</b>		所属部	まちづくり	部	課長名	渕上 俊志	<b></b>
政策名 都市基盤・産業				所属課	工事課		係名	工事第一	係
施策名 良好な市街地環境	の形成			予算科目	会計 1	款 8	項 2	目 3	事業 5番号 5
基本事業名 地域の特性を生かし	た市街地		<b>も形態</b>		『委託	一部委託	補助・	助成	連携∙協働
事業期間     単年度繰返       平成19年度~     年度~       市長公約     主要施策		根拠 <u>道路法</u> よ令等 <u></u>							
1 現状把握の部(1)事務事業	<u>クー</u> の概要・	 目的·結果·活動·成	果						
①事業概要 生活道路の整備により地域環境	⑤対象	数の推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
の改善を図るため、市道2級25	ア道路勢	整備延長累計	m	0.0	0.0	95.7	95.7	95.7	
号線を整備する。	1 用地耳	<b></b> 取得面積累計	m²	12,035.1	12,035.1	12,035.1	13,564.1	13,564.1	
	ウ								
	⑥活動	指標	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア道路勢	整備延長	m	0.0	0.0	95.7	0.0	0.0	
用地取得を進め、道路整備を行い、市道2級25号線を利用する 人や車両の安全の確保及び道	イ 用地 ウ	<b> </b>	m²	79.4	0.0	0.0	1,529.0	0	
路環境の改善を図る。		 指標	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		整備率(道路整備延長 本延長(460m))	%	<del>大</del> 根		20.8	20.8	20.8	
拠点間のネットワークを形成す るため、計画的に都市基盤や交	月用地耳	取得率(取得面積累計 本面積(15,850㎡))	%	75.9	75.9	75.9	85.6	85.6	
通基盤の整備を進める。	ウ	тшл <u>я</u> (10,000111//							
	(2)事業	美のコスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)		国庫支出金	千円		0	0	0	0	0
市道2級25号線整備について は、令和7年度の整備に向け市		財 都支出金	千円		0	44,125	124,250	5,350	0
道北11号線から北9号線の区間	1	内型力值	千円	79,000 0	0	32,000 412	0	0	0
の用地買収等を行った。	事業	訳 その他 一般財源	千円			17,227	130,150	27,642	0
	費		千円		4,619	93,764	254,400	32,992	0
		予算現額(B)	千円	235,052	8,515	97,776	255,142	_	_
		執行率(A)/(B)	%	91.1%	54.2%	95.9%	99.7%	_	_
	2	職員数(正規   月給   時給)	人	0.85 0.00 0.00	0.85 0.00 0.00	1.35 0.00 0.00	0.95 0.00 0.00	0.95 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人	正規職員分	千円	7,650	7,650	12,150	8,550	8,550	0
	件     費	会計年度任用職員等	千円	0	0	0	0	0	0
		人件費計(C)	千円		7,650	12,150	8,550	8,550	0
2 評価の部	3	総事業費(A)+(C)	千円	221,740	12,269	105,914	262,950	41,542	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	改革•改	善・③課題・反省点)		改善改善	きや見直しを図	]った	(2)事業	の方針	
※課題の有無 ア・日的平当性「	/ <b>ペ</b> ー <b>ペ</b> イ:有			工:公平性			(-, , , )	اعتران	スト
(課題がある場合によ) ・日間女当はし(事業の成果)	1.6	<u> </u>				07 12			持 増加
市道2級25号線整備については、				号線から北:	9号線の区	間の用地	「向」		
買収等を行い1,529.0㎡の用地を	取得し事	業の進捗につなげた。					上 成 維		
							果 持		
							低下		
								木止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	· 改善案 <sup>2</sup>	等)							
市道北11号線から北9号線までの		]け、関係機関と協議・	調整	を進めると	ともに詳細語	設計を行う。	また、引き	続き地権	者に対し
て丁寧な説明、用地買収等を行う	0								

令和 4 年度事後評価	令和 5	5年	度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令和	和 5 年 6	6 月作成
事務事業名景観行政関連事務	<b>F</b>				所属部	まちづくり	部	課長名	小林 誠	<del>_</del>
政策名 都市基盤・産業					所属課	都市計画	課	係名	都市総務	係
施策名 良好な市街地環境	色の形成				予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 1	事業 番号 10
基本事業名地域の特性を生かり	た市街地	の形成	(複数	<b>地形態</b>	全部	『委託	一部委託	補助•	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返 年度~		根拠	景観法 立川市景観	田久石	7					
市長公約 主要施策	平度	去令等	<u> </u>	既未仅	ני					
1 現状把握の部 (1)事務事第	美の概要・	目的·絲	吉果・活動・成	果						
①事業概要 景観法に基づく景観行政団体と	<b>⑤</b> 対象	数の推	移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
して、立川市景観計画の適切な	ア景観	去に基づ	く届出数	件	38	36	41	35	35	35
運用を図ることで、良好な景観 づくりをすすめる。	イ景観~	セミナー	開催数	回	1	1	1	1	1	1
立川市景観条例に基づく届出 の審査など、景観行政事務を行	ウ景観	教育実施	数(庁内·学	旦	3	1	1	3	3	3
うほか、立川市景観計画等の普	ラ <sub>校)</sub> ⑥活動:			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
及・啓発を図る。			   	件	実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか) 景観法に基づく景観行政団体と					38	36	41	35		
して、立川市景観計画により景	イ景観			回	1	0	2	3	3	
観を重視したまちづくりを推進 する。			参加人数	人	100 <b>H31年度</b>		— R3年度	91 <b>R4年度</b>	100 <b>R5年度</b>	100 <b>R6年度</b>
	⑦成果:	指標		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア景観	•		%	87.0			96.0	90.0	90.0
良好な景観が形成される。		及び変更 ニ割合	[命令を行わな	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	ウ									
	(2)事業	美のコス	٠,	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
④令和4年度実績(事業活動)	. ,		国庫支出金	千円	実績	<b>実績</b> ()	<b>実績</b> ()	<u>実績</u> ()	計画 ()	計画
景観条例に基づく届出35件と事		財	都支出金	千円	0	0	0	0	0	_
前協議11件の審査を行った。啓 発事業として、景観セミナーの	1	源一	地方債	千円	0	Ü	0	0	0	_
開催と景観セミナー動画の配	事	内 訳	その他	千円	0	0	0	1	1	0
信、市立小学校全10校において、景観の基礎知識とこれまで	業費		一般財源	千円		152	376	573		0
の景観学習の紹介をパネルで	Ą		業費計(A)	千円	453	152	376	574	778	0
展示する「たちかわ景観学校キャラバン」の実施、景観周知		-	算現額(B)  f率(A)/(B)	千円	950 47.7%	933	578 65.1%	789 72.8%	_	
パンフレットの印刷を行った。また、明星大学デザイン学部との			(正規   月給   時給)						1.56 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
連携事業に参加し、新しい景観	② 人		規職員分	千円	18,360	18,360	14,220	14,040	14,040	0
啓発イベントについて検討し た。	件費		度任用職員等	千円	0	0	0	0	0	0
			件費計(C)	千円	18,360	18,360	14,220	14,040		
	(3)	総事業	費(A)+(C)	千円	18,813	18,512	14,596	14,614	14,818	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革•改	善.③i	果題·反省点)		改善	きや見直しを図	つた	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性	イ:有	効性	ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果)立川市景観条例に								向	削減組	持 増加
景観審議会を3回開催し、立川市 見を受けた改善点等について報	告を行い、	(仮称)	子育て・健康裕	复合施	函設新築工	事、立川競	競輪場施設			
改修工事について、事業内容のた。景観啓発としては、市民や事								成 維 果 持		
い、景観学習として、市立小学校	10校にお	いて、景	:観の基礎知識	まと従	前の景観学	空習の内容				
示する「たちかわ景観学校キャラ	ハン」を実	心するこ	-とにより、 景鶴	心対	9 0埋解を	伝統めた。			休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	・改善案	等)								
立川市景観条例に基づく届出の形成のこなりの運用を継続し、立										
形成のしおりの運用を継続し、立象とした景観啓発、子供たちを対	象とした景	景観学習	を継続し、さら	に効	果的な啓発	&活動につ	いて検討し	ていく。屋		
成の誘導については、地区計画	制度や東方	京都屋夕	ト広告物条例と	:の調	整を含めた	と総合的観	点から検討	けしていく。		

令和 4 年度事後評価	<u> </u>	<u>, 11</u>	<u> </u>	十月二十	+ /分 手	+ 未	: ヾ <b>ハ</b> :	<u> ファフ</u>	トンー	<b>卜</b> 令	和 5 年( •	6 月作成
事務事業名市庁舎北側地域部	まちつ	ざくり耳	事業				所属部	まちづくり	部	課長名	大串 勝	美
政策名 都市基盤・産業							所属課	まちづくり	推進課	係名	地域開発	
施策名 良好な市街地環境	色の形	/成					予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 1	事業 番号 13
基本事業名地域の特性を生か	したす	方街地	の形		実施:	択可)	<u> </u>	部委託	一部委託		助成	連携•協働
事業期間			根拠					計画(平成				
年度~	年度 <b>〇</b>		去令等		飛行場	娜地	的(留保地)	等に係る	上地利用計	·迪(平成3]	1年4月)	
	)	班要•	目的	·結果·活	動•成集	1						
①事業概要		<del>// / / / / / / / / / / / / / / / / / /</del>	_				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市庁舎北側地域において、平 成21年12月に策定した「新庁舎		/·]	<b></b>	1117		- I-	1101 172		110 112		110 112	1.0 1 /2
周辺地域土地利用計画」に基	ア											
づき国有地の有効利用と、まちづくりを推進する。	1											
している。	ウ											
	<u>6</u>	活動	指標		Ĭ	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<b>②日的</b> (共產士)				加強会等への	の名加		実績	実績。	実績。	実績。	計画。	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか) 地域と連携した市街地形成が進				四四云守(1)		回	6				8	
み、国有地の効果的な利用の	-1	個別語				件	140	175	70	70	140	
増進が図られ、まちづくりが進展する。	ウ	関係	幾関協	協議		回	3	_	_	_	Ü	
) · √0	7	成果	指標		È	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア			可用面積(※	暫定	ha	10				11	111
「新庁舎周辺地域土地利用計	1	利用を	ど召り	<u>?)</u>								
画」に基づき、地域と連携した市												
街地形成が進み、国有地の効果的な利用が増進し、まちづくり	ウ											
が実現する。		)事第	美の=	コスト	È	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)				国庫支	出金 =	千円	0		0	0	0	0
・地元住民主導の「砂川中央北			財	都支出	出金 =	千円	0	0	0	0	0	0
側地区まちづくり勉強会」への参加等活動支援(代表者会3		1	源内	地方	債 =	千円	0	0	0	0	0	0
		事	訳	その		千円	0	0	0	0	Ů	0
・勉強会による砂川中央北側地区土地所有者への個別訪問支		業費		一般則		千円	0	_				0
援(35件×2回=70件)		7		事業費計(		千円	0	Ü			792	0
・砂川中央地区のまちづくりに係る関係機関との協議・調整(2				予算現額(		千円	792			792	_	_
回)				丸行率(A)/  L数 <sub>(正規   月紀</sub>	• •	%	0.0%	0.0%		0.0%	0.65 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
・西側地区の下水道用地譲与 手続きについて関係機関との協		2		· 致(止規   月料 正規職員:		へ f円	5,400					0.00 0.00 0.00
議·調整(4回)		人件		正况喊貝. ·年度任用耶		円	0,400		0,400		0,000	0
		費		一及压剂。 人件費計(		· · · · f円	5,400	ů	_		ŭ	0
		(3)		業費(A)+	-	· · · · 千円	5,400	<u> </u>				0
2 評価の部												
(1)全体総括(①事業の成果・(	2改	革·改	善(	3課題•反	省点)		改	善や見直しを図	図った	(2)事第	きの方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性		イ:有	効性	ウ:3	<b>効率性</b>		工:公平性	オ:そ	その他			スト
(事業の成果) 国有地の管理委託による有効利	田ナバ	/小// (本)	+- >	いっ 利田	老の利は	田州	白しば国	コませんは	(会)な羊()ァラ	点 向	削減   維	持 増加
与した。また、市庁舎北側地域の										湯   上		
川中央北側地区まちづくり勉強会										成 維果持		
した。西側地区においては、下水	ル担用	地拟	付に	刊けて、関	常機関	<u> </u>	<b>勋</b>	堂ツ又抜ど1	11つに。	低		
										下	ひょうり へい	+÷□ 1 7° =='\
(3)今後の事業の方向性(改革	<b>5.</b> ⊐h	美安/	生)							(発止・	休止の場合に	よ配八个安)
(3) 学後の事業の方向性(改革) 砂川中央地区のまちづくりを実現				司有地の車	5 定利田	1か1	たがら #	九元住民主	道の「砂川	中央北側+	ル区またべ	くり動強
会」について、地域や関係機関と											凹凸みり ノ	ヘンル公3年

令和 4 年度事後評価	令和 {	5 年度	事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和5年(	6 月作成
事務事業名まちづくりのしくみん						まちづくり			小林 誠	
政策名 都市基盤・産業					所属課	都市計画	課	係名	開発指導	
施策名 良好な市街地環境	の形成				予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 1	事業 _ 番号
基本事業名 地域の特性を生かし	た市街地		(複数	他形態 (選択可)	全音	『委託	一部委託	補助・	助成	連携・協働
1771 134	年度	ᅓᄬ	都市計画活立川市宅地		等まちづく	くり指導要給	岡			
市長公約 主要施策 主要施策 主要施策 主要施策			上	田						
1 現状把握の部 (1)事務事業 ①事業概要					山心左曲	50年度	50年度	- 5.4 左座	555亩	D05亩
まちづくり指導に関する課題解		数の推移		' '	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
決を図りつつ、地域の実情に適した良好な都市・生活空間形成	ア 市民(	(1月1日現在	:)	人	184,090	184,577	185,124	185,483		
を目指すため、立川市宅地開発	1									
等まちづくり指導要綱(以下、「 要綱」という。)の条例化等、今後	ウ									
のまちづくりのしくみのあり方に ついて検討を行うもの。	⑥活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア庁内根	—— 検討部会		□		1	2	1	1	
しくみの整理に向けた協議、検	イ関連	部署との個別	川協議	回	7	14	2	2	2	
討等を行い、整理が完了した状態。 ************************************	ウ外部材	検討委員会		回		_	_	_	_	
	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	アレくみ	の策定方針	·(案)	式	——————————————————————————————————————	JC13C	- JC46C	- JC43C	1	ны
新たなしくみに適合した良好な 市街地の形成。	イ仕組み	みの策定方針	計	式	_	-	-	_	_	
114   4世0ノ川クルス。	ウ条例多	<del></del> 案		式	_	-	-	_	_	
	(2)事訓	業のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)		国厂	庫支出金	千円	0	0		0		
要綱の条例化について、過去の		財都	<b>『支出金</b>	千円	0	0	0	0	0	0
庁内委員会での決定事項で示 された方向性を同じくする先行	1			千円	0	0	Ů	0	Ů	0
類似市の条例や規則、記述基	事	訳	その他	千円	0	0		0		
準を比較研究し資料を作成した。	業費		般財源	千円	0	0	_	0		
まちづくり指導要綱改正に向け			計(A)	千円	0	0		0	_	
た関係部署との調整を実施し た。			見額(B) (A)//B)	千円	0	0	0	0		
/C0		執行率職員数征期	(A)/(B) 見   月給   時給)	从(	0.11 0.00 0.00	0.15 0.00 0.00	0.15 0.00 0.00	0.10 0.00 0.00	0.10 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	② 人	正規單		子円	990	1,350	1,350	900		
	件		戦兵刀 壬用職員等		0	1,330	*	0		
	費			千円	990	1,350	1,350	900	900	
	3	<del></del> 総事業費(		千円	990	1,350		900		
2 評価の部		* 8===	- d> b>					I/s/ 击型	* ~ <del>+</del> 41	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 ア:目的妥当性		₹善・③課題 前効性 「ィー				きや見直しを図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(2)事习	美の方針 コ	スト
(課題がある場合によ) (事業の成果)	1 : 1 <sub>3</sub>	划性	「ノ:効学注	اكا	工:公十压	V 7:7	- 07他			AT 挂持
現要綱の主要な構成要素は開発								向		
共施設等整備は要綱のままで運ん任意の準則との関連性について、										
か、全く切り離すか、折衷案として								果 持		<b>O</b>
今後も検討を継続する事とした。 (課題・反省点)折衷案で調整して	ついくお向っ	でなるが ほ	子をレの我	口中字。	ベ胆浦付∤	ナスかにつ	いて重かる	(世)		
(辞越・及有点)が表条で調整して 検討を続けていきたい。	マスカロ、	<i>でめるル</i> →、 ™	有をといイニ	E及よ	で関連的い	ノるかにン	い、人文はつ		【 休止の場合∤	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	.•改善案	等)								
まちづくりのしくみに関する方針(まって進めることが基本である。条										
制定自体に様々な意見がある。特	寺に条例に	こ見合った明	見要綱の指	導基準	生の見直し					
両者の関連性、指導基準の見直	しの要否に	こ焦点を当っ	てて検討を	続けて	いく。					

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	<u>5</u>	年度 事務	<u> </u>	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令和	和 5 年 6	<u> 8 月作成</u>
事務事業名 立川基地跡地昭島						まちづくり			小林 誠二	
政策名 都市基盤・産業					所属課	都市計画	課	係名	都市計画	
施策名 良好な市街地環境				///	予算科目		款 8	項 3		事業 _ 番号
基本事業名地域の特性を生かし	た市街は	他の形		医施形態 複数選択可)	全部	『委託	一部委託	補助・	助成	連携·協働
事業期間 平成24 年度~	年度	根拠法令領								
市長公約 主要施策				- <u>-</u>						
1 現状把握の部 (1)事務事業 ①事業概要	美の概要 ⑤対象				H31年度	DO 午 庄	R3年度	R4年度	DS左由	R6年度
本地区は、核都市「立川」の貴重な未利用エリアであり、核都		数い	推移	甲山	H31平及	R2年度	R3年皮	K4平皮	R5年度	KO干及
市にふさわしい広域的な機能	ア			$\perp \perp \perp$						<u> </u>
や、業務・商業機能等の導入を 進め、にぎわいと活気の創出を	1			$\perp \perp \perp$						<u> </u>
図ることとしており、土地区画整	ウ									<u> </u>
理事業により計画的に市街地形成を図る。	⑥活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア開発	協議:	<del></del> 숫	回	1	1	0	0	0	
関係6者による協議・調整を行うことにより土地区画整理事業を	イ幹事	会		回	1	3	0	0	0	
推進し、まちづくりを図る。	ウ事業	推進	事務局会議	旦	0	ŭ	ŭ	0	Ü	
	⑦成果			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア昭島市分		土地利用率(立川	/ %	60.0	60.0	60.0	73.4	73.4	
核都市「立川」の複合市街地として相応しい、にぎわい・交流の	1	-								
創出と環境・景観に配慮した質	ウ			1						
の高い都市空間を形成する。	(2)事	<del></del> 業の:	コスト	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金		<b>実績</b> ()	<b>実績</b> ()	<b>実績</b> ()	実績	計画 ()	計画 ()
協議会としての活動はなかった		財	都支出金		0	0	0	0	0	
が、都市計画道路事業が実施され、基盤整備が進捗した。	1	源		千円	0	0	0	0	0	0
MOVEMENT NITA VETO C. CO	事	一訳	その他	千円	0	0	_	0		
	業費		一般財源	千円	0	0	0	0	0	ű
			事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	0
			予算現額(B) 執行率(A)/(B)	千円 %	U	U	U	U	_	_
	2	_	<b>数</b> (正規   月給   時		0.15 0.00 0.00	0.07 0.00 0.00	0.07 0.00 0.00	0.02 0.00 0.00	0.02 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人		正規職員分	千円	1,350	630	630	180	180	0
	件費		十年度任用職員		0	0	0	0	0	ŭ
			人件費計(C)	千円	1,350	630	630	180	180	
2 評価の部	હ	総争	[業費(A)+(C)	千円	1,350	630	630	180	180	0
(1)全体総括(①事業の成果・②		女善・	③課題・反省点	<u>ā)</u>	改善	善や見直しを図	<b>引った</b>	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 (課題がある場合に)	イ: <sup>7</sup>	有効性	上 ウ:効率	性	工:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果)協議会による調整等 3・2・11号線の整備を残すのみと					れ、昭島市	域の都市	計画道路昭	引向	削減 維	持 増加
O * Δ * 11 勺 /吹v / 正 /用 で / ス ァ v / v / C	<b>/</b> よソ、 <u>4</u> 5 11	企正 Vn	引くされがなるとし 1 へん	/ <u>_</u> 0				上		
								成 維果 持		
								低下		
									┃   ┃ 休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	-•改善案	等)								
令和5年度末の土地区画整理事 画道路昭3・2・11号線の事業期間					炎関の連携	うのもと進め	っていく。な	お、東京都	が整備する	る都市計

令和 4 年度事後評価	<u> 令和</u>	<u>5</u>	F度 事務 <del>。</del>	事業	マネシ	<u> </u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	10 5 年 (	6 月作成
事務事業名 建築確認等事務					所属部	まちづくり	部	課長名	市川 正著	春
政策名 都市基盤・産業					所属課	建築指導	課	係名	庶務係	
施策名 良好な市街地環境	色の形成				予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 5	事業 2
基本事業名 地域の特性を生かし	した市街地	他の形		形態 選択可)	全音	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返		根拠	建築基準	去及ひ		関係規定				
平成13 年度~	年度	去令等	果只和建筑							
市長公約   主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業	大の瓶曲・				会条例、	司運営規則	J			
1 現仏把性の部(1)事務争身							<b>-</b> -			
建築基準関係規定に関する申	<b>⑤</b> 対象	釵())	<b>准移</b>	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
請の審査や、検査、許認可、建築審査会で審議等を行う。建築	ア確認	済証交	で付件数	件	55	45	31	35	30	
中の現場確認や、違反建築物	1 違反	摘発件	-数	件	7	10	1	5		
の是正指導等を行う。特定建築 物等は竣工後定期的に維持管	ウ数	建築物	定期報告対象件	件	184	216	369	211	226	
理の報告を求める。被災時には 応急危険度判定を実施する。	⑥活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア確認	申請件	-数	件	55	46	31	34	30	
適法な建築、維持管理を行い、 安全快適な居住環境を確保し	<b>イ</b> パトロ	ニール	牛数	件	524	478	542	431	450	
適正な土地利用が促進される。	ウ特定数	建築物	定期報告受付件	件	134	164	307	157	180	
被災時に応急危険度判定を迅速に実施。	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア完了	検査実	<b>美施率</b>	%	100.0	100.0	100.0	100.0		
建築基準行政の適正な運用による良好な市街地形成を図るこ	1 違反	抑制率	Ž	%	98.7	97.9	99.8	98.8		
と。大地震において、被災建築 物の危険度を判定することで2	ウ特定	建築物	7定期報告率	%	72.8	75.9	83.2	74.4	79.6	
次災害を防ぐ。	(2)事美	業の=	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
確認申請書等の審査、検査等		財	都支出金	千円	69	82	69	94	74	0
を行い、確認済証、許認可通知書、検査済証を交付した。申請	1	源   内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
案件に応じて建築審査会を開	事	訳	その他	千円	9,356	9,144	9,147	10,916	11,571	0
催し、同意を得た。建築中の現	業	H, (	一般財源	千円	0	0	0	0	660	0
場確認においては、状況により是正指導を行った。竣工後の特	費	=	事業費計(A)	千円	9,425	9,226	9,216	11,010	12,305	0
定建築物の定期報告等を求				千円	10,440	10,659	12,699	12,387	_	_
め、建築物の安全確保を図っ		幸	执行率(A)/(B)	%	90.3%	86.6%	72.6%	88.9%	_	_
た。建築行政管理システムの改修を行った。			数(正規   月給   時給)	人		12.07 2.97 1.80			12.37 2.97 0.80	0.00 0.00 0.00
S&1] 3/Co	<b>②</b> 人		正規職員分	千円	100,350	108,630	102,510	111,330	111,330	0
	件		年度任用職員等		12,045	16,074	14,074	14,074	14,074	0
	費		人件費計(C)	千円	112,395	124,704	116,584	125,404	125,404	0
	3		業費(A)+(C)	千円	121,820	133,930	125,800	136,414	137,709	0
2 評価の部	9	心事:	未貝(A) I (U)	1 1 1	121,020	155,550	120,000	150,414	131,109	U
(1)全体総括(①事業の成果・②	2 改革・改	(善・(	③課題·反省点)		✓ 改善	きや見直しを図	回った	(2)事業	きの方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性	イ:有	効性	ウ:効率性		エ:公平性	オ:そ	·の他 <b>ィ</b>		٦,	スト
(課題がある場合にと) (事業の成果)建築基準関係規定					1			<b>-</b>	削減 維	持増加
た。(改革・改善)確認申請等のオ	ンライン化	公に伴	う都主催研修会	への参				向		
を行った。法改正に伴い、条例の					) 、フュシ <i>ニ</i> ሎ	·∌र्ग <del>चा क</del> र्	净口压绞	上		
(課題・反省点)指定確認検査機関及び定期報告の改善指導は、行										
発生している。法制度により、建物										

## (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等)

存建物の定期報告の細分化等、業務が複雑化、増大している。

今後の方向性は建築基準関係規定の改正などにより影響を受ける。建築確認申請等のオンライン化については、東京都や特定行政 庁との情報交換による情報収集と、状況把握を引き続き進めていく。建築物・市街地の安全性の確保、既存建築ストックの活用、近年 の災害を踏まえた対応など、法規制の緩和、強化並びに合理化が進められている。 職員の法令知識の習得が欠かせない業務であ り、計画的な研修を実施するとともに、専門職(建築主事)の育成が必要である。

下

(廃止・休止の場合は記入不要)

令和 4 年度事後評価	<u> </u>	o i	丰度 🖣	<u>                                      </u>	<u>美</u>	マネシ	ノメン	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令和	10 5 年 6	6 月作成
事務事業名紛争予防条例関連	車務					所属部	まちづくり	部	課長名	市川 正著	春
政策名 都市基盤・産業						所属課	建築指導	課	係名	庶務係	
施策名 良好な市街地環境	の形成					予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 5	事業 3番号 3
基本事業名地域の特性を生かし	<sub>ン</sub> た市街均	也の形	成	実施形		全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返		根拠	立)	川市中高層	建築	築物の建築	<b>奥に係る紛</b> 々	争の予防と	調整に関す	る条例、同	]施行規則
平成13 年度~	年度	去令等									
□ 市長公約 □ □   主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	日的	<u> </u>	動•成果							
①事業概要	<ul><li>⑤対象</li></ul>			単	仕	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
高さ10mを超える建築物について、建築主が提出する標識設置										八〇十八人	八〇十八文
届及び住民説明実施報告書の	ア標識	設直店	自出件数	件	-	20	29	34	38		
受付と指導を行う。また、住民からの苦情相談、紛争が生じた場	1										
合の建築主と関係住民等との調	ウ										
整、必要によりあっせん・調停を実施する。	<b>⑥活動</b>	指標		単·	位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	ア紛争		5 +13 /H- *H-	<u> </u>		<b>実績</b> 0	実績	実績	<b>実績</b> 0	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか) 建築紛争を未然に防止し、紛争		响雀儿	X1XI干奴	14	-	0	1	0	0		
が生じた場合は建築主と関係住	1										
民等との互譲の精神の下で話し 合いを進め、紛争の解決を図	ウ										
る。	⑦成果	指標		単·	位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア紛争	発生率	K.	%	,	0.0	3.4	0.0	0.0	I	
立川市中高層建築物の建築に係る紛争の予防と調整に関する	1										
条例の適正な運用による良好な	ウ										
市街地形成を図ること。	(2)事	業の=	コスト	単·	位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支	出金千		<b>実績</b> ()	<b>実績</b> ()	<b>実績</b> ()	<u>実績</u> ()	計画 ()	計画
標識設置届及び住民説明実施		財	都支			0	0	0	0	0	0
報告書受付、建築主への制度		源	地方			0	0	0	0	0	0
の主旨の説明、及び関係住民 等からの相談対応等を行った。	事	内訳	<b>₹</b> 0.		ш	0	0	0	0	0	0
,	業	L/ \	一般		_	0	0	0	0	59	0
	費	3	事業費計	(A) 千	円	0	0	0	0	59	0
			予算現額	(B) 千	円	59	59	59	59	_	_
		幸	丸行率(A)			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	_	_
	2		数(正規   月		•			0.18 0.00 0.20			
	人		正規職員		_	5,490	4,500	1,620	1,800	1,800	
	件   費			職員等千	_	5 700	400	2 020	2 200	2 200	
			人件費計 業費(A)-		_	5,790 5,790	4,900	2,020 2,020	2,200 2,200	2,200 2,259	0
	<u> </u>	心尹:	未复(A)7	F(U)  T		5,790	4,900	2,020	2,200	2,209	U
(1)全体総括(①事業の成果・②				省点)			や見直しを図	<b>図った</b>	(2)事業	の方針	
※課題の有無 (課題がある場合によ) ア:目的妥当性	イ: 有	勃性	ウ:	効率性		エ:公平性	オ:そ	の他 🗸			スト 持 増加
(事業の成果) 標識の設置、周辺住民への説明	等により、	建築	地周辺住.	民が計画を	知	ることがで	き、不明な	点を建築	向	门1//火 中田	111 2878
主に問い合わせることができた。 (課題・反省点)									上 成 維 果 持	(	
適法な建築計画であっても、計画							民が互譲の	り考え方を	果  <u>持</u>   低		
持つための対応や、内容に応じた 建築主が建築計画を丁寧に説明							说明を求め	た。	下		
				, , ,			_ ,	-	(廃止・付	木止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革			that to be a						-m-15	- H	, ,
建築の紛争については、いったん辺住民からの相談もある。建築紛	レ生じた場 ≀争はF譲	台は	難航する( えを行政)	頃同にある が丁蜜に₹	。親 ? 方	fたな建築 に説明す	:計画の説 ることが求る	明について められみ す	、環境の変 た、行政に	と化に不安 1、建築其	になる周 進法 条
例について住民が理解しやすい					-/3	100 01 )	J _ C & 410	1000 0	\   1 = \		, 101/1

令和 4 年度事後評価	令和	5 £	年度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 5 年 6	6 月作成
事務事業名 都市計画審議会事	下務				所属部	まちづくり	部	課長名	小林 誠	<u>-</u>
政策名 都市基盤・産業					所属課	都市計画	課	係名	都市総務	係
施策名 良好な市街地環境	の形成	<del></del>			予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 1	事業 1番号
基本事業名持続可能な都市の	形成			<b>色形態</b>	全部	8番託 6	/ 一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返		根拠	都市計画		川市都市	計画審議会	条例			
年度~       市長公約       主要施策	年度	法令等								
1 現状把握の部(1)事務事業	美の概要	要•目的	<b></b> ∣∙結果∙活動∙成	果						
①事業概要 都市計画法第77条の2第1項の	⑤対	象数の	 推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
規定に基づき設置する都市計	ア審	議会委員	 ]数	人	17	17	17	17	17	17
画審議会について、都市計画 (案)等の資料作成や日程調整、	1									
議事進行、議事録作成、委員報	ゥ									
酬の支払い等会議運営に関する事務を行う。		II. I			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	6活	動指標		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア審	議会開催	<b>崖数</b>	口	2	3	2	5	4	4
都市計画審議会の円滑な運営を図り、諮問された都市計画案	1									
に対する公正かつ専門的な第	ウ									
三者からの答申を得る。	⑦成	果指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア諮	問・意見	 聴取件数	件	<del>天</del> 根 4	<b>天</b> 根		<del>天</del> 根		
都市計画制度の適正な運用を	1	1.4 /2.72	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							
図り、良好なまちづくりを推進する。	ゥ									
<b>ට</b> ං	ワ									
	(2)	事業のコ	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
5回の審議会を開催した。(諮問 事項13件)		財源	都支出金	千円	0	0		0	0	0
<b>事</b> 類10件/	(		地方債	千円	0	0		0	0	
	를	事   訳 業	その他	千円	0					
		事	│ 一般財源 事業費計(A)	千円	347 347	480 480	342 342	881 881	813 813	
			デ 未 負 ロ (ヘ) 予 算 現 額 (B)	千円	794	796		901	— —	_
			执行率(A)/(B)	%	43.7%	60.3%		97.8%	_	_
		2 職員	数(正規   月給   時給)	人	0.22 0.00 0.00	0.22 0.00 0.00	0.22 0.00 0.00	0.22 0.00 0.00	0.22 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	,	<u> </u>	正規職員分	千円	1,980	· ·		1,980	1,980	
			+年度任用職員等 - (4) 弗 = (0)		1,000	0	_	1,000	1,000	0
			人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円	1,980 2,327	1,980 2,460		1,980 2,861	1,980 2,793	0
2 評価の部		少心尹	木貝(A) T (U)		4,341	2,400	4,344	2,001	4,193	
(1)全体総括(①事業の成果・②	2改革	·改善·(	③課題・反省点)		改善	<b>善や見直しを図</b>	図った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 (課題がある場合によ)	1	:有効性	ウ:効率性		エ:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果)令和4年度は都市記	計画審調	義会を5	回開催、都市計画	画の多	様な案件	を審議した	ことで、良	向	削減 維	持 増加
好なまらつくりを推進した。								成 維 井		
好なまちづくりを推進した。								木  竹		
好なまらつくりを推進した。								低		
好なまらつくりを推進した。								低下	休止の場合に	は記入不要)
	፲∙改善	案等)						低下		は記入不要)
(3) <b>今後の事業の方向性(改革</b> 引き続き、都市計画審議会の円)			とともに効率的な	開催は	こ向けたスペ	ケジュール	調整を行う	低   下   (廃止・		は記入不要)

			μч	<u> </u>	一文	事務	扩木									6 月作成
事務事業名都市計	·画等関連事	務						月	「属部	まちづく	(ŋ:	部	翓	長名	小林 詢	成二
	盤•産業									都市計	画		1	系名	都市総務的	系·都市計画係
	市街地環境		成					_	算科目	会計 1		款 8	項	3	目 1	事業 3番号 3
基本事業名 持続可	能な都市の飛	<b></b>					色形態 (選択可)		全部	8委託	V	一部委託		補助・	助成	✓ 連携・協働
事業期間単年度		t= rtc	:	根拠	_	都市計画活										
	年度~	年度		<b>去</b> 令等		立川市風:	<b>蚁地区</b>	(余)	列							
1 現状把握の部(		_	要・	目的	·結果	•活動•成	果									
1事業概要	TINE	<b>⑤</b> \$	対象数	数の打	推移		単位	Н3	1年度	R2年度	F	R3年度	R4	年度	R5年度	R6年度
都市計画にかかる指 市計画の策定、手続		ア	<b>非民</b>				人	1	84,090	184,5	77	185,124	. 19	85,483		
届出や風致地区、生 いかで東致 超声型			1,170					1		101,0	-	100,12	1,	50, 100		
かかる事務。都市計 市施設の計画にかか		1														
査等。 部と課の庶務	、予算、決	ウ							, .							
算業務。出資団体等 印刷物の作成配布。	どの調整。	<b>6</b> %	舌動技	指標			単位		1年度 実績	R2年度 実績	F	R3年度 実績		年度 ≷績	R5年度 計画	R6年度 計画
2)目的(対象をどのような状	態にしたいのか)				地区計	画決定/変	件		1	24120	1	2 4 4 2		6		4
無秩序な市街化を防	近し、都市	-	更件数 駅市記		鱼路計画	前延長	m		69,707	69,66	67	69,667		69,682	69,68	82 69,68
の健全な発展と秩序 図り、均衡ある発展と		イ ウ	그 나 나 나 다	一回怎	그머니쁜	-/ <b>-</b> /	111		55,101	00,00	-	00,00	<u> </u>	,002	00,00	00,00
Mの増進に寄与する			フ ⑦成果指標					Н3	1年度	R2年度	F	R3年度	R4	年度	R5年度	
		(7)万	丈果 打	指標			単位		実績	実績		実績		〒/文 €績	計画	計画
3結果(どのような結果に		ア	ア都市計画道路整備率						58.6	58	.6	58.6		58.6	58	.6 59.
市民が安心して生活 き生きとしたまちづく		1														
る。	ソゼ1田川上り	ウ														
			JII	· -				ПЗ	1年度	R2年度	F	R3年度	D/I	年度	R5年度	R6年度
		(2)	争录	€のコ	コスト		単位		<b>主</b> 積	実績	2	実績		*	計画	計画
4)令和4年度実績(					国国	車支出金	千円		0		0	(		0		0
地区計画の届出の受 地区内の許可書交付						支出金	千円		0		0	(		0		0
地地区の買取申出等	章、各種手		1	内	_	也方債	千円		0		0	(	<b>-</b>	0		0
売きを行った。また、 跡地昭島地区の地▷			事業	訳		その他 般財源	千円	2	54 2,532		11	6,916		$\frac{45}{8,735}$		68 -6
金地域等の変更、西	国立駅駅		費		1	<u> </u>	千円		2,586	·	_	6,998	+	$\frac{8,780}{8}$	3,90	
前広場等都市計画素 討、地形地物の変化			-		, 予算現		千円		41,898	,		7,563	+	31,730		—
た不整合の是正を目	的とした用					(A)/(B)	%		77.8%	68.9	_	92.59		90.7%		_
金地域等の変更手線 都市計画マスタープ		j	2			月給   時給)	人	6.52			_	6.50 0.80 1.0	7.08	1.80 0.00	7.08 1.80 0	.00 0.00 0.00 0.
こ向けた基礎調査、	生産緑地		人		正規聙		千円	5	8,680	63,45	50	58,500	6	3,720	63,72	20
地区の変更、特定生 指定に関する業務等			件   費			E用職員等			3,950		-	5,360		7,560	7,56	
						計(C)	千円		2,630		-	63,860		1,280		_
2 評価の部			(3)	総事	<b>業費(</b> /	A)+(C)	千円	9	5,216	83,06	51	70,858	10	0,060	75,18	34
<u>: 評価の部</u> 1)全体総括(①事	業の成果・②	五公	5.改	善。(3	3)課題	• 反省占)			改善	きや見直しる	を図	回った	(2	2)事第	美の方針	
※課題の有無	∶目的妥当性「			効性		・ <b>クロホ</b> / ウ:効率性		エ:・	 公平性			·の他	٦[`			コスト
事業の成果)	_												<b>-</b>	1.	削減	維持 増加
立川基地跡地昭島地区における地区計画と用途地域等の変更や、西国立駅周辺地域まちづくり構想に基づく西国立駅駅前広場等都市計画素案作成に向けた検討を行い、それぞれの地区におけるまち										向上						
づくりを推進した。地	形地物の変化	とによ	り生	じたフ	不整合	を是正する	5用途	地填	ず等の?	変更手続	き	を進め、『	月	成維		0
権な運用が可能とな	可能となった。次期都市計画マスタープラン策定に向け 性について整理した。生産緑地地区について、都市計画							基礎	調査を	行い、誰	腿	夏の抽出や	)	果 括 低		
解伏の方向性にうい り指定手続を行った							可四②	文文	<b>を11</b> フィ	22814 <del>1</del>	力人上	二生冰片	.   L	下		
														(廃止・	休止の場合	合は記入不要
(3) 今後の事業の7										Later 1		Mark to				Inter Committee
都が行う南武線の連 案を作成する。また、																
団地の建て替えや旧																

団地の建て替えや旧若葉小跡地の活用に向け地区計画を策定する等都市計画の整理を行う。都市計画マスタープラン改定基礎調査の結果等を踏まえ、次期都市計画マスタープランの策定作業を進める。生産緑地の保全に向け、生産緑地地区の都市計画変更や、特定生産緑地の指定手続きを行う。

令和 4 年度事後評価	<u> </u>	5 í	丰度 事務等	<del></del>	マネン	<u> ノメン</u>	トシー	<b>卜</b> 令和	10 5 年 6	3 月作成
事務事業名総合治水対策事業	色				所属部	まちづくり	部	課長名	小林 誠	<u>-</u>
政策名 都市基盤・産業					所属課	都市計画	課	係名	開発指導	係
施策名 良好な市街地環境	の形成				予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 1	事業 4 番号
基本事業名持続可能な都市の	形成			<b>形態</b> <sub>選択可)</sub>	全音	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 年度~	<u></u> 年度 ,	根拠		न ।।। ⅓≣	小油宝针	<b></b>				
市長公約 主要施策	十尺	法令等	都市計画流			水仏				
1 現状把握の部(1)事務事業	美の概要・	目的	•結果•活動•成	果						
①事業概要 国、東京都、各自治体との連携	⑤対象	数の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
の下で各流域単位での河川・下	ア東京	都総合	合治水協議会	団体	1	1	1	1	1	
水道施設整備、雨水流出抑制施設設置等の総合的観点から	イ新河協議	岸川沼	<b>流域総合治水対策</b>	団体	1	1	1	1	1	
の治水対策を推進し、近年頻発 する豪雨による都市型水害を軽	ウ市民		 日現在)	人	184,090	184,577	185,124	185,483		
減、防止し、市民生活の安全を	<b>⑥活動</b>		. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
確保する。 ②目的(対象をどのような状態にしたいのか)				回	実績	<b>実績</b> 9	<b>実績</b> 8	<b>実績</b> 13	計画 10	計画
時間65mm規模の豪雨時におい		云 安	貝工学加	Ш	ა	9	0	13	10	
ても浸水被害を防止できる状	1									
態。	ウ				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑦成果	指標		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア雨水	浸透的	拖設等設置	件	30	34	26	32	30	
近年頻発する豪雨による都市型水害を軽減、防止することにより	イ対策	量		m³	1,330	2,986	3,403	5,469	5,000	
市民生活の安全を確保し、災害	ウ									
に強い都市基盤の整備。	(2)事	<b>業の</b> =	コスト	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	\ <b>-</b> /-/-	// -> -		# 137	実績	実績	実績	実績	計画	計画
② A 1- 4 左 左 左 (			日本ナルへ							_
④令和4年度実績(事業活動) 東京都総会治水対策協議会		財	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
東京都総合治水対策協議会、 新河岸川水循環マスタープラン		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
東京都総合治水対策協議会、 新河岸川水循環マスタープラン 策定への参加。総合治水対策	① 事	源内	都支出金 地方債	千円 千円	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
東京都総合治水対策協議会、 新河岸川水循環マスタープラン 策定への参加。総合治水対策 に関するポスター掲示等のPR 活動。雨水貯留・浸透事業に関	事業	源	都支出金	千円	0	0 0	0 0	0	0	0 0
東京都総合治水対策協議会、 新河岸川水循環マスタープラン 策定への参加。総合治水対策 に関するポスター掲示等のPR 活動。雨水貯留・浸透事業に関 するアンケート等の集計、国、東	事	源内訳	都支出金 地方債 その他	千円 千円 千円	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0 0
東京都総合治水対策協議会、新河岸川水循環マスタープラン策定への参加。総合治水対策に関するポスター掲示等のPR活動。雨水貯留・浸透事業に関するアンケート等の集計、国、東京都への報告等。各事業者への雨水浸透施設等設置指導。	事業	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B)	千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 0 50 50	0 0 0 0 50 50	0 0 0 0 50 50	0 0 0 0 50 50	0 0 0 0 50 50	0 0 0 0
東京都総合治水対策協議会、新河岸川水循環マスタープラン策定への参加。総合治水対策に関するポスター掲示等のPR活動。雨水貯留・浸透事業に関するアンケート等の集計、国、東京都への報告等。各事業者へ	事業費	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 0 50 50 100.0%	0 0 0 0 50 50 100.0%	0 0 0 0 50 50 100.0%	0 0 0 0 50 50 100.0%	0 0 0 0 50 50 —	0 0 0 0 0
東京都総合治水対策協議会、新河岸川水循環マスタープラン策定への参加。総合治水対策に関するポスター掲示等のPR活動。雨水貯留・浸透事業に関するアンケート等の集計、国、東京都への報告等。各事業者への雨水浸透施設等設置指導。関係機関との検討会議への参	事業費 ②	源内訳 職員	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円 八	0 0 0 50 50 50 100.0%	0 0 0 50 50 50 100.0%	0 0 0 50 50 100.0%	0 0 0 50 50 50 100.0%	0 0 0 50 50 	0 0 0 0 0 0 0 0
東京都総合治水対策協議会、新河岸川水循環マスタープラン策定への参加。総合治水対策に関するポスター掲示等のPR活動。雨水貯留・浸透事業に関するアンケート等の集計、国、東京都への報告等。各事業者への雨水浸透施設等設置指導。関係機関との検討会議への参	事業費	源内訳 職員	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分	千円 千円 千円 千円 千円 千円 % 人	0 0 0 0 50 50 100.0%	0 0 0 0 50 50 100.0%	0 0 0 0 50 50 100.0%	0 0 0 0 50 50 100.0%	0 0 0 0 50 50 —	0 0 0 0 0 0 0 0
東京都総合治水対策協議会、新河岸川水循環マスタープラン策定への参加。総合治水対策に関するポスター掲示等のPR活動。雨水貯留・浸透事業に関するアンケート等の集計、国、東京都への報告等。各事業者への雨水浸透施設等設置指導。関係機関との検討会議への参	事業費   ②人	源内訳 報 会計	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分	千円 千円 千円 千円 千円 千円 % 人	0 0 0 50 50 100.0% 1,530	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.17 0.00 0.00	0 0 0 50 50 100.0% 0.15 0.00 0.00	0 0 0 50 50 50 100.0%	0 0 0 50 50 	0 0 0 0 0 0 0 
東京都総合治水対策協議会、新河岸川水循環マスタープラン策定への参加。総合治水対策に関するポスター掲示等のPR活動。雨水貯留・浸透事業に関するアンケート等の集計、国、東京都への報告等。各事業者への雨水浸透施設等設置指導。関係機関との検討会議への参加。	事業費②人件費	源内訳 韓員 会計	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 4 千円 千円	0 0 0 50 50 100.0% 0.17 0.00 0.00 1,530	0 0 0 50 50 100.0% 0.17 0.00 0.00 1,530	0 0 0 50 50 100.0% 0.15 0.00 0.00 1,350	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.13 0.00 0.00	0 0 0 50 50  0.13 0.00 0.00 1,170	0 0 0 0 0 0 0 
東京都総合治水対策協議会、 新河岸川水循環マスタープラン 策定への参加。総合治水対策 に関するポスター掲示等のPR 活動。雨水貯留・浸透事業に関 するアンケート等の集計、国、東 京都への報告等。各事業者へ の雨水浸透施設等設置指導。 関係機関との検討会議への参 加。	事業費 ②人件費 ③	源内訳 華員 計	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 強数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円 千円 千円 千円 % 人 千円 千円	0 0 0 50 50 100.0% 0.17 0.00 0.00 1,530 0,530	0 0 0 50 50 100.0% 0.17 0.00 0.00 1,530 0,1,580	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.15 0.00 0.00 1,350 0,1400	0 0 0 50 50 100.0% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170	0 0 0 50 50 	0 0 0 0 0 0 0  0.00 0.00 0.00
東京都総合治水対策協議会、新河岸川水循環マスタープラン策定への参加。総合治水対策に関するポスター掲示等のPR活動。雨水貯留・浸透事業に関するアンケート等の集計、東京都への報告等。各事業者への雨水浸透施設等設置指導。関係機関との検討会議への参加。	事業費 ②人件費 ③ · 改 革 · 改	源内訳 報 会計 審	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 政(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円         千円         千円         千円         千円         千円         千円         千円	0 0 0 50 50 50 100.0% 1,530 0 1,530	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,580	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.15 0.00 0.00 1,350 0,1400	0 0 0 50 50 100.0% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170	0 0 0 50 50  0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,220	0 0 0 0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0
東京都総合治水対策協議会、新河岸川水循環マスタープラン策定への参加。総合治水対策に関するポスター掲示等のPR活動。雨水貯留・浸透事業に関するアンケート等の集計、国、東京都への報告等。各事業者への雨水浸透施設等設置指導。関係機関との検討会議への参加。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②深課題の有無 (課題がある場合に・) ア:目的妥当性	事業費 ②人件費 ③ ・	源内訳 華員 余 巻 哲 姓	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 強数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3]課題・反省点)	千円         千円         千円         千円         千円         千円         千円         千円         千円	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,580 0 2:公平性	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.17 0.0 0.00 1,530 0 1,580 オ:そ	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.15 0.00 0.00 1,350 0 1,400	0 0 0 50 50 100.0% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170	0 0 0 50 50 - 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,220	0 0 0 0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0
東京都総合治水対策協議会、新河岸川水循環マスタープラン策定への参加。総合治水対策に関するポスター掲示等のPR活動。雨水貯留・浸透事業に関するアンケート等の集計、国、東京都への報告等。各事業者への報告等。各事業指導。関係機関との検討会議への参加。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 (事業の成果)総合治水対策に関 世の協議において総合治水対	事業費     ②人件費       ③     ずくに       ずいできる     は       本・は     は       は     は       は     は       よ     は       は     は       よ     は       よ     は       こ     は       よ     は <t< td=""><td>源内訳 華員 会 総 善 効 平設 で 一 の 単 の 単 の 単 の 単 の 単 の 単 の 単 の 単 の 単 の</td><td>都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 強数に現   月給   時給) 正規職員分 ・年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3)課題・反省点) レウ:効率性 対30年7月より開始 を備を行うように指</td><td>千円円千円円千円円千円円・導した</td><td>0 0 0 50 50 50 100.0% 0.17 0.00 0.00 1,530 1,580 1,580 立き</td><td>0 0 0 50 50 50 100.0% 0.17 0.00 0.00 1,530 1,580 すった な開発・建た たな開発・建た たな開発・建た</td><td>0 0 0 50 50 50 100.0% 0.15 0.00 0.00 1,350 0 1,400</td><td>0 0 0 50 50 50 100.0% 0.13 0.0 0.00 1,170 0 1,170 1,220</td><td>0 0 0 50 50 - 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,220</td><td>0 0 0 0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0</td></t<>	源内訳 華員 会 総 善 効 平設 で 一 の 単 の 単 の 単 の 単 の 単 の 単 の 単 の 単 の 単 の	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 強数に現   月給   時給) 正規職員分 ・年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3)課題・反省点) レウ:効率性 対30年7月より開始 を備を行うように指	千円円千円円千円円千円円・導した	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.17 0.00 0.00 1,530 1,580 1,580 立き	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.17 0.00 0.00 1,530 1,580 すった な開発・建た たな開発・建た たな開発・建た	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.15 0.00 0.00 1,350 0 1,400	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.13 0.0 0.00 1,170 0 1,170 1,220	0 0 0 50 50 - 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,220	0 0 0 0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0
東京都総合治水対策協議会、新河岸川水循環マスタープラン策でへの参加。総合治水対策に関するポスター掲示等のPR活動。雨水貯留・浸透事業に関するアンケート等の集計、国、東京都への報告等。各事業指導。関係機関との検討会議への参加。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合によ)ア:目的妥当性(事業の成果)総合治水対流時間浸透施設設置や災害時水財留浸透施設設置や災害時水財留浸透施設設置や災害時	事業費     ②人件費       ③     ずくに       ずいできる     は       本・は     は       は     は       は     は       よ     は       は     は       よ     は       よ     は       こ     は       よ     は <t< td=""><td>源内訳 華員 会 総 善 効 平設 で 一 の 単 の 単 の 単 の 単 の 単 の 単 の 単 の 単 の 単 の</td><td>都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 強数に現   月給   時給) 正規職員分 ・年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3)課題・反省点) レウ:効率性 対30年7月より開始 を備を行うように指</td><td>千円円千円円千円円千円円・導した</td><td>0 0 0 50 50 50 100.0% 0.17 0.00 0.00 1,530 1,580 1,580 立き</td><td>0 0 0 50 50 50 100.0% 0.17 0.00 0.00 1,530 1,580 すった な開発・建た たな開発・建た たな開発・建た</td><td>0 0 0 50 50 50 100.0% 0.15 0.00 0.00 1,350 0 1,400</td><td>0 0 0 50 50 100.0% 1,170 0 1,170 1,220</td><td>0 0 0 50 50 </td><td>0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</td></t<>	源内訳 華員 会 総 善 効 平設 で 一 の 単 の 単 の 単 の 単 の 単 の 単 の 単 の 単 の 単 の	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 強数に現   月給   時給) 正規職員分 ・年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3)課題・反省点) レウ:効率性 対30年7月より開始 を備を行うように指	千円円千円円千円円千円円・導した	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.17 0.00 0.00 1,530 1,580 1,580 立き	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.17 0.00 0.00 1,530 1,580 すった な開発・建た たな開発・建た たな開発・建た	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.15 0.00 0.00 1,350 0 1,400	0 0 0 50 50 100.0% 1,170 0 1,170 1,220	0 0 0 50 50 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
東京都総合治水対策協議会、新河岸川水循環マスタープラン策での参加。総合治水対策に関するポスター掲示等のPR活動。雨水貯留・浸透事業国、東京都への報告等。各事置指導。関係機関との検討会議への参加。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に)) (事業の成果)総合治水合治水合治、対語との協議において総合や災害時で掲示した。東京都豪雨対策基本方針改定に対する。	事業費     ②人件費       ③     ずくにおけたにおけたにおけたに	源内訳 職 会 総 善 効 平設難 アラを施避 アリカー・ 性 が整難 ン	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数に規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点) 以前年7月ようにの記 がは備制についての記 がと意見交換に	千千千千 9 人 円 円 円 今 1 次 章 意 か 1 か 2 か 3 か 3 か 3 か 4 か 5 か 5 か 5 か 5 か 5 か 5 か 5 か 5 か 5	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,580 立き 正:公平性 年度も新たた。また企す 発を促す	0 0 0 50 50 50 100.0% 1,530 0 1,580 す:そ な開発・建 **との一般家ポスターを	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.15 0.00 0.00 1,350 0 1,400 2つた での他	0 0 0 50 50 100.0% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,220 (2)事業	0 0 0 50 50 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
東京都総合治水対策協議会、新河岸川水循環やスタープラン策に関するポスター掲示等率に関するポスター掲示等業に関するアンケート等の集事業国、東京都への一般では、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	事業費     ②人件費       ③     ずまに       ずれ     1       1     1       1     1       1     1       1     1       2     1       2     1       3     1       3     1       4     1       4     1       5     1       6     1       7     1       8     1       9     1       1     1       1     1       1     1       1     1       1     1       1     1       1     1       1     1       1     1       1     1       1     1       1     1       1     1       1     1       1     1       1     1       1     1       2     1       2     1       3     1       4     1       5     1       6     1       7     1       8     1       9     1       1     1	源内訳 職 会 総 善 効 平設難 リ東の	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数に規 月給 時給 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点) で対しての対しての対しての対してが必要望では、が必必要としてがある。	千千千千 % 人 円 円 円 円 円 円 円 の 人 円 円 円 円 今 が 診 に 東 か に 京 か に す に か に す に か に す に か に か に か に か に	0 0 0 50 50 50 100.0% 1,530 0 1,530 1,580 立 車 車度も新た企業 発を促す 、立川市と	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.17 0.00 0.00 1,530 1,580 か見直しを駆けたり はな開発・建 はな開発・建 はな開発・建 はないまして水害に	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.15 0.00 0.00 1,350 0 1,400 2つた での他 単築事業計 定庭向けに 作成し窓口	0 0 0 50 50 100.0% 1,170 0 1,170 1,220	0 0 0 50 50 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
東京都総合治水対策協議会、新河岸川水循環マスタープラン策関するポスター掲示等のPR活動。雨水貯留・浸透事業国、東京都への養施設等の発生で、事業の有無、の成果がある場合にの、で、といっての、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で	事業費②人件費③・さ に お け に お け に い け に い け い ま い こ い ま い こ い ま い こ い ま い こ い ま い こ い ま い こ い ま い こ い ま い こ い ま い こ い ま い こ い ま い こ い ま い こ い ま い こ い ま い こ い ま い こ い ま い こ い ま い こ い ま い こ い ま い こ い ま い ま	源内訳 職 会 総 善 効 平設難 リ東のは	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数に規 月給 時給 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点) で対しての対しての対しての対してが必要望では、が必必要としてがある。	千千千千 % 人 円 円 円 円 円 円 円 の 人 円 円 円 円 今 が 診 に 東 か に 京 か に す に か に す に か に す に か に か に か に か に	0 0 0 50 50 50 100.0% 1,530 0 1,530 1,580 立 車 車度も新た企業 発を促す 、立川市と	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.17 0.00 0.00 1,530 1,580 か見直しを駆けたり はな開発・建 はな開発・建 はな開発・建 はないまして水害に	0 0 0 50 50 50 100.0% 0.15 0.00 0.00 1,350 0 1,400 2つた での他 単築事業計 定庭向けに 作成し窓口	0 0 0 50 50 100.0% 1,170 0 1,170 1,220 (2)事業 向上維持低下	0 0 0 50 50 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 7 8 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9

昨今の水害による被害の甚大化傾向からも、総合治水対策をより確実に促進すべく、指導対象範囲の拡大や対策状況が把握出来る 仕組みの検討、または対策基準に見合った雨水流出抑制設置を都市計画法第32条の同意条件とする、開発許可の条件とする(東京 都総合治水対策協議会に提案済)等の義務的要素も含めた指導実現のため関係機関と協議を継続していく。また国土交通省を中心 とした流域治水協議会が設立され、今後も協議を続けていくことになったため、関係機関との更なる連携の強化、総合治水対策の重 要性、体制構築の必要性について発信していく。

令和 4 年度事後評価	令和:	5 年度	事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	ト <sub>令和</sub>	10 5 年 6	3 月作成
事務事業名 広域公共交通関連	車事務				所属部	まちづくり	部	課長名	大和田 智	智也
政策名 都市基盤・産業					所属課	交通対策	課	係名	交通企画	<del></del> 係
施策名総合的な交通環境	の構築				予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 1	事業 番号 5
基本事業名 総合都市交通戦略	の展開			地形態 (選択可)	全音	<b>『委託</b>	一部委託	補助・		連携•協働
<b>事業期間</b> 単年度繰返 昭和44 年度~		根拠	122							
市長公約 ○ 主要施策			   17	<b>—</b>						
1 現状把握の部 (1)事務事第 ①事業概要			き・沽助・队		1104 F F	D0 / = ==	50 <del>/                                     </del>	D.4 7 7 7	DE 75 55	D0/T/#
鉄道・モノレールの整備促進の		数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
ため、三鷹・立川間立体化複々線促進協議会(複促協)、多摩地	ア市民			人	184,090	184,577	185,124	185,483		
域都市モノレール等建設促進	1									
協議会(モノ促協)の事務局として、関係部署との調整事務、合	ウ									
同総会の開催及び関連部署へ の要望活動等を行う。	⑥活動:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア協議	会等の開催		口	7	7	6	5	5	_
鉄道の複々線化により、速報性	イ要望	書の提出		口	4	4	4	4	4	
及び災害時のリダンダンシーの 確保。モノレールの延伸により	ウ									
市民及び公共交通機関利用者の利便性向上を図る。	⑦成果:	 指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	アモル	・一ル延伸計	十画延長	km	0	0	0	0	0	
持続可能な交通環境の構築に	1									
より、公共交通の利便性・安全 性の向上が図られる。	ウ									
1 × 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					1104 F F	D0 /= ==	50 <del>/ F</del> #	D4 7 7	DE # #	D0/T/#
	(2)事業	業のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
複促協部長会・モノ促協幹事会 の開催(4月、7月、2月に開		「酒 ──	你支出金	千円	0	0	0	0	0	_
催)、複促協・モノ促協役員会の	1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	
開催(7月)、合同総会の開催(7月)、国土交通省、東京都、東	事業	н, ,	その他	千円	0		0	63	63	0
日本旅客鉄道㈱へ要望書提出	費		-般財源  貴計(A)	千円 千円	63 63	63 63	63 63	63	63	0
(11月)、多摩都市モノレール(株)へ要望書提出(12月)。多摩都			見前 (A) 見額(B)	千円	63	63	63	63	— 03 —	
市モノレール㈱関連事務を行			(A)/(B)	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	_	_
い、貸付金の返還を受けた。	2		<del>(                                    </del>						0.80 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人	正規則	職員分	千円	4,500	4,500	4,050	7,200	7,200	0
	件費		任用職員等		0	0	0	0	0	
			貴計(C)	千円	4,500	4,500	4,050	7,200	7,200	
2 評価の部	3	総事業費の	(A)+(C)	千円	4,563	4,563	4,113	7,263	7,263	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革•改	(善・3)課品	<b>風·</b> 反省点)		✓ 改善	<b>手や見直しを図</b>	つた	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性			ウ:効率性							スト
(事業の成果)複促協・モノ促協合	 ·同総会を	<u></u> 3年ぶりに	- 対面にて開	<u></u> 催し、	国、都、JR	 、多摩都市	デモノレー <i>/</i>	 	削減 維	持 増加
に対して早期の事業化の要望活 市計画素案の説明会が開催され	動を行った	た。また、令	和4年10月	に上	北台~箱框	見ケ崎延伸	にかかる都			
(改革・改善)令和2年・令和3年と	新型コロブ						た合同総	成維		
会について、万全の感染症対策(課題・反省点)複々線化事業、多	を講じたう 、摩都市エ	えで、3年。 ノレール研	いいに開催する は事業とも	すること に事業	とができた。 と実現に向	。  けて財源#	海保の 方第	果持低		
を含め、多くの関係者の理解と協					トノヘンロ(ロド	1・/ < 25.1 10.5.7	ELVINY JULY	下		1
(2) 4.8 の事業の士力性/ユロサ		<i>*±</i> -\						(廃止・作	休止の場合に	‡記入不要)
(3) 今後の事業の方向性(改革 中央線の複々線化及び多摩都市			(生理に向い	† <u></u>	長市り で	各自治休の	)音目笙の	レルキレみた	·行い 囯•	宙立契レ
も連絡・調整を図っていく。また、										

令和 4 年度事後評価	令和	<u> </u>	年度	事務	事業	マネシ	<u> ブメン</u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令和	10 5 年 6	3 月作成
事務事業名コミュニティバス運	行					所属部	まちづくり	部	課長名	大和田 智	雪也
政策名 都市基盤•産業						所属課	交通対策	課	係名	交通企画	係
施策名総合的な交通環境	の構	築				予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 1	事業 7番号 7
基本事業名 総合都市交通戦略	の展開	用			地形態 (選択可)	全音	『委託	一部委託	✓ 補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		,	根拠	立川市市	えバス	運行事業		寸要綱			
平成14 年度~	年度		令等	立川市地域	或公夫	<b> - - - - - - - - - </b>	設置要綱				
市長公約     主要施策   ( 1 現状把握の部(1)事務事業	)	要・	目的•結集	·活動·成	果						
①事業概要			数の推移	7123 770	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市内に偏在する交通不便地域を解消し、移動手段を確保する		市民	X - 1		人	184,090				~ ~	~ ~
ため、バス5台で運行している。			ノトの住民:	基本台帳人				185,124			
市民の外出機会の創出及び目的地へのアクセス向上などを図	1			21 1100	人	45,168	45,506	45,734	45,940		
る。	ウ										
	6清	舌動抖	旨標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	アジ	軍行本	数(平日1	∃)	本	81	81	81	81	81	
市内における交通不便地域を	1	補助金	Ž		円	67,296,502	58,031,364	63,629,268	61,565,789		
解消し、公共交通の利便性の向上に寄与する。	ウ								, ,		
		<b></b>	<b>台</b>		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<b>②4+</b> 田						<b>天</b> 頼	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか) 安全に安心して移動できる地域			員(年間)		人	170,346	-	-	-		
公共交通を確保する。			又入(税抜)			26,871,086	20,433,639	24,948,326			
	ウリ	<b>以支</b> 率	<u> </u>		%	33	26	29	32		
	(2)	事業	<b>ラフスト</b>		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)				庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
・新型コロナウイルス感染症の 影響で令和2年度に収入が大き			: 活	<b>『支出金</b>	千円		0	0	0	0	0
く落ち込んだが、令和3年度以		1	内	地方債	千円		0	0	0	0	0
降は回復傾向にあり、令和4年 度においてはルート全体で収支		事 業 	ш, т	その他 -般財源	千円						0
率が運行継続基準である30%		費		- 放 <i>別                                   </i>	千円		58,166 58,166	·	61,720	69,814 69,814	0
を上回った。		-		えて (A) 現額(B)	千円		63,989	73,518	72,054	-	— <u> </u>
		ŀ		(A)/(B)	%	98.5%	90.9%	87.1%	85.7%	_	_
		2	職員数征規	見 月給 時給)	人	1.00 0.00 0.00	0.90 0.00 0.00	1.15 0.00 0.00	1.05 0.00 0.00	1.05 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		人		哉員分	千円		8,100	10,350	9,450	9,450	0
		件上费		壬用職員等			0	0	0	0	0
					千円		8,100	·	9,450	9,450	0
	L	<b>少</b> ポ	総事業費(	A) T (U)	千円	77,354	66,266	74,403	71,170	79,264	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革	• 改	善・③課是	夏•反省点)		改善	きや見直しを図	図った	(2)事業	(の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性		イ:有:	効性	ウ:効率性	~	工:公平性	<b>レ</b> オ:そ	の他		٦,	
(事業の成果)収支率について、全	全体で	は運	行継続基	準である30	%を <b>」</b>	こ回った。			向	削減 維	持 増加
(課題・反省点) 収支率は大幅に回復しているもの	)の、 <u>ī</u>	西砂ノ	レートにお	いては収支	三率27	.1%と運行約	継続基準を	・下回る数値	┧┃┃上┃		
となった。また、くるりんバス運行し	こ対す	る要	望も依然と	してある中	で、路	各線バスの			成 維 果 持		
市内全体の公共交通のあり方に	·	一概証	日していて火	か安性が骨(	ハよつ	ている。			低		
									(廃止・	木止の場合に	t記入不要)
L (3)今後の事業の方向性(改革	- 改章	<b>美案</b> 等	车)						(Æ11.1)	, · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	лны/ <b>・</b> Г 女 /
引き続き、地域公共交通会議にお	おいて	コミュ	- ユニティバン								
把握するなかで、コミュニティバス 持続可能な地域公共交通のデザ				型バス運行	うのあ	り方を明ら	かにすると	ともに、民間	間活力や地	地域力を担い	ハ手とした
リュルルコロウム・ロースム・スペンノリ	1/2	- IJ J	0								

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	1 5	年度	<u> 事務</u>	事業	マネシ	<u> ジメン</u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	10 5 年 6	;月作成
事務事業名西砂川地域路線	「ス運行	寸				所属部	まちづくり	部	課長名	大和田 智	野也
政策名 都市基盤·産業						所属課	交通対策	課	係名	交通企画	
施策名総合的な交通環境				_		予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 1	事業 8 番号
基本事業名 総合都市交通戦略	の展開			(複数	<b>地形態</b> (選択可)		<b>『委託</b>	一部委託	✔ 補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返	ter ete	 相	<del></del> 艮拠	立川市路線	泉バス	運行事業	補助金交付	寸要綱			
田和63 年度~   市長公約   主要施策   コード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	年度		令等								
1 現状把握の部(1)事務事業	(の概要	要・目	的•結身	_ <b>≹·活動·成</b>	果						
①事業概要 市民の通勤・通学の利便を図る	⑤対	象数	の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
ため、西砂川循環線(昭島・堀向			域(西砂町 本台帳人	丁・一番町)の	人	23,716	23,812	23,999	24,140		
線)の運行を補助する。	1	(大巫)	半口吹ハ	, Ц							1
	・ ウ										
		壬4十七	- <del> </del>		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活					実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)			数(平日1	月)	本	26		_	6	6	
路線バスの維持により、地域住 民の交通手段を確保する。	イ連				円	48,321,071	25,190,613	22,696,391	26,621,106		
	ウ補	助金	額		円				2,776,000		
	⑦成	果指	標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア連	行収	入(税抜)		円		16,491,349				
安全に安心して移動できる地域	1										
公共交通を確保する。	ウ										
		古 类 /	<b>グラフト</b>		24 L	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)+	争未り	のコスト		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)				庫支出金	千円		0	0	0	0	0
・立川バスが運行する西砂川循環線(昭島・堀向線)の運行経		_   ;	源	鄒支出金 地方債	千円		0	0	0	0	0
費補助			内 訳	その他	千円		0	, ,		Ŭ	_
	1	業		一般財源	千円						0
	j	費 -	事業	費計(A)	千円	8,000	3,846	2,776	2,776	2,776	0
				現額(B)	千円				2,777	_	_
		H:		区(A)/(B)  規 月給 時給)	从	100.0% 0.15 0.00 0.00	48.1%	100.0%	100.0%	0.15 0.00 0.00	
				<sup>規   月給   時給)</sup> 職員分	十円		1,350	1,350	1,350	1,350	0.00 0.00 0.00
	1	牛		任用職員等			0	0	0	0	0
	j	費 L	人件	費計(C)	千円	1,350	1,350	1,350	1,350	1,350	0
		③総	事業費	(A)+(C)	千円	9,350	5,196	4,126	4,126	4,126	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	首的	■改章	€•③課題	題•反名占)		一改章	善きや見直しを図	₹	(2)事業	きの方針	
※課題の有無 ア・日的平当性									(2) # 4	ار ارد	スト
(課題がある場合によ) ・日間女当は【事業の成果)		. 1379	) I =   -	] 7.7%+1			, ,,			削減 維	持 増加
バス事業者へ運行補助し、路線を 人数が少ないことから事業者の赤											
減額した。令和4年度においては								に開めると	成 推 井		
(課題・反省点) 西砂地域においては、くるりんバン	ス西砂	ルート	トを含め、	て課題解決	が必要	更である。-	一方で市内	全域で路線			_
バスの減便も相次いでいることか										出しの担へた	+記1 <b>不</b> 冊)
ていく必要性が高くなっている。 (3)今後の事業の方向性(改革	. 改善	安生	Ξ)						(廃止・1	休止の場合は	1記八个安)
地域の移動像を把握するなかで、				含めた定時気	官路線	型バス運行	行のあり方を	を明らかに	するとともに	 こ、民間活 <i>っ</i>	力や地域(
力を担い手とした持続可能な地域	成公共2	交通 0	のデザイ	ンを行う。							
I											

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u> :	5 年度 🖣	<u>事務事業</u>	ミマネシ	ジメン	<u>トシー</u>	ト <sub>令和</sub>	<u>和 5 年 6</u>	7 月作成
事務事業名交通公共案内施設	设管理			所属部	まちづくり	部	課長名	大和田 智	智也
政策名 都市基盤・産業				所属課	交通対策	課	係名	交通企画	
施策名総合的な交通環境				予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 1	事業 番号 9
基本事業名総合都市交通戦略	の展開		実施形態 (複数選択可)		『委託 』	一部委託	補助•	助成・	連携•協働
<b>事業期間</b> 単年度繰返 平成14 年度~	年度 ;	根拠							
	$\circ$		· # # #						
1 現状把握の部 (1)事務事業 ①事業概要					D0 / = ==	50 <del>/                                     </del>	D 4 45 45	DE 7: #	D0 # #
立川駅周辺を中心に設置され		数の推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
ている公共案内サインの維持管 理及びまちづくりの進展に応じ		共サイン	基	13	13	13	13		
た地図の更新を図る。立川ター ミナルの交通結節機能の推進	11 (iz-	都観光案内標識 -ク)	基	11	11	11	11		
に向けて、関係者間で協議を進	ウリンク	ァーミナルサイン ゛は除く)	(ナンバ 箇所	30	40	40	40		
め、計画に基づくサイン整備を 行う。	<b>⑥活動</b>		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア管理	 数	基	<u> </u>	<b>一大</b> 傾	<b>大阪</b> 64	<b>大型</b> 64		中四
目的地である公共施設等への	1	-	箇所			- 1	- 1	- 1	
案内として、公共サインを適正 に維持管理することにより、市民	ウ								
及び来街者の移動の円滑化とともに回遊性の向上を図る。	ラ ⑦成果	 指標	単位	H31年度	R2年度 安结	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)	アIR立		3) 人	<b>実績</b> 166,636	<b>実績</b> 122,033	<b>実績</b> 130,820	<u>実績</u> 144,457	計画	計画
公共サインの充実等により、公	/ 多摩	都市モノレール」		44,151	30,526	34,051	40,305		
共交通の利用が促進される。	_     多摩	降人員(日) 都市モノレール <u>、</u>		32,366		25,476	29,866		
		<u>降人員(日)</u>		H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(乙)尹:	業のコスト	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)		国庫支 財 都支			2,000	600	0	0	0
・南北デッキ案内板の管理・盤面更新		財制都支			4,230	0	0	0	0
・立川ターミナルサインの盤面 (地図) 更新、路面標示シートの	事	内   <sup></sup>			Ů	0		_	
張替等	業	一般				1,617	2,468		0
<ul><li>・立川市交通結節推進協議会の運営</li></ul>	費	事業費計			14,757	2,217	2,468		0
・立川駅周辺案内マップの更		予算現額	(B) 千円	118,171	17,769	2,762	3,938		_
新•増刷		執行率(A)		75.4%	83.0%	80.3%	62.7%		_
	2	職員数(正規   月	-					0.40 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人	正規職員会計年度任用			5,850 0	4,950	3,600	3,600	0
	費	人件費計			5,850	4,950	3,600	Ü	0
	3	総事業費(A)-			20,607	7,167	6,068		0
2 評価の部		# 0:E:= -	- 1. 1 .				( <b>-</b> \ <del>- \</del> - \ <del>-  </del> - \	k \	
(1)全体総括(①事業の成果・②					きや見直しを図 ─────		(2)事業	美の方針 	7 L
※課題の有無 ア:目的妥当性				エ:公平性				削減 維	
(事業の成果)立川ターミナル整備 や来街者が乗り換え等スムーズに	こ公共交通	<b>通を利用できる</b> 。	<b></b> ようになった。				向	133,34 412	77 1700
(改革・改善)施設の増加の伴い、	立川駅タ 供る新設	ーミナルサイン 磨耗に トス張ル	(案内板)の類 ) 妹えを行る	監面更新を た また ☆	実施した。	路面標示 デッキ総合	成維		
で、近年・改善)施設の増加に伴う新設、摩耗による張り替えを行った。また、立川駅北口デッキ総合 案内板のLEDの交換と吊り下げ看板のパチン錠の破損についても修繕を行った。									
(課題・反省点)立川駅ターミナルの協定について見えてきた課題					のあり万弋	予事業者と	低下		
					(廃止・何	休止の場合に	は記入不要)		
(3)今後の事業の方向性(改革			·/#: ) 1 - <del> </del>	- 1. Jo A	// =>4 ^ -	La El fate V	** II ? "	-lv. 1- > 1-t>	A = VIII W
立川ターミナル周辺の案内サイン方針などについて、検討をしてい									
	•								

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	5 :	年度 事務	<u>事業</u>	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令和	<u> </u>	<u> 3 月作成</u>
事務事業名 総合都市交通戦略	- 5関連3	<b>手務</b>	_	_	所属部	まちづくり	部	課長名	大和田 智	智也
政策名 都市基盤・産業					所属課	交通対策	課	係名	交通企画	係
施策名総合的な交通環境	の構築	<u>.</u>			予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 1	事業 番号 11
基本事業名 総合都市交通戦略	の展開		(複数	地形態 (選択可)	L	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携·協働
事業期間 単年度繰返	- r	根拠	都市・地域							
平成25 年度~ 市長公約 <b>主要施策</b>	年度	法令		<b>全都市</b>	<u>「</u> 交通戦略	協議会設置	置安綱			
1 現状把握の部(1)事務事業	きの概要	<u>€•目的</u>		果						
①事業概要 交通マスタープランに示す将来	⑤対:	象数の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
像の実現に向け、まちづくりと一			圏(立川市と周辺7	人	1.044,299	1,047,976	1.048,931	1,052,021		
体となった交通施策の整理とあ わせ、交通戦略の見直し及び進	イ イ	)の市民				.,				
捗・評価指標のモニタリングを行	ウ			$\vdash$					<del>                                     </del>	1
い、戦略的なまちづくりを推進する。		31 Ha 13			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	0	動指標		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	<b>  ゲ</b>   ニタ	タリング	捗・評価指標のモ	回	1	0	1	1	1	
総合都市交通戦略の推進により 効率的・効果的な都市の形成に	イ歳	川市総合 会の開作	合都市交通戦略協 催	口	1	0	1	1	1	Ī
つなげる。	ウ	<u> </u>	jda							
	⑦成:	果指標		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)	マ市	内の道路	路の整備状況に満	%	<b>実績</b> 61	<b>実績</b> 64	<b>実績</b> 66	<b>実績</b> 64	計画	計画
関係機関との役割分担及び連	/ 居住	住地域の	る市民の割合 の公共交通機関の利	%	75			79	<del>                                     </del>	1
携により、まちづくりと一体的で	1 便性		と思う市民の割合	70	( 0	04	81	19	<b>  </b>	<del> </del>
戦略的かつ効率的な交通施策 の取り組みが展開される。	ウ			lacksquare						
	(2)事	事業の	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0		0	0	0	
総合都市交通戦略協議会を開		財源		千円	0	0	0	0	0	0
催し、評価指標のモニタリングを 実施した。	1	源 	地力限	千円	0	, ,	0	0	0	
また、平成31~令和3年度に実施した都市再生整備計画事業	事業	事 訳		千円	0		_			
について、事後評価を実施し	*  *  #  #  #  #  #  #  #  #  #  #  #  #  #		一般財源 事業費計(A)	千円	81	1,004 1,004	81 81	63 63	82 82	0
た。			争未負計(A) 予算現額(B)	千円	81 96	1,809	93	95	— O4 —	_
			執行率(A)/(B)	%	84.4%	55.5%	87.1%	66.3%	_	_
	2	中中三	員数(正規   月給   時給)	人					0.25 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人			千円	4,050	3,150	2,700	2,250	2,250	
		#	十年度任用職員等		0		0	0	0	_
		•	人件費計(C)	千円	4,050		2,700	2,250	2,250	
2 評価の部		3)総争	基業費(A)+(C)	千円	4,131	4,154	2,781	2,313	2,332	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革•	改善•	③課題・反省点)		改善	善や見直しを図	<b>引った</b>	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性 [	1	:有効性	生 ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果)立川市交通マスター	ープラン	に示す	将来像の実現に	向け、	まちづくりと	と一体的で	効果的か		削減 維	持 増加
つ効率的な施策の展開に向けた 総合都市交通戦略協議会の運営								''     上		
度に実施した立川駅前サイン整備 合都市交通戦略協議会にて実施	備工事に									
百部川父世牧町 励哦云にて スルビ	10/0							低		
								<b>下</b> (廃止・f	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	- 改善:	案等)								7,50
引き続き、評価指標のモニタリンク										

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u> :	5 年度	<u> 事務</u>	<u>事業</u>	マネシ	<u> ジメン</u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	和 5 年 (	6 月作成
事務事業名立川駅ホームドア	整備促進	事業			所属部	まちづくり	部	課長名	大和田	智也
政策名 都市基盤・産業					所属課	交通対策	課	係名	交通企画	係
施策名総合的な交通環境	の構築				予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 1	事業 番号 14
基本事業名 総合都市交通戦略	の展開			<b>も形態</b>	全部	部委託	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携∙協働
事業期間 令和3 年度~ 令和4	左由	根拠	⊢—							
市長公約 主要施策	平尺	法令等	-							
1 現状把握の部(1)事務事業	きの概要・	目的・結り	果∙活動∙成	果		•				
①事業概要 JR立川駅の南武線ホームに	⑤対象	数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
ホームドアを設置するため、事	アホー	ム列総数		列				8		
業費を鉄道事業者と都・市で負担をする。補助対象額を機械工	1									
事経費のみとし、市が実質1/6 を負担する。	ウ									<u> </u>
CAL / 00	<b>⑥活動</b>	 指煙		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<b>②日的</b>			Hr.		実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか) 高齢や障がい者等の鉄道駅の		ムドア設置数	¢.	列				2		-
利用における、利便性及び安全	1								<u> </u>	
性の向上の促進	ウ				1101左连	DO左座	DO左座	D4左座	DE左曲	R6年度
	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	アホー	ムドア設置数	汝	列				2		
高齢者や障がい者等の鉄道利 用における利便性及び安全性	1									
が向上する。	ウ									
	(2)車	業のコスト		34 /T	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(4)争;			単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
<ul><li>④令和4年度実績(事業活動)</li><li>令和5年1月末に7番線、2月上</li></ul>			庫支出金	千円				, and the second	0	_
旬に8番線のホームドアの稼働		源	都支出金 地方債	千円		Ů	_	38,666	0	
が開始された。 3月に東京都の検査が終了し、	事	┃ 内	その他	千円						
立川駅南武線ホームドアを設置	業		一般財源	千円						
事業は完了となった。	費	事業	費計(A)	千円	0	0	0	77,332	0	0
			現額(B)	千円	0	0	0	,		_
			区(A)/(B)	人	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	97.5%		
	<b>②</b> 人		規   月給   時給) 職員分	十円	0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	1,800	0.00 0.00 0.00	
	件		任用職員等		0		0	0	0	
	費		費計(C)	千円		0	0	1,800	0	0
0.57/7.0 \$5	3	総事業費	(A)+(C)	千円	0	0	0	79,132	0	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	がまるの	7善・③浬!	題• 反省占)		— 改章	善や見直しを図	₹30t-	(2)事当	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性			_		ー エ: 公平性		の他			スト
(事業の成果)高齢者や障がい者								٦	削減組	持 増加
								向		
								成 維 井		
								未   持   低		
								(	休止の場合に	け記えて画)
 (3)今後の事業の方向性(改革	∊改善室	等)						()発止•	小正の郷口人	4川八个安)
令和4年度に立川駅南武線ホー			置を完了し、	立川	駅南武線	ホームへの	設置事業は	は終了。令	和5~6年	度は西国
立駅にホームドアを設置予定。										

下の表   大和田 智也   日本   日本   大和田 智也   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日
施策名 総合的な交通環境の構築 実施形態 全部委託 一・部委託 レ補助・助成 連携・協働 事業期間 単年度のみ 4年度 市長公約 主要施策 現状把握の部 (1)事務事業の概要・目的・結果・活動・成果 (5)対象数の推移 単位 H31年度 R2年度 R3年度 R5年度 R6年度 を接合を交付する。
本事業名   総合都市交通戦略の展開   実施形態   全部委託
事業期間     単年度のみ 4年度~年度     根拠 法令等       現状把握の部 (1)事務事業の概要・目的・結果・活動・成果       事業概要 河油価格や物価高騰により著し、影響を受けている公共交通事業活動の継続を支援するため交通事業活動の継続を支援するため交通事業者緊急支援金を交付する。     単位 H31年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R6年度 R6年度 R6年度 R6年度 R6年度 R6年度 R6
事業期間     単年度のみ 4年度~     根拠 法令等     立川市交通事業者緊急支援金交付要綱 法令等       現状把握の部 (1)事務事業の概要・目的・結果・活動・成果       事業概要 原油価格や物価高騰により著し、影響を受けている公共交通事業者区数と支援するため交通事業者緊急支援金を交付する。     当位 日本ののでは、多数の推移     単位 日本ののでは、多数の推移     日本ののでは、日本
1年度   15   12   15   12   15   12   15   12   15   15
現状把握の部 (1)事務事業の概要・目的・結果・活動・成果 ①事業概要 『油価格や物価高騰により著し 、影響を受けている公共交通事 著者に対し、事業活動の継続を 支援するため交通事業者緊急 支援金を交付する。 ②目的(対象をどのような状態にしたいのか) ②通事業活動の継続を支援することにより、地域公共交通の維持確保を図り、市民の日常生活 ・プタクシー事業者への交付額 ・ アバス事業者への交付額 ・ ドロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
①事業概要 京油価格や物価高騰により著し 小影響を受けている公共交通事 養者に対し、事業活動の継続を 支援金を交付する。  「ククシー事業者(法人格有)」社  「ククシー事業者(法人格無)」者  「ククシー事業者(法人格無)」者  「お動指標 単位 H31年度 実績 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 実績 R4年度 R6年度 R6年度 R6年度 R6年度 R6年度 「カタクシー事業者(法人格無)」者  「お動指標 単位 H31年度 R2年度 R3年度 R3年度 R4年度 R6年度 実績 R4年度 R6年度 「大ス事業者への交付額 F円 R2年度 R3年度 R3年度 R3年度 R4年度 R6年度 「表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表
Time
業者に対し、事業活動の継続を 支援するため交通事業者緊急 支援金を交付する。
でと接金を交付する。     ウタクシー事業者(法人格無)     者     15     12       (6)活動指標     単位     H31年度 実績 実績 実績 実績 実績 実績 実績 実績 といのか)     R3年度 実績 実績 実績 計画     R5年度 計画       で通事業活動の継続を支援することにより、地域公共交通の維持確保を図り、市民の日常生活     イタクシー事業者への交付額 千円 6,910 7,792     イタクシー事業者への交付額 千円 6,910 7,792
(6)活動指標 単位 H31年度 <sub>実績</sub> R2年度 <sub>実績</sub> R4年度 <sub>実績</sub> R5年度 計画 R6年度 で 目的(対象をどのような状態にしたいのか) を通事業活動の継続を支援することにより、地域公共交通の維持確保を図り、市民の日常生活 アバス事業者への交付額 千円 6,910 7,792 7,7
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1
を通事業活動の継続を支援す 5ことにより、地域公共交通の維 持確保を図り、市民の日常生活
5ことにより、地域公共交通の維 <b>ウ</b> ・
寺確保を図り、市民の日常生活   ウ
こおける移動手段の確保に寄
子 9 〇。     プルス・16 (ネット)     子 四 実績     実績     実績     実績     計画       計画     計画     113     97
D移動手段の減少を最小限に     1   1   2   2   2   2   2   2   2
食い止めることができる。
(2)事業のコスト 単位 単位 単位 単位 単位   H31年度   R2年度   R3年度   R4年度   R5年度   R6年度   計画
① <b>令和4年度実績(事業活動)</b> 国庫支出金 千円 0 15,210 0 17,492 0 0
Red バス事業者及びタクシー事     財     都支出金     千円     0     0     0     0     0     0
Katic 対し緊急支援金を交付 けるため、タクシー事業者団体     ① 源 内     地方債 中     千円 り     0     0     0     0     0     0
等と連携しながら対象者への周 事 訳 その他 千円 0 0 0 0 0 0 0
+該当者全員から申請書の提 <b>費</b> 東来書: (A) エロ 0 15 212 0 17 502 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
本業費計(A)   千円   0   15,212   0   17,502   0   0   0   15,512   0   17,512   0
対行率(A)/(B)     96     92.1%     99.9%     -     -
職員数(正規   月給   時給) 人   0.00   0.00   0.01   0.00
人 正規職員分 千円 0 1,350 0 1,350 0 0
件 会計年度任用職員等 千円 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
人件貸計(U)  十円 U 1,350 U 1,350 U 0
③総事業費(A)+(C)  千円 <mark> 0 16,562 0 18,852 0 0</mark> 2 評価の部
1)全体総括(①事業の成果・②改革・改善・③課題・反省点) 一改善や見直しを図った (2)事業の方針
《課題の有無 ア:目的妥当性 イ:有効性 ウ:効率性 エ:公平性 オ:その他 コスト
事業の成果)乗合バス事業者及びタクシー事業者に対し緊急支援金を交付した結果、業務の継続の
事業の成果)乗合バス事業者及びタクシー事業者に対し緊急支援金を交付した結果、業務の継続の
事業の成果)乗合バス事業者及びタクシー事業者に対し緊急支援金を交付した結果、業務の継続の
事業の成果)乗合バス事業者及びタクシー事業者に対し緊急支援金を交付した結果、業務の継続の 一助となった。
事業の成果) 乗合バス事業者及びタクシー事業者に対し緊急支援金を交付した結果、業務の継続の 一助となった。
事業の成果)乗合バス事業者及びタクシー事業者に対し緊急支援金を交付した結果、業務の継続の 一助となった。
事業の成果) 乗合バス事業者及びタクシー事業者に対し緊急支援金を交付した結果、業務の継続の一助となった。  「問題」 維持 増加   「

令和 4	年度事後評価	令和	和与	5 左	F度 事	務事	業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令:	和5年(	6 月作成
	駐車場管理運営(タ						-		まちづくり		課長名		智也
政策名	都市基盤•産業							所属課	交通対策	課	係名	交通企画	 係
施策名	総合的な交通環境	ぎの様	<b></b> 蜂築					予算科目	会計 5	款 2	項 1	目 1	事業 1番号
基本事業名	総合都市交通戦略	の展	開			実施开		全音	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携・協働
市业品	単年度繰返			T= TPu	立川	市駐車		 例					•
事業期間	1 0 4	年度		根拠 ま令等									
市長公約		0				# <del>     </del>							
1 現状把握	の部 (1)事務事業												2055
立川駅周辺は	こおける違法駐車	(5)	対象	数のす	<b>崔移</b>	月	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	とめ、自動車利用 ペースを提供する。	ア	市内图	登録自	動車		台	53,707	53,140	52,877	52,239		
日(二州工士)、	YEIRIN YOU	1											
		ウ											
			活動	比捶		ä	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
							받	実績	実績	実績	実績	計画	計画
	どのような状態にしたいのか)				収容台数		台	362	347	347	347	347	
	を管理運営すること 「を抑制させる。		市営駅 台数	汪車場	自動二輪車	[収容]	台	17	17	17	17	17	
く、注1万四上十	・、C 14h1h1 C. G. へ 0	ゥ											
		7	成果	指標		単	单位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのよ	うな結果に結び付けるか)	ア	市営駅	計車場			台	<del> </del>			<del>天</del> 模 172,947		前凹
_	戦略的に持続可能				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		_						
な交通環境が		-			% 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於	-11 H		3.1	2.7	2.5	3.1		
			台数	J⊥⊾ <del>'   </del>	7 □ ⊅/ → דוווי ו	-/[·0]/ 14	台	7,976		7,722	8,281		
		(2	:)事業	<b>美の</b> ⊐	スト	単	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
	度実績(事業活動)				国庫支出		千円	0	0	0	0	0	0
	を順調に営業でき 理者と調整を行っ			財源	都支出		千円	0	0	0	0	0	
た。			1	内	地方信		千円	0		Ŭ	0	Ů	
	:3か所(北口第一、 5六駐車場)にて、		事業	訳	その作		千円	8,804	4,675		99		
自動車、自動	カニ輪車の時間貸		費	7	一般財		f円	0 004	4 675	0 000	0		Ů
し及び定期契る。	2約を供用してい				事業費計(A 予算現額(B		f円 f円	8,804 9,194	4,675 5,119	2,866 4,515	99 614		0
•令和4年8月	] にカーシェアリン				) 异戏做(b (行率(A)/(l		гл %	95.8%	91.3%	63.5%	16.1%		_
グ車両を北口 第六に2台配	1第一に3台、緑川				数(正規   月給			0.45 0.00 0.00				0.30 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
カハ(こ2口目)	IV⊞ o		② 人		正規職員分		f円	4,050	4,050	4,050	2,700	2,700	0
			件	会計	年度任用墹	貴等 ヿ	千円	0	0	0	0	0	0
			費	)	人件費計(C	C) 7	千円	4,050	4,050	4,050	2,700	2,700	0
			3	総事	業費(A)+	(C) A	千円	12,854	8,725	6,916	2,799	3,314	0
2 評価の部			<del>+</del> ¬Ь	¥ (*		少上\		77. *	: L = + . + .	m 4	(0) 市場	美の方針	
(1)主体総括※課題の有無	舌①事業の成果・②	_					Щ.		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(乙)争》		スト
(課題がある場合に	*, ア:目的妥当性   )市営駐車場におい					_		エ:公平性		たの他 【			持 増加
	プロログログログロックス 1 日本年 3 日本年 3 日本年 3 日本年 3 日本年 3 日本 3 日本 4 日本 4 日本 5 日本 5 日本 5 日本 5 日本 5 日本 5										向	133.050 412	33 1100
	爰和と違法駐車の減 車場エレベーター改												
	事場エレハーター以 『整し、令和4年度は										`│ 果 持		
することができ	きた。 サービス向上のため	17 J	h. 3	( P	ひ着 1 ナ.間	441 £					低下		
	り一とろ同正のため ま)今後の緑川幹線む							に向けた周	周知等が課	題である。		<u> </u>	 は記入不要)
(3)今後の事	事業の方向性(改革	改	善案	等)							•		
	で管理者による効率的 第一駐車場の計画的												

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u> :	5 年度	事務事	美	マネシ	<u> </u>	<u>トシー</u>	<u>ト</u> 令和	10 5 年 6	<u> 3 月作成</u>
事務事業名 駐車場管理運営(網	维持管理	)			所属部	まちづくり	部	課長名	大和田 智	智也
政策名 都市基盤・産業					所属課	交通対策	課	係名	交通企画	
施策名総合的な交通環境					予算科目	会計 5	款 2	項 1	目 1	事業 番号 1
基本事業名 総合都市交通戦略	の展開		実施別(複数選	寒択可)		<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携∙協働
事業期間 単年度繰返	ter ette	根拠	立川市駐車	場条	:例					
年度~	年度	法令等								
1 現状把握の部(1)事務事業		目的・結果	<u>L</u> ₹·活動·成果	₽						
①事業概要		数の推移			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市営駐車場を適正に維持管理する。	ア市営	駐車場数	É	<b>新</b> 所	3	3	3	3		
	7	QLa 1 200 35 -		,,,,						
	1									
	ウ				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活動	指標	耳	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア修繕	•工事件数		件	0	0	3	2		
施設及び機器類の機能を維持	イ修繕	・工事費	=	千円	0	0	30,204	733		
し、利用しやすい駐車場環境を 確保する。	ウ									
	⑦成果	 指標	Ë	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)		駐車場利用		台	<u>実績</u> 175,182	<b>実績</b> 159,574	<b>実績</b> 149,544	<b>実績</b> 172,947	計画	計画
総合的かつ戦略的に持続可能						,	,			
な交通環境が確保される。		駐車場修正 駐車場自動	一松古红田	-	3.1	2.7	2.5	3.1		
	ウ台数		—→平m <del>→ →</del> /1 · 1 / 1 / 1 / 1	台	7,976	6,257	7,722	8,281		
	(2)事訓	業のコスト	Ė	単位	H31年度 実績	R2年度	R3年度	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
					夫祺	実績	実績	大限	可凹	
④令和4年度実績(事業活動)			庫支出金	千円	<del>美</del> 棋	<b>夫</b> 根 ()	<b>夫</b> 根 ()	<del>大</del> 模 ()	0	
・指定管理者制度により市営駐		財富	第支出金 7	千円 千円						0
_	1	財源内	都支出金 न 地方債 न	千円	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
・指定管理者制度により市営駐 車場の維持管理を行った。	事	財源内訳	郡支出金 न 地方債 न その他 न	千円 千円 千円	0 0 0 66,369	0 0 0 41,206	0 0 0 61,098	0 0 0 25,119	0 0 0 28,000	0 0 0
・指定管理者制度により市営駐車場の維持管理を行った。 ・北口第一駐車場の各所工事と		財源内訳	那支出金 = 1 地方債 = 1 その他 = 1 -般財源 = 1	千円 千円 千円	0 0 0 66,369	0 0 0 41,206 0	0 0 0 61,098	0 0 0 25,119	0 0 0 28,000 0	0 0 0 0
・指定管理者制度により市営駐車場の維持管理を行った。 ・北口第一駐車場の各所工事と	事業	財源内訳事業費	那支出金 = 1 地方債 = 1 その他 = 1 一般財源 = 1 費計(A) = 1	千円 千円 千円 千円	0 0 0 66,369 0 66,369	0 0 0 41,206 0 41,206	0 0 0 61,098 0 61,098	0 0 0 25,119 0 25,119	0 0 0 28,000	0 0 0 0
・指定管理者制度により市営駐車場の維持管理を行った。 ・北口第一駐車場の各所工事と	事業	財源内訳事業費予算理	那支出金 = 1 地方債 = 1 その他 = 1 一般財源 = 1 貴計(A) = 1 現額(B) = 1	千円 千円 千円	0 0 0 66,369 0 66,369 69,697	0 0 0 41,206 0 41,206 42,873	0 0 0 61,098 0 61,098 64,000	0 0 0 25,119 0 25,119 32,000	0 0 0 28,000 0	0 0 0 0
・指定管理者制度により市営駐車場の維持管理を行った。 ・北口第一駐車場の各所工事と	事業費	財源内訳事業費予算率執行率	那支出金 = 1 地方債 = 1 その他 = 1 一般財源 = 1 費計(A) = 1 現額(B) = 1	千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 66,369 0 66,369 69,697 95.2%	0 0 0 41,206 0 41,206	0 0 0 61,098 0 61,098 64,000 95.5%	0 0 0 25,119 0 25,119 32,000 78.5%	0 0 0 28,000 0	0 0 0 0 0 0
・指定管理者制度により市営駐車場の維持管理を行った。 ・北口第一駐車場の各所工事と	事業	財源内訳 事業費 予算现 執行率 職員数(正)	那支出金 = 1 地方債 = 1 その他 = 1 一般財源 = 1 費計(A) = 1 見額(B) = 1 基(A)/(B) = 1	千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 66,369 0 66,369 69,697 95.2%	0 0 0 41,206 0 41,206 42,873 96.1%	0 0 0 61,098 0 61,098 64,000 95.5%	0 0 0 25,119 0 25,119 32,000 78.5%	0 0 0 28,000 0 28,000 —	0 0 0 0 0 0
・指定管理者制度により市営駐車場の維持管理を行った。 ・北口第一駐車場の各所工事と	事業費    ②人件	財源内訳 事業費 予算率 執行率 職員数(正規)	那支出金 = 1 地方債 = 1 その他 = 1 一般財源 = 1 費計(A) = 1 見額(B) = 1 基(A)/(B) = 1	千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 66,369 0 66,369 69,697 95.2%	0 0 41,206 0 41,206 42,873 96.1% 0.30 0.00 0.00	0 0 0 61,098 0 61,098 64,000 95.5% 0.35 0.00 0.00	0 0 25,119 0 25,119 32,000 78.5%	0 0 0 28,000 0 28,000 — 0.40 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 
・指定管理者制度により市営駐車場の維持管理を行った。 ・北口第一駐車場の各所工事と	事業費   ②人件費	財源内訳 事業 野 執行率 職員数 正規 会計年度 人件費	那支出金 = 1 地方債 = 1 その他 = 1 日	千円         千円         千円         千円         千円         千円         千円         千円         千円	0 0 0 66,369 0 66,369 69,697 95.2% 0.20 0.00 0.00 1,800	0 0 0 41,206 0 41,206 42,873 96.1% 0.30 0.00 0.00 2,700 0	0 0 0 61,098 0 61,098 64,000 95.5% 0.35 0.00 0.00 3,150 0	0 0 0 25,119 0 25,119 32,000 78.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 0	0 0 28,000 0 28,000 — 0.40 0.00 0.00 3,600	0 0 0 0 0 0 0 
・指定管理者制度により市営駐車場の維持管理を行った。 ・北口第一駐車場の各所工事として路面修繕を実施した。	事業費   ②人件費	財源内訳 事業費 教行率 職員数征 正規明会計年度付	那支出金 = 1 地方債 = 1 その他 = 1 日	千円         千円         千円         千円         千円         人口         千円	0 0 0 66,369 0 66,369 69,697 95.2% 0.20 0.00 0.00 1,800	0 0 41,206 0 41,206 42,873 96.1% 0.30 0.00 0.00 2,700 0	0 0 0 61,098 0 61,098 64,000 95.5% 0.35 0.00 0.00 3,150	0 0 25,119 0 25,119 32,000 78.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 0	0 0 28,000 0 28,000 — 0.40 0.00 0.00 3,600	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・指定管理者制度により市営駐車場の維持管理を行った。 ・北口第一駐車場の各所工事として路面修繕を実施した。	事業費 ②人件費 ③	財源内訳 事業 等	那支出金	千円         千円         千円         千円         千円         千円         千円         千円         千円	0 0 0 66,369 0 66,369 69,697 95.2% 0.20 0.00 0.00 1,800 0 1,800 68,169	0 0 0 41,206 0 41,206 42,873 96.1% 0.30 0.00 0.00 2,700 0	0 0 0 61,098 64,000 95.5% 0.35 0.00 0.00 3,150 04,248	0 0 0 25,119 0 25,119 32,000 78.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 28,719	0 0 28,000 0 28,000 — 0.40 0.00 0.00 3,600	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・指定管理者制度により市営駐車場の維持管理を行った。 ・北口第一駐車場の各所工事として路面修繕を実施した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無	事業費 ②人件費 ③ 改革・改	財源内訳 事業費 教行率 職員 正規則 会計年度付 人業費 (本事) 課題	那支出金	千円 千円 千円 千円 % 人 千円 千円 千円	0 0 0 66,369 0 66,369 69,697 95.2% 0.00 0.00 1,800 68,169	0 0 0 41,206 0 41,206 42,873 96.1% 0.30 0.00 0.00 2,700 0 43,906	0 0 0 61,098 0 61,098 64,000 95.5% 0.35 0.00 0.00 3,150 64,248	0 0 0 25,119 0 25,119 32,000 78.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 28,719	0 0 28,000 0 28,000  0.40 0.00 0.00 3,600 31,600	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・指定管理者制度により市営駐車場の維持管理を行った。 ・北口第一駐車場の各所工事として路面修繕を実施した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合に・) ア:目的妥当性 (事業の成果)	事業費 ②人件費 ③ 本・さ イ: 本	財源内訳 事等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等	那支出金	千円         千円         千円         千円         千円         %         人         千円         千円         千円         千円	0 0 0 66,369 0 66,369 69,697 95.2% 0.20 0.00 0.00 1,800 0 1,800 68,169	0 0 0 41,206 0 41,206 42,873 96.1% 0.30 0.00 0.00 2,700 0 2,700 43,906 まや見直しを図	0 0 0 61,098 64,000 95.5% 0.35 0.00 0.00 3,150 0 4,248	0 0 0 25,119 0 25,119 32,000 78.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 0 3,600 28,719	0 0 28,000 0 28,000  0.40 0.00 0.00 3,600 31,600	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・指定管理者制度により市営駐車場の維持管理を行った。 ・北口第一駐車場の各所工事として路面修繕を実施した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合によ) ア:目的妥当性 [(事業の成果) 安全で安心な利用しやすい駐車	事業費 ②人件費 ③ 本・さ イ: 本	財源内訳 事等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等	那支出金	千円         千円         千円         千円         千円         %         人         千円         千円         千円         千円	0 0 0 66,369 0 66,369 69,697 95.2% 0.20 0.00 0.00 1,800 0 1,800 68,169	0 0 0 41,206 0 41,206 42,873 96.1% 0.30 0.00 0.00 2,700 0 2,700 43,906 まや見直しを図	0 0 0 61,098 64,000 95.5% 0.35 0.00 0.00 3,150 0 4,248	0 0 0 25,119 0 25,119 32,000 78.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 28,719	0 0 28,000 0 28,000  0.40 0.00 0.00 3,600 31,600 ** の方針	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・指定管理者制度により市営駐車場の維持管理を行った。 ・北口第一駐車場の各所工事として路面修繕を実施した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合にレ) (事業の成果) 安全で安心な利用しやすい駐車書に基づく修繕を行った。(改革・改善)	事業費 ②人件費 ③ 本・: * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	財源内訳 事等 野	那支出金	千円 千円 千円 千円 千円 % 人 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 66,369 0 66,369 69,697 95.2% 0.20 0.00 0.00 1,800 68,169 レ 改善 エ:公平性	0 0 41,206 0 41,206 42,873 96.1% 0.30 0.00 0.00 2,700 0 2,700 43,906 キャ見直しを図 オ:そ	0 0 0 61,098 64,000 95.5% 0.35 0.00 0.00 3,150 0 64,248	0 0 0 25,119 0 25,119 32,000 78.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 28,719	0 0 28,000 0 28,000  0.40 0.00 0.00 3,600 31,600 ** の方針	000000000000000000000000000000000000
・指定管理者制度により市営駐車場の維持管理を行った。 ・北口第一駐車場の各所工事として路面修繕を実施した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 課題がある場合にど) (事業の成果) 安全で安心な利用しやすい駐車書に基づく修繕を行った。(改革・改善) 北口第一駐車場の各所工事とし、	事業費     ②人件費       ③     ず・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	財源内訳 事 予行 正規 会計 上年 件費 (本書・3) 課 と 一	那支出金	千円 千円 千円 千円 千円 % 人 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 66,369 0 66,369 69,697 95.2% 0.20 0.00 0.00 1,800 68,169 レ 改善 エ:公平性	0 0 41,206 0 41,206 42,873 96.1% 0.30 0.00 0.00 2,700 0 2,700 43,906 キャ見直しを図 オ:そ	0 0 0 61,098 64,000 95.5% 0.35 0.00 0.00 3,150 0 64,248	0 0 25,119 0 25,119 32,000 78.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 28,719 (2)事業 成無持	0 0 28,000 0 28,000  0.40 0.00 0.00 3,600 31,600 ** の方針	000000000000000000000000000000000000
・指定管理者制度により市営駐車場の維持管理を行った。 ・北口第一駐車場の各所工事として路面修繕を実施した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合に) (事業の成果) 安全で安心な利用しやすい駐車書に基づく修繕を行った。(改革・改善) 北口第一駐車場の各所工事としにより、北口第一駐車場の鳩フン(課題・反省点)	事業費   ②人件費   ③     改   環     面が     が   で     を行	財源内訳 事う行 は	那支出金	<ul><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>・</li><li>を行い</li><li>・</li><li>を行い</li></ul>	0 0 0 66,369 0 69,697 95.2% 0.20 0.00 0.00 1,800 0 1,800 68,169 で 改善 エ:公平性	0 0 0 41,206 0 41,206 42,873 96.1% 0.30 0.00 0.00 2,700 0 2,700 43,906 きや見直しを図 オ:そ	0 0 0 61,098 64,000 95.5% 0.35 0.00 0.00 3,150 0 64,248	0 0 0 25,119 0 25,119 32,000 78.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 28,719 (2)事業 (2)事業 成 集 持 低 下	0 0 28,000 0 28,000  0.40 0.00 0.00 3,600 31,600	000000000000000000000000000000000000
・指定管理者制度により市営駐車場の維持管理を行った。 ・北口第一駐車場の各所工事として路面修繕を実施した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性[環題がある場合にマ)(事業の成果)安全で安心な利用しやすい駐車書に基づく修繕を行った。(改革・改善)北口第一駐車場の各所工事としたより、北口第一駐車場の鳩フン(課題・反省点)案25年以上経過している北口第一般を行った。	事業費     ②人件費     ③       よれます     3       で処理     事業費	財源内訳 事 予行では 一条 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	那支出金	<ul><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>・</li><li>を行い</li><li>・</li><li>を行い</li></ul>	0 0 0 66,369 0 69,697 95.2% 0.20 0.00 0.00 1,800 0 1,800 68,169 で 改善 エ:公平性	0 0 0 41,206 0 41,206 42,873 96.1% 0.30 0.00 0.00 2,700 0 2,700 43,906 きや見直しを図 オ:そ	0 0 0 61,098 64,000 95.5% 0.35 0.00 0.00 3,150 0 64,248	0 0 0 25,119 0 25,119 32,000 78.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 28,719 (2)事業 (2)事業 成 集 持 低 下	0 0 28,000 0 28,000  0.40 0.00 0.00 3,600 31,600 ** の方針	000000000000000000000000000000000000
・指定管理者制度により市営駐車場の維持管理を行った。 ・北口第一駐車場の各所工事として路面修繕を実施した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 課題がある場合にど)(事業の成果)安全で安心な利用しやすい駐車書に基づく修繕を行った。(改革・改善)北口第一駐車場の各所工事としにより、北口第一駐車場の場フン(課題・反省点)築25年以上経過している北口第一(課題・反省点)築25年以上経過している北口第一(課題・反省点)	事業費②人件費③みで処上び事業者②人件費③みででのをが期事業でのをでをでをでをでをででで <t< td=""><td>財源内訳 事 う 行 正 表 ま ず 来 算 率 職員 正 年 件 書 (金) 本 金 本 ・ ③ ま か は に か か か か か か か か か か か か か か か か か</td><td>那支出金</td><td>千円 千円 千円 千円 千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>0 0 0 66,369 69,697 95.2% 0.20 0.00 0.00 1,800 68,169 レ 改善 エ:公平性</td><td>0 0 0 41,206 0 41,206 42,873 96.1% 0.30 0.00 0.00 2,700 0 2,700 43,906 キャ見直しを図 オ:そ</td><td>0 0 0 61,098 64,000 95.5% 0.35 0.00 0.00 3,150 0 64,248</td><td>0 0 0 25,119 0 25,119 32,000 78.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 28,719 (2)事業 (2)事業 (E) (E) (E)</td><td>0 0 28,000 0 28,000 </td><td>000000000000000000000000000000000000</td></t<>	財源内訳 事 う 行 正 表 ま ず 来 算 率 職員 正 年 件 書 (金) 本 金 本 ・ ③ ま か は に か か か か か か か か か か か か か か か か か	那支出金	千円 千円 千円 千円 千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0 0 0 66,369 69,697 95.2% 0.20 0.00 0.00 1,800 68,169 レ 改善 エ:公平性	0 0 0 41,206 0 41,206 42,873 96.1% 0.30 0.00 0.00 2,700 0 2,700 43,906 キャ見直しを図 オ:そ	0 0 0 61,098 64,000 95.5% 0.35 0.00 0.00 3,150 0 64,248	0 0 0 25,119 0 25,119 32,000 78.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 28,719 (2)事業 (2)事業 (E) (E) (E)	0 0 28,000 0 28,000 	000000000000000000000000000000000000
・指定管理者制度により市営駐車場の維持管理を行った。 ・北口第一駐車場の各所工事として路面修繕を実施した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性[環題がある場合にマ)(事業の成果)安全で安心な利用しやすい駐車書に基づく修繕を行った。(改革・改善)北口第一駐車場の各所工事としたより、北口第一駐車場の鳩フン(課題・反省点)案25年以上経過している北口第一般を行った。	事業費②人件費③みで処上で処上で処上よでが上もの修行場案ののの <td< td=""><td>財源内訳 事う行 歴報 会計 人業 課 会計 人業 課 に向ける かいまた。 かな の 等化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>那支出金</td><td>千円円円円       人       人       十円円       人       し       い       し       い       り       り       り       り       り       り</td><td>0 0 0 66,369 0 69,697 95.2% 0.20 0.00 0.00 1,800 68,169 レ 改善 エ:公平性</td><td>0 0 0 41,206 42,873 96.1% 0.30 0.00 0.00 2,700 0 2,700 43,906 キャ見直しを図 オ:そ</td><td>0 0 0 61,098 64,000 95.5% 0.35 0.00 0.00 3,150 0 3,150 64,248</td><td>0 0 0 25,119 0 25,119 32,000 78.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 28,719 (2)事業 (2)事業 成果 持低下 (廃止・何</td><td>0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</td><td>000000000000000000000000000000000000</td></td<>	財源内訳 事う行 歴報 会計 人業 課 会計 人業 課 に向ける かいまた。 かな の 等化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	那支出金	千円円円円       人       人       十円円       人       し       い       し       い       り       り       り       り       り       り	0 0 0 66,369 0 69,697 95.2% 0.20 0.00 0.00 1,800 68,169 レ 改善 エ:公平性	0 0 0 41,206 42,873 96.1% 0.30 0.00 0.00 2,700 0 2,700 43,906 キャ見直しを図 オ:そ	0 0 0 61,098 64,000 95.5% 0.35 0.00 0.00 3,150 0 3,150 64,248	0 0 0 25,119 0 25,119 32,000 78.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 28,719 (2)事業 (2)事業 成果 持低下 (廃止・何	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	000000000000000000000000000000000000

令和 4 年度事後評価	令和	] 5	5 左	F度 事務	<u>事業</u>	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令	10 5 年 6	3 月作成
事務事業名 自転車等対策						所属部	まちづくり	部	課長名 大和田		智也
政策名 都市基盤・産業						所属課	交通対策	課	係名	自転車対	策係
施策名総合的な交通環境	色の構築	築				予算科目	会計 1	款 2	項 1	目 7	事業 3
基本事業名自転車活用環境の	向上				形態 <sub>選択可)</sub>	全部	<b>『委託</b>	/ 一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 年度~	年度		根拠	自転車法(自			促進及び自	転車等の駐	車対策の総ク	合的推進に関	関する法律)
	<del>年度</del>	注	<b>卡</b> 令等	立川市自輔			条例• 立川	市自転車等	等駐車場 <b>須</b>	≦例	
1 現状把握の部(1)事務事業	•	要・	目的			777 - 77	>(C) 3		1 NII 1 337 71	CD 3	
①事業概要 駅周辺における良好な環境の	⑤対	象数	数の打	<u></u> 推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
確保を図るため放置自転車等				自転車等乗入台 民間、バイク含む)	台	5,904	5,748	6,281	7,260		
対策を行うとともに、自転車の有効活用に向けた計画づくりを行	, 自	転車	三等乗	ス 日 で で で で で で で で で で で で で で で で で り で り で り で り で り で り り で り で り	台	13,292	11,440	12,561	13,672		
う。 -	ウ	D-		HIV. 12 [18]							
	⑥活	動扌	旨標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)				撤去台数	台	2,328	1,206	1,251	1,467		
駅周辺の良好な環境の確保及 び自転車の有効活用を図る。	イ数数		原動機	付自転車撤去台	台	31	14	16	14		
	ウ										
	⑦成				単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		(基	進日)	l放置自転車等台	台	57	36	44	68		
自転車等の利用環境の維持・ 向上が図られるとともに、自転車	1   (	<b>長進</b>	日)	(置自転車等台数	台	241	135	51	70		
の活用施策の推進により新たな 価値が付加される。				車場実収容台数 間含む)	台	13,051	11,305	12,510	13,602		
	(2)	事業	きの=	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)				国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
・放置自転車抑制のため、自転			財	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
車等の案内整理、啓発活動及 び放置自転車等の撤去活動を		1)	源内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
行った。		事	訳	その他	千円	232,753	196,830	214,941	237,472	242,336	0
・公共交通機能の補完や広域		業		一般財源	千円	237,571	280,847	275,241	259,258	265,060	0
移動による回遊性向上等を検 証するため、令和4年度より官民		費	Ę	事業費計(A)	千円	470,324	477,677	490,182	496,730	507,396	0
連携によるシェアサイクル実証			-	予算現額(B)	千円	472,482	484,304	495,425	504,274	_	_
実験を開始した。			载	九行率(A)/(B)	%	99.5%	98.6%	98.9%	98.5%	_	_
・自転車施策推進協議会を2回開催し、シェアサイクル実証実		<u> </u>	職員	数(正規   月給   時給)	人	4.05 1.00 0.00	4.05 1.00 0.00	4.05 1.00 0.00	4.90 1.00 0.00	4.90 1.00 0.00	0.00 0.00 0.00
験の取組内容や自転車活用推		② 人			千円	36,450	36,450	36,450	44,100	44,100	0
進計画の中間報告に対し、委員	1	件		年度任用職員等	千円	3,500	4,200	4,200	4,200	4,200	0
から有益な意見を得た。	Ē	費		(C)	千円	39,950	40,650	40,650	48,300	48,300	0
		<u>(3)</u> £		業費(A)+(C)	千円		518,327	530,832	545,030	555,696	0
L 2 評価の部		<u> </u>	70. <del></del> .	K 92 (7 (7 ) ( 6 )		010,211	010,011	000,002	010,000	000,000	Ÿ
(1)全体総括(①事業の成果・②	2 改革	·改	善•③	]課題•反省点)		✓ 改善	きや見直しを図	引った	(2)事業	の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性	V 1	(:有	効性	レ ウ∶効率性	V	エ:公平性	✓ オ:そ	の他			スト
(事業の成果)公共交通機能の補シェアサイクル実証実験を開始す									向	削減 維	持増加
つながった。											
(改革・改善)自転車活用推進計画 (課題・反省点)立川駅南口のタワ	/一式自	転	車駐	車場の設備をはし	こめ、た	施設の老枠	5化による(	参繕費の増			
大が課題となっている。今後は、検討する必要がある。	市営駐	輪場	易の利	川用状況を注視し	ながら	5、自転車	駐車場施設	设のあり方を			

## (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等)

- ・自転車活用推進計画に基づく施策であるシェアサイクル事業を推進する。
- ・玉川上水駅を始めとした無料駐輪場と有料駐輪場の利用料金の格差を早期に是正するため、中長期的な駐輪場の整備方針等について庁内協議を進める。

(廃止・休止の場合は記入不要)

・立川警察署や地域関係団体等と連携し、放置自転車等の抑制を目的としたクリーンキャンペーンや夜間パトロールを引き続き実施する。

令和 4 年度事後評価	令和	5 年度	<b>基務</b>	事業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令和	10 5 年 6	3 月作成
事務事業名自転車走行環境團	<b>Ě</b> 備				所属部	まちづくり	部	課長名	大和田 智	雪也
政策名 都市基盤・産業					所属課	交通対策	課	係名	自転車対	策係
施策名総合的な交通環境	色の構築				予算科目	会計 1	款 2	項 1	目 7	事業 7番号 7
基本事業名自転車活用環境の	向上			地形態 (選択可)	全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返		根拠	自転車活力	刊推進						
平成29 年度~	年度 <b>O</b>	法令等	直転車法(自		安全利用の	促進及び自	転車等の駐	車対策の総合	合的推進に関	関する法律)
1 現状把握の部(1)事務事業	_	·目的·結身								
①事業概要 歩行者、自転車、自動車がとも	<b>⑤</b> 対象	数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
に安全で安心して通行できる自			車等乗入台	台	5,904	5,748	6,281	7,260		
転車走行環境の整備を行う。	数(z   <b>イ</b>	<b>基準日・民間</b>	、ハイク宮				,			
	ウ									
				<b></b>	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活動		/二四/空形/出	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ゲ   延長	Ŀ	行環境整備	m	3,200	3,350	2,540	1,750	1,400	
歩行者、自転車、自動車がとも に安全で安心して通行できる交		(車走行環境 延長)	整備处長	m	15,490	18,840	21,380	23,130	24,530	
通環境の向上が図られる。	ウ									
	⑦成果	見指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		玉車事故の全  合(各年1~		%	37.8	39.8	46.9	53.4	шш	пш
自転車走行環境の確保により、	イ イ	<u>行(谷平1∼</u>	14月)							
歩行者・自転車の安全性の向 上が図られる。	ウ									
工2/12/24/0/20										
	(2)事	業のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			]庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
自転車走行環境整備として、市 道1級5号線(すずらん通り)、1		財 非	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
級18号線(昭和記念公園通り)、	1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
東123号線の3路線、約1.75km について、自転車ナビマーク・	事業		その他 一般財源	千円	3,993	6,514	2,205	4,575	-	0
ナビラインを設置した。	費			千円	3,993	6,514	2,205	4,575	·	0
			現額(B)	千円	14,571	9,914	3,980	6,874	_	
		執行率	∝(A)/(B)	%	27.4%	65.7%	55.4%	66.6%	_	_
	2		規 月給 時給)			0.30 0.00 0.00				
			職員分 任用職員等	千円	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	0
	費		世 <u>州嶼貝寺</u> 費計(C)	千円	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	0
	(3	総事業費		千円	6,693	9,214	4,905	7,275	12,284	0
2 評価の部						,				
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 ファロ ロッツ ロール・ファーロ ロッツ コール・ファーロ ロッツ コール・ロール コール コール・ロール コール・ロール コール・ロール コール・ロール コール コール コール コール コール コール コール コール コール コ			_			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(2)事業		7 1
(課題がある場合にと) ノ・ロロリダニ は	イ:								判減 維	
	751 77		ィーク・アビ	ノイン	を 登	日転単は	<b>平</b> 坦左側	向	111/1/20 4-12	
(事業の成果)市内の3路線、約1. 走行」という交通ルールをさらに属	ヨ知した。									-
走行」という交通ルールをさらに原(改革・改善)道路課所管の昭和記	問知した。 記念公園	通り(1級18	3号線)の路					上 成 維		
走行」という交通ルールをさらに原 (改革・改善)道路課所管の昭和記 を設置することにより、経費の削減 分寺市と協議し、両市が同時期に	目知した。 記念公園 或につなた こ連続す	通り(1級18 がった。 国夕 るように整備	3号線)の路i 分寺市域と連 請し、自転車	三続す 走行5	る市道東12 環境の連続	23号線には 性が向上	さいて、国	成維果持		
走行」という交通ルールをさらに原 (改革・改善)道路課所管の昭和記 を設置することにより、経費の削減	周知した。 記念公園 咸につな こ連続す 迷続的に	通り(1級18 がった。 国タ るように整備 整備している	3号線)の路 分寺市域と連 前し、自転車 るが、経年に	重続す 走行野 よる劣	る市道東12 環境の連続 3化が表れ	23号線にお 性が向上し 始めている	さいて、国	成維果持		
走行」という交通ルールをさらに原 (改革・改善)道路課所管の昭和記 を設置することにより、経費の削減 分寺市と協議し、両市が同時期に (課題・反省点)平成29年度から総 は庁内で最終的な目標延長を踏	周知した。 記念公園 或につな: こ連続す 迷続的に 話えた維	通り(1級18 がった。 国 タ るように整備 整備している :持管理のあ	3号線)の路 分寺市域と連 前し、自転車 るが、経年に	重続す 走行野 よる劣	る市道東12 環境の連続 3化が表れ	23号線にお 性が向上し 始めている	さいて、国	成 果 長 低 下		は記入不要)
走行」という交通ルールをさらに原 (改革・改善)道路課所管の昭和記 を設置することにより、経費の削減 分寺市と協議し、両市が同時期に (課題・反省点)平成29年度から総 は庁内で最終的な目標延長を踏 (3)今後の事業の方向性(改革	問知した。 記念公園 域につなた こ連続す 迷続的に まえた維 ・改善	通り(1級18 がった。国タ るように整備 整備している 持管理のあ	3号線)の路は 分寺市域と連 間し、自転車 るが、経年に かり方を検討	連続す 走行球 よる劣 する必	る市道東1: 環境の連続 分化が表れ。 公要がある。	23号線にお 性が向上1 始めている	おいて、国 した。 ため、今後	成 果 低 下 (廃止・(	木止の場合に	
走行」という交通ルールをさらに原 (改革・改善)道路課所管の昭和記 を設置することにより、経費の削減 分寺市と協議し、両市が同時期に (課題・反省点)平成29年度から総 は庁内で最終的な目標延長を踏	問知した。 記念公園 或につなた。 主連続けて 建続的に 整続まえた維 ・改善 本的なま	通り(1級18 がった。国タ るように整備 整備している 持管理のあ 等等)	3号線)の路は 分寺市域と連 前し、自転車 るが、経年に かり方を検討 備水準を踏る	<ul><li>禁行</li><li>また</li><li>まる</li><li>まえ、</li></ul>	る市道東1: 環境の連続 ないが表れが表れる。 な要がある。 等視庁や東	23号線にお 性が向上で 始めている 「京都、立」	おいて、国 した。 ため、今後   警察署等	成果は持低下の廃止・位を連携し整	木止の場合に	るととも

令和 4 年度事後評価	<u>令和:</u>	5 左	<u>F度 事務</u>	<u>事業</u>	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 5 年 6	6 月作成
事務事業名 自転車駐車場整備	Ħ				所属部	まちづくり	部	課長名	大和田 邻	智也
政策名 都市基盤・産業					所属課	交通対策	課	係名	自転車対	策係
施策名総合的な交通環境	の構築				予算科目	会計 1	款 2	項 1	目 7	事業 8番号 8
基本事業名 自転車活用環境の	向上			形態 選択可)	全部	『委託 6	/ 一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返		根拠	白転車法(白		の安全利用の	)促進及び自	転車等の駐	車対策の総ク	合的推進に関	関する法律)
年度~	年度	低拠 去令等	₹ 77.川山日暮		放置防止					
市長公約     主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業	O   "	日的			萨駐車場条	:例				
①事業概要	5対象			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
自転車等駐車場の整備を進め	1 [-11]		生19 1自転車等乗入台							NO千皮
ることにより、自転車利用の利便 性向上を図り、健康づくりと環境		準日・	民間、バイク含	台	5,904	5,748	6,281	7,260		
にやさしい自転車利用を誘導す			周辺自転車等乗 作日・民間、バイク	台	1,027	891	935	989		
る。また、自転車等駐車場の適正配置や適正利用の推進等に	ウ									
より、放置自転車等の減少を図	⑥活動:	指標		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
る。	145.10		· 等駐車場整備台		実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか) 自転車等駐車場の整備及び既	数数		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	台	758	0	337	1,820		
	1									
利用者の利便性の向上と安全	ウ									
な歩道環境の確保を図る。	⑦成果:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)			1放置自転車等台	台	<del>天根</del> 57			<del>天根</del> 68		前四
自転車利用環境の向上が図ら	*			·						
れる。	1 等台	数(基注		台	1	0	0	0		
	ウ									
	(2)事業	<b></b> (	スト	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
A 7	(=/ 1/2				実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動) ・立川駅南口第二有料自転車		財	国庫支出金	千円	0	_	0	0	_	_
等駐車場跡地にコトリンク有料		源	都支出金 地方債	千円	0	0	0	0	0	0
自転車等駐車場を開設するとともに、開設までの代替施設で		内	その他	千円			_	0	0	
あった立川駅南口第二臨時有	事業	訳	一般財源	千円				3,212	_	
料自転車駐車場及び立川駅南 口東臨時有料原動機付自転車	費	3		千円	30,192	0	76,414	3,212		
ロ 京 京 京 日 京 日 に に に に に に に に に に に に に			予算現額(B)	千円	33,603			54,164		_
・土地所有者の意向による立川駅北口第三有料自転車等駐車		载	九行率(A)/(B)	%	89.8%		93.4%	5.9%	_	_
場の廃止に伴い、令和5年3月	2	職員	数(正規   月給   時給)	人	0.40 0.00 0.00	0.40 0.00 0.00	0.40 0.00 0.00	0.40 0.00 0.00	0.40 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
議会で撤去工事費を補正予算	人		正規職員分	千円	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	0
で計上した。なお、工事実施は令和5年度となるため、全額繰	件費		年度任用職員等	千円	0	0	0	0	0	ŭ
越とした。			人件費計(C)	千円	3,600	3,600	3,600	3,600	·	
	(3)	総事	業費(A)+(C)	千円	33,792	3,600	80,014	6,812	118,968	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	のおまる	·盖 . (*	3) 理題 • 反省占)		✓ 改善	きや見直しを図	₹	(2)事業	 美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性					エ:公平性			(=/ -/ /		スト
(課題がある場合に) により (事業の成果)立川駅南口第二有									削減 維	· •
地下1階から地上2階までの3層は	こ自転車と									
有料自転車等駐車場)を開設した (改革・改善)コトリンク有料自転車		の盟語	設に伴い 9つの	化麸	施設を閉鎖	11. 計画的	かけい	成 維 持		
を再編した。	- (1 MT +- ///)	4 > DITE		140	心灰と内突	ко, прын	310周五刊的300	果持		
								低下		
								(廃止・	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	改善案	等)								
・西武立川駅北口第二有料自転	車駐車場	の開記	设に伴う駅周辺 の	需給	バランスの	変化に注	見し、歩道	上にある臨	時自転車馬	注車場の
廃止を検討する。 ・玉川上水駅周辺自転車駐車場	の有料化・	<b>へ</b> の割	果題を整理し、駅	南北の	の料金格差	色の早期是	正に努める	) <sub>o</sub>		
•立川駅北口第三有料自転車等									存駐輪場の	の効率化
を進める。										

令和 4 年度事後評価	<del>令和</del>	1 5	5 年度	事務	事業	ミマネシ	<u> ジメン</u>	<u>トシー</u>	<u> </u>	令	和 5 年	6 月作成
事務事業名 立3・4・15号線・立	3•4	•21 <del>5</del>	号線整備			所属部	まちづくり	部	課	長名	渕上 俊	之
政策名 都市基盤・産業						所属課	工事課		1	系名	工事第-	- 係
施策名 道路環境の整備						予算科目	会計 1	款 8	項	3	目 2	事業 番号
基本事業名 幹線道路の整備					施形態 (選択可)		8番託 6	一部委託		補助・	助成	連携∙協働
事業期間単年度繰返	6-a a-b-a		根拠	都市計画	去							
	年度		去令等	道路法								
1 現状把握の部(1)事務事業	)	要・	目的·結身	_ ≹·活動·成	果							
①事業概要 広域的な道路ネットワークの構	<b>(5)</b>	対象	数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4	年度	R5年度	R6年度
築のため都市計画道路立3・4・	ア	用地耳	 取得面積累	 \計	m²	0	0	825.2	3,	420.6	4,370.8	3
15号線・立3・4・21号線を整備 する。	1											
, 40	・ ウ											
		ナチレ	rk tæ		ж л	H31年度	R2年度	R3年度	R4:	年度	R5年度	R6年度
		舌動:			単位	実績	実績	実績		績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア	用地耳	取得面積		m²	0	0	825.2	2,	595.4	950.	1
用地取得を進め、道路整備を行い、立3・4・15号線・立3・4・21	1											
号線を利用する人や車両の安	ウ											
全の確保及び道路環境の改善 を図る。	<b>7</b>	<b></b>	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績		年度	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)				导面積累計	%	0.0			<del></del>	<del>作見</del> 26.2	33.	
広域的な道路ネットワークを構		· 至1	本面積(13,0	041 m))								1
築し、良好な道路環境の整備を する。	ュウ											
9 00	.)				_							
	(2)	)事第	美のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績		年度 績	R5年度 計画	│ R6年度 │ 計画
④令和4年度実績(事業活動)	Γ		国	庫支出金	千円	0	0	137,000	379	9,030	155,630	0
立3・4・15号線及び立3・4・21 号線整備については、物件調			財源	邹支出金	千円	0	0	68,500	189	9,515	77,815	5 0
査を進めるとともに引き続き用地		1	内	地方債	千円		0	_		0		0
買収等を行った。		事業		その他	千円					0		0
前年度からの繰越明許費		費		一般財源 <u>-</u> 費計(A)	千円					7,817 6,362	114,298 347,743	
45,837,477円				現朝(B)	千円	· ·		· ·		7,679	—	_
翌年度への繰越明許費					%	85.8%				99.8%	_	_
43,580,000円	Ī	2	職員数Œ	規 月給 時給)	人	0.60 0.00 0.00	0.60 0.00 0.00	1.15 0.00 0.00	1.05 0	.00 0.00	1.05 0.00 0.0	0.00 0.00 0.00
		人		職員分	千円		5,400	10,350	Ç	9,450	9,450	
		件 費		任用職員等	1		0	10.250	(	0	0.45	<u> </u>
	H	(3)±		費計(C) (A)+(C)	千円					9,450 5,812	9,450 357,193	
2 評価の部		<b>9</b> 1	心于不良	(A) 1 (O)	1111	14,000	20,300	100,130	000	7,012	001,100	
(1)全体総括(①事業の成果・②	②改革	ⅰ改	善・③課題	題•反省点)		改善	<b>島や見直しを図</b>	図った	(2	)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合によ)		イ:有	効性	ウ:効率性		エ:公平性	オ:そ	の他				スト ### Lide for
(事業の成果) 立3・4・15号線及び立3・4・21号	線の駆	整備ル	こ向け 物	佐調杏及で	11日11	胃収笑を行	テレン2 595 4	1㎡の田地		向	削減系	推持 増加 
を取得し事業の進捗につなげた。		E /m (			/ / 11 2 12	IAW 4501	1 2,000.	1111/2/1126	Ш,	上		
									]	龙 科 持		0
										低下		
											休止の場合	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	•改	善案	等)									
引き続き、地権者の移転時期を考者に対して丁寧な説明、用地買収				び用地買収	等を対	進める。立:	3・4・15号約	泉及び立3	4.2	1号線	の整備に	向け、地権
	へぜで	- 11 7	0									
•												

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u> :	<u>5 年</u> /	度 事務	<u>事業</u>	<u>マネミ</u>	<u> ジメン</u>	トシ <u>ー</u>	ト 令	和 5 年 6	3 <u>月作成</u>
事務事業名 立鉄中付第1号線						まちづくり			渕上 俊素	
政策名 都市基盤・産業					所属課	工事課		係名	工事第一	係
施策名 道路環境の整備					予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 2	事業 2 番号 2
基本事業名 幹線道路の整備			実が	施形態	全部	₩委託 🔽	一部委託	補助・	助成	連携・協働
		根拠	都市計画流道路法							
市長公約   ○   主要施策   ( 1 現状把握の部(1)事務事業	0		生里。活動。成	里						
①事業概要		数の推和		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
地域の円滑な交通の確保や駅周辺の渋滞緩和を図るため立	ア道路	整備延長		m	66.1	66.1	66.1	66.1	145.6	
鉄中付第1号線・第2号線を整備する。		取得面積		m²	56.7	56.7	56.7	56.7	56.7	
	ウ	-								
	⑥活動:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア道路	整備延長	:	m	66.1	0.0		0.0		
用地取得を進め、道路整備を行い、立鉄中付第1号線・第2号線 を利用する人や車両の安全の	<b>イ</b> 用地理 <b>ウ</b>	取得面積	:	m²	0	0	0	0	0	
確保及び道路環境の改善を図る。	⑦成果:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		整備率(道 体延長(3)	道路整備延長 52m))	%	18.8		18.8	18.8		
道路ネットワークを構築し、良好な道路環境の整備をする。	用地耳	<u>序延迟(5)</u> 取得率(取 体面積(2,	文得面積累計	%	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	
/よ胆ជ体児∨正Ⅷに / い。	ウ	Τ-μ., , , .	,110,,							
	(2)事訓	業のコス	٦.	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円		0	0	0	25,000	
立鉄中付第1号線整備については、令和4年3月の事業認可		┃財	都支出金	千円		0	0	0	12,500	0
の取得後、整備に向け物件調	1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
査などを進めた。 立鉄中付第2号線整備につい	事業	訳	その他 一般財源	千円		_	963	9,687		_
ては、整備方針の変更を受け	費	事業		千円	-		963	9,687	·	0
て、修正設計などを行うとともに 橋りょう架設及び道路築造工事			東明(A) 算現額(B)	千円	23,760		1,338	9,940		_
の令和5年度の発注に向けて準			<del>弄現領(B)</del> <b>丁率(A)/(B)</b>	%	68.9%	25.5%	72.0%	97.5%	_	
備を進めた。			(正規   月給   時給)			0.65 0.00 0.00			0.65 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
前年度からの繰越明許費	<b>②</b> 人		規職員分	千円		5,850	5,850	5,850	5,850	0
7,058,700円	件	会計年	度任用職員等	千円	0		0	0	0	0
	費	人作	牛費計(C)	千円	5,850	5,850	5,850	5,850	5,850	0
	3	総事業	費(A)+(C)	千円	22,226	5,934	6,813	15,537	149,185	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	かみ 苦・み	* 美. ③ 🎚	甲珥. 反劣占)		改善	長や見直しを図	ıı¬+-	(2) 事業	美の方針	
※課題の有無 マロのマッサー		前効性 一	未越・以 目 点 / 		エ:公平性		-の他	(2) 7		スト
(課題がある場合にマ) 1日199日に「 (事業の成果)										持増加
立鉄中付第1号線整備についてはい事業の進捗につなげた。	は、令和4	年3月の	事業認可の耳	<b></b>	、整備に向	可け物件調	査などを行			0
立鉄中付第2号線整備については							橋りょう架影	成 維 井		
及び道路築造工事の令和5年度	の発圧に	可けて 準	備を行い事業	(20) 進	捗につなり	げた。		低		
								(肉片)	生止の担合と	ユミフォ 不悪)
 (3)今後の事業の方向性(改革	- 小美家	生)						(発工・)	休止の場合は	ま記八个安/
立鉄中付第1号線の整備に向け、			一富か説明	田州晋	回葉を行う	à				
一元がまりぬまる //www. 11 20 エカ //www.	、2011年1日(5	-/j U C .	1 子'ないいハ	11とログ	(水 寸 と 1)。	<i>)</i>				

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	<u>5</u> 3	年度 事務事	<u>事業</u>	マネシ	<u> </u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	和 5 年 6	<u> 月作成</u>
事務事業名 立3・2・10号線整体	<del></del> 備				所属部	まちづくり	部	課長名	渕上 俊志	<u></u>
政策名 都市基盤・産業					所属課	工事課		係名	工事第一	<del></del> 係
施策名 道路環境の整備					予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 2	事業 番号 3
基本事業名幹線道路の整備				<b>地形態</b>	全部	『委託 ▶	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	都市計画流							
平成31 年度~	年度	法令等								
□ 市長公約 □ ○ □ 主要施策 □ ( 1 現状把握の部(1)事務事業	〇   Eの概要	•目的	<mark>────</mark> I・結果・活動・成							
①事業概要		象数の		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
広域的な道路ネットワークの構築のため都市計画道路立3・2・										
10号線を整備する。		型取行店	面積累計	m²	0	0	0	0	0	
	1									
	ウ									
	<b>⑥活</b> 重	力指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア用地	也取得面	面積	m²	0		0	0	0	
用地取得を進め、道路整備を行	1									
い、立3・2・10号線を利用する 人や車両の安全の確保及び道	ウ									
路環境の改善を図る。		7 15.18		77 /T	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑦成身		率(取得面積累計	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)			科(取侍田碩系計 漬1,092㎡)	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
広域的な道路ネットワークを構築し、良好な道路環境の整備を	1									
来し、及好な追路係境の歪幅でする。 する。	ウ									
	(2)車	 業の=	- <del></del> 1	224 J.L	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(८/३	・未い-	_	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
ナ2.0.10日始齢はたついて	1	I B→	+m + 11 A		0	^	^	0		
立3・2・10号線整備について は、令和4年3月の事業認可の		財源	都支出金地方债	千円	0	0	0	0	0	
は、令和4年3月の事業認可の 取得後、整備に向け物件調査		源内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
は、令和4年3月の事業認可の	事業	源内訳	地方債その他	千円 千円	0	0	0	0	0	0
は、令和4年3月の事業認可の 取得後、整備に向け物件調査	事	源内訳	地方債	千円	0	0 0	0	0	0 0 3,208	0 0
は、令和4年3月の事業認可の 取得後、整備に向け物件調査	事業	源 内 訳	地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円	0 0 5,500	0 0 0	0 0 8,165	0 0 3,050	0 0 3,208 3,208	0 0 0 0 0 0 0 0
は、令和4年3月の事業認可の 取得後、整備に向け物件調査	事業	源 内 訳 :	地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	千円 千円 千円 千円 千円	0 0 5,500 5,500	0 0 0	0 0 8,165 8,165	0 0 3,050 3,050	0 0 3,208 3,208	0 0
は、令和4年3月の事業認可の 取得後、整備に向け物件調査	事業	源内訳	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円 %	5,500 5,500 6,600 83.3%	0 0 0 0 0 0	0 8,165 8,165 16,254 50.2%	3,050 3,050 3,050 3,213 94.9% 0.65 0.00 0.00	0 0 3,208 3,208   0.65 0.00 0.00	000000000000000000000000000000000000000
は、令和4年3月の事業認可の 取得後、整備に向け物件調査	事業費 (2)人	源内訳	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分	千円 千円 千円 千円 4円 4 十円	0 5,500 5,500 6,600 83.3% 0.40 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 0,40 0.00 0.00 3,600	0 8,165 8,165 16,254 50.2% 0.40 0.00 0.00 3,600	3,050 3,050 3,213 94.9% 0.65 0.00 0.00 5,850	0 0 3,208 3,208  0.65 0.00 0.00 5,850	0 0 0 0   0.00 0.00 0.00 0.00
は、令和4年3月の事業認可の 取得後、整備に向け物件調査	事業費 ②:	源内訳 業員 会計	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分	千円 千円 千円 4円 6 十円 4 十円	0 5,500 5,500 6,600 83.3% 0.40 0.00 0.00 3,600	0 0 0 0 0 0 0.40 0.00 0.00 3,600	0 0 8,165 8,165 16,254 50.2% 0.40 0.00 0.00 3,600	3,050 3,050 3,050 3,213 94.9% 0.65 0.00 0.00 5,850	0 0 3,208 3,208   0.65 0.00 0.00 5,850	0 0 0 0  0.00 0.00 0.00
は、令和4年3月の事業認可の 取得後、整備に向け物件調査	事業費 2人件費	源内訳 職 会計	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等	千円 千円 千円 千円 % 人 千円 千円	0 5,500 5,500 6,600 83.3% 0.40 0.00 0.00 3,600	0 0 0 0 0 0 0,40 0.00 0.00 3,600	0 0 8,165 8,165 16,254 50.2% 0.40 0.00 0.00 3,600 0	0 3,050 3,050 3,213 94.9% 0.65 0.00 0.00 5,850	0 0 3,208 3,208 — 0.65 0.00 0.00 5,850 0 5,850	0 0 0 0  0.00 0.00 0.00 0.00
は、令和4年3月の事業認可の 取得後、整備に向け物件調査	事業費 2人件費	源内訳 職 会計	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等	千円 千円 千円 4円 6 十円 4 十円	0 5,500 5,500 6,600 83.3% 0.40 0.00 0.00 3,600	0 0 0 0 0 0 0.40 0.00 0.00 3,600	0 0 8,165 8,165 16,254 50.2% 0.40 0.00 0.00 3,600	3,050 3,050 3,050 3,213 94.9% 0.65 0.00 0.00 5,850	0 0 3,208 3,208   0.65 0.00 0.00 5,850	0 0 0 0 -
は、令和4年3月の事業認可の 取得後、整備に向け物件調査 などを進めた。 2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	事業費 (②人件費 )	源内訳 華員 会計	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円 千円 千円 % 人 千円 千円 千円	0 5,500 6,600 83.3% 0.40 0.00 0.00 3,600 9,100	0 0 0 0 0 0 0,40 0.00 0.00 3,600	0 0 8,165 8,165 16,254 50.2% 0.40 0.00 0.00 3,600 0 11,765	0 0 3,050 3,050 3,213 94.9% 0.65 0.00 0.00 5,850 0 8,900	0 0 3,208 3,208 - 0.65 0.00 0.00 5,850 0 5,850 9,058	0 0 0 0 
は、令和4年3月の事業認可の 取得後、整備に向け物件調査 などを進めた。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) ア:目的妥当性[	事業費 20人件費 で	源内訳 華員 会計	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 強数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円 千円 千円 % 人 千円 千円 千円	0 5,500 6,600 83.3% 0.40 0.00 0.00 3,600 9,100	0 0 0 0 0 0 0 0,40 0.00 0.00 3,600 3,600 3,600	0 0 8,165 8,165 16,254 50.2% 0.40 0.00 0.00 3,600 0 3,600 11,765	0 0 3,050 3,050 3,213 94.9% 0.65 0.00 0.00 5,850 0 8,900	0 0 3,208 3,208 - - 0.65 0.00 0.00 5,850 0 5,850 9,058	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
は、令和4年3月の事業認可の 取得後、整備に向け物件調査 などを進めた。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合に) (事業の成果)	事業費 (②人件費) (② ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	源内訳	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) ウ:効率性	千円 千円 千円 % 人 千円 千円 千円	0 0 5,500 6,600 83.3% 0.40 0.00 0.00 3,600 9,100 ひ巻	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 8,165 8,165 16,254 50.2% 0.40 0.00 0.00 3,600 11,765	0 0 3,050 3,050 3,213 94.9% 0.65 0.00 0.00 5,850 0 5,850 8,900	0 0 3,208 3,208 - - 0.65 0.00 0.00 5,850 0 5,850 9,058	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
は、令和4年3月の事業認可の 取得後、整備に向け物件調査 などを進めた。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) ア:目的妥当性[	事業費 (②人件費) (② ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	源内訳	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) ウ:効率性	千円 千円 千円 % 人 千円 千円 千円	0 0 5,500 6,600 83.3% 0.40 0.00 0.00 3,600 9,100 ひ巻	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 8,165 8,165 16,254 50.2% 0.40 0.00 0.00 3,600 11,765	0 0 3,050 3,050 3,213 94.9% 0.65 0.00 0.00 5,850 0 5,850 8,900	0 0 3,208 3,208  0.65 0.00 0.00 5,850 0 5,850 9,058	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
は、令和4年3月の事業認可の 取得後、整備に向け物件調査 などを進めた。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にレ) (事業の成果) 立3・2・10号線整備については、	事業費 (②人件費) (② ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	源内訳	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) ウ:効率性	千円 千円 千円 % 人 千円 千円 千円	0 0 5,500 6,600 83.3% 0.40 0.00 0.00 3,600 9,100 ひ巻	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 8,165 8,165 16,254 50.2% 0.40 0.00 0.00 3,600 11,765	0 0 3,050 3,050 3,213 94.9% 0.65 0.00 0.00 5,850 0 5,850 8,900	0 0 3,208 3,208  0.65 0.00 0.00 5,850 0 5,850 9,058	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
は、令和4年3月の事業認可の 取得後、整備に向け物件調査 などを進めた。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にレ) (事業の成果) 立3・2・10号線整備については、	事業費 (②人件費) (② ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	源内訳	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) ウ:効率性	千円 千円 千円 % 人 千円 千円 千円	0 0 5,500 6,600 83.3% 0.40 0.00 0.00 3,600 9,100 ひ巻	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 8,165 8,165 16,254 50.2% 0.40 0.00 0.00 3,600 11,765	0 0 3,050 3,050 3,213 94.9% 0.65 0.00 0.00 5,850 8,900 (2)事業 成果 慎	0 0 3,208 3,208  0.65 0.00 0.00 5,850 0 5,850 9,058	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
は、令和4年3月の事業認可の 取得後、整備に向け物件調査 などを進めた。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にレ) (事業の成果) 立3・2・10号線整備については、	事業費 (②人件費) (② ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	源内訳	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) ウ:効率性	千円 千円 千円 % 人 千円 千円 千円	0 0 5,500 6,600 83.3% 0.40 0.00 0.00 3,600 9,100 ひ巻	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 8,165 8,165 16,254 50.2% 0.40 0.00 0.00 3,600 11,765	0 0 3,050 3,050 3,213 94.9% 0.65 0.00 0.00 5,850 8,900 (2)事業 成果 持低下	0 0 3,208 3,208 - 0.65 0.00 0.00 5,850 0 5,850 9,058 単か方針	000000000000000000000000000000000000
は、令和4年3月の事業認可の 取得後、整備に向け物件調査 などを進めた。  (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にマ) (事業の成果) 立3・2・10号線整備については、 事業の進捗につなげた。	事業費	源内訳 職会総善効月	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) ウ:効率性	千円 千円 千円 % 人 千円 千円 千円	0 0 5,500 6,600 83.3% 0.40 0.00 0.00 3,600 9,100 ひ巻	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 8,165 8,165 16,254 50.2% 0.40 0.00 0.00 3,600 11,765	0 0 3,050 3,050 3,213 94.9% 0.65 0.00 0.00 5,850 8,900 (2)事業 成果 持低下	0 0 3,208 3,208  0.65 0.00 0.00 5,850 0 5,850 9,058	0 0 0 0 - 000 0.00 0.00 0.00 0 0 0 7 大 持 増加
は、令和4年3月の事業認可の 取得後、整備に向け物件調査 などを進めた。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果) 立3・2・10号線整備については、	事業費 (②人件費 (ご 革 イ: 中費 で 本) 本) 本) 本) 中間 (本) 本) 本) (本) 本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	The image	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数 (正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)  ③課題・反省点) ウ:効率性 か事業認可の取得	千 千 千	0 0 5,500 6,600 83.3% 0.40 0.00 0.00 3,600 9,100 立巻 エ:公平性	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 8,165 8,165 16,254 50.2% 0.40 0.00 0.00 3,600 11,765	0 0 3,050 3,050 3,213 94.9% 0.65 0.00 0.00 5,850 8,900 (2)事業 成果 持低下	0 0 3,208 3,208 - 0.65 0.00 0.00 5,850 0 5,850 9,058 単か方針	0 0 0 0 - 000 0.00 0.00 0.00 0 0 0 7 大 持 増加
は、令和4年3月の事業認可の 取得後、整備に向け物件調査 などを進めた。  (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にメ) (事業の成果) 立3・2・10号線整備については、 事業の進捗につなげた。  (3)今後の事業の方向性(改革	事業費 (②人件費 (ご 革 イ: 中費 で 本) 本) 本) 本) 中間 (本) 本) 本) (本) 本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	The image	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数 (正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) ウ:効率性 か事業認可の取得	千 千 千	0 0 5,500 6,600 83.3% 0.40 0.00 0.00 3,600 9,100 立巻 エ:公平性	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 8,165 8,165 16,254 50.2% 0.40 0.00 0.00 3,600 11,765	0 0 3,050 3,050 3,213 94.9% 0.65 0.00 0.00 5,850 8,900 (2)事業 成果 持低下	0 0 3,208 3,208 - 0.65 0.00 0.00 5,850 0 5,850 9,058 単か方針	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9

令和 4 年度事後評価	令和	15年	F度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令和	和 5 年 6	6 月作成
事務事業名 細街路拡幅整備事	業				所属部	まちづくり	部	課長名	卯月 寿-	_
政策名 都市基盤・産業					所属課	道路課		係名	調整係	
施策名 道路環境の整備					予算科目	会計 1	款 8	項 2	目 1	事業 5番号 5
基本事業名 生活道路の整備				を を を で で で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に に に で に に に に に に に に に に に に に	全部	<b>多託</b>	/ 一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	建築基準	去第4						
平成13 年度~	年度	法令等		封路扣	<b>広幅整備要</b>	·綱				
市長公約     主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業	上の概算	更•日的	 •結果•活動•成	里						
①事業概要		象数の技		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
細街路の拡幅整備を進め、居 住環境及び防災機能の向上を					1101 112	1%	1.6 1/2		110 1/2	110 112
図るため、建築基準法第42条第	が計	田路を利	用する市民	人	_	_	_		_	
2項による後退用地の整備を行う。 市道に面する後退用地につ	1									
いて、寄附を推進し、拡幅整備	ウ									
を行う。	<b>⑥活</b>	動指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア協	議件数(r	 f道)	件	23	30		21	21	
建築基準法第42条第2項による	イ寄	 附件数		件	14	18	3	11	11	
後退用地を整備することにより、 将来的に道路幅員を4m以上確		議件数(利	公道)	件	11	8		2.	6	
保する。		果指標		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<b>②</b> 维用 //>			 ·協議件数(市道)	%	夫領	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか) 居住環境及び防災機能の向上	が向	·附什級·	- 協議件級(甲坦 <i>)</i>	%	60.0	60.0	27.0	52.0	50.0	
古住泉境及い例火機能の同工 が図られる。	1									
	ウ									
	(2)	事業の〓	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
細街路拡幅整備協議、後退用 地の分筆登記、寄附申請、後退		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
他の万事登記、前門中語、後述 用地の整備。			地方債	千円		0		0	0	
細街路拡幅整備工事(単価契 約)	4	事   訳 業	その他	千円					-	
(CA)		患 ——	一般財源	千円		·		11,724		
			事業費計(A) 予算現額(B)	千円	31,580 31,736			17,724	23,640	0
			) 异現領(B) (行率(A)/(B)	тп %	99.5%	87.7%		17,440 67.2%	_	_
		中日	<b>数</b> (正規   月給   時給)						1.36 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		2)	正規職員分	千円			12,240	12,240	12,240	
	1	牛 会計	年度任用職員等	千円	0	0	420	420	0	0
	1	<b>貴</b>	人件費計(C)	千円				12,660	12,240	0
の一部体の部		③総事	業費(A)+(C)	千円	45,620	36,755	25,810	24,384	35,880	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	首的	•改姜•ⓒ			一改善	きや見直しを図	図った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 マ・日め至当性							の他	(=) 1:21		スト
(課題がある場合に <b>ル</b> ) (事業の成果) 建築基準法第42%			<u> </u>					É	削減維	持 増加
能が向上した。										
								成 維 果 持	(	
								果 <u>  持</u>   低		
								下		
/a\	1 -1							(廃止・	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革			日子四陸サッド	F {{< 1616	46 + 7h 10	トフトは	七/士 + 市/	出1 アハノ		
建築基準法第42条第2項の後退	用地に	·	西往界児及い!	J火機	肥を唯作	りつにめ、5	川さ舵さ発1	用していく。		

令和 4 年度事後評価	<u>令</u> 和	<u>扣 5</u>	<u>5</u> £	F度 事務	<u>事業</u>	マネシ	<u> ジメン</u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令和	10 5 年 6	3 月作成
事務事業名 市道新設改良						所属部	まちづくり	部	課長名	渕上 俊之	之 之
政策名都市基盤・産業						所属課	工事課		係名	工事第二	係
施策名 道路環境の整備						予算科目	会計 1	款 8	項 2	目 3	事業 1 番号 1
基本事業名 生活道路の整備					<b>も形態</b>	全部	『委託 ▶	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返			根拠	道路法	(其代刊)						
平成3年度~	年度		は対処								
市長公約   主要施策   1 現状把握の部(1)事務事	<u>〇</u>   業の相	要•	日的	 •結果•活動•成	里						
①事業概要		対象数			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
快適な道路環境の向上を図る ため、下水管整備により雨水の											110 1 12
排水先が確保された幅員4m以		側溝雪	<b>登</b> 佣路	路線(累計)	路線	37	38	39	40	41	
上の生活道路について、L形側 溝設置や舗装整備を進める。		1									
再以直、冊衣正冊と述べる。	ウ										
	<b>6</b>	活動技	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア	側溝雪	整備器	 S線	路線	()	<b>大根</b> 1	<b>大根</b> 1	1	1	пш
側溝が整備されていない市道に		V 41111 X		****	F 14.10.3						
おいて側溝整備及び舗装改修	-1										
を行う事により雨水処理能力及 び道路環境の向上を図る。	ウ	_	_			1101左座	DO左座	DO左座	D4左座	DE左曲	DC左座
		成果排			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		整備界 42路線		R線/計画路線	%	88.1	90.5	92.9	95.2	97.6	
歩行者の安全や快適な居住環	1		4-								
境の向上が図られる。	ウ										
						1104 F F	D0 /= #	50 <del>/                                     </del>	D.4 5 5	DE ##	D0/T/#
	(2	)事業	€の=	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)				国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
市道東82号線改良工事(延長約 110m)を行なった。			財源	都支出金	千円	0	14,200	3,300	16,847	1,200	0
110111/2/1/2/2/20		1	内	地方債	千円	41,100	24,400	17,400	0	0	0
		事   業	訳	その他	千円	0			0		0
		費	-	│ 一般財源     一般財源   事業費計(A)	千円	5,434 46,534	57,143 95,743	7,879 28,579	2,991 19,838	16,230 17,430	0
		-		尹未其司(八)	千円	40.004	90,743	40,019	19.000	1 ( 4.50)	U
				予質現類(R)	千四	•	102 080	30 410		_	
				予算現額(B) 執行率(A)/(B)	千円 %	47,400	102,080	30,410	20,960	— —	_
	-	<u> </u>	ŧ	予算現額(B) 执行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給)	%	47,400 98.2%	102,080 93.8% 0.50 0.00 0.00	94.0%	20,960 94.6%	_	0.00 0.00 0.00
		② 人	職員	执行率(A)/(B)	%	47,400 98.2%	93.8%	94.0%	20,960 94.6%	_	
		人件	職員	执行率 (A)/(B) 数(正規   月給   時給)	% 人 千円	47,400 98.2% 1.10 0.00 0.00	93.8%	94.0%	20,960 94.6% 0.35 0.00 0.00	0.35 0.00 0.00	0
		人件費	職員会計	<sup>执行率(A)/(B)</sup> 数 <sub>(正規   月給   時給)</sub> 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C)	% 人 千円 千円	47,400 98.2% 1.10 0.00 0.00 9,900 0 9,900	93.8% 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500	94.0%  1.25 0.00 0.00  11,250  0  11,250	20,960 94.6% 0.35 0.00 0.00 3,150 0	0.35 0.00 0.00 3,150	0
		人件費	職員会計	城行率(A)/(B) 数 <sup>(正規   月給   時給)</sup> 正規職員分 年度任用職員等	% 人 千円 千円	47,400 98.2% 1.10 0.00 0.00 9,900	93.8% 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500	94.0% 1.25 0.00 0.00 11,250 0	20,960 94.6% 0.35 0.00 0.00 3,150	0.35 0.00 0.00 3,150	0
2 評価の部 (1)全休総括(①事業の成果・	<u> </u>	人 件 費 ③	報員 会計 総事:	大字(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	% 人 千円 千円 千円	47,400 98.2% 1.10 0.00 0.00 9,900 0 9,900 56,434	93.8%  0.50 0.00 0.00  4,500  0  4,500  100,243	94.0%  1.25 0.00 0.00  11,250  0  11,250  39,829	20,960 94.6% 0.35 0.00 0.00 3,150 0 3,150 22,988	0.35 0.00 0.00 3,150 0 3,150 20,580	0
(1)全体総括(①事業の成果・ ※課題の有無 ス・日的妥当性		人 件 費 ③ (3) (4)	会計	大字(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点)	% 人 千円 千円 千円	47,400 98.2% 1.10 0.00 0.00 9,900 0 9,900 56,434	93.8% 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500 100,243	94.0%  1.25 0.00 0.00  11,250  0  11,250  39,829	20,960 94.6% 0.35 0.00 0.00 3,150 0 3,150 22,988	0.35 0.00 0.00 3,150 0 3,150	0 0 0 0
(1)全体総括(①事業の成果・ ※課題の有無 (課題がある場合によ) ア:目的妥当性		人 件 費 ③	会計	大字(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点)	% 人 千円 千円 千円	47,400 98.2% 1.10 0.00 0.00 9,900 0 9,900 56,434	93.8% 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500 100,243	94.0%  1.25 0.00 0.00  11,250  0  11,250  39,829	20,960 94.6% 0.35 0.00 0.00 3,150 0 3,150 22,988		0 0 0 0
(1)全体総括(①事業の成果・ ※課題の有無 ス・日的妥当性		人件費 ③ イ・	会計 総事:	大字(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点)	% 人 千円 千円 千円	47,400 98.2% 1.10 0.00 0.00 9,900 0 9,900 56,434	93.8% 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500 100,243	94.0%  1.25 0.00 0.00  11,250  0  11,250  39,829	20,960 94.6% 0.35 0.00 0.00 3,150 0 3,150 22,988		0 0 0 0
(1)全体総括(①事業の成果・ ※課題の有無 (課題がある場合にレ) (事業の成果)		人件費 ③ イ・	会計 総事:	大字(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点)	% 人 千円 千円 千円	47,400 98.2% 1.10 0.00 0.00 9,900 0 9,900 56,434	93.8% 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500 100,243	94.0%  1.25 0.00 0.00  11,250  0  11,250  39,829	20,960 94.6% 0.35 0.00 0.00 3,150 0 3,150 22,988 (2)事業		0 0 0 0 0 スト 持 増加
(1)全体総括(①事業の成果・ ※課題の有無 (課題がある場合にレ) (事業の成果)		人件費 ③ イ・	会計 総事:	大字(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点)	% 人 千円 千円 千円	47,400 98.2% 1.10 0.00 0.00 9,900 0 9,900 56,434	93.8% 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500 100,243	94.0%  1.25 0.00 0.00  11,250  0  11,250  39,829	20,960 94.6% 0.35 0.00 0.00 3,150 0 3,150 22,988 (2)事業 向上 採持		0 0 0 0 0 スト 持 増加
(1)全体総括(①事業の成果・ ※課題の有無 (課題がある場合にマ) (事業の成果)		人件費 ③ イ・	会計 総事:	大字(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点)	% 人 千円 千円 千円	47,400 98.2% 1.10 0.00 0.00 9,900 0 9,900 56,434	93.8% 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500 100,243	94.0%  1.25 0.00 0.00  11,250  0  11,250  39,829	20,960 94.6% 0.35 0.00 0.00 3,150 0 3,150 22,988 (2)事業		0 0 0 0 0 スト 持 増加
(1)全体総括(①事業の成果・ ※課題の有無 (課題がある場合にレ) (事業の成果)		人件費 ③ イ・	会計 総事:	大字(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点)	% 人 千円 千円 千円	47,400 98.2% 1.10 0.00 0.00 9,900 0 9,900 56,434	93.8% 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500 100,243	94.0%  1.25 0.00 0.00  11,250  0  11,250  39,829	20,960 94.6% 0.35 0.00 0.00 3,150 22,988 (2)事業 成共 成共 成大 (1) (2) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1		0 0 0 0 スト 持 増加
(1)全体総括(①事業の成果・ ※課題の有無 (課題がある場合に)) (事業の成果) 市道東82号線改良工事を行う事	により	人件費 ③ イ・カー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職 会 総 善 効 環 等)	太行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3)課題・反省点) ウ:効率性 が改善した。	% 人 千円 千円	47,400 98.2% 1.10 0.00 0.00 9,900 56,434 工:公平性	93.8% 0.50 0.00 0.00 4,500 100,243 いまか見直しを図 オ:そ	94.0%  1.25 0.00 0.00  11,250  0  11,250  39,829	20,960 94.6% 0.35 0.00 0.00 3,150 22,988 (2)事業 成共 成共 成大 (1) (2) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1		<b>持 増加</b>
(1)全体総括(①事業の成果・ ※課題の有無 (課題がある場合にメ) (事業の成果) 市道東82号線改良工事を行う事	により	人件費 ③ イ・カー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職 会 総 善 効 環 等)	太行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3)課題・反省点) ウ:効率性 が改善した。	% 人 千円 千円	47,400 98.2% 1.10 0.00 0.00 9,900 56,434 工:公平性	93.8% 0.50 0.00 0.00 4,500 100,243 いまか見直しを図 オ:そ	94.0%  1.25 0.00 0.00  11,250  0  11,250  39,829	20,960 94.6% 0.35 0.00 0.00 3,150 22,988 (2)事業 成共 成共 成大 (1) (2) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1		0 0 0 0 スト 持 増加

令和 4 年度事後評価	令和	5	年度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令和	和 5 年 6	6 月作成
事務事業名 私道舗装対策						まちづくり		課長名		
■ <b>政策名</b> 都市基盤・産業					所属課	道路課		係名	維持係	
施策名 道路環境の整備					予算科目		款 8	項 2	目 3	事業 3
基本事業名生活道路の整備			実施	<b>拖形態</b>		『委託 4		補助・	_	連携・協働
当任 庄 海 迈			立川市私	(選択可) 首舗装			HP X 10	110-93	-33724	X2105 1010 140
事業期間 年度~	年度	根法令	拠	CHIN 2						
市長公約 主要施策	Uk a low are									
1 現状把握の部 (1)事務事業 ①事業概要										
私道舗装取扱要綱に基づき、	(5)対象	象数(	の推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
砂利舗装や舗装の劣化した私 道を対象に舗装の新設や補修	ア 私i	首利用	]者	人	_	-	-	_	-	
を行う。	<b>イ</b> 私i	首利用	車両	台	-	_	_	_	_	
	ウ									
	<b>⑥活</b> 重	₩+6+	<del></del>	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
					実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア 私i	直舗装	<b>装申請件数</b>	件	3	3	5	3	3	
私道利用者のために要綱に適合した私道の整備を促進し、生	1									
徒・児童の安全な通学路の確保	ウ									
を図る。	7成	製指	霊	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)			*************************************	m	<b>実績</b> 28.8	<b>実績</b> 36.9	実績	実績	計画	計画
安心・安全で快適な道路環境の							0.50	00.4	222.0	
向上が図られる。		直舗多	e改修延長 	m	216.0	126.2	273.8	89.4	260.0	
	ウ									
	(2)事	<b>業σ</b>	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	<del>天</del> 根	<b>天</b> 稹	<del>天</del> 棋	<del>天</del> 根	· 計画 ()	· ii 四
私道舗装工事		具		千円	0	0	0	0	0	0
	1		· 地士/書	千円	0	0	0	0	0	C
			Y	千円	0	0	0	0	0	C
	業		一般財源	千円	16,134	10,991	8,052	4,880	12,100	C
	費		事業費計(A)	千円	16,134	10,991	8,052	4,880	12,100	C
			予算現額(B)	千円	16,134	11,000	8,130	5,000	_	_
			執行率(A)/(B)	%	100.0%	99.9%	99.0%	97.6%	_	_
	2	/	員数(正規   月給   時給)			0.42 0.00 0.00				
		` ⊨	正規職員分 計年度任用職員等	千円	3,780	3,780	4,680	4,680	0	C
	費		計年度任用職員等 人件費計(C)	千円	3,780	3,780	4,680	4,680	0	C
		3)絵章	事業費(A)+(C)	千円	19,914	14,771	12,732	9,560	12,100	0
2 評価の部		5 11.0	7-30-52 (7-4) 1 (-7-4)	1 1 3	10,011	11,111	12,102	0,000	1=,100	
(1)全体総括(①事業の成果・(	2改革・	改善	・③課題・反省点)		一改善	きや見直しを図	引った	(2)事業	きの方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性	1:	有効′	性 ウ:効率性	~	エ:公平性	オ:そ	の他		コン ****   4#	
(事業の中田)式(業のは出場はの			- 西郷沢洲 - 一一一	業を進	め、利用を	者の安全性	が向上し	向	削減 維	持 増加
(事業の成果)私道の舗装補修の	要望に対	けして	、安榊に伯つ(事							
(事業の放来)私担の舗装補修の た。	要望に対	すして	、安榊に石つて事					上		
	要望に対	すして	、安神に行つて事							
	要望に対	すして	、安榊に行つて事					成 維 持 低		
	要望に対	すして	、安神に行つて事					成 果 低 下		
た。								成 果 低 下	木止の場合に	
(3)今後の事業の方向性(改革	芭·改善≨	案等)		5綱の	見直しなど	<b>゙検討を進</b> ん	<del></del>	成 果 低 下		
た。	芭·改善≨	案等)		<b>巨綱</b> の	見直しなど	*検討を進ぬ	<b>か</b> る。	成 果 低 下		

令和 4 年度事後評価	令 <u>和</u>	5 <u>年原</u>	度 事務事	<b>≨業</b>	マ <u>ネシ</u>	ブメ <u>ン</u>	トシ <u>ー</u>	ト <sub>令利</sub>	和 5 年 6	6 月 <u>作成</u>
事務事業名 生活道路拡幅						まちづくり				
<b>政策名</b> 都市基盤・産業					所属課	工事課		係名	工事第二	 係
施策名 道路環境の整備					予算科目		款 8	項 2	目 3	事業 6
基本事業名生活道路の整備	<del></del>		実施开			『委託 』		補助・		連携・協働
事業期間単年度繰返		<b>+□ +</b> hŋ	道路法	最択可)	<u> </u>	<u> </u>	<u>-</u>	<u> </u>		
年度~	年度	根拠 法令等								
市長公約   主要施策   ( 1 現状把握の部(1)事務事業	0		■・活動・成集	<del></del>						
①事業概要		·日的・結 .数の推移			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
住宅地における歩行者の安全 性や快適な居住環境の向上及										KU+12
び緊急車両の通行や消防活動		取得面積	累計	m²	515	597	600	642	900	
困難区域の解消など防災性の	1			1						
向上を図るため、拡幅整備を行 う。	ウ			_						
	⑥活動:	指標	Ĕ	単位	H31年度 宝績	R2年度 宝績	R3年度 宝績	R4年度 宝績	R5年度	R6年度
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)		取得面積		m²	<b>実績</b> 0	<b>実績</b> 82	<b>実績</b> 3	<b>実績</b> 41	計画 259	計画
生活道路を拡幅整備することに		以行山 <sub>1只</sub>		III	V	02	J	71	200	
より、歩行者の安全性や快適な	1			$\dashv$						
居住環境の向上及び緊急車両 の通行確保など防災性の向上	ウ							_		
の連打催休など防災性の同上を図る。	⑦成果			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		取得率(取 積(1,279m	得面積÷全	%	40.3		<b>46.9</b>	<u> </u>	70.4	H I F
歩行者の安全や快適な居住環	<b>イ</b> 体面 <sup>7</sup>	槓(1,21911	Ĩ))	+						
境の向上、緊急車両の通行確				-						
保、消防活動困難区域の解消 が図られる。	ウ									
	(2)事	業のコスト	· I	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
•	•				V 435	25,1135			H-1-	
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金 न	千円	0		3,372	11,644	0	0
生活道路拡幅事業計画に基づ		財		千円 千円		16,345		11,644	0	0
生活道路拡幅事業計画に基づ き、市道西1号線の用地買収及	1		都支出金 न		0	16,345	3,372		_	0
生活道路拡幅事業計画に基づ	事	財源	都支出金	千円 千円 千円	0 0 0	16,345 0 0	3,372 0 0	0 0	0 0	0 0
生活道路拡幅事業計画に基づ き、市道西1号線の用地買収及	事業	財 源 内 訳	都支出金 = 1 地方債 = 1 その他 = 1 一般財源 = 1	千円 千円 千円	0 0 0 0 678	16,345 0 0 0 14,410	3,372 0 0 0 0 216	0 0 0 7,027	0 0 0 0 60,218	0 0 0
生活道路拡幅事業計画に基づ き、市道西1号線の用地買収及	事	財源内訳事業	都支出金 = サカ	千円 千円 千円 千円	0 0 0 0 678 678	16,345 0 0 0 14,410 30,755	3,372 0 0 0 216 3,588	0 0 0 7,027 18,671	0 0	0 0
生活道路拡幅事業計画に基づ き、市道西1号線の用地買収及	事業	財源内訳事業予算	都支出金 = 地方債 = その他 = 一般財源 = 世 ・	千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 0 678 678	16,345 0 0 0 14,410 30,755 41,036	3,372 0 0 0 216 3,588 10,847	0 0 0 7,027 18,671 20,548	0 0 0 0 60,218	0 0 0
生活道路拡幅事業計画に基づ き、市道西1号線の用地買収及	事業費	財源内訳事業予算執行	都支出金 = 地方債 = その他 = 一般財源 = 世費計(A) = 理現額(B) = 平(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 0 678 678 1,948 34.8%	16,345 0 0 0 14,410 30,755 41,036 74.9%	3,372 0 0 0 216 3,588 10,847 33.1%	0 0 0 7,027 18,671 20,548 90.9%	0 0 0 60,218 60,218 —	0 0 0 0 0
生活道路拡幅事業計画に基づ き、市道西1号線の用地買収及	事業費	財源内訳 事業 執行 職員数(	都支出金	千円 千円 千円 千円 千円 千円 人	0 0 0 678 678 1,948 34.8%	16,345 0 0 0 14,410 30,755 41,036 74.9% 0.60 0.00 0.00	3,372 0 0 0 216 3,588 10,847 33.1% 0.65 0.00 0.00	0 0 7,027 18,671 20,548 90.9%	0 0 0 60,218 60,218 — —	0 0 0 0 0 0 -
生活道路拡幅事業計画に基づ き、市道西1号線の用地買収及	事業費 ②人件	財源内訳 業 第 第 章 数 行 職員 数 征 正 規	都支出金 = 地方債 = その他 = 一般財源 = 電	千円 千円 千円 千円 千円 千円 人	0 0 0 0 678 678 1,948 34.8%	16,345 0 0 0 14,410 30,755 41,036 74.9%	3,372 0 0 0 216 3,588 10,847 33.1%	0 0 0 7,027 18,671 20,548 90.9%	0 0 0 60,218 60,218 —	0 0 0 0 0
生活道路拡幅事業計画に基づ き、市道西1号線の用地買収及	事業費    ②人	財源内訳事業第執行。職員数征。	都支出金	千円 千円 千円 千円 千円 千円 人	0 0 0 678 678 1,948 34.8%	16,345 0 0 0 14,410 30,755 41,036 74.9% 0.60 0.00 0.00 5,400	3,372 0 0 0 216 3,588 10,847 33.1% 0.65 0.00 0.00 5,850	$\begin{array}{c} 0 \\ 0 \\ 7,027 \\ \hline 18,671 \\ 20,548 \\ \hline 90.9\% \\ \hline 0.55 & 0.00 & 0.00 \\ \hline 4,950 \\ \end{array}$	$\begin{array}{c} 0 \\ 0 \\ 0 \\ 60,218 \\ \hline 60,218 \\ - \\ - \\ \hline 0.55 & 0.00 & 0.00 \\ \hline 4,950 \\ \end{array}$	0 0 0 0 0 0 
生活道路拡幅事業計画に基づ き、市道西1号線の用地買収及	事業費    ②人件費	財源内訳 業 第 第 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章	都支出金 コール カー サード オール カー	千円 千円 千円 千円 千円 人 千円	0 0 0 678 678 1,948 34.8% 0.60 0.00 0.00 5,400	16,345 0 0 0 14,410 30,755 41,036 74.9% 0.60 0.00 0.00 5,400 0 5,400	3,372 0 0 0 216 3,588 10,847 33.1% 0.65 0.00 0.00 5,850 0	0 0 7,027 18,671 20,548 90.9% 0.55 0.00 0.00 4,950	0 0 0 60,218 60,218 — — 0.55 0.00 0.00 4,950	0 0 0 0 0   0.00 0.00 0.00 0.00
生活道路拡幅事業計画に基づき、市道西1号線の用地買収及び物件移転補償を行った。  2 評価の部	事業費②人件費③	財源内訳事予行職会計人業	都支出金 日本の他 日本の他 日本の他 日本の他 日本の	千円 千円 千円 千円 (人) 千円 千円	0 0 0 678 678 1,948 34.8% 0.60 0.00 0.00 5,400 0,078	16,345 0 0 0 14,410 30,755 41,036 74.9% 0.60 0.00 0.00 5,400 0 5,400 36,155	3,372 0 0 0 216 3,588 10,847 33.1% 0.65 0.00 0.00 5,850 0 5,850 9,438	0 0 7,027 18,671 20,548 90.9% 0.55 0.00 0.00 4,950 0 4,950 23,621	0 0 0 60,218 60,218 — — 0.55 0.00 0.00 4,950 0 4,950 65,168	0 0 0 0 0   0.00 0.00 0.00 0.00
生活道路拡幅事業計画に基づき、市道西1号線の用地買収及び物件移転補償を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	事業費 ②人件費 ③ ②改革・改	財源内訳事予行職員正年人業会計人業の金融を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	都支出金	千円         千円         千円         千円         八円         千千         千千         千千	0 0 0 678 678 1,948 34.8% 34.8% 5,400 0 5,400 6,078	16,345 0 0 0 14,410 30,755 41,036 74.9% 0.60 0.00 0.00 5,400 0 5,400 36,155	3,372 0 0 0 216 3,588 10,847 33.1% 0.65 0.00 0.00 5,850 0 9,438	0 0 7,027 18,671 20,548 90.9% 0.55 0.00 0.00 4,950 0 4,950 23,621	0 0 0 60,218 60,218  0.55 0.00 0.00 4,950 0 4,950 65,168	0 0 0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0
生活道路拡幅事業計画に基づき、市道西1号線の用地買収及び物件移転補償を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合に・) ア:目的妥当性	事業費 ②人件費 ③ ②改革・改	財源内訳事予行職会計人業	都支出金 日本の他 日本の他 日本の他 日本の他 日本の	千円         千円         千円         千円         八円         千千         千千         千千	0 0 0 678 678 1,948 34.8% 0.60 0.00 0.00 5,400 0,078	16,345 0 0 0 14,410 30,755 41,036 74.9% 0.60 0.00 0.00 5,400 0 5,400 36,155	3,372 0 0 0 216 3,588 10,847 33.1% 0.65 0.00 0.00 5,850 0 9,438	0 0 7,027 18,671 20,548 90.9% 0.55 0.00 0.00 4,950 0 4,950 23,621	0 0 0 60,218 60,218 - - 0.55 0.00 0.00 4,950 0 4,950 65,168	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
生活道路拡幅事業計画に基づき、市道西1号線の用地買収及び物件移転補償を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性[(事業の成果)	事業費 ②人件費 ③ ・改 イ: 有	財源内訳事予執数財無人業会計人業会計人業。	都支出金	千       十       十	0 0 0 678 678 1,948 34.8% 0.60 0.00 0.00 5,400 6,078	16,345 0 0 0 14,410 30,755 41,036 74.9% 0.60 0.00 0.00 5,400 0 5,400 36,155 幸や見直しを図	3,372 0 0 0 216 3,588 10,847 33.1% 0.65 0.00 0.00 5,850 0 9,438	0 0 7,027 18,671 20,548 90.9% 0.55 0.00 0.00 4,950 0 4,950 23,621	0 0 0 60,218 60,218 - - 0.55 0.00 0.00 4,950 0 4,950 65,168	0 0 0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0
生活道路拡幅事業計画に基づき、市道西1号線の用地買収及び物件移転補償を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合に・) ア:目的妥当性	事業費 ②人件費 ③ ・改 イ: 有	財源内訳事予執数財無人業会計人業会計人業。	都支出金	千       十       十	0 0 0 678 678 1,948 34.8% 0.60 0.00 0.00 5,400 6,078	16,345 0 0 0 14,410 30,755 41,036 74.9% 0.60 0.00 0.00 5,400 0 5,400 36,155 幸や見直しを図	3,372 0 0 0 216 3,588 10,847 33.1% 0.65 0.00 0.00 5,850 0 9,438	0 0 7,027 18,671 20,548 90.9% 0.55 0.00 0.00 4,950 0 4,950 23,621	0 0 0 60,218 60,218  0.55 0.00 0.00 4,950 0 4,950 65,168	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
生活道路拡幅事業計画に基づき、市道西1号線の用地買収及び物件移転補償を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性[(事業の成果)	事業費 ②人件費 ③ ・改 イ: 有	財源内訳事予執数財無人業会計人業会計人業。	都支出金	千       十       十	0 0 0 678 678 1,948 34.8% 0.60 0.00 0.00 5,400 6,078	16,345 0 0 0 14,410 30,755 41,036 74.9% 0.60 0.00 0.00 5,400 0 5,400 36,155 幸や見直しを図	3,372 0 0 0 216 3,588 10,847 33.1% 0.65 0.00 0.00 5,850 0 9,438	0 0 7,027 18,671 20,548 90.9% 0.55 0.00 0.00 4,950 0 4,950 23,621	0 0 0 60,218 60,218  0.55 0.00 0.00 4,950 0 4,950 65,168	000000000000000000000000000000000000
生活道路拡幅事業計画に基づき、市道西1号線の用地買収及び物件移転補償を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性[(事業の成果)	事業費 ②人件費 ③ ・改 イ: 有	財源内訳事予執数は年代書会を対する。	都支出金	千       十       十	0 0 0 678 678 1,948 34.8% 0.60 0.00 0.00 5,400 6,078	16,345 0 0 0 14,410 30,755 41,036 74.9% 0.60 0.00 0.00 5,400 0 5,400 36,155 幸や見直しを図	3,372 0 0 0 216 3,588 10,847 33.1% 0.65 0.00 0.00 5,850 0 9,438	0 0 7,027 18,671 20,548 90.9% 0.55 0.00 0.00 4,950 23,621 (2)事業 向上維持低	0 0 0 60,218 60,218  0.55 0.00 0.00 4,950 0 4,950 65,168	000000000000000000000000000000000000
生活道路拡幅事業計画に基づき、市道西1号線の用地買収及び物件移転補償を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性[(事業の成果)	事業費 ②人件費 ③ ・改 イ: 有	財源内訳事予執数は年代書会を対する。	都支出金	千       十       十	0 0 0 678 678 1,948 34.8% 0.60 0.00 0.00 5,400 6,078	16,345 0 0 0 14,410 30,755 41,036 74.9% 0.60 0.00 0.00 5,400 0 5,400 36,155 幸や見直しを図	3,372 0 0 0 216 3,588 10,847 33.1% 0.65 0.00 0.00 5,850 0 9,438	0 0 7,027 18,671 20,548 90.9% 0.55 0.00 0.00 4,950 23,621 (2)事業 成果 持低下	0 0 0 60,218 60,218 	000000000000000000000000000000000000
生活道路拡幅事業計画に基づき、市道西1号線の用地買収及び物件移転補償を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [標題がある場合によ) (事業の成果) 市道西1号線の用地買収・物件	事業費 ②人件費 ③ ・改 ギャイ・補 償	財源内訳 事 予 行 強 大	都支出金	千       十       十	0 0 0 678 678 1,948 34.8% 0.60 0.00 0.00 5,400 6,078	16,345 0 0 0 14,410 30,755 41,036 74.9% 0.60 0.00 0.00 5,400 0 5,400 36,155 幸や見直しを図	3,372 0 0 0 216 3,588 10,847 33.1% 0.65 0.00 0.00 5,850 0 9,438	0 0 7,027 18,671 20,548 90.9% 0.55 0.00 0.00 4,950 23,621 (2)事業 成果 持低下	0 0 0 60,218 60,218 - 0.55 0.00 0.00 4,950 0 4,950 65,168	000000000000000000000000000000000000
生活道路拡幅事業計画に基づき、市道西1号線の用地買収及び物件移転補償を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性[(事業の成果)	事業費   ②人件費   ③ され	財源内訳 事 予 対 数 財 源 内 訳 事 予 対 数 財 源 内 訳 事 予 対 数 財 原 件 費 課 で お か 行 う 事 が で か で か で か で か で か で か で か で か で か で	都支出金	千千千千9人千千千千	0 0 0 678 678 1,948 34.8% 0.60 0.00 0.00 5,400 6,078 立き	16,345 0 0 0 14,410 30,755 41,036 74.9% 0.60 0.00 0.00 5,400 36,155 季や見直しを図 オ:そ	3,372 0 0 0 216 3,588 10,847 33.1% 0.65 0.00 0.00 5,850 0 5,850 9,438	0 0 7,027 18,671 20,548 90.9% 0.55 0.00 0.00 4,950 23,621 (2)事業 成果 持低下	0 0 0 60,218 60,218 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
生活道路拡幅事業計画に基づき、市道西1号線の用地買収及び物件移転補償を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合にメ) (事業の成果) 市道西1号線の用地買収・物件 (3)今後の事業の方向性(改革	事業費   ②人件費   ③ され	財源内訳 事 予 対 数 財 源 内 訳 事 予 対 数 財 源 内 訳 事 予 対 数 財 原 件 費 課 で お か 行 う 事 が で か で か で か で か で か で か で か で か で か で	都支出金	千千千千9人千千千千	0 0 0 678 678 1,948 34.8% 0.60 0.00 0.00 5,400 6,078 立き	16,345 0 0 0 14,410 30,755 41,036 74.9% 0.60 0.00 0.00 5,400 36,155 季や見直しを図 オ:そ	3,372 0 0 0 216 3,588 10,847 33.1% 0.65 0.00 0.00 5,850 0 5,850 9,438	0 0 7,027 18,671 20,548 90.9% 0.55 0.00 0.00 4,950 23,621 (2)事業 成果 持低下	0 0 0 60,218 60,218 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

令和 4 年度事後評価	711	<del>+</del>	<del>  一世子   10   11   11   11   11   11   11   1</del>	尹未	ミマイン	<u> </u>	トンー	<b>卜</b> 令	和 5 年 6	<u> </u>
事務事業名根覚障害者対策					所属部	まちづくり	部	課長名	卯月 寿-	_
政策名 都市基盤・産業					所属課	道路課		係名	施設係	
施策名 道路環境の整備					予算科目	会計 1	款 2	項 1	目 7	事業 6番号 6
基本事業名 人にやさしい道路野	環境づくり			<b>も形態</b> (選択可)	全部	<b>『委託</b>	/ 一部委託	補助・	助成	連携·協働
事業期間 単年度繰返 平成13 年度~		根拠			ちづくり条					
市長公約 主要施策	<del>中原</del>	去令等	77.)1111/田1	吐りま	らってが担	亚				
1 現状把握の部(1)事務事		目的・糸	 洁果·活動·成	果						
①事業概要	⑤対象	数の推	移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
視覚障害のある方の積極的な 社会参加を図るため、立川市福	1.1.27		で る視覚障害者				, , ,		, , ,	
社のまちづくり指針の中で整備	数数			人	_	_	_	_		
計画路線に位置付けられた、優生の高い路線・の担党時度	1									
先度の高い路線への視覚障害 者誘導用ブロックの設置を進め	ウ									
<b>る</b> 。	⑥活動:	指標		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<b>②日的</b> (+14+13-1-7+11)(47-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	ア視覚	章害者認	秀導用ブロック	****	<b>実績</b> 300	<b>実績</b> 295	<b>実績</b> 318	<b>実績</b> 293	計画 325	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	」  設置変	延長		m	300	295	318	293	325	
公共交通機関や公共施設を結ぶ道路に視覚障害者誘導用ブ	1									
ロックを設置し、視覚障害のある	ウ									
方の積極的な社会参加を図る。	⑦成果:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	₹ 整備 5	累計延長	- /計画延長	%	<del>天根</del> 72.6	<del>天</del> 稹 74.1	<del>天</del> 稹 75.4		78.0	計画
だれもが、安全で快適に移動で		R5)18,6	63m/23,924m	/0	12.0	74.1	70.4	70.7	76.0	
きる道路環境の確保が図られ	-1									
る。	ウ									
	(2)事第	±のコフ	, L	14 /T	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(Z) <del>事</del> ョ	EU) - / /	NP	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0		0	0	0	0
視覚障害者誘導用ブロック等設置工事(市道1級11号線)		財源	都支出金	千円	1,800	1,637	8,669	1,535	2,100	0
	1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	事	訳	その他	千円	0	•	0	,	0	, , ,
	業費		一般財源	千円	4,679	3,533		3,085		
			業費計(A)	千円	6,479	5,170	11,260	4,620	6,890	0
			算現額(B)	千円	7,128	6,600	15,421	6,160	_	_
			亍率(A)/(B)	%	90.9%	78.3%	73.0%	75.0%	0.20 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	2		(证規   月給   時給) 規職員分	人 千円	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	0.00 0.00 0.00
	人   件			1	1,800	0	1,800	1,800	1,800	0
	費		·及正用蝦貝哥 件費計(C)	千円	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	0
	(3):			千円	8,279	6,970	13,060	6,420		0
L 2 評価の部		··· ·		1 1 1	0,210	0,010	10,000	0,120	0,000	
(1)全体総括(①事業の成果・	②改革•改	善. ③	課題·反省点)		一改善	きや見直しを図	引った	(2)事第	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性	【 イ:有	効性	ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他		ت ا	
(事業の成果) 立川市福祉のま	ちづくり指金	十に基へ	づき、計画的に	事業を	進め障害	のある方の	積極的な		削減維	持 増加
社会参加に寄与した。								向		
(課題・反省点) 議会や福祉団体	本からの要望	望が増え	えてきていること	とから、	関係機関	、関係部署	8等との調	成維		
整が多く見込まれる。								果 持		
								下		
								(廃止・	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革										
(3)今後の事業の方向性(改立川市福祉のまちづくり指針にないる。			誘導用ブロック	かを設け	置し、障害の	のある方の	積極的な社	社会参加が	図れること	に寄与し

令和 4 年度事後評価	<u>令和;</u>	<u>5年</u>	度 事務	<u>事業</u>	マネシ	<u> ジメン</u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令和	<u>和 5 年 6</u>	6 月作成
事務事業名 バリアフリー化推進	₫	_			所属部	まちづくり	部	課長名	卯月 寿-	
政策名 都市基盤•産業					所属課	道路課		係名	施設係	
施策名 道路環境の整備					予算科目	会計 1	款 8	項 2	目 3	事業 番号 2
基本事業名 人にやさしい道路環	境づくり			<b>も形態</b> <b>(</b> 選択可)		『委託 <b>∠</b>	/ 一部委託	補助・	助成	連携∙協働
事業期間 単年度繰返		根拠	道路法							
平成13 年度~		去令等	東京都福祉		ちづくり条 ちづくり指					
1     現状把握の部(1)事務事業		目的・			. り · ノ \ ソ 1 日	五1				
①事業概要	<ul><li>⑤対象</li></ul>			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
高齢者や障害のある方を含むあらゆる人たちの積極的な社会参			 する歩行者	人	_	_		_		
加を図るため、優先順位の高い		<u> </u>		\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\						<u> </u>
路線から、順次、道路の歩道段 差解消・路面の平坦性の確保	1									
等のバリアフリー化を行う。	ウ									
	⑥活動:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)		フリーイ	化路線整備累計	m	16,522					
バリアフリー化を進め、高齢者	が延長								·	
や障害のある方などあらゆる人 たちの安全で快適に移動できる										
にちの女主で快週に移動でさる 道路環境を確保する。	ウ				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑦成果:		- 31 - 42 -	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア   整備 9   17,98	累計处: /8m	長/計画延長	%	91.9	92.9	93.7	95.2	96.5	
利用者の安全性、利便性が保	1	<u> </u>								
たれ回遊性が向上する。	ウ									
					1104左座	50年曲	50左曲	5.4左曲	55 /F #	
	(2)事第	美のコス	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
市道2級9号線歩道段差解消等		財源	都支出金	千円	1,493	1,662	1,718	1,344	1,500	0
工事	1	┃ 源	地方債	千円	0	0	0	0	0	·
	事	訳 _	その他	千円						
	業費		一般財源	千円			1,877	1,852	11,378	
			業費計(A)	千円		3,563	3,595	3,196	12,878	0
			子算現額(B) 	千円 %	3,000 99.6%	4,000 89.1%	4,000 89.9%	4,000 79.9%		
		<u> </u>	.1丁华(A <i>)/</i> (B <i>)</i> 			0.20 0.00 0.00			0.20 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	②		E規職員分	千円			1,800	1,800	1,800	
	件		年度任用職員等		0	0	0	0	0	_
	費	人	、件費計(C)	千円	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	0
	3	総事業	美費(A)+(C)	千円	4,787	5,363	5,395	4,996	14,678	0
2 評価の部		<b>-</b> 6					·	/ 2 / 市 4	* ~ <del>+</del> 41	
(1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		_				₩ 見直しを図			美の方針 	7 L
※課題の有無 ア:目的妥当性 [ (課題がある場合によ)		_				オジ タク				スト    持   増加
(事業の成果) 立川市福祉のまち 動できる道路環境の確保が図られ		†に基	つさ計画的に事	・美で人	<b>進め、</b> だれい	もか、女生	で大地にた	同	111/1/24	19 1 1 1 1 1 1 1
		亡日ふぐ十円	ニーセーハスト	1.،۵,۲	日日 1公 1986月日	甲板如果	見ないの調	上   上		_
(課題・反省点) 議会や福祉団体 整が多く見込まれる。	かりい安ま	至か塩	えしさしいること	とかり、	,関係機関	、関係部名	<b>行寺とい</b> 師	成 集 持	(	$\supset$
								低下		
									休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	- 改善案	等)								
引き続き、立川市福祉のまちづく	り指針に基	長づき、	計画的に整備	を進め	うる。					

事務事業名 道路無電柱化事業	<b>直路無電柱化事業</b>						部	課長名	渕上 俊之	さ
政策名 都市基盤・産業					所属課	工事課		係名	工事第三	係
施策名 道路環境の整備					予算科目	会計 1	款 8	項 2	目 3	事業 7 番号 7
基本事業名 人にやさしい道路環	環境づくり		実施	形態	全音	『委託 <b>』</b>	/ 一部委託	補助・	助成	連携・協働
<b>当任</b> 唐編 迈			電線共同流	選択可) 甚の軽	 K備等に関	<u> </u>				
		根拠	無電柱化の				1 12 12			
市長公約 主要施策	O "	去令等								
1 現状把握の部(1)事務事業	美の概要・	目的·結界	₹∙活動∙成∶	果						
①事業概要 都市防災機能の向上を始め、	⑤対象	数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
バリアフリー化などの安全で快 適な歩行空間の創出及び都市	ア対象記	対象路線数			6	1	1	1	1	
景観の形成や向上を図る。ま	イ 事業を	事業延長			1,213	360	360	360	360	
た、良好な都市環境・住環境の形成を進める。	ウ									
	<b>⑥活動</b> :	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア着手	路線数		路線	0	1	1	1	1	
市道の無電柱化により、災害時の道路閉塞を防ぎ、歩行者の安	イ着手	路線延長		m	0	360	360	360	360	
全で快適な歩行空間を確保し、良好な景観を創出を図る。	ウ			単位	1104 /	D0 # #	D0 # #			D0 = ==
		成果指標			H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか) 無電柱化のネットワークを形成		完了路線数		路線	5	0	0	0	0	
し、良好な市街地環境が向上す		完了路線延	長(累計)	m	924	0	0	0	0	
る。	ウ									
	(2)事業	美のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)		国	庫支出金	千円	0	0	0	0	24,200	0
国及び東京都の無電柱化推進		財	都支出金	千円	26,758	17,489	5,995	0	19,800	0
計画を基本として、令和2年3月に策定した無電柱化推進計画	1	源 一	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
に位置付ける優先整備路線の	事	訳	その他	千円	0	0	0	0	0	0
市道1級1号線について、電線	業	-	一般財源	千円	0	0	0	4,186	101,221	0
共同溝整備に支障となる占用物件の移設を行った。	費	事業到	貴計(A)	千円	26,758	17,489	5,995	4,186		0
11 0219 12 2 13 27 20		予算理	現額(B)	千円	31,185	21,461	5,995	4,228	_	_
		執行率	(A)/(B)	%	85.8%	81.5%	100.0%	99.0%	_	_
	2	職員数征	規 月給 時給)	人	1.50 0.00 0.00	1.50 0.00 0.00	0.95 0.00 0.00	1.55 0.00 0.00	1.55 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人	正規	職員分	千円	13,500	13,500	8,550	13,950	13,950	0
	件	会計年度	任用職員等	千円	0	0	0	0	0	0
	費	人件	貴計(C)	千円	13,500	13,500	8,550	13,950	13,950	0
	3	総事業費	(A)+(C)	千円	40,258	30,989	14,545	18,136	159,171	0
2 評価の部										
(1)全体総括(①事業の成果・②	②改革•改	·善·③課題	園・反省点)		改善	きや見直しを図	<b>図った</b>	(2)事業	きの方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性	イ:有	効性	ウ:効率性		エ:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果)									削減維	持 増加
無電柱化推進計画に位置付けた設を行い、令和5年度の本体工										
較也们V: 节相5千及00本体工	ずり天心	(C[P]() /C4	戸畑で 延める		、事未りた	19 (C )/4(,	) /_0	成維		
								果 持 低		
									木止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	•改善案	等)								
東京都は、更なる無電柱化推進を活用し、立川市無電柱化推進										
いく。								, · < //> // ₩ HB/III	.1口、1正任。	
(市道1級1号線については、令利			- <del> </del>	1 1/ /	· ~ x 1/2 ===	→ r ~ mr./ r L C	AU/La /			

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート 令和 5 年 6 月作成

令和 4 年度事後評価	<b>市仙</b> (	<u> 구</u>	F度 事務等	<u>尹未</u>	ミイイン	ノアノ	トンー	<b>卜</b> 令	10 5 年 6	<u> 3 月作成</u>
事務事業名 水路管理					所属部	まちづくり	部	課長名	卯月 寿-	
政策名 都市基盤・産業					所属課	道路課		係名	維持係	
施策名 道路環境の整備					予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 3	事業 番号 13
基本事業名 適切な管理による道	路機能の	維持		<b>も形態</b>	全部	『委託 ●	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返		根拠	立川市水路	路条例	ij •					
平成14 年度~		去令等	地方自治療	去						
市長公約   主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業				里						
①事業概要	5対象			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
水路の境界確定や占用許可等に対応するとともに、補修、清掃										
等により適正な維持管理を行	ア水路行			m	29,851	29,793	29,769	29,752	29,752	
う。	<b>イ</b> 水路(	の利用	者	人		_		_	_	
	ウ									
	⑥活動:	指標		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	<b>,</b> 用水剂	青掃・草	草刈及びしゅんせ		実績	実績	実績	実績	計画	計画
水路施設を適正に維持管理し、	クの委託			1+	1	1	1	1	1	
水路の保全及び水路環境の向	1									
上を図る。	ウ									
	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア水路	上用許	可	件	<del>文</del> 根 7	6	9	8	8	BI E
水路環境の保全に取り組むこと	イ水路	 マ냆証	:明の交付	件	15	19	8	16	14	
で、水と緑などの自然を次世代			.91v2 X 11	'	10	10	Č	10	1.	
に引き継ぐ。	ウ			Щ						
	(2)事第	きのコ	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
用水清掃、草刈及びしゅんせつ		財	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
等委託 用水敷樹木せん定等委託	1	源内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
水路の境界確定	事	訳	その他	千円		0	0	0	0	
占用許可等の対応 用水護岸等修繕	業費		一般財源	千円	22,893	26,047	22,808	25,536	· ·	
	兵		事業費計(A)	千円	22,893	26,047	22,808	25,536	26,230	0
			予算現額(B)	千円	23,541	26,087	23,314	25,820	_	_
			l行率(A)/(B)	人	97.2%	99.8%	97.8% 2.38 0.60 0.00	98.9%	0.00 0.00 0.00	
	2		数﹝፲規 月給 時給﹞ 王規職員分	チ円	23,670	23,670	21,420	21,420	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人   件		工成職員刀 年度任用職員等		2,100	2,520	2,520	2,520	0	0
	費		件費計(C)	千円	25,770	26,190	23,940	23,940	0	0
	3		業費(A)+(C)	千円	48,663	52,237	46,748	49,476	26,230	0
2 評価の部						,			·	
(1)全体総括(①事業の成果・②	改革·改	善。③	)課題•反省点)		一改善	や見直しを図	引った	(2)事業	きの方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合によ)	イ:有	•			エ:公平性					スト 井 上海 加
(事業の成果)水路の補修や清掃 滅水路の払い下げが進んだ。	など適正な	よ維持	管理を実施し、フ	水路環	環境の保全	が図られた	こ。また、廃	向	門	持 増加
(課題・反省点)水路の補修や清掃							収に課題	上		
がある。占用料未納者に対しては	督促状の	送付	や電話等によりと	5用料	の徴収に	努めた。		成 維果 持		
								低		
								(肉山)	休止の場合は	+ 却 1 不 西 )
(3)今後の事業の方向性(改革	- 小美安学	生)						()充业。	个正の場口で	は配八小女/
水路境界管理業務については、			i 新地復旧に必要	<b>更な境</b>	界管理を行	テうためにん	は. 世界測	地系への和	多行も視野	に入れる
必要がある。	, C	~	101111111111111111111111111111111111111	~ 0.75	.,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	51 <b>(</b> D)  00		> 11 O DEF1	( - ) <b>(</b> ( ) ( )

令和 4 年度事後評価	<u>令和 5</u>	5 年度 事務	<u>事業</u>	マネシ	<u> ブメン</u>	トシ <u>ー</u>	ト <sub>令和</sub>	和 5 年 6	3 <u>月作成</u>
事務事業名 道路一般管理				所属部	まちづくり	部	課長名	卯月 寿-	
政策名 都市基盤・産業				所属課	道路課		係名	管理係	
施策名 道路環境の整備				予算科目	会計 1	款 8	項 2	目 1	事業 番号 2
基本事業名 適切な管理による道	路機能の		施形態	全音	『委託 ▶	一部委託	補助・	助成	連携·協働
事業期間 単年度繰返		根拠	(L) V (I) C						
年度~ 市長公約 主要施策		去令等							
1 現状把握の部(1)事務事業	<u> </u>	目的·結果·活動·成	果						
①事業概要 事務の効率的執行を図るため、	<b>⑤</b> 対象	数の推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予算等課内調整事務や道路占	ア市道の		km	302.7	303.9	307.7	308.7	310.6	
用申請、許可、道路の認定・廃 止などを行う。	イ 市道の		人		_	_	_	_	
正/なこ と 11 / o	ウ	(24,4) II-E							
		14 (m	,,,, ,,,	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活動技		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア道路の	の認定	件	5	5	1	2	3	
適正かつ効率的な予算執行や 適切な道路管理を行うことによ	<b>イ</b> 道路の	の廃止	件	2	3	0	0	2	
り、安全で快適に移動できる道	ウ								
路環境を確保する。	⑦成果	指標	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア道路に		件	<b>今</b> 4	948	1,015	1,034		
安全で快適に移動できる道路	1								
環境の確保が図られる。	ウ								
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			- te de		- > t= ptr
	(2)事業	美のコスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
予算の管理執行事務 道路占用申請、許可、占用料の		財都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
徴収、道路認定・廃止、道路の	1	内地方便	千円	0	0	0	0	0	0
区域決定、道路の供用開始	事	訳 その他 一般財源	千円	50 926	50 994	930	1,009	50 1,068	0
	費		千円	976	1,044	991	1,059	1,118	0
		予算現額(B)	千円	1,107	1,153	1,072	1,128		_
		執行率(A)/(B)	%	88.2%	90.5%	92.4%	93.9%	_	_
	2	職員数(正規   月給   時給	/ / /		2.10 0.80 0.00			2.20 0.80 0.00	
	人   件	正規職員分 会計年度任用職員等	千円	18,900	18,900 3,360	19,800 3,360	19,800 3,360	19,800 3,360	0
	費	人件費計(C)	千円	19,200	22,260	23,160	23,160		
	3	総事業費(A)+(C)	千円	20,176	23,304	24,151	24,219		0
2 評価の部		** 0 = = = 1.1.					1 - \ <del>- \</del> - \	k	
(1)全体総括(①事業の成果・②					きや見直しを図 ────		(2)事業	<b>€の方針</b> ── <del>──</del>	7.1
※課題の有無 (課題がある場合に) (事業の成果)安全で快適に移動		「効性」 ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	·の他		削減 維	<u>ヘト</u> .持 I 増加
(課題・反省点)道路法に基づき、	道路台帳	を保管し閲覧に供し、	また道	[路占用の	許可、徴収	事務などに	向上		
ついて、事務の効率化を進めるた	」め、電子位	化等の検討が必要で	ある。				上 成 維		
							果 持 低		
							下		
							(廃止・化	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革地域の活性ルタにぎわいの創出			おゆし	一田の安仏	がなてたい	月月 <i>七</i> 年86日	月レの油地・	ためり ツョ	H
地域の活性化やにぎわいの創出 を判断基準としながら適正かつ弾			<b>退</b> 路台	コ用の条件	かめるにめ	、関係機関	割との連携を	ど凶り、公夫	中的安东
引き続き、道路占用申請・許可、			の確保	に努める。					

<u>令和 4 年度事後評価</u>	<u> 令和</u>	5 £	<u> 丰度 事務</u>	<u>事業</u>	マネシ	ノメン	トシー	<b>卜</b> 令	<b>和 5 年 6</b>	<u> 3 月作成</u>
事務事業名 道路境界管理					所属部	まちづくり	部	課長名	卯月 寿-	_
政策名 都市基盤・産業					所属課	道路課		係名	測量係	
施策名 道路環境の整備					予算科目	会計 1	款 8	項 2	目 1	事業 3 番号 3
基本事業名 適切な管理による道	直路機能 <i>0</i>	)維持		形態 選択可)	全部	『委託 ●	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返 年度~	年度 .	根拠								
市長公約 主要施策		法令等	F							
1 現状把握の部(1)事務事業	€の概要・	目的	•結果•活動•成	果						
①事業概要 市民の土地利用に寄与するた	⑤対象	数の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
め、道路管理情報(境界確定の 状況・認定幅員等)の提供、道	ア市道	の利用	者	人	_	_	-	_		
路境界区域の確認・立会、証明	イ 市道	に隣接	受する土地所有者	人	-	_	-	_		
の交付及び道路台帳の補正を 行い、道路境界を適正に管理	ウ市道	の管理	<b>型延長</b>	km	302.7	303.9	307.7	308.7	310.6	
する。	⑥活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア道路	台帳及	なび調書の補正	m	3,167	2,477	8,479	2,680	4,545	
道路境界を適切に管理すること で、正確な道路管理情報が提	イ道路	の境界	中立会	件	5	4	5	6	5	
供できる。	ウ ⑦成果	指標		単位	H31年度	R2年度 宇徒	R3年度 忠徳	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)			 E明の交付	件	<b>実績</b> 257	<b>実績</b> 205	<b>実績</b> 252	<b>実績</b> 220	計画 226	計画
安全で快適に移動できる道路		-		件						
環境の確保が図られる。	イ ウ	証明()	ググ刊	14	34	37	51	22	37	
	(2)事	業の=	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)	(2)事		コスト	単位 千円						計画
道路区域証明、公道証明の交	(2)事	財			実績	実績	実績	実績	計画	計画 0
_	(2)事		国庫支出金	千円	<b>実績</b> 0	<b>実績</b> 0	<b>実績</b> 0	<b>実績</b> 0	計画 0	計画 0 0
道路区域証明、公道証明の交 付、認定・区域変更された市道	① 事	財源	国庫支出金 都支出金 地方債 その他	千円 千円 千円	実績       0       0       0       0       0	<b>実績</b> 0 0 0 0 0	<b>実績</b> 0 0 0 0 0	実績       0       0       0       0       0	計画 0 0 0 0	計画 0 0 0 0
道路区域証明、公道証明の交付、認定・区域変更された市道 の境界測量、道路台帳及び調	1	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 0 30,296	<b>実績</b> 0 0 0 0 29,567	<b>実績</b> 0 0 0 0 29,352	<b>実績</b> 0 0 0 0 21,194	計画 0 0 0 0 0 38,354	計画 0 0 0 0 0
道路区域証明、公道証明の交付、認定・区域変更された市道 の境界測量、道路台帳及び調	① 事 業	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	千円 千円 千円 千円 千円	実績 0 0 0 0 30,296 30,296	<b>実績</b> 0 0 0 0 29,567 29,567	<b>実績</b> 0 0 0 0 29,352 29,352	<b>実績</b> 0 0 0 0 21,194 21,194	計画 0 0 0 0 0 38,354 38,354	計画 0 0 0 0 0
道路区域証明、公道証明の交付、認定・区域変更された市道 の境界測量、道路台帳及び調	① 事 業	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B)	千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 0 30,296	<b>実績</b> 0 0 0 0 29,567	<b>実績</b> 0 0 0 0 29,352	<b>実績</b> 0 0 0 0 21,194	計画 0 0 0 0 0 38,354 38,354	計画 0 0 0 0 0
道路区域証明、公道証明の交付、認定・区域変更された市道 の境界測量、道路台帳及び調	① 事業費	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績 0 0 0 30,296 30,296 31,348 96.6%	<b>実績</b> 0 0 0 0 29,567 29,567 30,628 96.5%	<b>実績</b> 0 0 0 0 29,352 29,352 30,345	実績 0 0 0 0 21,194 21,194 22,464 94.3%	計画 0 0 0 38,354 38,354 —	計画 0 0 0 0 0 0
道路区域証明、公道証明の交付、認定・区域変更された市道 の境界測量、道路台帳及び調	① 事 業	財源内訳 華 員	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績 0 0 0 30,296 30,296 31,348 96.6%	<b>実績</b> 0 0 0 0 29,567 29,567 30,628 96.5%	実績 0 0 0 0 29,352 29,352 30,345 96.7%	実績 0 0 0 0 21,194 21,194 22,464 94.3%	計画 0 0 0 38,354 38,354 —	計画 0 0 0 0 0 0 
道路区域証明、公道証明の交付、認定・区域変更された市道 の境界測量、道路台帳及び調	①事業費 ②人件	財源内訳 華員	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 対行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給)	千円 千円 千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 30,296 30,296 31,348 96.6% 2.60 0.70 0.00	実績       0       0       0       0       29,567       29,567       30,628       96.5%       2.60     0.70     0.00	実績 0 0 0 29,352 29,352 30,345 96.7% 2.60 0.70 0.00	実績 0 0 0 21,194 21,194 22,464 94.3% 2.60 0.70 0.00	計画 0 0 0 38,354 38,354 — 2.60 0.70 0.00 23,400	計画 0 0 0 0 0 0 
道路区域証明、公道証明の交付、認定・区域変更された市道 の境界測量、道路台帳及び調	①事業費  ②人件費	財源内訳 華 員 計	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績 0 0 0 30,296 31,348 96.6% 2.60 0.70 0.00 23,400 2,450 25,850	実績       0       0       0       0       29,567       30,628       96.5%       2.60     0.70     0.00       23,400       2,940       26,340	実績       0       0       0       0       29,352       29,352       30,345       96.7%       2.60     0.70     0.00       23,400       2,940       26,340	実績       0       0       0       21,194       21,194       22,464       94.3%       2.60   0.70   0.00       23,400       2,940       26,340	計画 0 0 0 38,354 38,354 — 2.60 0.70 0.00 23,400 2,940 26,340	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
道路区域証明、公道証明の交付、認定・区域変更された市道の境界測量、道路台帳及び調書の補正、道路の境界立会	①事業費  ②人件費	財源内訳 華 員 計	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 対行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績 0 0 0 30,296 30,296 31,348 96.6% 2.60 0.70 0.00 23,400 2,450	実績 0 0 0 29,567 29,567 30,628 96.5% 2.60 0.70 0.00 23,400 2,940	実績 0 0 0 29,352 29,352 30,345 96.7% 2.60 0.70 0.00 23,400 2,940	実績 0 0 0 21,194 21,194 22,464 94.3% 2.60 0.70 0.00 23,400 2,940	計画 0 0 0 38,354 38,354 — 2.60 0.70 0.00 23,400 2,940 26,340	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
道路区域証明、公道証明の交付、認定・区域変更された市道の境界測量、道路台帳及び調書の補正、道路の境界立会	①事業費 ②人件費 ③	財源内訳 華員 計	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 対行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績 0 0 0 30,296 30,296 31,348 96.6% 2.60 0.70 0.00 23,400 2,450 25,850 56,146	実績       0       0       0       29,567       30,628       96.5%       23,400       2,940       26,340       55,907	実績 0 0 0 29,352 30,345 96.7% 2.60 0.70 0.00 23,400 2,940 26,340 55,692	実績 0 0 0 21,194 21,194 22,464 94.3% 2.60 0.70 0.00 23,400 2,940 26,340 47,534	計画 0 0 0 38,354 38,354 — 2.60 0.70 0.00 23,400 2,940 26,340 64,694	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
道路区域証明、公道証明の交付、認定・区域変更された市道の境界測量、道路台帳及び調書の補正、道路の境界立会  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	①事業費 ②人件費 ③ 改革・3	財源内訳 華員 計	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	実績 0 0 0 30,296 30,296 31,348 96.6% 23,400 2,450 25,850 56,146	実績 0 0 0 29,567 29,567 30,628 96.5% 2.60 0.70 0.00 23,400 2,940 26,340 55,907	実績	実績 0 0 0 21,194 21,194 22,464 94.3% 2.60 0.70 0.00 23,400 2,940 26,340 47,534	計画 0 0 0 38,354 38,354 2.60 0.70 0.00 23,400 2,940 26,340 64,694	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
道路区域証明、公道証明の交付、認定・区域変更された市道の境界測量、道路台帳及び調書の補正、道路の境界立会	①事業費 ②人件費 単 イ: なご する	財源内訳 戦 会 総 善 効と	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3)課題・反省点) りご 効率性	千千千千千千 % 人 千千千 十 , 持向	実績 0 0 0 30,296 30,296 31,348 96.6% 2.60 0.70 0.00 25,850 56,146  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実績	実績	実績 0 0 0 21,194 21,194 22,464 94.3% 2.60 0.70 0.00 23,400 2,940 26,340 47,534	計画 0 0 0 38,354 38,354 2.60 0.70 0.00 23,400 2,940 26,340 64,694	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
道路区域証明、公道証明の交付、認定・区域変更された市道の境界測量、道路台帳及び調書の補正、道路の境界立会  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に))で、当的妥当性(事業の成果)道路境界を適切に(改革・改善)道・水路台帳閲覧に(課題・反省点)市道の道路境界はほぼ確定して	① 事業費 ② 人件費 ③ ・ さ i す る ぶ 道 で が な が が が が が が が が が が が が が が が が が	財源内訳 乗員 計 事・性にが 域	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算現額(B) 対行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点) じずのスリム化につい に変更等があった。	千円円 千円円 千円円 千円円 千円円 十二十二 十二十二 十二十二 十二十二	実績	実績	実績	実績       0       0       0       21,194       21,194       22,464       94.3%       2.60 0.70 0.00       2,940       26,340       47,534   (2) 事業	計画 0 0 0 38,354 38,354 2.60 0.70 0.00 23,400 2,940 26,340 64,694	計画
道路区域証明、公道証明の交付、認定・区域変更された市道の境界測量、道路台帳及び調書の補正、道路の境界立会  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に)) ご路境界を適切に(改革・改善)道・水路台帳閲覧に(課題・反省点)	① <b>事業費</b> ② <b>人件費</b> ③ ・	財源内訳 乗員 計 事・性にが 域員	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算現額(B) 対行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点) に関連のののでである。 に関するに関する。	千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	実績	実績	実績	実績       0       0       0       21,194       22,464       94.3%       23,400       260 0.70 0.00       23,400       47,534       (2)事業       向上維持低	計画	計画
道路区域証明、公道証明の交付、認定・区域変更された市道の境界測量、道路台帳及び調書の補正、道路の境界立会  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合にン)ア:目的妥当性(事業の成果)道路境界を適切に(改善)道・水路台帳閲覧に(改善)道・水路台帳閲覧に(課題・反省点)市道の道路境界はほぼ確定して、路台帳及び調書の補正を行い、活	① <b>事業費</b> ② <b>人件費</b> ③ ・	財源内訳 乗員 計 事・性にが 域員	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算現額(B) 対行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点) に関連のののでである。 に関するに関する。	千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	実績	実績	実績	実績       0       0       0       21,194       22,464       94.3%       23,400       26,340       47,534       (2)事業       成果       低下	計画	計画

まりがよりはは、一人により、

窓口対応の迅速化を図るためには、全庁での地理情報システム導入検討に合わせ、道路管理情報の電子システム化を進める必要がある。

災害等の発災後の市街地復旧に必要な道路境界管理を行うためには、地籍調査や境界管理座標の世界測地系への移行も視野に 入れる必要がある。なお、地籍調査については、組織や人及び財政的な課題が大きい。

令和 4 年度事後評価	令和 5	5 年	F度 事務等	事業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令和	和 5 年 6	3 月作成
事務事業名 屋外広告物管理					所属部	まちづくり	部	課長名	卯月 寿-	_
政策名 都市基盤・産業	-	-	-		所属課	道路課		係名	管理係	
施策名 道路環境の整備					予算科目	会計 1	款 8	項 2	目 1	事業 4 番号
基本事業名 適切な管理による道	- 直路機能の	維持		<b>も形態</b>	全部	『委託 ✔	/ 一部委託	補助・	助成	連携・協働
<b>車業期間</b> 単年度繰返		根拠	屋外広告特	物法						
牛皮~		依拠 去令等	東京都屋外	外広告	f物条例					
市長公約   主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業	≛の概要・	日的•	<u></u> 結果・活動・成	果						
①事業概要	5対象数				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
まちの美観、風致の維持、道路の安全管理を考慮し、屋外広告	ア突出し			基	904		849	784		
物許可、違反広告物撤去、指		/ 目 1以日	汉旦奴	巫	704	005	040	F01	FO1	
導、道路占用(突出し看板)許可 業務を行う。	1									
X177 C 1 1 7 0	ウ									<u></u>
!	⑥活動排	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア屋外の数	去告物	申請審査許可件	件	都:203	都:181	都:195	都:172		н
広告物の掲出許可等や違反看		 章反広	告物撤去回数	□	市:163 114	市:167 132	市:157 73	市:184 27	市:169 77	
板を撤去することにより、安全で 快適に移動できる道路環境の	▲道路□	占用(突	に出し看板)新規	件						
深週に移動できる追路環境の 確保を図る。	・ノ許可作	牛数			42 <b>H31年度</b>	31 <b>R2年度</b>	9 <b>R3年度</b>	11 R4年度	17 <b>R5年度</b>	R6年度
	⑦成果技			単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア屋外に	左告物	許可総数	基	1,160	1,213	1,258	1,361	1,277	
良好な景観の形成し、風致を維持し、公衆に対する危険を防止			撤去枚数	枚	2,973	3,082	1,379	513	1,658	_ 
することが出来る。	ウ道路の総数	与用(突	号出し看板)許可	基	475	506	508	513	509	
!		<u> </u>		,,, , <u>,</u>	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)事業	そのコ.		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)		n.t	国庫支出金	千円			0	0		0
規定にあった広告物の掲出許可を進めた。		財源	都支出金	千円		0	0	0	_	0
1) EXENDICO	1	内	地方債	千円		Ŭ	0	0	Ŭ	0
!	事	訳	その他	千円		877 0	613	3,418 222	3,011	0
!	費	重		千円		877	613	3,640	Ů	0
!			予算現額(B)	千円	3,347	2,348	1,373	5,048		
!		_	i行率(A)/(B)	%	75.2%	37.4%	44.6%	72.1%		_
1	2	• •	数(正規   月給   時給)	人	0.69 0.00 0.80		0.69 0.80 0.00		0.69 0.80 0.00	0.00 0.00 0.00
!	人	Ī	E規職員分	千円	6,210	6,210	6,210	6,210	6,210	0
!	件員費					3,360	3,360	3,360	3,360	0
!			(件費計(C)	千円	· ·	9,570	9,570	9,570	· ·	0
2 評価の部	(3)	総事第	業費(A)+(C)	千円	9,927	10,447	10,183	13,210	12,581	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	つみ革・改		) 課題•反省点)		一改善	きや見直しを図	<b>∂</b> 1⊃t-	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 マーロ的平当性		_	ウ・・・ウ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			レ オ:そ		(2)	ا <u>ت</u> ر (در (در ا	スト
(課題がある場合によ)市民協働や違反広		_							削減 維	
告物の日」の制定など東京都を中								向上		
に貢献した。  (課題・反省点)パトロールによる指	旨導後も再	設置さ	される看板の対策	<b>乗が課</b>	題となって	いる。		成維持		
					~_			果  <u>持</u>  低		
								下		
								(廃止・位	休止の場合に	‡記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革			The Mark The Late				' ' na Ma		· */·	2.122.5
平成16年度から行っている市民な間パトロールによる指導を行う。ま										
市職員による行政指導を行う。	VCV 1 227.	L//// _	1001-1-1-1-1-1		• • • • • • • • • • • • • • • • • • •		□ 1/410., ↓.	C//y6C / , ,	X(=0, 0 1 )	LIH 207 .

令和 4 年度事後評価	令和	15	牛	<u> </u>	事	マネシ	ノメン	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	10 5 年 6	3 月作成
事務事業名 道路維持管理(道]	路課)					所属部	まちづくり	部	課長名	卯月 寿-	_
政策名 都市基盤・産業						所属課	道路課		係名	維持係	
施策名 道路環境の整備						予算科目	会計 1	款 8	項 2	目 2	事業 番号 1
基本事業名 適切な管理による道	<b>直路機</b> 能	との 維	辪		地形態 (選択可)	全部	『委託 🗸	一部委託	補助・	助成	連携·協働
事業期間 単年度繰返 年度~	年度		拠	道路法							
	<del>o</del>	法	令等								
1 現状把握の部(1)事務事業	美の概.	要・目	的∙糹	洁果·活動·成	果						
① <b>事業概要</b> 市道舗装補修、路面排水処理、	⑤対	象数	の推	移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
その他施設の維持管理や街路 樹、植込み地等のせん定・除	ア市	道利	用者		人	_	-	_			
草・病虫害・清掃、デッキの補修	1 市	道を追	通行す	でる車両	台	_	_	_			
工事等を行う。	ウ市	道の約	総延長	į.	km	302.7	303.9	307.7	308.7	310.6	
	⑥活	動指	標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア業	 務委詞	托		件	<b>大根</b> 18	18	15	18		
市道を計画的に整備・補修する	1										
ことにより、利用者に対して安 全・安心で快適な道路環境を確	ウ										
保する。	⑦成	果指	標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア業	務委詞	託		件	18	18	15	18		ш
管理・補修を進めることにより、	イ路	面補信	修整備	<b>備延長</b>	m	949.0	334.0	369.0	1,348.0	1,660.0	
安全・安心で快適な道路環境の向上が図られる。	ウ										
	(2)	事業(	カココ	? L	出上	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)=	サ末り			単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動) 共同溝保守点検業務委託			財	国庫支出金	千円	0	0	5,571	2,344		0
路面排水施設清掃委託		,	源	都支出金 地方債	千円	0	0	20,371	45,000	45,572	0
道路清掃委託 道路清掃等産業廃棄物処分委		①   [ 事   :	内 訳	その他	千円	6,894	7,502	8,038	7,754	8,013	
追	1	尹   『 集		一般財源	千円	462,890	453,293	460,769	453,954		
立川駅西側自由通路保守点検		<b>貴</b>	事:	<u></u>	千円	469,784	460,795	494,749	509,052		0
委託 植込地等除草及び清掃委託				算現額(B)	千円	523,794	505,928	530,042	622,257	—	_
(3件)			執行	亍率(A)/(B)	%	89.7%	91.1%	93.3%	81.8%	_	_
街路樹せん定等委託 (6件) 立川駅前ペデストリアンデッキ	(	2 崩	战員数	(正規 月給 時給)	人	5.82 0.65 0.00	5.82 0.85 0.00	5.87 0.85 0.00	6.17 0.85 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
他清掃委託			正	規職員分	千円	52,380	52,380	52,830	55,530	0	0
L型側溝清掃委託 立川駅南口デッキ施設補修工	1	牛 会	計年	度任用職員等	千円	2,275	3,570	3,570	3,570	0	0
事設計委託	1	<b>貴</b>	人	件費計(C)	千円	54,655	55,950	56,400	59,100	0	0
街路樹調查委託		③総	事業	費(A)+(C)	千円	524,439	516,745	551,149	568,152	688,855	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	の北革	. 小羊	<b>≛</b> .⊘∺	理題. 后少占\		一山油美	や見直しを図	10t-	(2) 車業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性								·の他	(2) ਜਾਸ		スト
(課題がある場合にと) (事業の成果)管理・補修を進めた									I		持 増加
									向		
(課題・反省点)主要市道をはじめ による倒木の危険性等への早急									成維		
への対応が困難となっている。	0171771	., ,,		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	2,3,,,	1-1-765(	7 (7)		果 持		
									低下		
										休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	i∙改善	案等	)								
まちづくりの進展に伴い道路ストラー見据えた持続可能な維持管理方						補装や道路	8付属施設	の維持管理	<b>里費が増加</b>	傾向にある	5。将来を

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	<u>5 年</u>	度 事務	事業	マネシ	<u> ジメン</u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	和 5 年 (	6 月作成
事務事業名 道路維持管理(工	事課)				所属部	まちづくり	部	課長名	渕上 俊	之
政策名 都市基盤・産業					所属課	工事課		係名	工事第二	<u>.</u> 係
施策名 道路環境の整備					予算科目	会計 1	款 8	項 2	目 2	事業 1番号 1
基本事業名 適切な管理による道	直路機能の	り維持		を形態 (選択可)	全部	<b>多託</b>	/ 一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 期間限定複数年度		根拠	道路法	(1共1八日)						-
平成23 年度~	年度	法令等								
市長公約     主要施策   ① 1 現状把握の部(1)事務事業	の概要	- 目的・	結果・活動・成	果						
①事業概要	<ul><li>5)对象</li></ul>			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
橋りょう長寿命化修繕計画及び 道路修繕計画に基づき、補修										
工事を行う。また橋りょう長寿命	ア無修	済み間	りょう数(累計)	基	3	3	3	3	5	
化修繕計画に基づき、5年ごと の定期点検を行う。	1									
*> \C\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	ウ									
	⑥活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア補修	工事件	 数	基	()		()	<u> </u>	3	
市道及び橋りょうについて修繕	1	_ , , ,	<i></i>							
計画に基づき補修工事を行うこ										
とで安全で安心な道路環境を確保する。	ウ				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑦成果			単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)			率(補修済み橋	%	5.9	5.9	5.9	5.9	9.8	
適正な管理を行うことで、安全で安心な道路環境を確保する。計	1									
画的な補修工事によって予算の	ウ									
平準化が図られる。	(=) =	alle a			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)事	業のコ	スト	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	4,950	8,580	5,170	9,657	53,570	(
市道1級10号線の路面補修工 事、富士見橋補修工事を行なっ		財源	都支出金	千円	52,818	27,876	63,003	47,509	54,515	
た。	1	内内	地方債	千円	0	0	0	0	0	· `
	事	訳	その他	千円				01.004		
	費	重		千円		47,251 83,707	9,865 78,038	31,824 88,990	189,685 297,770	
		-	子類明(A) 子算現額(B)	千円	175,860	88,994	86,522	89,477		_
			,行率(A)/(B)	%	90.5%	94.1%	90.2%	99.5%	_	_
	2		<b>数</b> (正規   月給   時給)	人	0.70 0.00 0.00	1.75 0.00 0.00			1.60 0.00 0.00	0.00 0.00 0.0
	人	Ī	E規職員分	千円	6,300	15,750	13,500	14,400	14,400	(
	件		年度任用職員等		0	0	0	0	0	(
			、件費計(C)	千円		-	13,500	14,400	14,400	ł — — — — — — — — — — — — — — — — — — —
2 評価の部	(3)	総事第	美費(A)+(C)	千円	165,441	99,457	91,538	103,390	312,170	(
(1)全体総括(①事業の成果・②	2.改革・3	女善・③	)課題•反省点)		改善	きや見直しを図	引った	(2)事業	きの方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性		▼ロ ) 有効性 [			工:公平性		の他		ī	スト
(事業の成果)	_	-							削減維	持 増加
市道1級10号線の延長467.5mの た。	路面補修	了工事、	富士見橋補修	工事を	:行うことに	より道路環	境が改善し			
/-0								成 集 持		)
								果 <u>  持</u>   低		
								下		
(0) 人 (4) (5) (5)	- <u> </u>	1 /r/r \						(廃止・1	休止の場合に	は記入不要
(3)今後の事業の方向性(改革			チョッケ 声 ショントー	+./=:	} [ -          - -	=	主 ムルゆい	全主に示す ファゴ	ま ベモ 井上 14	ナー・ナンル
補助事業の活用など財源を確保める。	9 るととも	に、行	州3年度に改定	ど仃つ	ハニュア川耳	7億りより長	<del>对</del>	善計画」にき	とつさ예修	:上事を進

令和 4 年度事後評価	令和	5 年度 事務	事業	ミマネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 5 年 (	6 月作成
事務事業名 都市軸維持管理				所属部	まちづくり	部	課長名	卯月 寿-	_
政策名 都市基盤・産業				所属課	道路課		係名	維持係	
施策名 道路環境の整備				予算科目	会計 1	款 8	項 2	目 2	事業 2
基本事業名 適切な管理による道	<b>直路機能</b> ∉		施形態		₩委託 •	/ 一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠 道路法	#X 134-1/\ P[]						
平成15 年度~       市長公約       主要施策	年度	法令等							
□ □ 氏公利   □   土	<u>l</u> の概要・		 t果						
①事業概要		数の推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
都市軸の除草や清掃を行うとともに、市が管理する共同溝を立	ア延長		m	548	548	548	548	548	
川市共同溝管理規定に基づき 適正な維持管理を行う。	イ面積		m²	21,900			21,900	21,900	
週上な飛行目生で11万。	1 国很		111	21,900	21,900	21,900	21,900	21,900	
	ウ			1101年度	R2年度	R3年度	D4年度	DE左曲	DG左由
	⑥活動	指標	単位	H31年度 実績	実績	実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア都市	軸清掃活動団体数	団体	11	11	11	11	11	
都市軸の維持管理を行うことに	<b>イ</b> 樹木	せん定等植栽管理	m²	610	610	610	610	610	
より、利用者が自由に憩える場 所として、また歩行空間として安	ウ								
全性を確保する。	⑦成果	 ·指標	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)		軸清掃活動		<b>実績</b> 24	<b>実績</b> 24	<b>実績</b> 24	<b>実績</b> 24	計画 24	計画
市民及び来街者の利便性・安			-						
全性が保たれ、まちのにぎわい		せん定等植栽管理	m²	610	610	610	610	610	
と回遊性の向上が図られる。	ウ								
	(2)事	業のコスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)		国庫支出金	千円			0	0	0	
立川駅前ペデストリアンデッキ		財都支出金	千円	1,650	52	0	0	0	0
他清掃委託(都市軸) 都市軸清掃活動	1	源 地方債	千円	0	0	0	0	0	0
立川市共同溝管理	事	訳 その他	千円		_				
	業費	一般財源	千円			·	5,662	5,776	
		事業費計(A) 予算現額(B)	千円			5,172 5,482	5,662 5,685	5,776 —	0
		執行率(A)/(B)	тп %	99.6%	99.7%	94.3%	99.6%	_	_
		職員数(正規   月給   時線			0.45 0.05 0.00			0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	<b>②</b> 人	正規職員分	千円	4,050	4,050	4,500	4,500	0	0
	件費	会計年度任用職員等	_		210	210	210	0	0
		人件費計(C)	千円	· ·		4,710	4,710	0	0
2 評価の部	(3)	)総事業費(A)+(C)	千円	9,180	9,702	9,882	10,372	5,776	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革・改	女善·③課題·反省点	)	一改善	<b>善り見直しを図</b>	引った	(2)事業	きの方針	
W-==== - +		有効性 ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果)適切な維持管理に。			_	性の確保。	<u></u> や回遊性の	向上が図		削減維	持増加
れた。							) 一 一 一		
							成 維 持		
							低 低		
							下	はよの担合さ	+会17元冊)
 (3)今後の事業の方向性(改革		!笑)					(発止・1	休止の場合に	ょ配八个安)
常に関心を持たれている場所で			ーー れてい	る。引き続き	き、適正な	管理を継続	する。都市	5軸沿道の	まちづくり
の進展に伴う、都市軸の利用状況				20 71 C 11960	_ , ,		- > <del>- &gt; 0                                    </del>	1511/2:7	
1									

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	<u>5</u> <u></u>	年度 事務	<u>事業</u>	マネシ	<u> ジメン</u>	トシー	ト 令利	和 5 年 6	δ 月作成
事務事業名 ロードサポーター事	<b>手業</b>			_	所属部	まちづくり	部	課長名	卯月 寿-	
政策名 都市基盤・産業					所属課	道路課		係名	維持係	
施策名 道路環境の整備					予算科目	会計 1	款 8	項 2	目 2	事業 3番号 3
基本事業名 適切な管理による道	i路機能(	の維持		<b>を形態</b>	全部	<b>水委託</b>	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返		根拠	立川市ロー		ポーター事	業実施要工	頁			
平成18 年度~	年度	法令								
1 現状把握の部(1)事務事業	の概要	·目的	<u></u> J·結果·活 <u>動·</u> 成	果 _						
①事業概要 アドプト制度により、地域の住民	⑤対象			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
団体・企業と市が協働し、ボラン	ア活動	路線引	延長	m	9,273	10,223	12,673	12,203	12,203	
ティアによる道路美化活動を行 う。(ごみや落ち葉の清掃、除草	イ認定	·····································	数(活動実績)	団体	14	15	20	21	21	
等)	ウ			+						
	<u>/</u> ⑥活動	htst		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
© 5 44					夫領	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア活動			m	9,273		12,673	12,203		
市道を地域の住民団体や企業 等による美化活動の支援をする		団体数	数(活動実績)	団体	14	15	20	21	21	<u> </u>
ことで、道路環境が改善し、潤 いと安らぎのある道路空間を創	ウ									<u> </u>
出する。	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	アごみ			袋	3,000		3,000	4,000		
参加者の身近な道路を大切に	イ認定	 :団体	数(活動実績)	団体	14	15	20	21	21	
する意識の向上とともに安全・安 心で快適な道路環境の向上が	ウ									
図られる。					1101左座	DO左曲	DO左曲	D.4 左 亩	DE左曲	DC 东庄
	(2)事	業のコ	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
ロードサポーター団体の認定 消耗品購入		財源	いる日並	千円	0	0	0	0	0	-
ごみ回収作業	1	内	地力領	千円			0	0	0	·
	事業	訳	その他	千円			365	368	409	
	費			千円		349	365	368	409	
			予算現額(B)	千円			415	374	_	_
		ij	執行率(A)/(B)	%	94.1%	100.0%	88.0%	98.4%		
	2		<b>] 数</b> (正規   月給   時給)			0.20 0.00 0.00			0.00 0.00 0.00	
	人		正規職員分	千円			2,700	2,700	0	, and
	件   費		+年度任用職員等 人件費計(C)	十円	1,800	1,800	2,700	2,700	0	_
	(3		<u>へ件負責((())</u> [業費(A)+(C)	千円			3,065	3,068	409	
2 評価の部		/11/16- 3	*X(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1 1 4	2,200	2,220	0,000	0,000		
(1)全体総括(①事業の成果・②						きや見直しを図 		(2)事業	きの方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合により]						オ:そ				スト :持 │ 増加
(事業の成果)地域住民団体や企業を大切にする意識の向上が図られ		し、迫	路の美化活動を	進める	ことにより、	,参加者の	身近な道路	自向	月1/火 小正	打造地
(C)	0, 20							上 成 維	<del>                                     </del>	
								果 持	(	
								低下		
									休止の場合に	‡記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革										
道路愛護意識の向上を図るために	こ、道路の	の美化	と活動の団体を増	やす	<u></u> 必要がある	···				

令和 4 年度事後評価	<u> </u>		<del>手</del> 務	<del>手</del> 未	マイン	<u> ノメ フ</u>	<u>トンー</u>	<u> </u>	1 5 年	<u>6 月作成</u>
事務事業名 子ども未来センター	一管理運	営事務			所属部	産業文化	スポーツ部	課長名	轟 誠悟	
政策名 都市基盤•産業					所属課	地域文化	課	係名	文化振興	
施策名 広域的な魅力の創	出と発信				予算科目	会計 1	款 2	項 1	目 6	事業 番号 22
基本事業名中心市街地の魅力	と回遊性の	)向上		地形態 (選択可)	✓ 全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助•	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返		根拠			来センター	·条例				
平成26 年度~	年度	去令等	<u> </u>							
1 現状把握の部(1)事務事業	•	目的・結り	<u>┃</u> 果・活動・成	果						
①事業概要		数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
子ども未来センターの維持管 理・運営を効率的に実施するこ		未来センタ							1.0 1/2	110 172
とにより、市民サービスを向上	<b>ア</b> 数	未来センク	ター来場者	日	359	359		365		
し、地域のにぎわいを創出する。		車場利用隊		人	325,143	164,037	193,893	243,438		
<b>υ</b> <sub>0</sub>	ウ									
	<b>⑥活動</b> :	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア子ども	未来センタ	ター開館日	日	359			365	пш	пш
施設を適切に管理運営し、子育		未来センク		人	325,143	164,037		243,438		
てや教育、文化芸術活動、市民		車場利用隊	余く)	八	323,143	104,037	195,695	243,436		
活動を支援できる環境を整える。	ウ				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑦成果		(No. 1. etc.)	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	<b>ア</b>  子ども	未来センク	ター貸室稼	%	58.2	44.0	49.4	56		
地域のにぎわいや、立川のまち	, 子ども	未来センタ		人	325,143	164,037	193,893	243,438		
の魅力の向上に寄与する。	ウ	. 毕. 物 个 1	ホヘノ							
					1104 F F	D0/F#	D0 7 #	D 4 / T / T	D5 /5 #5	D0/F#
	(2)事美	業のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)		-	庫支出金	千円	7,026	6,205	10,186	9,971	2,040	0
毎月の連絡調整会議等、指定管理者との協議を重ねるととも		財源	都支出金	千円	7,026	6,205	10,186	9,971	2,040	0
官理者との励識を重ねるとともに、モニタリングを行い、適切な	1	内	地方債	千円	0	0	-	0	0	_
施設管理を進めた。	事	訳	その他	千円				14,721	14,551	
	業費		一般財源	千円		· ·		118,528	148,887	0
		-	費計(A)	千円	144,282	144,568		153,191	167,518	0
			現額(B) 巫(A)/(B)	千円 %	150,166 96,1%	150,202 96.2%		157,080 97.5%		
			規   月給   時給)		0.20 0.00 0.00				0.20 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	② 人		職員分	千円	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	0
	件		任用職員等		0	0	0	0	0	
	費		費計(C)	千円	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	0
	3	総事業費	(A)+(C)	千円	146,082	146,368	147,799	154,991	169,318	0
2 評価の部		* @=m	77 - 40 E V			=		/a\ ± **	t a - 1 A I	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無						・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(2)事業	の方針	7 L
(課題がある場合に)	イ:有	ī効性	」ウ∶効率性		工:公平性	オ:そ	の他			スト :持   増加
(事業の成果) 新型コロナウイルス感染症対策を	実施しな	がら、徐々	にイベント等	節の再	開への対応	なを実施し	た。また、弓	向	111//2/ 1/11	110 2006
き続きコロナ理由によるキャンセル	レの使用料	全額還付	トを実施した	。新型	コロナウイ	ルス感染症		成 維		-
情報に注視して、施設の運営、感	条件的正义	一角にづい	【相比官理	白と理	255、肠刀(	ノ/こ <sub>0</sub>		果   持	(	
								低下		
									木止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	・改善案	等)								
指定管理者と連携して施設の効果			とともに、新	たな生	ご活様式に	おける子育	育て・市民活	動・文化芸	芸術活動の	支援機能
の充実、立川駅南口のにぎわい										

令和 4 年度事後評価	<u> 令和</u>	5 年度	<u> </u>	+ 美	マネン	<u> ノメン</u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	10 5 年 (	3 月作成
事務事業名 地域活性化戦略事	業				所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 広域的な魅力の創	出と発信				予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 番号 5
基本事業名中心市街地の魅力	と回遊性の	つ向上	実施 形		全部	<b>『委託</b>	一部委託	✔ 補助・	助成	連携∙協働
事業期間 単年度繰返 平成14 年度~		根拠								
	<del>平度</del> つ	去令等	上川市商工	観光	:団体補助	金交付要約	岡			
1 現状把握の部(1)事務事業	の概要・	目的·結果·	活動 成果	1						
①事業概要 地域商工振興関連団体による	⑤対象	数の推移	单	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
中心市街地活性化に対する取	ア商工	会議所	筐	箇所	1	1	1	1		
り組みに対して助成することで、 立川駅周辺地域の魅力を高め	1									
る。	ウ									
	⑥活動:	 指標	<u>ii</u>	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)				日	<b>実績</b> 27	<b>実績</b> 22	<b>実績</b> 22	<b>実績</b> 19	計画	計画
立川駅周辺の来街者を増加さ										
せることで、まちのにぎわいと地		ステージ開催		日	11	15		15		
域産業の活性化を図る。	•	テージ開催日初		日	51 <b>H31年度</b>	60 <b>R2年度</b>	52 <b>R3年度</b>	45 <b>R4年度</b>	R5年度	R6年度
	⑦成果:	指標 期間中の来街		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		朝间中の米街 • 主催者発表)	有(叩か) フ	万人	186	96	112	113		
地域資源を活かしたにぎわいの 創出につながる。	1									
M1111 - 2.8% 30	ウ									
	(2)事業	業のコスト	道	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)		国庫	支出金	千円	<b>入</b> 根	<b>入</b> 模	<b>大小</b> 兒	0	0	0
春季、秋季の花かざりや冬季の		財都		千円	0	0	0	0	0	0
イルミネーション等、サンサン ロードやJR立川駅自由通路等	1	I  ∧		千円	0	0	0	0	0	0
で行われる、「花のあるまち立 川」をPRするためのイベントや立	事	訳と		千円	0			0		
川駅南口の公共空間の活用に	業費			千円	3,526			4,000	4,000	0
対する事業に対し、補助を行った。		事業費		千円 千円	3,526 4,000	4,000 4,000	4,000 4,000	4,000 4,000	4,000	0
7-0		執行率(		%	88.2%	100.0%	100.0%	100.0%	_	_
	2	職員数(正規		人	0.04 0.00 0.00	0.04 0.00 0.00	0.04 0.00 0.00	0.04 0.00 0.00	0.04 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人	正規職	員分 न	千円	360	360	360	360	360	0
	件   費	会計年度任			0	0	0	0	0	0
		人件費		千円 千円	360	360	360	360	360	0
2 評価の部	3)	総事業費(A	)+(U)  ¬		3,886	4,360	4,360	4,360	4,360	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	改革∙改	(善・③課題・	·反省点)		改善	<b>や見直しを図</b>	引った	(2)事業	の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合によう]	イ:有	前効性 🔽 「	ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果) 事業を通じて中心市街地の魅力が	創出や活	性化につわれ	ぶった					向	削減維	持 増加
(課題・反省点)			-		0 2 4 11		S. L. Harr	上		
立川駅北口におけるGREEN SPR のにぎわい創出を民間事業者とと								成維持		
体的な施策に反映する必要がある		<u></u>	3,7,14	,,,,		, GH		低下		
									休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革										
商工会議所をはじめ、商店街関係 わせながら、より効果的な事業展			るとともに、	中心	市街地の	特性を活力	いした事業は	こついて、	まちづくりの	進展にあ
. 2 5.1 2 ( S. / //// KHJ. S T /K/KI	C H 1H	, 0								

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	5 年月	<u> 事務</u>	事業	マネシ	<u> ジメン</u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	和 5 年 6	6 月作成
事務事業名地域活性化戦略事	事業(まち	づくり戦略	<b>予事業補助金</b>	<b>È</b> )	所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤•産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 広域的な魅力の創	川出と発信	<u> </u>			予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 5番号 5
基本事業名中心市街地の魅力	と回遊性	の向上		<b>地形態</b>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	1 (122)	220/2-17	•					
平成26 年度~	年度 <b>O</b>	法令等	→ 川 丰 本 ·	工名工	/国体排出	ムカル画	· v			
1 現状把握の部(1)事務事業	_	·目的·結			「凹体補助	金交付要約	<b>河</b>			
①事業概要		数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
地域商工振興関連団体が行うまちづくり課題に対する自主的						112+12	110-12	117/2	八〇十八人	NO+/X
な取り組みに対し助成すること	<u> </u>	商工会議	<b>叶</b>	箇所	1	1	1	1		
で、立川駅周辺地域及び市内全域の魅力を高める。	1									
土場の意力を同める。	ウ									
	<b>⑥活動</b>	<b>力指標</b>		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)			実施するまち	件	4	3	3	<b>大</b> 根	可凹	可凹
まちづくり課題を地域商工振興	1 - 7	り課題に関	する事業		1			2		
関連団体が自ら取り組むこと	1									
で、持続可能なまちづくりの推進を図る。	ウ									
200	⑦成果	!指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア事業	報告書		件	4	3	3	2		
地域資源を活かしたにぎわいの	1									
創出につなげる。	ウ									
										<u> </u>
	(2)事	業のコスト	~	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	C
北口まちづくり事業(サンサン		財	都支出金	千円	0	0	0	0	0	C
ロード歩行者来街調査)、南口まちづくり事業(立川駅南口活用	1	源 一	地方債	千円	0	0	0	0	0	(
検討事業)を支援した。	事	訳	その他	千円		0	0	0	0	C
	業費		一般財源	千円			759	870	1,000	(
		争系	費計(A)	千円		986	759	870	1,000	C
			「現額(B) 	千円	1,900	1,550	1,502	1,000	_	
			<b>率 (A)/(B)</b> 	%	52.3%	63.6%	50.5%	87.0%	0.04 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	<b>②</b> 人		現職員分	千円			360	360		
	件		E任用職員等		0	0	0	0	0	0
	費		·費計(C)	千円	360	360	360	360	360	(
	(3	総事業費	(A)+(C)	千円	1,354	1,346	1,119	1,230	1,360	C
2 評価の部			DT - 4. L.			=		/a\ = 4	4 o <del>1</del> Al	
(1)全体総括(①事業の成果・②			_			きや見直しを図 ┏━━━		(2)事第	美の方針 	7 [
※課題の有無 ア:目的妥当性	1:	有効性	ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他			スト :持 ┃ 増加
(事業の成果) まちづくり課題に対する取り組み・	を支援す	ることで、	事業継続や回	可遊性	の向上、ま	らの活性化	とに寄与す	向	111///20 4/12	119
ることができた。								上 成 維		_
								果 持		
								低下		
									休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	ŭ•改善案	(等)								
商工会議所をはじめ、商店街関係			するとともに	、中心	が市街地の	特性を活か	っした事業は	こついて、	まちづくりの	び進展にあ
わせながら、より効果的な事業展	開を目指	す。								
•										

令和 4 年度事後評価	<b>市和</b> (	9 年	<del>里 一手                                   </del>	事 耒	マイン	ノメン	トンー	<b>卜</b> 令	10 5 年 6	6 月作成
事務事業名都市軸沿道地域企	2業誘致對	是励金交	付事業		所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	
施策名 広域的な魅力の創	J出と発信				予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 番号 16
基本事業名中心市街地の魅力	と回遊性の	向上		地形態 (選択可)	全音	<b>『委託</b>	一部委託	✔ 補助・	助成	連携∙協働
事業期間 単年度繰返 平成25 年度~		根拠	-							
市長公約 主要施策	<u> </u>	去令等	立川市都市	<b></b>	道地域企	業誘致条係	列			
1 現状把握の部(1)事務事業	美の概要・	目的·結	果·活動·成	果						
①事業概要 「立川市都市軸沿道地域企業	⑤対象	数の推移	<b>3</b>	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
誘致条例」に基づき、条例で定	ア対象	 事業者		社	5	4	1	2		
められた地区を取得した事業者 が指定企業として指定された場	1									
合、土地及び家屋にかかる固定										
資産税及び都市計画税の賦課 相当額の100分の50を奨励金と	ウ						20/2	5 · <del>/-</del> -		
旧当額の100分の50を奨励金と して交付する。	⑥活動:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア奨励金	金額		千円	79,289	24,819	15,438	98,885		
都市軸沿道地域への企業誘致	1									
により、にぎわいとやすらぎのある魅力的なまちづくりの進展と地	ゥ									
域経済の活性化を図る。		lt.lm		24 / I	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
-	⑦成果			単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア奨励金	金額		千円	79,289	24,819	15,438	98,885		
広域的な中核拠点として立川駅 周辺地域の魅力と回遊性を高	1									
める。	ウ									
	(0) 事*	* 0 - 7			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)争3	美のコス	`	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)		_	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
指定企業に対し、土地及び家 屋にかかる固定資産税及び都		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
市計画税の賦課相当額の100	1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	
分の50を奨励金として交付し た。	事業	訳	その他	千円		0	0	0	0	, ,
/_0	費	市业	一般財源	千円	79,289	24,819	15,438	98,885	·	
			費計(A) 互現額(B)	千円	79,289 79,290	24,819 24,820	15,438 15,439	98,885 99,198	98,886 —	0
			李(A)/(B)	%	100.0%	100.0%	100.0%	99,198	_	_
							0.26 0.00 0.00			0.00 0.00 0.00
	② 人		現職員分	千円	2,340	2,340	2,340	1,080	2,340	0
	件	会計年月	度任用職員等	千円	0	0	0	0	0	0
	費	人件	·費計(C)	千円	2,340	2,340	2,340	1,080	2,340	0
	3	総事業費	<b></b> (A)+(C)	千円	81,629	27,159	17,778	99,965	101,226	0
2 評価の部 (1) 合体総括(①東業のは思って	シャキット	<b>羊</b> ②==	155. ロルト)		7b ±	ᆂᄊᄝᆂᆝᆂᄧ	7 - t-	(2) 車型	きの方針	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 フ·日的妥当性						・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		(乙)事第		スト
※課題の有無   (課題がある場合によ)   (事業の成果)	イ∶有	※川生	ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他			持 増加
奨励金の交付条件である計画書								向		
力向上や活性化、雇用創出等、場審査に基づき適正に執行した。	地域貢献の	り取り組み	みを引き出した	と。奨	励金の交付	けについて	も、厳正な	<u>  上</u>		
田上に坐して週上に形110元。								成維果持		
								低下		
									休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	- 改善案	等)								
地域の産業関係団体はもとより、										
お、令和2年度に行った条例の-	一部以上に	より、同り	心域における	∵发()	ソ新たな開	発について	、は奨励金	の対象とし	/よv <u>ことと</u> !	<b></b>

令和 4 年度事後評価	令	`和 5	<u>5</u> 1	丰度	<u> </u>	事業	マネシ	ノメン	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	10 5 年 6	3 月作成
事務事業名プレミアム婚姻届	事業	É					所属部	総合政策	部	課長名	太田 勇	
政策名 都市基盤・産業							所属課	広報課		係名	シティプロモー	・ション推進係
施策名 広域的な魅力の	創出	と発信					予算科目	会計 1	款 2	項 1	目 2	事業 番号 11
基本事業名 観光資源を生かし	たに	ぎわい	の創	出		<b>も形態</b>		『委託 €	✓ 一部委託	補助・	助成	連携∙協働
事業期間単年度繰返			根拠	Į.	立川市プロ	ノミアム	ム婚姻届売	払い事務	取扱要綱			
平成28 年度~       市長公約     主要施策	年月		去令等									
1 現状把握の部(1)事務事	_	<u>↓</u> )概要・	目的	·結果	▸活動・成	果						
①事業概要	<u>(1</u>	5)対象			1223 174	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
手元に残るオンリーワンのプレミアム婚姻届を製作し、販売す		<b>ア</b> 婚姻/				件	1,374	1,105	1,025	983		
る。	I		田1疋口	山什奴		117	1,374	1,100	1,020	900		
また、より多くの方にプレミアム 婚姻届を利用してもらえるよう、		1										
市内事業者と協働してプロモー		ל										
ションを行う。	(	⑥活動	指標			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
2目的(対象をどのような状態にしたいのか	)	アプレミ	アムダ		 作成数	部	1,000			1,000	0	II II
結婚を控えた男女がプレミアム		たちか	わの	輝く個	店特典提	店舗	28	28	34	36	40	
な体験をすることで、本市のファンとなるとともに本市への来訪を		・ 供店舗 <b>う</b>	浦数(	3月31	日現在)	/H HM	20	20	04		-10	
増やす。							H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		7成果	指標			単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		アプレミ	アムケ	昏姻届.	販売数	部	1,189	852	669	483	550	
交流人口の増加と移住・定住者 の増により地域を活性化する。	-	<b>1</b> プレミ	アムケ	昏姻届:	提出件数	件	535	492	369	287	300	
の増により地域を佔1生化9つ。	r	ל										
	-						H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(	(2)事第	美の=	コスト		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)				国	車支出金	千円	0	0	0	0	0	0
・プレミアム婚姻届の製作及び販売			財源		7支出金	千円	0	0	0	0	0	0
・売払代金収納事務の委託		1	内		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
・SNS等によるプロモーション沿動	1	事業	訳	-	その他	千円		852	669	483	641	0
・輝く個店受賞店における特典		費	Ţ		-般財源 	千円	1,354 2,543	726 1,578	963 1,632	1,289 1,772	641	0
提供の調整  ・販売店の追加					lāi (A) 見額(B)	千円	2,543	1,576	1,672	1,672	— 041 —	_
・コロナ禍に伴うカップル応援					(A)/(B)	%	100.0%	98.9%	97.6%	106.0%	_	_
キャンペーンの実施 ・いい夫婦の日プロカメラマン振	1.7	2			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	人			0.50 0.00 0.10		0.75 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
影会の実施		人		正規聯	00000000000000000000000000000000000000	千円	6,480	4,950	4,500	6,750	6,750	0
・イベント時のプレミアム婚姻届 紹介		件	会計	年度信	壬用職員等	千円	0	200	200	0	0	0
<ul><li>・テレビ朝日「新婚さんいらっ</li></ul>		費			計(C)	千円	6,480	5,150	4,700	6,750	6,750	0
しゃい!」放送での紹介		3	総事	業費(	A)+(C)	千円	9,023	6,728	6,332	8,522	7,391	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・	<b>ク</b> は	5 苗•沙	*盖•(*	3 理器	f · 反名占)		✓ 改善	<b>きや見直しを図</b>	₹ -	(2)事業	の方針	
※課題の有無 ア・日的妥当性							エ:公平性		の他	(2) 7 7		スト
(課題がある場合にと) (事業の成果)「立川市プレミア、										5		持 増加
本市のイメージアップを図ってレ	る。	令和44	年度に	は、市	内のホテル	ペアイ	宿泊券や新	f鮮野菜等	をプレゼン	*     向		
トする「コロナ禍でもプレミアムなは、プロカメラマンによる撮影会										成権		
でのお渡しから大容量ファイル										果持低		
見直しを行った。 (課題・反省点)コロナ禍での婚	姻数	減少も	影響	し販売	数が減少	してい	る。販売数	が著しく減	沙している			
市外の方への認知獲得のための	の販	促活動	につ								木止の場合は	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改				,	H	/.:	- F 0: -			\s\		Little
マスメディアを活用して日本全国の事業者やプレミアム婚姻届を												
方法に重点を移す。今年度は、	販売	三数が著	すしく礼	咸少し	ている市外	にお	住まいの方	の認知獲	得のため、」	民間事業者	が持つ情	報発信ノ
ウハウを活用したプロモーション	を実	『施し、	今まで	で届け	られていな	かった	上層に向ける	たブレミアュ	ム婚姻届の	魅力の周昇	和及び利用	を促進す

513

る。

事務事業名	観光振興事業(補具	助金	を除く	<)			所属部	総合政策	部	課長名	太田 勇	
政策名	都市基盤•産業						所属課	広報課		係名	観光振興	係
施策名	広域的な魅力の創	出と	発信	,			予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 4	事業 1 番号
基本事業名	観光資源を生かした	こにき	ぎわい	の創	出	実施形態	全部	『委託 €	/ 一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間	単年度繰返			根拠	立川市	諏訪の森	広場条例					
		年度 <b>O</b>		去令等		諏訪の森	広場条例	施行規則				
市長公約 1 現状把据	┃  ┃主要施策┃ ( 星の部(1)事務事業	_	要•	月的	·結果·活動·	- 成果						
①事業概要				数の			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	者を受け入れるた ソフト両面の環境整				<b>ロア均乗車人</b>	**						
備をする。また	た、市の観光資源	<i>y</i>	(参考	.)		八	166,636	122,033				
	し、積極的な情報で、集客力を強化	1	市民(	年度1	1月1日)	人	184,090	184,577	185,124	185,483		
する。	て、未行力で活出	ウ										
		<b>6</b>	活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象を)	どのような状態にしたいのか)	ア			リンク特産品則	反売 日	<del>大</del> 根 –	<b>一</b>	— 大假 —	299		
	者が観光施設やイ				営業日数 に場使用数		7	30	1	1	5	
	ごし、立川に魅力				ボランティア育成で	т.	,	30				
で恐し、 神足	度が向上する。	')	修実	施回数		Ш	1 H31年度	R2年度	1 R3年度	l R4年度	0 <b>R5年度</b>	R6年度
		7	成果		, , , , dd, <del>-b,</del> F1 B	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのよ	うな結果に結び付けるか)	ア			トリンク特産品則 」販売者数	人 人	_	_	-	299	360	
	ページ向上及び市内 よる産業とまちの更	1	諏訪の	の森広	場使用数	日	7	30	4	4	5	
なる発展が図				てなし 受講者	ボランティア育	成人	11	6	3	5	0	
							H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		(2	) 争 🤊	業の=	コスト	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年月	度実績(事業活動)				国庫支出		0	0	0	0	0	0
1.14.11				1 H7	±77 <del></del>	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0.50			0	0	0
	ア女子旅推進事業トコンテスト 謎解き			財源	都支出金		250	0	0	0	0	U
の推進(フォ) イベント、発酵	トコンテスト、謎解き 哮ツーリズム)		1	源内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
の推進(フォ) イベント、発配 ・コトリンク1階	トコンテスト、謎解き 酵ツーリズム) 皆特産品販売&カ		事	源	地方債	千円	0 21	0 1,023	0 1,154	0 113	0	0
の推進(フォ) イベント、発酵 ・コトリンク1階 フェとの連携 ・立川市第3%	トコンテスト、謎解き 酵ツーリズム) 皆特産品販売&カ			源内訳	地方債 その他 一般財派	千円 千円 千円	0 21 1,994	0 1,023 4,402	0 1,154 3,180	0 113 223	0 4,018	0
の推進(フォ) イベント、発館 ・コトリンク1階 フェとの連携 ・立川市第3 議会の運営	トコンテスト、謎解き 酵ツーリズム) 皆特産品販売&カ … 次観光振興計画協		事業	源 内 訳	地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	千円 千円 千円 千円	0 21 1,994 2,265	0 1,023 4,402 5,425	0 1,154 3,180 4,334	0 113 223 336	0	0
の推進(フォ)イベント、発酵・コトリンク1階フェとの連携・立川市第3、議会の運営・立川市シェナ験やシェアサ	トコンテスト、謎解き 酵ツーリズム) 皆特産品販売&カ … 次観光振興計画協 アサイクル実証実 ナイクル観光連携推		事業	源内訳	地方債 その他 一般財派	千円 千円 千円 千円	0 21 1,994	0 1,023 4,402	0 1,154 3,180	0 113 223	0 4,018	0
の推進(フォーイベント、発酵・コトリンク1階フェとの連携3 ・立川市第3 ・立川市第3 ・立川市シェナサ ・立川市シェナサ 進事業との通	トコンテスト、謎解き 酵ツーリズム) 皆特産品販売&カ に 次観光振興計画協 アサイクル実証実 ナイクル観光連携推 連携		事業費	源内訳	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B)	千円 千円 千円 千円 千円 %	0 21 1,994 2,265 2,526 89.7%	0 1,023 4,402 5,425 6,200 87.5%	0 1,154 3,180 4,334 4,352	0 113 223 336 359 93.6%	4,018 4,018 ————	0 0
の推進(フォーイベント、発酵・コトリンク1階・フェとの市運が立りの市運が立り、変を変を変を変が、変を変が、変を変が、変を変が、変が、変が、変が、変が、変が、変が、変が、変が、変が、変が、変が、変が、変	トコンテスト、謎解き 酵ツーリズム) 皆特産品販売&カ … 次観光振興計画協 アサイクル実証実 ナイクル観光連携推		事業費②人	源内訳	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円	0 21 1,994 2,265 2,526 89.7%	0 1,023 4,402 5,425 6,200 87.5%	0 1,154 3,180 4,334 4,352 99.6% 1.47 0.00 0.00	0 113 223 336 359 93.6%	4,018 4,018 ————	0 0
の推進(フォーイベント、発酵・コトリンク1階・フェとの市運力で連携3:議会川の運が主が、 ・立川の車第3:議会川の車ができた。 ・立川の車ができた。 ・立川の車ができた。 ・おもでないまた。 ・おもてないまた。	トコンテスト、謎解き 酵ツーリズム) 皆特産品販売&カ に 次観光振興計画協 アサイクル実証実 ナイクル観光連携推 直携 に場の管理運営		事業費 ②人件	源内訳 韓 職員	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 執行率(A)/(B) 立 支 で 取でで は で 取で で り で り で り し り り し り り り り り り り り り	チ円 ・ 千円 ・ 千円 ・ 千円 ・ 分 ・ 大円 ・ 千円 ・ 手円	0 21 1,994 2,265 2,526 89.7% 1.04 0.00 0.00 9,360 0	0 1,023 4,402 5,425 6,200 87.5% 1.47 0.00 0.00 13,230	0 1,154 3,180 4,334 4,352 99.6% 1.47 0.00 0.00 13,230	0 113 223 336 359 93.6% 1.45 0.00 0.00 13,050	4,018 4,018 4,018 — — 1.45 0.00 0.00 13,050	0 0 0 0  0.00 0.00 0.00 0
の推進(フォーイント、発育・フィートリンの市ででは、発育では、発育では、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	トコンテスト、謎解き けつリズム) 音特産品販売&カ 語 特産品販売&カ 語 次観光振興計画協 アサイクル観光連携推		事業費 ②人件費	源内訳 華員 会計	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   日 正規職員分 年度任用職員 人件費計(C)	千円 千円 千円 千円 % (持給) 人 千円 長等 千円	0 21 1,994 2,265 2,526 89.7% 1.04 0.00 0.00 9,360 0	0 1,023 4,402 5,425 6,200 87.5% 1.47 0.00 0.00 13,230 0	0 1,154 3,180 4,334 4,352 99.6% 1.47 0.00 0.00 13,230 0	0 113 223 336 359 93.6% 1.45 0.00 0.00 13,050	4,018 4,018 1.45 0.00 0.00 13,050 0	0 0 0  0.00 0.00 0.00 0 0
の推進(フォーイン・大学では、アオールリンク1階では、一年では、一年では、一年では、一年では、一年では、一年では、一年では、一年	トコンテスト、謎解き 棒ツーリズム) 着特産品販売&カ … 次観光振興計画協 アサイクル観光連携推 上イクル観光連携推 直携の管理運営 ボランティア研修の 計製でディア研修の に対象でである。 に対象に対象である。 に対象で、 に対象で、 に対象で、 に対象で、 に対象で、 に対象で、 に対象で、 に対象で、 に対象で、 に対象で、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが		事業費 ②人件費	源内訳 華員 会計	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 執行率(A)/(B) 立 支 で 取でで は で 取で で り で り で り し り り し り り り り り り り り り	千円 千円 千円 千円 % ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	0 21 1,994 2,265 2,526 89.7% 1.04 0.00 0.00 9,360 0	0 1,023 4,402 5,425 6,200 87.5% 1.47 0.00 0.00 13,230	0 1,154 3,180 4,334 4,352 99.6% 1.47 0.00 0.00 13,230 0	0 113 223 336 359 93.6% 1.45 0.00 0.00 13,050	4,018 4,018 1.45 0.00 0.00 13,050 0	0 0 0 0  0.00 0.00 0.00 0
の推進(フォーイン・大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、	トコンテスト、謎解き ・	2)改建	事業費②人件費③	源内訳 華員 計	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   1 正規職員分 年度任用職員 人件費計(C) 業費(A)+(C	千円 千円 千円 ・千円 ・分 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0 21 1,994 2,265 2,526 89.7% 1.04 0.00 0.00 9,360 0 9,360 11,625	0 1,023 4,402 5,425 6,200 87.5% 1.47 0.00 0.00 13,230 0	0 1,154 3,180 4,334 4,352 99.6% 1.47 0.00 0.00 13,230 0 13,230 17,564	0 113 223 336 359 93.6% 1.45 0.00 0.00 13,050 0 13,050 13,386	4,018 4,018 1.45 0.00 0.00 13,050 0	0 0 0  0.00 0.00 0.00 0 0
の推進(フォーイン・大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、	トコンテスト、謎解き ・		事業費 ②人件費 ③ 改	源内訳 華員 計	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 政(正規   月給   1 正規職員分 ・年度任用職員 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円 千円 千円 千円 % (持給) 人 千円 千円 千円 (こ)	0 21 1,994 2,265 2,526 89.7% 1.04 0.00 0.00 9,360 0 9,360 11,625	0 1,023 4,402 5,425 6,200 87.5% 1.47 0.00 0.00 13,230 0 13,230 18,655	0 1,154 3,180 4,334 4,352 99.6% 1.47 0.00 0.00 13,230 0 13,230 17,564	0 113 223 336 359 93.6% 1.45 0.00 0.00 13,050 0 13,050 13,386	0 4,018 4,018 - - 1.45 0.00 0.00 13,050 0 17,068	0 0 0  0.00 0.00 0.00 0 0
の推進(フォーイン・大学では、アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・	トコンテスト、謎解き 棒ツーリズム) 皆特産品販売&カ … 次観光振興計画協 アサイクル観光連携推 連携 では、一	連携	事業費 ②人件費 ③ 改有業	源内訳 華員 会 善 強 あ あ あ の あ の あ の の の の の の の の の の の の	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   1 正規職員分 年度任用職員 人件費計(C) 業費(A)+(C 3)課題・反省 「ウ:効率 計一の方式	<ul><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>%</li><li>持給</li><li>八円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>六</li><li>木円</li><li>木円</li><li>ボケー</li></ul>	0 21 1,994 2,265 2,526 89.7% 1.04 0.00 0.00 9,360 0 9,360 11,625 レ 改善 エ:公平性	0 1,023 4,402 5,425 6,200 87.5% 1.47 0.00 0.00 13,230 0 13,230 18,655 まや見直しを図 オ:そ	0 1,154 3,180 4,334 4,352 99.6% 1.47 0.00 0.00 13,230 0 17,564	0 113 223 336 359 93.6% 1.45 0.00 0.00 13,050 0 13,050 13,386	0 4,018 4,018  1.45 0.00 0.00 13,050 0 13,050 17,068	0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0
の推進(フォーイン・大学では、アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・	トコンテスト、謎解き 棒ツーリズム) 者特産品販売&カ に 大観光振興計画協 アサイクル観光連携 ドイクル観光連携 に場のディアの観光連携 でディアのを が高いたのがである。 活(①事業の成果・() で令和2年度よりま とのまります。	連携 ほ施て	事業費 ②人件費 ③ 改 非業で	源内訳 華員 絵 善 対 あなな	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 致证規   月給   日 正規職員分 年度任用職員 人件費計(C) 業費(A)+(C 3)課題・反省 「一、効率 の方でた謎解き	千円 千円 千円 千円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0 21 1,994 2,265 2,526 89.7% 1.04 0.00 0.00 9,360 0 9,360 11,625 レ 改善 エ:公平性 送進事業は3つの事業	0 1,023 4,402 5,425 6,200 87.5% 1.47 0.00 0.00 13,230 18,655 まや見直しを図 オ:そ 、新型コロロをを実施しが	0 1,154 3,180 4,334 4,352 99.6% 1.47 0.00 0.00 13,230 0 17,564	0 113 223 336 359 93.6% 1.45 0.00 0.00 13,050 0 13,050 13,386	0 4,018 4,018 	0 0 0 0 0 0 0,00 0,00 0,00 0 0
のイ・フ・議・験進・・実東ン2 (大震響楽院事業) では、クリの市運・大変事話がでは、クリの市運・大変のでは、クリの市運ができません。 (1) には、クリの市運ができません。 (1) には、クリのでは、クリのでは、クリのでは、クリのでは、クリのでは、クリのでは、クリのでは、クリのでは、クリのでは、クリのでは、クリのでは、クリのでは、クリッグを、	トコンテスト、謎解き とアフト、 とおります。 はいます。 はいます。 といる。 はいます。 にいる。 はいます。 にいる。 にい。	連携 尾施て 案内系 終年	事業費 ② 人件費 ③ 改 有 業 て 口とた	源内訳 職 会 総 善 効 あな迷り	地方債 その他 一般財派 事業計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 政行率(B) 財政 開発 開発 日本	千円 千円 千円 千円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0 21 1,994 2,265 2,526 89.7% 1.04 0.00 0.00 9,360 0 9,360 11,625 レ 改善 エ:公平性 該進事業は 3つの事業 計るなど、余 負証が完了	0 1,023 4,402 5,425 6,200 87.5% 1.47 0.00 0.00 13,230 0 13,230 18,655 手や見直しを駆 まを実施しが がたな連携 でした。おも	0 1,154 3,180 4,334 4,352 99.6% 1.47 0.00 0.00 13,230 0 13,230 17,564 2つた ナウイルス た。東京観 が生まれ てなしボラ	0 113 223 336 359 93.6% 1.45 0.00 0.00 13,050 13,386 (2)事業	0 4,018 4,018 	0 0 0 0  0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 7 7 7 7 8 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9
のイ・フ・議・験進・・実東ン 2 ( ※ 標事楽情事子で、 ク連第堂シアの森な 光索シ 評全 題のでを表する。 一般では、 ク連第連シアの森な 光索シ ア ( 1 ) に、 ク連第連シアの森な 光索シ の ( 1 ) に、 ク連第連シアの森な 光索ジ の ( 2 ) の ( 1 ) に、 ク連第道シアの森な 光索シ の ( 2 ) に、 ク連第道シアの森な 光索シ の ( 3 ) に、 ク連第道シアの森な 光索シ の ( 3 ) に、 ク連第道と、 で、 の ( 4 ) に、 ア の ( 5 ) に、 の (	トコンテスト、 諸特達 特学の一リズム) 諸特産品販売&カ 語特産品販売&カ に大観光振興計画協 アサイクル観光連連 に大力のでである。 に大力のでは、 で大力のででは、 で大力のででは、 で大力のででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	連携で素内に素の	事業費 ② 人件費 ③ 改 有 業 て 口と た さ ま ま て 口と た さ	源内訳	地方債 その他 一般財源 事業計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数に規り月給し 正規職員分 年度費計(C) 業費(A)+(C) 業費(A)+(C) 3 課題・反当 声に対した。 「一般財源 を持ち、「一般財源 を持	千円 千円 千円 千円 % 十千円 % 十千円 ※ 千円円 ※ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0 21 1,994 2,265 2,526 89.7% 1.04 0.00 0.00 9,360 0 9,360 11,625 ビ 改善 エ:公平性 3つの事業は3つのど、業 発証が完了レプレイの	0 1,023 4,402 5,425 6,200 87.5% 1.47 0.00 0.00 13,230 0 13,230 18,655 まや見直しを図 オ:そ 気を実施しが がたな連携 いた。おも 併用で実が	0 1,154 3,180 4,334 4,352 99.6% 1.47 0.00 0.00 13,230 0 13,230 17,564 2つた ナウイルス た。東京観 が生まれ てなしボラ をした。交近	0 113 223 336 359 93.6% 1.45 0.00 0.00 13,050 13,386 (2)事業	0 4,018 4,018 	0 0 0 0  0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 7 7 7 7 8 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9
のイ・フ・議・験進・・実・東ン 2 ( 、 と 関係 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	トコンテスト、謎解き とアフト、 とおります。 はいます。 はいます。 といる。 はいます。 にいる。 はいます。 にいる。 にい。	連携で素内に素の	事業費 ② 人件費 ③ 改 有 業 て 口と た さ ま ま て 口と た さ	源内訳	地方債 その他 一般財源 事業計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数に規り月給し 正規職員分 年度費計(C) 業費(A)+(C) 業費(A)+(C) 3 課題・反当 声に対した。 「一般財源 を持ち、「一般財源 を持	千円 千円 千円 千円 % 十千円 % 十千円 ※ 千円円 ※ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0 21 1,994 2,265 2,526 89.7% 1.04 0.00 0.00 9,360 0 9,360 11,625 ビ 改善 エ:公平性 3つの事業は3つのど、業 発証が完了レプレイの	0 1,023 4,402 5,425 6,200 87.5% 1.47 0.00 0.00 13,230 0 13,230 18,655 まや見直しを図 オ:そ 気を実施しが がたな連携 いた。おも 併用で実が	0 1,154 3,180 4,334 4,352 99.6% 1.47 0.00 0.00 13,230 0 13,230 17,564 2つた ナウイルス た。東京観 が生まれ てなしボラ 短した。交近	0 113 223 336 359 93.6% 145 0.00 0.00 13,050 13,386 (2)事業 (2)事業	0 4,018 4,018  1.45 0.00 0.00 13,050 17,068 <b>(の方針</b>	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9
のイ・フ・議・験進・・実・東ン 2 ( ※課題業に、ン対シールと川の市ででは、ク連第三の大学のでは、ク連第三のでは、ク連第三のでは、ク連第三のでは、ク連第三のでは、のでは、ク連第三のでは、ク連第三のでは、ク連第三のでは、ク連第三のでは、ク連第三のでは、ク連第三のでは、ク連第三のでは、ク連第三のでは、ク連第三のでは、クラックでは、クラッをは、クラックでは、クラッをは、のでは、クラッとは、クラッをは、クラをは、クラッをは、クラをは、クラをは、クラをは、クラをは、クラをは、クラをは、クラをは、クラ	トコンテスト、記解き はいテスト、記解き はいた、このでは、 はいます。 はいまな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。	連携で案終年が	事業費 ②人件費 ③ 改 未業て口とで記	源内訳 職 会 巻 勢 あいまいる実	地方債 その他 一般財源 事業計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数に規り月給し 正規職員分 年度費計(C) 業費(A)+(C) 業費(A)+(C) 3 課題・反当 声に対した。 「一般財源 を持ち、「一般財源 を持	千円         千円         千円         千円         %         時齢         千円         千円         千円         ボット         点         上         が <t< th=""><th>0 21 1,994 2,265 2,526 89.7% 1.04 0.00 0.00 9,360 0 9,360 11,625 ビ 改善 エ:公平性 3つの事業は3つのど、業 発証が完了レプレイの</th><th>0 1,023 4,402 5,425 6,200 87.5% 1.47 0.00 0.00 13,230 0 13,230 18,655 まや見直しを図 オ:そ 気を実施しが がたな連携 いた。おも 併用で実が</th><th>0 1,154 3,180 4,334 4,352 99.6% 1.47 0.00 0.00 13,230 0 13,230 17,564 2つた ナウイルス た。東京観 が生まれ てなしボラ 短した。交近</th><th>0 113 223 336 359 93.6% 145 0.00 0.00 13,050 13,386 (2)事業 (2)事業</th><th>0 4,018 4,018 </th><th>0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9</th></t<>	0 21 1,994 2,265 2,526 89.7% 1.04 0.00 0.00 9,360 0 9,360 11,625 ビ 改善 エ:公平性 3つの事業は3つのど、業 発証が完了レプレイの	0 1,023 4,402 5,425 6,200 87.5% 1.47 0.00 0.00 13,230 0 13,230 18,655 まや見直しを図 オ:そ 気を実施しが がたな連携 いた。おも 併用で実が	0 1,154 3,180 4,334 4,352 99.6% 1.47 0.00 0.00 13,230 0 13,230 17,564 2つた ナウイルス た。東京観 が生まれ てなしボラ 短した。交近	0 113 223 336 359 93.6% 145 0.00 0.00 13,050 13,386 (2)事業 (2)事業	0 4,018 4,018 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート 令和 5 年 6 月作成

令和 4 年度事後評価

514

コトリンク特産品販売&カフェと連携し、特産品販売及び飲食物の提供を通じて、立川、多摩地域及び姉妹都市大町市の魅力発信を強化していく。来訪者に関する情報をより詳細にデータで把握し、施策や事業のPDCAを回す取り組みを推進する。新型コロナウイル

ス感染症による影響を注視しつつ、インバウンドの回復に合わせた観光振興施策を検討する。

事業期間   日午度緑返   根拠   法令等   根拠   法令等   上乗搬票   ○   日東採服要   ○   日東採服要   ○   日東採服要   ○   日東採服要   ○   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	令和 4 年度事後評価	令和 5	5 年度	事務	<u>事業</u>	マネシ	ジメン	トシー	ト <sub>令科</sub>	旬 5 年 6	3 月作成 <u></u>
議案名   次域的で魅力の創出と発信   東京   日   4											
本事集期間   本年度   本年度   本年度   本度   本度   本度   本度	政策名 都市基盤·産業					所属課	広報課		係名	観光振興	係
事業期間   日本学校区	施策名 広域的な魅力の創	川出と発信				予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 4	事業 1番号
## 類問 単年度 第四	基本事業名観光資源を生かした	こにぎわい	の創出			全部	<b>多</b>	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成・	連携•協働
重要機関	事 <b>耒期间</b> 昭和29 年度~		<b>根拠</b>			ć団体補助:	金交付要約	岡			
3)		O		注制,击	<del></del>						
の丁俊にとり、総会からな映画にたいのか 市民で表記者が、立川に更れる 魅力を続い、市内への砂容により、 主の東から発展を図る。 2 目的(対策とのような映画にたいのか) 市民で表記者が、立川に更れる 魅力を続い、市内への砂容により、 主のの東から発展を図る。 2 またの東から発展に認切けるの 地域食器を生かした最近施策を映画し、 やMCE協策を映画し、おりたし、 たかの東からとなが、といいのよりにあった 地域食器を生かした最近施策を映画し、 で外の上がラール及で発達し、 で外の上がラール及で発達し、 第2 まの東ハンアー参加者 を対したし、以下のか川製 デコンペンション協会実施事業 を対したいといった 部間の金を受れた、以下のか川製 デコンペンション協会実施事業 を対したい。 ・ 部間を実験(事業活動) 財 がカルンション協会実施事業 を対したい。 ・ 部間を対します。 ・ 一般財源 千円 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1 現状把握の部 (1)事務事第 ①事業概要					1101左座	50年前	50年前	D.4 左曲	25年帝	50年前
(金巻)   100,000   125,000   130,000   141,167   130	立川観光コンベンション協会へ									R5年度	R6年度
(6)活動指標   単位   131年度   R2年度   R3年度   実績   実績   実績   実績   実績   計画   130   1	の文援により、観光事業及び MICE事業を展開し、産業とまち の更なる発展を図る。			本 <del>华</del> 八纵	人	166,636	122,033	130,820	144,457		
2目的 消費をおような観測にたいのの		ウ									
市民や来訪者が、立川に更なる機力を感じ、満足度が向上する。また、中かへの誇常により、まちの変わる発展が図られる。		⑥活動	指標		単位						
能力を応じ、演足度が向上する。また、市内への高なにより。 また、市内への高なにより。 また、市内への高なにより。 また、市内への高なにより。 また、市内への高なにより。 できたいまなな機関には1947を放し、	②目的(対象をどのような状態にしたいのか)				団体	136	138	135	130	130	
3、また、市内への誘客により、 まちの東かる発展が図られる。	市民や来訪者が、立川に更なる	<b>イ</b> まちの	)案内ツアー シナル及び依	実施回数:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	口	11	2	2	7	10	
おりか 東小田 いかに   大きの東水の 発展が関われる。  おお果 (そのまが発展に傾いするか) 地域資源を生かした観光能質   大きの変)内人ツアー 参加者   大きの変)内人グアー 参加者   大きの変)内人グアー 参加者   大きの変)内人グアー をが成り   大きの変)内人グアー 参加者   大きの変)内人グアー かい   大きの変)   大きの変)内人グアー かい   大きの変)内人グアー かい   大きの変)内人グアー かい   大きの変)内人グアー かい   大きの変)内人グアー かい   大きの変)   大きの変)内人グアー かい   大きの変)内   大きの変)   大きの変)内	る。また、市内への誘客により、	<b>よ</b> まちの	)案内人オリ	ジナルツ	口	3	0	0	2	3	
空川のケーションサービス 本	まちの更なる発展か凶られる。	⑦成果	指標		単位						
大学の家内人ツアー参加者	③結果(どのような結果に結び付けるか)	撮影	実績数		本	_					
まらの要なる発展を図り、まち全体ににぎわいと経済波及効果を生み出す。	地域資源を生かした観光施策 やMICE施策を展開し、産業とま	イ まちの (オリシ	)案内人ツア ジナル及び依	(頼)	人	218	32	22	91	100	
体ににさわいと経済政及効果を 住み出す。	ちの更なる発展を図り、まち全	<b>」</b> まちの	)案内人オリ	ジナルツ	人	30	0	0	25	30	-
立川観光コンベンション協会に補助金を交付し、以下の立川観光コンベンション協会東華楽を支援した。組織体制の強化及び内部管理体制の整備・観光推進事業・大広報、調査研究事業・大広報、調査研究事業・大広報、調査研究事業・大広報、調査研究事業・大広報、調査研究事業・大「関連事業・大広報、調査研究事業・大「関連事業・大広報、調査研究事業・大「関連事業・大「関連事業・大「関連事業・大」な、関連事業・大「関連事業・大」な、関連を関係して、大」の「関係して、、」の「関係して、、、」の「関係して、、」の「関係して、、、」の「関係して、、」の「関係して、、」の「、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	体ににきわいと経済波及効果を生み出す。				単位						
#助金を交付し、以下の立川観 光コンペンション協会実施事業 を支援した。 ・組織体制の発作 観光推進事業 ・イベント関連事業 ・広報、調査研究事業 ・MICE推進事業では、海外から約100人ほどの参加があった国際北極研究 シンポジウムの支援を行った時間、た。対し、対しを必要ができた。MICE推進事業では、海外から約100人ほどの参加があった国際北極研究 シンポジウムの支援を行ったほか、国内PCOへの営業活動を開始した。 健園の合料年10月、九王子駅広に多摩地域最大規模のコペーンション協会の自主財原確保につながった。また、 原理的の参議者に対し ・MICE推進事業では、海外から約100人ほどの参加があった国際北極研究 シンポジウムの支援を行ったほか、国内PCOへの営業活動を開始した。 健別 合和4年10月、九王子駅広にを撃地攻魔人大規模のコペーンション協会の自主財原確保につながった。また、 原理動の参議者に対してい、本治者後得及び市内周 遊を促進することができた。MICE推進事業では、海外から約100人ほどの参加があった国際北極研究 シンポジウムの支援を行ったほか、国内PCOへの営業活動を開始した。 健別 合和4年10月、九王子駅広にを撃地攻魔人大規模のコペーンション施設「東京多摩未来メッセ」 がオープンした。併せて、本市MICE施策の根幹であった施設が令和5年12月で閉館となる。この点を考 値したMICE戦略の抜本的見直しが必要となる。 (3) 今後の事業の方向性(改革・改善案等) 立川観光コンペンション協会が掲げる以下の3つの重点施策に対して協力していく。 ① 助外からの「流入人日の促進まよび立川をHUBとした域外との交流人口の促進、②地域との繋がりおよびネットワークの強化、③	④令和4年度実績(事業活動)				千円	0	0	0	0	0	0
***	立川観光コンベンション協会に補助金を交付し、以下の立川観		酒			_			_	, ,	
・組織体制の強化及び内部管理体制の整備・総光推進事業・広報、調査研究事業・広報、調査研究事業・「大型、調査研究事業・「大型、調査研究事業・「大型、調査研究事業・「大型、調査研究事業・「大型、調査研究事業・「大型、調査研究事業・「大型、調査研究事業・「大型、調査研究事業・「大型、調査研究事業・「大型、調査研究事業・「大型、調査研究事業・「大型、調査を研究事業・「大型、調査を受け、「大型、調査を研究事業・「大型、調査を研究事業・「大型、調査を受け、「大型、関連の制度を関することが、「大型、関連の制度を関することが、「大型、関連の制度を関することができた。「大型、関連の関係を関係につながった。また、「関盟の有無」「ア:目の要当性」「大力・効率性」「大力・対理を関することができた。「大型、関連の対象に関係につながった。また、「関盟、「大型、関連の対象に関係につながった。また、「関係、大型、関連の対象に関係、「大型、関連の対象に関係、「大型、関連の対象に関係、「大型、関連の対象に関係、「大型、関連の対象に関係、「大型、関連の対象に関係、「大型、関連の対象に関係、「大型、関連の対象に関係、「大型、関連の対象に関係、「大型、関連の対象に関係、「大型、関連の対象に関係、「大型、関連の対象に関係、「大型、関連の対象に関係、「大型、関連の対象に関係、「大型、関連の対象に関係、「大型、関係、関係、「大型、関係、関係、「大型、関係、関係、「大型、関係、関係、「大型、関係、関係、「大型、関係、関係、「大型、関係、関係、「大型、関係、関係、「大型、関係、関係、関係、関係、「大型、関係、関係、関係、「大型、関係、関係、「大型、関係、関係、関係、関係、「大型、関係、関係、「大型、関係、関係、関係、「大型、関係、関係、関係、「大型、関係、関係、関係、「大型、関係、関係、関係、「大型、関係、関係、「大型、関係、関係、関係、関係、関係、関係、関係、「対域、関係、関係、関係、「対域、関係、関係、関係、関係、関係、関係、関係、関係、関係、関係、関係、関係、関係、	光コンベンション協会実施事業		内			Ü		-			
理体制の整備 ・観光推進事業 ・		事	147 (				U	_	-		_
・	理体制の整備						0		·	·	Ů
・					-				,		_
*MICE推進事業	•広報、調査研究事業								·	_	_
大性	・MICE推進事業	2			人	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00			0.45 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		人	正規職	<b>战員分</b>	千円	0	0	900	4,050	4,050	0
大件資計(C)   下内   0   900   4,030   4,030   0   3総事業費(A)+(C)   千円   0   0   10,530   21,043   25,870   0   2   評価の部   (1)全体総括(①事業の成果・②改革・改善・③課題・反省点)   ✓ 改善や見直しを図った   ※課題の有無   「ア:目的妥当性   「イ:有効性   「ウ:効率性   「エ:公平性   オ:その他   「コスト   削減   維持   増加   単非の成果)(改革・改善) ドラマや映画、CM等の撮影支援を行う「立川ロケーションサービス事業」は   1   1   1   1   1   1   1   1   1						0	0	_	_	Ŭ	0
(1)全体総括(①事業の成果・②改革・改善・③課題・反省点)  (**)・ファン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											Ü
(1)全体総括(①事業の成果・②改革・改善・③課題・反省点)  ※課題の有無  ア:目的妥当性  イ:有効性  グ:効率性  エ:公平性  オ:その他  (課題がある場合により)  ア:目的妥当性  イ:有効性  グ:効率性  エ:公平性  オ:その他  「関連なる場合により  (2)事業の方針  コスト  削減 維持 増加  「検影支援を行った映画作品とタイアップしたロケ地マップや展示企画を行い、来街者獲得及び市内周  遊を促進することができた。MICE推進事業では、海外から約100人ほどの参加があった国際北極研究 シンボジウムの支援を行ったほか、国内PCOへの営業活動を開始した。  (課題) 令和4年10月、八王子駅近くに多摩地域最大規模のコンベンション施設「東京多摩未来メッセ」  がオープンした。併せて、本市MICE施策の根幹であった施設が令和5年12月で閉館となる。この点を考慮したMICE戦略の抜本的見直しが必要となる。  (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等)  立川観光コンベンション協会が掲げる以下の3つの重点施策に対して協力していく。 ①域外からの「流入」人口の促進および立川をHUBとした域外との交流人口の促進、②地域との繋がりおよびネットワークの強化、③	2 証価の部	(3)	総事業費(/	A)+(C)	千円	0	0	10,530	21,043	25,870	0
※課題の有無 ア:目的妥当性 イ:有効性 レウ:効率性 エ:公平性 オ:その他 (事業の成果)(改革・改善) ドラマや映画、CM等の撮影支援を行う「立川ロケーションサービス事業」は 昨年度に引き続き支援実績を重ね、立川観光コンベンション協会の自主財源確保につながった。また、撮影支援を行った映画作品とタイアップしたロケ地マップや展示企画を行い、来街者獲得及び市内周遊を促進することができた。MICE推進事業では、海外から約100人ほどの参加があった国際北極研究シンポジウムの支援を行ったほか、国内PCOへの営業活動を開始した。 (課題) 令和4年10月、八王子駅近くに多摩地域最大規模のコンベンション施設「東京多摩未来メッセ」がオープンした。併せて、本市MICE施策の根幹であった施設が令和5年12月で閉館となる。この点を考慮したMICE戦略の抜本的見直しが必要となる。 (3) 今後の事業の方向性(改革・改善案等) 立川観光コンベンション協会が掲げる以下の3つの重点施策に対して協力していく。 ①域外からの「流入」人口の促進および立川をHUBとした域外との交流人口の促進、②地域との繋がりおよびネットワークの強化、③		②改革・改	· 善· ③課題	• 反省点)		レ改善	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<b>コ</b> った	(2)事業	の方針	
(事業の成果)(改革・改善) ドラマや映画、CM等の撮影支援を行う「立川ロケーションサービス事業」は昨年度に引き続き支援実績を重ね、立川観光コンベンション協会の自主財源確保につながった。また、撮影支援を行った映画作品とタイアップしたロケ地マップや展示企画を行い、来街者獲得及び市内周遊を促進することができた。MICE推進事業では、海外から約100人ほどの参加があった国際北極研究シンポジウムの支援を行ったほか、国内PCOへの営業活動を開始した。(課題) 令和4年10月、八王子駅近くに多摩地域最大規模のコンベンション施設「東京多摩未来メッセ」がオープンした。併せて、本市MICE施策の根幹であった施設が令和5年12月で閉館となる。この点を考慮したMICE戦略の抜本的見直しが必要となる。  (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等) 立川観光コンベンション協会が掲げる以下の3つの重点施策に対して協力していく。 ①域外からの「流入」人口の促進および立川をHUBとした域外との交流人口の促進、②地域との繋がりおよびネットワークの強化、③	※課題の有無 ア・日的平当性										スト
昨年度に引き続き支援実績を重ね、立川観光コンベンション協会の自主財源確保につながった。また、撮影支援を行った映画作品とタイアップしたロケ地マップや展示企画を行い、来街者獲得及び市内周遊を促進することができた。MICE推進事業では、海外から約100人ほどの参加があった国際北極研究シンポジウムの支援を行ったほか、国内PCOへの営業活動を開始した。(課題)令和4年10月、八王子駅近くに多摩地域最大規模のコンベンション施設「東京多摩未来メッセ」がオープンした。併せて、本市MICE施策の根幹であった施設が令和5年12月で閉館となる。この点を考慮したMICE戦略の抜本的見直しが必要となる。  (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等) 立川観光コンベンション協会が掲げる以下の3つの重点施策に対して協力していく。 ①域外からの「流入」人口の促進および立川をHUBとした域外との交流人口の促進、②地域との繋がりおよびネットワークの強化、③	(課題かめる場合に✔)			·		-			<b>-</b>	削減維	持 増加
臓を促進することができた。MICE推進事業では、海外から約100人ほどの参加があった国際北極研究シンポジウムの支援を行ったほか、国内PCOへの営業活動を開始した。 (課題) 令和4年10月、八王子駅近くに多摩地域最大規模のコンベンション施設「東京多摩未来メッセ」がオープンした。併せて、本市MICE施策の根幹であった施設が令和5年12月で閉館となる。この点を考慮したMICE戦略の抜本的見直しが必要となる。 (3) 今後の事業の方向性(改革・改善案等) 立川観光コンベンション協会が掲げる以下の3つの重点施策に対して協力していく。 ①域外からの「流入」人口の促進および立川をHUBとした域外との交流人口の促進、②地域との繋がりおよびネットワークの強化、③	昨年度に引き続き支援実績を重	ね、立川観	見光コンベン	ション協会	の自	主財源確保	限につなが.	った。また、		ı	$\circ$
シンポジウムの支援を行ったほか、国内PCOへの営業活動を開始した。 (課題) 令和4年10月、八王子駅近くに多摩地域最大規模のコンベンション施設「東京多摩未来メッセ」 がオープンした。併せて、本市MICE施策の根幹であった施設が令和5年12月で閉館となる。この点を考慮したMICE戦略の抜本的見直しが必要となる。 (第2)今後の事業の方向性(改革・改善案等) 立川観光コンベンション協会が掲げる以下の3つの重点施策に対して協力していく。 ①域外からの「流入」人口の促進および立川をHUBとした域外との交流人口の促進、②地域との繋がりおよびネットワークの強化、③									成維		
がオープンした。併せて、本市MICE施策の根幹であった施設が令和5年12月で閉館となる。この点を考慮したMICE戦略の抜本的見直しが必要となる。  (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等) 立川観光コンベンション協会が掲げる以下の3つの重点施策に対して協力していく。 ①域外からの「流入」人口の促進および立川をHUBとした域外との交流人口の促進、②地域との繋がりおよびネットワークの強化、③	シンポジウムの支援を行ったほか	、国内PC	Oへの営業	活動を開始	始した	-0					
(3) 今後の事業の方向性(改革・改善案等) 立川観光コンベンション協会が掲げる以下の3つの重点施策に対して協力していく。 ①域外からの「流入」人口の促進および立川をHUBとした域外との交流人口の促進、②地域との繋がりおよびネットワークの強化、③	がオープンした。併せて、本市MI	ICE施策の	根幹であっ						下		
立川観光コンベンション協会が掲げる以下の3つの重点施策に対して協力していく。 ①域外からの「流入」人口の促進および立川をHUBとした域外との交流人口の促進、②地域との繋がりおよびネットワークの強化、③									(廃止・位	木止の場合に	は記入不要)
①域外からの「流入」人口の促進および立川をHUBとした域外との交流人口の促進、②地域との繋がりおよびネットワークの強化、③					11 1	オ上ューン	,				
	①域外からの「流入」人口の促進	および立り	川をHUBとし					との繋がり	およびネッ	トワークの	強化、③

令和 4 年度事後評価	<u> </u>	<u>5 1</u>	丰度 事務	争耒	ミマイン	<u> </u>	トンー	<b>卜</b> 令和	1 5 年 6	6 月作成
事務事業名立川まつり国営昭	和記念公	園花	火大会の開催		所属部	総合政策	部	課長名	太田 勇	
政策名 都市基盤・産業					所属課	広報課		係名	観光振興	係
施策名 広域的な魅力の創	]出と発信	Ì			予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 4	事業 番号 2
基本事業名観光資源を生かした	こにぎわい	の創		<b>施形態</b>	全音	<b>『委託</b>	一部委託	✓ 補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	- カ川市商		<b>台田体補助</b>	金交付要約	岡			
昭和29 年度~	年度 <b>O</b>	法令等								
市長公約     □     □     主要施策       1 現状把握の部(1)事務事業	_	- 日的	────┃ ・結果・活動・成	里						
①事業概要	5対象			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市内最大の集客イベントである花火大会の開催にあたり、花火	ア市民			人	184,090		185,124	185,483		
大会実行委員会の運営を支援			日平均乗車人数							
する。	1 (参表			人	166,636	122,033	130,820	144,457		
	ウ									
	<b>⑥活動</b>	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア会議	開催数	 数	口	6		2	2	2	
花火大会の開催により、まちの	1									
にぎわいを創出するとともに市 内産業の振興が図られる。ま	ゥ									
た、市民や来訪者の満足度が	⑦成果	七十二		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
向上する。					実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか) 花火大会を通じて、宿泊施設、		大会2	公園内来園者数	万人	26	0	0	0	26	
飲食店、関連商品を扱う商店な	1									
ど、まち全体へにぎわいと経済 波及効果を生み出す。	ウ									
(及及別末で主が山り。	(2)事	業の=	コスト	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
			国庫支出金	千円	<b>実績</b> ()	<b>実績</b>	<b>実績</b> ()	<b>実績</b> ()	計画 ()	計画
花火大会実行委員会を支援し、		財	都支出金	千円	0		0	0	0	0
花火大会を実施する予定だった		源	地方債	千円	0		0	0	0	Ŭ
が、新型コロナウイルス感染症 の影響により中止となった。代わ	事	内訳	その他	千円	0	0	0	0	0	0
りに、実行委員会として「サプラ	業	" (	一般財源	千円	17,841	0	1,211	1,201	18,171	0
イズ花火」を実施した。	費	3	事業費計(A)	千円	17,841	0	1,211	1,201	18,171	0
			予算現額(B)	千円	17,841	0	1,212	1,202	_	_
		+	执行率(A)/(B)	%	100.0%	0.45	99.9%	99.9%		_
	2		数(正規   月給   時給 正規職員分	人 千円	0.26 0.00 0.00 2,340	1,350	0.15 0.00 0.00 1,350	2,250	2,250	
	人件		正祝峨貝刀 ·年度任用職員等		2,340	1,350	1,350	2,250	2,250	
	費			千円	2,340	1,350	1,350	2,250	2,250	ŭ
	(3		業費(A)+(C)	千円		1,350	2,561	3,451	20,421	0
2 評価の部							-			
(1)全体総括(①事業の成果・②						きや見直しを図 		(2)事業	(の方針 —-	21
※課題の有無 ア:目的妥当性			<b>レ</b> ウ:効率性		工:公平性		つ他		削減 維	スト 持 増加
(事業の成果) 依然として新型コ 人流の抑制や安全・安心な大会									11142V VE	
けて、これまでにご尽力いただい	てきた皆	様や医	医療従事者などコ	ニッセン	/シャルワー	ーカーへの	感謝の気持	اـــا اــــا		
ちと新型コロナウイルス感染症の 員会により「サプライズ花火」が行	われた。									
(課題・反省点)物価高の影響でおり、不足分を補う収入確保が必	花火打上			や会場	等設営関	係費が大き	きく増加して			
407、小足力で冊7収八唯体が化	女にはつ	CV 'S	<b>7</b> 0						木止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	□・改善案	等)								
令和5年度以降、感染症法上に										
機運が高まってきている。引き続 が見込まれる花火大会を安全に					トン ンヨン 筋	か云寺の関	理凹体と情	報共有し、	プラ、大勢	の米街石
· · · · ·	_									

令和 4 年度事後評価	令和 5	5 左	F度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	ト <sub>令</sub> :	和 5 年	6 月作成
事務事業名キャラクター活用	事業				所属部	総合政策	部	課長名	太田 勇	
政策名 都市基盤・産業					所属課	広報課		係名	観光振興	<del></del> 保
施策名 広域的な魅力の創	削出と発信				予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 4	事業 3番号 3
基本事業名観光資源を生かした	たにぎわい	の創		形態	全音	『委託 6	/ 一部委託	補助	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返 平成24 年度~		根拠	立川市キャ				_  に関する雰  に関する雰			<u>-</u>
市長公約	<del>\frac{\fin}}}}}}{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac}{\frac{\frac{\frac{\frac}{\fint}}}}}}}{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac}}}}}}}{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac}}}}}}}{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac}}}}}}{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac}{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac}}}}}}{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{\frac{</del>	去令等	<u> </u>	1777	V / /   <b>V</b> /	3° 7° 7 12/1	1(C \$) 7 3/3	<b>之</b> 州町		
1 現状把握の部(1)事務事業	業の概要・	目的	·結果·活動·成	果						
①事業概要	⑤対象	数の	 推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
イベントや広報等、様々な機会でキャラクターを活用し、まちの	ア市民	在度1	月1日)	人	184,090	184,577	185,124	185,483		
魅力を効果的にPRするため、く		一人	)] I II /		104,030	104,011	100,124	100,400		
るりんの着ぐるみの管理、新たな デザインの開発などを行う。										
7 9 10 0万所元なこと11万。	ウ									
	⑥活動:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)			活用回数(H27~ )み集計)	回	16	22	29			
キャラクターを活用し、まちの魅		イベン		件	65	16	27	52	60	
力を効果的にPRすることで、市民等のまちへの愛着や親近感	ウ									
を深めるとともに、市のイメージ					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
アップにつなげる。	⑦成果:		活用回数(H27以	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア降、国	1ノ画	周用回数(F27以 用のみ集計)	口	16	22	29	44	40	
市民等のまちへの愛着や親近感が深まり、市のイメージ向上	イ出演	イベン	卜数	件	65	16	27	52	60	
及び観光振興を促進する。	ウ									
					山紅左南	DO左连	DO左连	D4左座	DE Æ Æ	DC左连
	(2)事美	ξの=	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
・着ぐるみ及びキャラクターデザインの民間活用の実施		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
・立川市コトリンク1階ジバーカ	1		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
フェにて、くるりん誕生10周年を	事	訳	その他	千円	0					_
記念した「くるりんカフェ」等を開催	業費		一般財源	千円	161	1,097	133			
・立川観光コンベンション協会			事業費計(A)	千円	161	1,097	133	177		0
推奨認定品事業者による10周 年記念グッズの販売や特別メ			予算現額(B)	千円	210	1,263				
ニューの提供			九行率(A)/(B)	%	76.7%	86.9% 0.75 0.00 0.00	71.1%			
・卯年企画として、くるりんデザインの年賀状データを無償提供	_		数(正規   月給   時給)	人 千円	0.40 0.00 0.00					
・各種イベントやテレビへの出演	人   件		正規職員分 年度任用職員等		3,600	6,750	6,750	7,200		
	費		+及任用戦員寺 	千円	3,600	6,750	6,750	ŭ	Ů	
	3):		<u> </u>	千円	3,761	7,847	6,883	7,377		-
2 評価の部			未复(A) 1 (O)	113	0,101	1,011	0,000	1,011	1,100	
(1)全体総括(①事業の成果・	②改革・改	善(	3課題・反省点)		✓ 改善	きや見直しを図	図った	(2)事美	業の方針	
※課題の有無 (課題がある場合にメ)ア:目的妥当性	イ:有	効性	ウ:効率性		エ:公平性	オ:そ	の他	]		スト
(事業の成果)(改革・改善)					1		- 0			持 増加
令和4年10月より、立川市キャラフェと連携し、期間限定の「くるり								向    上		
か、くるりんの友達でアートディレ	<i>⁄ク</i> ターの た	デによ <sup>2</sup>	るライブ ペイントダ	シトーク	クショーを閉	開催するな	ど、市内外	成維		
のファンに楽しんでいただいた。 別グッズの販売やメニューの提供	また、立川	観光	コンベンション協	会推约	段認定品事	業者による	510周年特		<del>                                     </del>	
別クッへの販売ペターユーの使り るりとデザインの任智サデータを								`       '   '		

## (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等)

新型コロナウイルス感染症の影響が薄まる中、各種イベントの開催がコロナ禍前の状況に戻ることが予想される。イベント出演を効果的に活用し、市の魅力を発信する機会づくりにつなげていく。また、「くるりんラベルシリーズ」という「立川観光コンベンション協会推奨認定品」の認定を受けた事業者が、「くるりん」を用いた商品を開発できる制度をより広く周知し、キャラクター活用を推進する。

(廃止・休止の場合は記入不要)

令和 4 年度事後評価	令和!	5 左	F度 事	務事	業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 5 年(	6 月作成
事務事業名 ウェルカム立川推	進事業					所属部	総合政策	部	課長名	太田 勇	
政策名 都市基盤・産業						所属課	広報課		係名	観光振興	.係
施策名 広域的な魅力の創	出と発信					予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 4	事業 4 番号 4
基本事業名観光資源を生かした	たにぎわい	の創	出	実施形		✓ 全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返 平成21 年度~	年度 ,	根拠									
	<del>平度</del> 〇	去令等	等 ——								
1 現状把握の部(1)事務事業	美の概要・	目的	·結果·活動	か・成果							
①事業概要	⑤対象	数の	 推移	単	位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
立川市のまちのにぎわいを創出するため、箱根駅伝予選会等、			日平均乗車	人数		166,636	122,033	130,820	144,457		
大規模イベントへの支援を通じ	/ (参考	-)				100,030	122,033	130,020	144,457		
て、集客力強化による経済効果の創出や全国に向けた立川情	1										
報の発信、新たな大規模イベン	ウ										
トの誘致など地域活性化に結び 付ける。	<b>⑥活動</b>	指標		単	位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)		カム	立川委員会関	開催	<b>J</b>	2	2	0	3	2	
大規模イベント支援を通じて、ま	<b>イ</b>	十尹云	<u> 百ぴ)                                   </u>								
ちのにぎわいや回遊性が創出されています。					-						
れるとともに、全国に市の情報 が発信され、経済効果創出や地	ウ						D0/F #	B0/E		DE /E #	D0/E
域活性化につながる。	⑦成果	指標		単	位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア箱根	駅伝子	予選会来場者	f数 /	1	23,838	_	_	_	20,000	
箱根駅伝予選会等、大規模イベントへの支援や誘致により、ま	イ三多	摩メー	デー来場者	数	/	19,000	0	0	4,500	10,000	
ち全体ににぎわいと経済波及効	ウ										
果を生み出す。	(2)事	業の=	コスト	単	.位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出	出金十	円	0	0	0	0	0	
<ul><li>・メーデーの支援</li></ul>		財	都支出		円	0	0	0	0	0	0
<ul><li>くるりんウェルカムボードの維持管理</li></ul>	1	源中	地方信		円	0	0	0	0	0	0
・市内回遊性イベント「たちかわ	事	内訳	その作	也千	円	0	0	0	0	0	0
おみやげ品発見スタンプラリー」	業	н	一般財		円	1,463	542	906	1,208	1,540	0
を実施	費	Ē	事業費計(A	4) <del>T</del>	円	1,463	542	906	1,208	1,540	0
【新型コロナウイルスの影響によ			予算現額(B	3) 千	円	1,463	1,490	1,540	1,540	_	_
り無観客開催】・箱根駅伝予選会への支援		幸	执行率(A)/(I	B) 9	6	100.0%	36.4%	58.8%	78.4%	_	
相似《四月送云》》》入版	2	職員	数(正規   月給	時給)	ر ا	0.00 0.00	0.30 0.00 0.00	0.30 0.00 0.00	0.35 0.00 0.00	0.35 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人		正規職員名	十	円	1,800	2,700	2,700	3,150	3,150	0
	件   費		·年度任用職		円	0	0	0	0	0	Ü
			人件費計(0		円	1,800	2,700	2,700	3,150	3,150	
2 評価の部	3	総事:	業費(A)+	(C) 千	円	3,263	3,242	3,606	4,358	4,690	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	が、おんの	<b>⋰</b> 盖•(*	3] 理題 • 反 4	省占)		ノ改善	きや見直しを図	<b>図った</b>	(2)事第	 美の方針	
※課題の有無 ア・日的妥当性	<u> </u>				<b>—</b> :		オ:そ				スト
(課題がある場合によ) (改革・改善) 箱根				_					ˈ]	削減維	持増加
ス感染症の影響により、無観客開	催となった	とため	)、支援事業	は中止	とな	った。また	、昨年度に	2引き続き、			
立川体験スタンプラリーでスポット「たちかわおみやげ品発見スタン									· //4		
るりんウェルカムボードの清掃を		/	— <u>~≃   1.471</u> 1   L	,, ,,	<u>-</u> 1	- 121011	• • • •		】 果 持		
									低下		
										休止の場合に	は記入不要)

を生み出すスタンプラリー等のイベントを実施することで、周辺地域を含めたにぎわいを創出していく。

(3)今後の事業の方向性(改革・改善案等)

箱根駅伝予選会等への支援を通じ、集客力強化による経済効果の創出や全国に向けた立川の情報発信に結びつけるほか、回遊性

令和 4 年度事後評価	<u> </u>	5 年度 <del>事務</del>	护木	: \ 1\ /	<u> </u>	<u>トンー</u>	<b>卜</b> 令	10 5 年 6	<u> 月作成</u>
事務事業名商工業共同施設事	業			所属部	産業文化	スポーツ部	課長名	奥野 武司	司
政策名 都市基盤・産業				所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 多様な産業の活性	化			予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 6
基本事業名 商店街・個店・もの	づくり産業		<b>地形態</b>	全部	8番託	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返		担助							
昭和40 年度~	年度	法令等				業費補助金		i	
市長公約     主要施策   ( 1 現状把握の部(1)事務事業	つ   一			哲化文接	争美佣叨?	金交付要綱			
①事業概要		数の推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
商店街が設置した装飾灯・アーケード等の修繕及び建て替え等		商店街(会)数(3月末現						110-12	110-12
に要する費用を助成し、商店街	ア 在)	127/21 1: 1 (22/25/11:22	街	36	35	35	33		
のにぎわいづくりと地域の安全・ 安心に寄与する。	1								
女心(に前子する)	ウ								
	<b>⑥活動</b>	  指標	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	<b>ア</b> 補助	 金の交付額	千円	2,203			1,081	пш	
装飾灯等への補助金を交付す		街(会)所有の装飾灯数	本	1,108		•	1,000		
ることで、商店街の負担を軽減		四(五/川)(日 (7) 表即月 数	7	1,108	1,095	1,073	1,000		
するとともに商店街の活性化につなげる。	ウ			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑦成果	:指標	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア助成	を行った装飾灯の本数	本	40	98	51	69		
商店街全体を活性化することに	1								
より魅力を創出し集客数を増加させる。	ウ								
				1104 F F	D0/T#	D0 ##	D4 5 5	DE 45 #	D0/T/#
	(2)事	業のコスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
老朽化した装飾灯の撤去工事 等に対し助成を行った。		財都支出金	千円	0	1,440	0	0	0	0
4(CV109)11X E 11 21C0	1	内 地方領	千円	0	0		0	0	0
	事業	訳その他	千円	0 000	Ŭ	Ŭ	1.001	0	,
	費	■ 一般財源 事業費計(A)	千円	2,203 2,203	· ·		1,081	2,954	0
		予集負責(A) 予算現額(B)	千円	9,030	3,825 5,470		1,081 2,581	2,954 —	0
		執行率(A)/(B)	%	24.4%	69.9%	52.5%	41.9%	_	_
	2	職員数(正規   月給   時給)	人		0.10 0.00 0.00			0.05 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		正規職員分	千円	450	900	450	450	450	0
	件	会計年度任用職員等	千円	0	0	0	0	0	0
	· 費 ——	人件費計(C)	千円	450	900	450	450	450	0
2 証価の部	3	総事業費(A)+(C)	千円	2,653	4,725	2,117	1,531	3,404	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革•7	女善・③課題・反省占)		改善	<b>善り見直しを図</b>	図った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア・日的妥当性 [		有効性 レウ:効率性		工:公平性		の他	(-, , , ,	ارد. تار	スト
(詳趄かめる場合に)								削減維	持 増加
(事業の成果)				나 나 나는	<b>かか</b> 人 け	よんの声し	向		
装飾灯の維持管理に係る支援を	通じて、ま	<b>まちのにぎわいの創出の</b>	りみな	りり、地場	₩女王•⊅		11 1		
	通じて、す	きちのにぎわいの創出の	りみな	りり、地場	₩女生•	C/C/V/JPJ_T	上 成 維		)
装飾灯の維持管理に係る支援をにつながった。 (課題・反省点) 会員数の減少など組織力に課題	を抱える	商店街においては、老	朽化了	ける装飾灯	の維持管理	埋も課題の	上 成 維 果 持		
装飾灯の維持管理に係る支援をにつながった。 (課題・反省点)	を抱える	商店街においては、老	朽化了	ける装飾灯	の維持管理	埋も課題の	上 成 維		
装飾灯の維持管理に係る支援をにつながった。 (課題・反省点) 会員数の減少など組織力に課題 ひとつとなっており、地域の安全・ 題となっている。	を抱える。 安心を確	商店街においては、老 【保しつつ、撤去を含め	朽化了	ける装飾灯	の維持管理	埋も課題の	上 成 持 低 下	休止の場合に	
装飾灯の維持管理に係る支援をにつながった。 (課題・反省点) 会員数の減少など組織力に課題 ひとつとなっており、地域の安全・	を抱える  安心を確 「 <b>・改善案</b>	商店街においては、老 経保しつつ、撤去を含め **等)	朽化った支持	する装飾灯 援をどのよ	の維持管理	理も課題の いくかが課	成果 括 低下 (廃止・	休止の場合に	は記入不要)

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	5 :	年度 事務	事業	マネシ	<u> ジメン</u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令和	10 5 年 6	3 月作成
事務事業名 商工業共同施設事	₮業(商店	5街装		力金)	所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武司	司 — <u>—</u> ——
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 多様な産業の活性	化				予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 番号 6
基本事業名 商店街・個店・もの	づくり産業	美の魅	力の向上実施	<b>地形態</b>	全部	#委託	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返 昭和42 年度~	年度	根拠								
	0	法令	等 立川市商川	占街装	飾灯補助	金交付規則	<u></u>			
1 現状把握の部(1)事務事業	きの概要	・目的					···			
①事業概要 商店街のにぎわいづくりとまちの	<b>⑤</b> 対象	象数の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
安全安心に寄与するため、装飾			保有している商店	街	30	30	30	29		
灯を保有する市内商店街に装飾灯の電気料を助成する(LED	1 (1)	会)数		, ,						
化済の場合90/100、それ以外	1									
70/100。 令和4年度は、新型コ	ウ					,				
ロナウイルス感染症の影響を踏まえ、100/100)。	<b>⑥活</b> 動	<b>边指標</b>		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア補明	力金の		千円	8,340					
装飾灯維持への補助金を交付	イ補目		の装飾灯数	本	1,108	1,095	1,073	1,000		
することで、商店街の負担を軽減するとともに商店街の活性化	•	ηΛ1≫	1) 4x 2h v 1 %v	7	1,100	1,000	1,010	1,000		
減するとともに間后街の活性化   につなげる。	ウ				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑦成身	<b>長指標</b>		単位	H3T年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア支担	- 爰を行っ	った商店街(会)数	本	30	30	30	29		
商店街のにぎわいづくりに寄与	1									
するとともに、装飾灯の灯りを提供することで地域の安全・安心	ウ									
につなげる。	. 7									
ļ	(2)事	<b>**</b> か・	l	*** * * *	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(乙)事	+未の. 		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)	(2)4		国庫支出金	千円		実績				0
装飾灯を保有している商店街	(Z) <del> </del>	財	国庫支出金都支出金	千円 千円	<b>実績</b> 0 0	<b>実績</b> 0 941	実績	<b>実績</b> 0 0	計画 0 0	0
	(Z)=	財源	国庫支出金 都支出金 地方債	千円 千円 千円	実績       0       0       0	<b>実績</b> 0 941 0	<b>実績</b> 0 0 0	<b>実績</b> 0 0 0	計画 ()	0 0
装飾灯を保有している商店街 に、令和3年度にかかった電気	1	財源内記	国庫支出金 都支出金 地方債 その他	千円 千円 千円 千円	実績       0       0       0       0       0	<b>実績</b> 0 941 0	<b>実績</b> 0 0 0 1,216	実績       0       0       0       0       0	計画 0 0 0 0	0 0 0
装飾灯を保有している商店街 に、令和3年度にかかった電気	1	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 0 8,340	<b>実績</b> 0 941 0 0 8,475	<b>実績</b> 0 0 0 1,216 7,159	<b>実績</b> 0 0 0 0 0 9,419	計画 0 0 0 0 0 11,543	0 0 0 0
装飾灯を保有している商店街 に、令和3年度にかかった電気	① 事 業	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	千円 千円 千円 千円 千円	実績       0       0       0       0       0       8,340	<b>実績</b> 0 941 0 0 8,475 9,416	<b>実績</b> 0 0 1,216 7,159 8,375	実績 0 0 0 0 0 9,419 9,419	計画 0 0 0 0	0 0 0 0
装飾灯を保有している商店街 に、令和3年度にかかった電気	① 事 業	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B)	千円 千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 0 8,340 8,340 9,500	実績 0 941 0 0 8,475 9,416 10,500	実績 0 0 0 1,216 7,159 8,375 9,766	<b>実績</b> 0 0 0 0 9,419 9,419 9,419	計画 0 0 0 0 0 11,543	0 0 0 0
装飾灯を保有している商店街 に、令和3年度にかかった電気	① 事 業 費	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績 0 0 0 0 8,340 8,340 9,500 87.8%	実績 0 941 0 0 8,475 9,416 10,500	実績 0 0 0 1,216 7,159 8,375 9,766 85.8%	実績 0 0 0 0 9,419 9,419 9,419 100.0%	計画 0 0 0 0 11,543 11,543 —	0 0 0 0 0 0
装飾灯を保有している商店街 に、令和3年度にかかった電気	① 事業費	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績 0 0 0 0 8,340 8,340 9,500 87.8%	実績       0       941       0       0       8,475       9,416       10,500       89.7%       0.10     0.00       0.00     0.00	実績 0 0 0 1,216 7,159 8,375 9,766 85.8%	実績 0 0 0 0 9,419 9,419 9,419 100.0%	計画 0 0 0 0 11,543 11,543 —	0 0 0 0 0 0
装飾灯を保有している商店街 に、令和3年度にかかった電気	①事業費 2人件	財源内訳 職 会	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績       0       0       0       0       0       8,340       9,500       87.8%       0.05     0.00     0.00	実績       0       941       0       0       8,475       9,416       10,500       89.7%       0.10     0.00       0.00     0.00	実績       0       0       1,216       7,159       8,375       9,766       85.8%       0.10     0.00     0.00	実績       0       0       0       0       9,419       9,419       100.0%       0.10     0.00       0.00     0.00	計画 0 0 0 11,543 11,543 — 0.10 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 0 
装飾灯を保有している商店街 に、令和3年度にかかった電気	①事業費 ②人	財源内訳職会	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績       0       0       0       0       8,340       9,500       87.8%       0.05     0.00       450	実績 0 941 0 0 8,475 9,416 10,500 89.7% 0.10 0.00 0.00 900 0	実績       0       0       1,216       7,159       8,375       9,766       85.8%       0.10     0.00       900	実績       0       0       0       0       9,419       9,419       100.0%       0.10     0.00       900	計画 0 0 0 11,543 11,543 — 0.10 0.00 0.00 900	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
装飾灯を保有している商店街 に、令和3年度にかかった電気 料を補助した。	①事業費 ②人件費	財源内訳職会	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績       0       0       0       0       8,340       8,500       87.8%       0.05     0.00       450       0	実績       0       941       0       0       8,475       9,416       10,500       89.7%       0.10     0.00       900       900       900	実績       0       0       1,216       7,159       8,375       9,766       85.8%       0.10     0.00       900       0       0	実績       0       0       0       0       9,419       9,419       100.0%       0.10     0.00       900       0	計画 0 0 0 11,543 11,543 — 0.10 0.00 0.00 900 0	0 0 0 0 0 0 0  0.00 0.00 0.00 0.00
装飾灯を保有している商店街に、令和3年度にかかった電気料を補助した。	①事業費 2人件費 10	財源内訳職会総	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 過数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C)	千円 千円 千円 千円 千円 % 人 千千円 千円	実績       0       0       0       0       8,340       9,500       87.8%       0.05     0.00       450       8,790	実績 0 941 0 0 8,475 9,416 10,500 89.7% 0.10 0.00 0.00 900 10,316	実績       0       0       1,216       7,159       8,375       9,766       85.8%       0.10     0.00       900       900       9,275	実績 0 0 0 9,419 9,419 9,419 100.0% 0.10 0.00 0.00 900 0 10,319	計画 0 0 0 11,543 11,543 — 0.10 0.00 0.00 900 0 900 12,443	0 0 0 0 0 0 0 0 0
装飾灯を保有している商店街に、令和3年度にかかった電気料を補助した。 料を補助した。 2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	①事業費 ②人件費 ② 改革・	財源内訳 職 会 総 善	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規用月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 工業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	実績       0       0       0       0       8,340       9,500       87.8%       450       0       450       8,790	実績	実績	実績 0 0 0 9,419 9,419 9,419 100.0% 0.10 0.00 0.00 900 0 10,319	計画 0 0 0 11,543 11,543 0.10 0.00 0.00 900 12,443	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
装飾灯を保有している商店街に、令和3年度にかかった電気料を補助した。 料を補助した。 2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合に)	①事業費 ②人件費 ② 改革・	財源内訳 職 会 総 善	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規用月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 工業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	実績       0       0       0       0       8,340       9,500       87.8%       0.05     0.00       450       8,790	実績	実績       0       0       1,216       7,159       8,375       9,766       85.8%       0.10     0.00       900       900       9,275	実績 0 0 0 9,419 9,419 9,419 100.0% 0.10 0.00 0.00 900 0 10,319	計画	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
装飾灯を保有している商店街に、令和3年度にかかった電気料を補助した。 料を補助した。 2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合に) (事業の成果)	①事業費 2 人件費 1 で	財源内訳 職 会 総 善 効	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算類額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) 註 つ:効率性	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	実績	実績	実績	実績 0 0 0 9,419 9,419 100.0% 0.10 0.00 0.00 900 10,319 (2)事業	計画	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
装飾灯を保有している商店街に、令和3年度にかかった電気料を補助した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合によ) ア:目的妥当性(事業の成果)装飾灯を保有している商店街に対全・安心の取り組みに寄与した。	①事業費 ② <b>人</b> 件費 ② 改 本・・ ・ 、	財源内訳 職 会 総 善 対 年	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) ③課題・反省点) 達	千円千円千円千円千円千円千円千円千円千円	実績	実績	実績	実績       0       0       0       9,419       9,419       100.0%       0.10     0.00       900       10,319    (2)事業	計画	000000000000000000000000000000000000
装飾灯を保有している商店街に、令和3年度にかかった電気料を補助した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に)) (事業の成果) 装飾灯を保有している商店街に対金・安心の取り組みに寄与した。令和4年度はコロナ禍における物	①事業費 ②人件費 ② ひ で う た り の 価	財源内訳 職 会	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) 事業費(A)+(C)	千千千千千千 千千千 千千千 千千 千千 千千 千千 千 千 千 千 千 千	実績	実績	実績	実績       0       0       0       9,419       9,419       100.0%       010     0.00       900       10,319       (2)事業       成果持	計画	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
装飾灯を保有している商店街に、令和3年度にかかった電気料を補助した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合によ) ア:目的妥当性(事業の成果)装飾灯を保有している商店街に対全・安心の取り組みに寄与した。	①事業費 ②人件費 ② ひ で う た り の 価	財源内訳 職 会	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) 事業費(A)+(C)	千千千千千千 千千千 千千千 千千 千千 千千 千千 千 千 千 千 千 千	実績	実績	実績	実績         0         0         9,419         9,419         100.0%         0:10       0:00         900         10,319         (2)事業         成果         核長低	計画	000000000000000000000000000000000000
装飾灯を保有している商店街に、令和3年度にかかった電気料を補助した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に)) (事業の成果) 装飾灯を保有している商店街に対金・安心の取り組みに寄与した。令和4年度はコロナ禍における物	①事業費 ②人件費 ② ひ で う た り の 価	財源内訳 職 会	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) 事業費(A)+(C)	千千千千千千 千千千 千千千 千千 千千 千千 千千 千 千 千 千 千 千	実績	実績	実績	実績	計画	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
装飾灯を保有している商店街に、令和3年度にかかった電気料を補助した。  (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 (事業の成果) 装飾灯を保有している商店街に会全・安心の取り組みに寄与した。令和4年度はコロナ禍における物90%、それ以外は70%としている90%、それ以外は70%としている	① <b>事業費</b>	<b>財源内訳</b>   職 会 総 善 効 年 の の 特 の 年 の 例	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) 事業費(A)+(C)	千千千千千千 千千千 千千千 千千 千千 千千 千千 千 千 千 千 千 千	実績	実績	実績	実績	計画	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
装飾灯を保有している商店街に、令和3年度にかかった電気料を補助した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に少)で、目的妥当性(事業の成果)装飾灯を保有している商店街に対全・安心の取り組みに寄与した。令和4年度はコロナ禍における物	①事業費 ②人件費 ② ・ で で で で で で が の 補助 で き ・ で も も る も で も で も も も も も も も も も も も も も	財源内訳   職 会	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) ③課題・反省点) 達	千千千千千年 外子 千千千年 半	実績	実績	実績	実績	計画	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
装飾灯を保有している商店街に、令和3年度にかかった電気料を補助した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に))(事業の成果)装飾灯を保有している商店街に対全・安心の取り組みに寄与した。令和4年度はコロナ禍における物90%、それ以外は70%としている90%、それ以外は70%としている(3)今後の事業の方向性(改革	①事業費 ②人件費 ② ・ で で で で で で が の 補助 で き ・ で も も る も で も で も も も も も も も も も も も も も	財源内訳   職 会	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) ③課題・反省点) 達	千千千千千年 外子 千千千年 半	実績	実績	実績	実績	計画	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	<u>5</u> -	年度 事務	<u> 事業</u>	<u>、マネン</u>	<u>ノメン</u>	トシー	<u>卜</u> 令和	和 5 年 6	<u>3 月作成</u>
事務事業名 商店街支援事業					所属部	産業文化	スポーツ部	課長名	奥野 武司	司
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 多様な産業の活性	化				予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 番号 7
基本事業名 商店街・個店・ものへ	づくり産業	業の魅		施形態			一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠								-
平成14 年度~	年度	法令	<b>生</b>		→四和△士	-    本米	ᄮᄼᅔᄼᆖ	<b>로 산</b> ⊡		
市長公約     主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業	●●	1.目的			<b>養興組合义</b>	援事業補助	刀金父刊 安	<u>:</u>		
①事業概要		象数の		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
商店街振興組合決算審査の委託、商店街振興組合の事務に			盟している商店街							110-12
かかる経費負担の軽減を図るこ		興組合		街	15	13	13	13	<b></b>	<u> </u>
とで、商店街振興を目指す。	1									<u> </u>
	ウ			$\lfloor \rfloor$						
	⑥活፤	動指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア決領	 急審査	 補助対象の商店街	f 街	15			13		нты
法人化している商店街の適正な	一商品	吉街振り	興組合支援事業補		14		13	13		
財務管理、組織力強化を支援		<u> </u> 金を活月	用した取組事業	尹不	1-1	1.1	10		<b> </b>	-
する。	ウ	- 11- 1-			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		果指標	の商店街のうち法	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		単加盟の 化した害		%	58.0	54.1	54.1	54.1		
商店街運営の安定化と活性化 を図ることにより魅力を創出し、	1									1
イベント等の集客増につなげ	ウ			1 1						
る。		= ** O:		/ 1	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2) <del>)</del> ——	業の:	1 <u>7</u> 7	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0		0	0	0	, ,
商店街振興組合連合会に各商 店街の決算審査の委託を行うと		財	HI-VIII	千円	0	_	0	0	0	Ŭ
ともに、各商店街振興組合の財	1		地力頂	千円	0	1	0	0	0	, ,
務会計に係る経費について助 成した。	事業	計		千円						
100 C1C0	費	<b>₽</b>	──一般財源 事業費計(A)	千円		1,384 1,791	1,316 1,916	1,292 1,292	1,421 1,421	0
			争未負前(A) 予算現額(B)	千円	1,639		2,040	1,421	1,T21 —	_
		-	執行率(A)/(B)	%	81.2%	·	93.9%	90.9%	_	_
	2	肿	<b>数</b> (正規   月給   時給	) 人	0.02 0.00 0.00		0.04 0.00 0.00		0.04 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人		正規職員分	千円	180	180	360	360	360	0
	件		十年度任用職員等		0	0	0	0	0	0
		•	人件費計(C)	千円			360	360	360	
		うるは	- ALL # ( A \   ( A \	千円	1,511	1,971	2,276	1,652	1,781	0
○≕無○執	(	3)総事	[業費(A)+(C)	1111						
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②						・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10t=	(2)事業	の方針	
(1)全体総括(①事業の成果・②	②改革•	改善・	③課題•反省点》	)	改善	りませる ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま		(2)事業	美の方針 コス	スト
	②改革•	改善・	③課題•反省点》	)			図った		コス	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果) 商店街振興組合の決算審査の委	②改革・ 1 1:	改善・(	③課題・反省点	)	工: 公平性	オ:そ	の他		コス	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)	②改革・ 1 1:	改善・(	③課題・反省点	)	工: 公平性	オ:そ	の他	向上	削減 維	持 増加
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果) 商店街振興組合の決算審査の委	②改革・ 1 1:	改善・(	③課題・反省点	)	工: 公平性	オ:そ	の他	向上維持	削減 維	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果) 商店街振興組合の決算審査の委	②改革・ 1 1:	改善・(	③課題・反省点	)	工: 公平性	オ:そ	の他	向上維持低下	削減維	持増加
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果) 商店街振興組合の決算審査の委 つながった。	② <b>改革・</b> イ: ※託及び	改善・(	③課題・反省点	)	工: 公平性	オ:そ	の他	向上維持低下	削減 維	持増加
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合により) (事業の成果) 商店街振興組合の決算審査の委 つながった。	②改革・ イ: 注託及び エ・改善3	改善・(活力性) (財務会)	③課題・反省点, き つ: 効率性 会計に係る経費の	)	工: 公平性	オ:そ	の他	向上維持低下	削減維	持増加
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果) 商店街振興組合の決算審査の委 つながった。	②改革・ イ: 注託及び エ・改善3	改善・(活力性) (財務会)	③課題・反省点, き つ: 効率性 会計に係る経費の	)	工: 公平性	オ:そ	の他	向上維持低下	削減維	持増加

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	<u>5 </u>	年度 事務	<u>事業</u>	マネシ	<u> ジメン</u>	トシ <u>ー</u>	ト <sub>令利</sub>	和5年(	6 <u>月作成</u>
事務事業名 商店街支援事業(国助金)	立川市	商店街	振興組合連合会	₹補		産業文化			奥野 武	<del></del> _ 司
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	 課	係名	商工振興	係
施策名 多様な産業の活性	<u>-</u> 化				予算科目		款 7	項 1	目 2	事業 7番号 7
基本事業名 商店街・個店・もの	づくり産業	業の魅		<b>施形態</b>	全音	<b>『委託</b>	一部委託	<b>/</b> 補助・	助成	連携·協働
事業期間 単年度繰返		根拠	172.00	【類状門/			_			<u> </u>
昭和34 年度~	年度	法令	<b>生</b>	<b></b>	, 四4-鴙田	へたひ田を	ोत्त् <del>र</del>			
市長公約     主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業	▲ 人	- 目的			古世州助	金交付要約	————			
①事業概要		象数の		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
立川市商店街振興組合連合会 (商連)の特定事業、商店街まち	一商	重に加盟	盟している商店街	街街	15	13	13	13		
づくり支援事業(装飾灯消耗品	加 流	<u> 興組合(</u> 車に加!	(3月末現在) 盟している商店会	+						
等)、広報紙・ホームページ運営 等に対する助成を行うことで商	1 (3)	月末現在		会	11	11	11	11		
店街振興を目指す。	ウ					- 1			- <del></del>	
	<b>⑥活</b> 動	動指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア 商i	 車広報約	————————— 紙発行回数	回	0		0	0		
商連加盟の商店街に対し加盟		_	ムページリニューア	口	1	1	1	1		
のメリットを実感させるとともに、 未加盟の商店街に対し加盟を	ウ	可数		+						
促す。		五 15 1年		224 (4	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	743	果指標 車に加盟	盟している商店街	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)			盆している間店街 (3月末現在)	%	72.2	68.5	68.5	72.7		
商店街全体を活性化することにより魅力を創出し集客数を増加	1									
させる。	ウ									
	(2) 重	<u></u>		22/ /L	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)寺	■業の= 	171	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)		84	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
商連の「情報発信事業」「商店 街まちづくり支援事業」に対して		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	, ,
補助金を交付した。	1	内	地方債	千円	0		0	0	_	, ,
	事業	引訳	その他	千円	1,980		1,980	1,980		
	費	₿ <b></b>		千円	1,980		1,980	1,980		
		-	<u>チネスロ(パ)</u> 予算現額(B)	千円	1,980		1,980	1,980		_
		-	執行率(A)/(B)	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	_	_
	2	職員	<b>員数</b> (正規   月給   時給)	人	0.02 0.00 0.00	0.02 0.00 0.00	0.02 0.00 0.00	0.02 0.00 0.00	0.02 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人	<u> </u>	正規職員分	千円	180	180	180	180	180	
		<u>بر المناط</u>	十年度任用職員等		0	0	0	0	0	, ,
		•	人件費計(C)	千円	180	180	180	180	180	
2 評価の部	(	3)総事	業費(A)+(C)	千円	2,160	2,160	2,160	2,160	2,160	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革•	改善∙		)	改善	きや見直しを図	引った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合によ)		- <b>7</b> -1 、 :有効性			工:公平性					スト
(事業の成果)									削減維	持 増加
地域商店街の活性化につながる力発信や商店街同士の連携、連						こ根差した	商店街の鬼			
刀光旧\间归因的工v/定功、定 ———————————————————————————————————	日云こ	/ <b>C</b> ∨ / //\r	1個人川町ユーザで ~	ハよね・	J1C0			成 推 持		
								果   持   低		
								下		
	L <del></del>	to lete						(廃止・1	休止の場合は	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革			・トクラトートンンの単タシ	ナフ						
より有効な支援策について、商連	と理伤し	ンよから	)使訂りる必安/パ	める。						

令和 4 年度事後評価	令和	5	年[	隻事務	事業	マネシ	ブメ <u>ン</u>	トシ <u>ー</u>	<b>卜</b> 令	和 5 年 6	6 月作 <u>成</u>
事務事業名 商店街支援事業(助金)	商店街	感媒	e拡大 B	坊止支援事業	<b>Ě補</b>		産業文化				
政策名 都市基盤・産業						所属課	産業振興	 課	係名	商工振興	 係
施策名 多様な産業の活性	 :化					予算科目		款 7	項 1	目 2	事業 7
基本事業名 商店街・個店・もの	•	<b>業</b> の	<u></u> 魅力の	向上 実施	形態		『委託	一部委託	<b>レ</b> 補助・		連携・協働
単年度の7.			,	(複数	<sub>選択可)</sub> 吉街活		事業補助金				1
事業期間	年度		艮拠 ·令等	東京都商	吉街地	域力向上	事業費補具	助金交付要	· · ·		
市長公約 主要施策	· - !nr =					染拡大防	止支援事業	業補助金交	:付要綱		
1 現状把握の部 (1)事務事業 ①事業概要											
・商店街(会)の新型コロナウイ	_		の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
ルス感染症の感染拡大防止対	アたった		店街(会	:)数(3月末現	街	36	35	35	33		
策(マスクや消毒液等の購入 費)に対して補助金を支給。	1										
	ゥ										
		- 11-				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活				単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)			大防止う 用した商	支援事業補助 5店街数	街		22	19	10		
安心してお客様にお越しいただ	1	ر ۱۱۰	/11 0/-1=	11/11 121 200							
ける環境を整備する。	ウ										
		7 #	• I ==		224 / L	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑦成集				単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア交	付しが	た補助金	<b>全額</b>	円		4,649,000	7,252,000	3,651,000		
事業の継続及び経営の下支え	1										
を行う。	ウ										
	(2)事	事業(	のコスト	<b>-</b>	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)				国庫支出金	千円		4,649	273	0	0	0
市内の33の商店街(会)のうち、			財	国庫支出金 都支出金	千円 千円		4,649 0	273 4,349	0 2,189	0 2,820	
市内の33の商店街(会)のうち、 要望のあった10の商店街(会)	(1		財源							ŭ	0
市内の33の商店街(会)のうち、	(1)		財	都支出金	千円		0	4,349	2,189	2,820	0 0 0
市内の33の商店街(会)のうち、 要望のあった10の商店街(会)	事業	事	財源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円		0	4,349	2,189	2,820	0 0
市内の33の商店街(会)のうち、 要望のあった10の商店街(会)	事	事	財源内訳	都支出金 地方債 その他	千円 千円 千円	0	0 0 0	4,349	2,189	2,820	0 0 0
市内の33の商店街(会)のうち、 要望のあった10の商店街(会)	事業	事	財源内訳事業予算	都支出金 地方債 その他 一般財源 達費計(A) 現額(B)	千円 千円 千円	0	0 0 0	4,349 0 2,630	2,189 0 0 1,462	2,820 0 0 1,913	0
市内の33の商店街(会)のうち、 要望のあった10の商店街(会)	事業	1	財源内訳事業執行	都支出金 地方債 その他 一般財源 費計(A) 現額(B) 率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円	0	0 0 0 0 4,649 7,400 62.8%	4,349 0 2,630 0 7,252 11,000 65.9%	2,189 0 0 1,462 3,651 4,047 90.2%	2,820 0 0 1,913 4,733 —	0 0 0 0 0
市内の33の商店街(会)のうち、 要望のあった10の商店街(会)	事業		財源内訳 事業 予算執行 職員数の	都支出金 地方債 その他 一般財源 費計(A) 類額(B) 率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円 八		0 0 0 0 4,649 7,400 62.8% 0.15 0.00 0.00	4,349 0 2,630 0 7,252 11,000 65.9% 0.06 0.00 0.00	2,189 0 0 1,462 3,651 4,047 90.2% 0.06 0.00 0.00	2,820 0 0 1,913 4,733 — — 0.06 0.00 0.00	0 0 0 0 0 
市内の33の商店街(会)のうち、 要望のあった10の商店街(会)	事業費 (2人)		財源内訳 事業 予算 執行 職員数位正規	都支出金 地方債 その他 一般財源 費計(A) 項現額(B) 率(A)/(B) 正規   月給   時給) 見職員分	千円 千円 千円 千円 千円 八 千円	0	0 0 0 4,649 7,400 62.8% 0.15 0.00 0.00	4,349 0 2,630 0 7,252 11,000 65.9% 0.06 0.00 0.00	2,189 0 0 1,462 3,651 4,047 90.2% 0.06 0.00 0.00 540	2,820 0 0 1,913 4,733 — 0.06 0.00 0.00 540	0 0 0 0 0 
市内の33の商店街(会)のうち、 要望のあった10の商店街(会)	事業費 (2)人件		財源内訳 事業 第 執 行 流	都支出金 地方債 その他 一般財源 費計(A) 項親領(B) 率(A)/(B) <sup>正規   月給   時給)</sup> 現職員分 度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 % 人 千円	0	0 0 0 4,649 7,400 62.8% 0.15 0.00 0.00 1,350	4,349 0 2,630 0 7,252 11,000 65.9% 0.06 0.00 0.00 540	2,189 0 0 1,462 3,651 4,047 90.2% 0.06 0.00 0.00 540	2,820 0 1,913 4,733 — 0.06 0.00 0.00 540	0 0 0 0 0 0 
市内の33の商店街(会)のうち、 要望のあった10の商店街(会)	事業費(②人件費	り事業者の「「「」」と「「」」と「	財源内訳 事 第 第 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章	都支出金 地方債 その他 一般財源 費計(A) 現額(B) 率(A)/(B) 正規   月給   時給) 現職員分 度任用職員等 -費計(C)	千円 千円 千円 千円 6 千円 人 千円 千円	0 0	0 0 0 4,649 7,400 62.8% 0.15 0.00 0.00 1,350	4,349 0 2,630 0 7,252 11,000 65.9% 0.06 0.00 0.00 540	2,189 0 1,462 3,651 4,047 90.2% 0.06 0.00 0.00 540 540	2,820 0 1,913 4,733 — 0.06 0.00 0.00 540 540	0 0 0 0 0   0.00 0.00 0.00 0.00
市内の33の商店街(会)のうち、要望のあった10の商店街(会)に対して補助金を交付した。	事業費(②人件費	り事業者の「「「」」と「「」」と「	財源内訳 事 第 第 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章	都支出金 地方債 その他 一般財源 費計(A) 項親領(B) 率(A)/(B) <sup>正規   月給   時給)</sup> 現職員分 度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 % 人 千円	0	0 0 0 4,649 7,400 62.8% 0.15 0.00 0.00 1,350	4,349 0 2,630 0 7,252 11,000 65.9% 0.06 0.00 0.00 540	2,189 0 0 1,462 3,651 4,047 90.2% 0.06 0.00 0.00 540	2,820 0 1,913 4,733 — 0.06 0.00 0.00 540	0 0 0 0 0 
市内の33の商店街(会)のうち、要望のあった10の商店街(会)に対して補助金を交付した。	事業費    ②人件費   ①		財源内訳 事 予行 就 財 年 月 十 人 業 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十	都支出金 地方債 その他 一般財源 費計(A) 類額(B) 率(A)/(B) 率(A)/(B) 環境   月給   時給) 現職員分 度任用職員等 -費計(C) 費(A)+(C)	千円 千円 千円 千円 6 千円 人 千円 千円	0 0 0	0 0 0 4,649 7,400 62.8% 0.15 0.00 0.00 1,350	4,349 0 2,630 0 7,252 11,000 65.9% 0.06 0.00 0.00 540 0 7,792	2,189 0 0 1,462 3,651 4,047 90.2% 0.06 0.00 0.00 540 0 4,191	2,820 0 1,913 4,733 — 0.06 0.00 0.00 540 540	0 0 0 0 0   0.00 0.00 0.00 0.00
市内の33の商店街(会)のうち、要望のあった10の商店街(会)に対して補助金を交付した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無	事業費	D 事業費	財源内訳 事 予行 敬	都支出金 地方債 その他 一般財源 費計(A) 連現額(B) 率(A)/(B) 連規   月給   時給) 見職員分 度任用職員等 費計(C) 費(A)+(C)	千円 千円 千円 千円 % 人 千円 千円 千円	0 0 0 0	0 0 0 4,649 7,400 62.8% 0.15 0.00 0.00 1,350 0 5,999	4,349 0 2,630 0 7,252 11,000 65.9% 0.06 0.00 0.00 540 0 7,792	2,189 0 0 1,462 3,651 4,047 90.2% 0.06 0.00 0.00 540 0 4,191	2,820 0 1,913 4,733 — 0.06 0.00 0.00 540 0 540 5,273	0 0 0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0
市内の33の商店街(会)のうち、要望のあった10の商店街(会)に対して補助金を交付した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	事業費	D 事業費	財源内訳 事 予行 就 財 年 月 十 人 業 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十	都支出金 地方債 その他 一般財源 費計(A) 類額(B) 率(A)/(B) 率(A)/(B) 環境   月給   時給) 現職員分 度任用職員等 -費計(C) 費(A)+(C)	千円 千円 千円 千円 % 人 千円 千円 千円	0 0 0	0 0 0 4,649 7,400 62.8% 0.15 0.00 0.00 1,350 0 5,999	4,349 0 2,630 0 7,252 11,000 65.9% 0.06 0.00 0.00 540 0 7,792	2,189 0 1,462 3,651 4,047 90.2% 0.06 0.00 0.00 540 0 540 4,191	2,820 0 1,913 4,733 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
市内の33の商店街(会)のうち、要望のあった10の商店街(会)に対して補助金を交付した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [審業の成果)商店街(会)が組織的に取り組む	事業費    ②人件費      改     新型	ひをは から	財源内訳 事 予執 数 正 年 人 業 第 一 イ イ ・ 性 ウイ	都支出金地方債 その他 一般財源 費計(A) 可親額(B) 率(A)/(B) 正規   月給   時給) 見職員分 度任用職員等 費計(C) 費(A)+(C) 問題・反省点) つ:効率性	千円千円千円千円6千円千円千円千円	0 0 0 0 0 0 **************************	0 0 0 4,649 7,400 62.8% 0.15 0.00 0.00 1,350 0 1,350 5,999 まや見直しを図 オ:そ	4,349 0 2,630 0 7,252 11,000 65.9% 0.06 0.00 0.00 540 0 540 7,792 るった	2,189 0 1,462 3,651 4,047 90.2% 0.06 0.00 0.00 540 0 540 4,191	2,820 0 1,913 4,733 	00000000000000000000000000000000000000
市内の33の商店街(会)のうち、要望のあった10の商店街(会)に対して補助金を交付した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合に)ア:目的妥当性 (事業の成果)商店街(会)が組織的に取り組むの購入費)に対して補助金を支給の購入費)に対して補助金を支給	事業費   ②人件費   ()・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ひをは から	財源内訳 事 予執 数正 年 人 業 第一 インギー・サーブ	都支出金地方債 その他 一般財源 費計(A) 可親額(B) 率(A)/(B) 正規   月給   時給) 見職員分 度任用職員等 費計(C) 費(A)+(C) 問題・反省点) つ:効率性	千円千円千円千円6千円千円千円千円	0 0 0 0 0 0 **************************	0 0 0 4,649 7,400 62.8% 0.15 0.00 0.00 1,350 0 1,350 5,999 まや見直しを図 オ:そ	4,349 0 2,630 0 7,252 11,000 65.9% 0.06 0.00 0.00 540 0 540 7,792 るった	2,189 0 1,462 3,651 4,047 90.2% 0.06 0.00 0.00 540 0 4,191 (2)事業	2,820 0 0 1,913 4,733	000000000000000000000000000000000000
市内の33の商店街(会)のうち、要望のあった10の商店街(会)に対して補助金を交付した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合によ) (事業の成果) 商店街(会)が組織的に取り組む	事業費   ②人件費   ()・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ひをは から	財源内訳 事 予執 数正 年 人 業 第一 インギー・サーブ	都支出金地方債 その他 一般財源 費計(A) 可親額(B) 率(A)/(B) 正規   月給   時給) 見職員分 度任用職員等 費計(C) 費(A)+(C) 問題・反省点) つ:効率性	千円千円千円千円6千円千円千円千円	0 0 0 0 0 0 **************************	0 0 0 4,649 7,400 62.8% 0.15 0.00 0.00 1,350 0 1,350 5,999 まや見直しを図 オ:そ	4,349 0 2,630 0 7,252 11,000 65.9% 0.06 0.00 0.00 540 0 540 7,792 るった	2,189 0 1,462 3,651 4,047 90.2% 0.06 0.00 0.00 540 0 4,191 (2)事業	2,820 0 0 1,913 4,733	000000000000000000000000000000000000
市内の33の商店街(会)のうち、要望のあった10の商店街(会)に対して補助金を交付した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合に)ア:目的妥当性 (事業の成果)商店街(会)が組織的に取り組むの購入費)に対して補助金を支給の購入費)に対して補助金を支給	事業費   ②人件費   ()・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ひをは から	財源内訳 事 予執 数正 年 人 業 第一 インギー・サーブ	都支出金地方債 その他 一般財源 費計(A) 可親額(B) 率(A)/(B) 正規   月給   時給) 見職員分 度任用職員等 費計(C) 費(A)+(C) 問題・反省点) つ:効率性	千円千円千円千円6千円千円千円千円	0 0 0 0 0 0 **************************	0 0 0 4,649 7,400 62.8% 0.15 0.00 0.00 1,350 0 1,350 5,999 まや見直しを図 オ:そ	4,349 0 2,630 0 7,252 11,000 65.9% 0.06 0.00 0.00 540 0 540 7,792 るった	2,189 0 1,462 3,651 4,047 90.2% 0.06 0.00 0.00 540 0 540 4,191	2,820 0 0 1,913 4,733	000000000000000000000000000000000000
市内の33の商店街(会)のうち、要望のあった10の商店街(会)に対して補助金を交付した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合に)ア:目的妥当性 (事業の成果)商店街(会)が組織的に取り組むの購入費)に対して補助金を支給の購入費)に対して補助金を支給	事業費   ②人件費   ()・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ひをは から	財源内訳 事 予執 数正 年 人 業 第一 インギー・サーブ	都支出金地方債 その他 一般財源 費計(A) 可親額(B) 率(A)/(B) 正規   月給   時給) 見職員分 度任用職員等 費計(C) 費(A)+(C) 問題・反省点) つ:効率性	千円千円千円千円6千円千円千円千円	0 0 0 0 0 0 **************************	0 0 0 4,649 7,400 62.8% 0.15 0.00 0.00 1,350 0 1,350 5,999 まや見直しを図 オ:そ	4,349 0 2,630 0 7,252 11,000 65.9% 0.06 0.00 0.00 540 0 540 7,792 るった	2,189 0 0 1,462 3,651 4,047 90.2% 0.06 0.00 0.00 540 4,191 (2)事業 成果 持低下	2,820 0 0 1,913 4,733	000000000000000000000000000000000000
市内の33の商店街(会)のうち、要望のあった10の商店街(会)に対して補助金を交付した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 (事業の成果)商店街(会)が組織的に取り組むの購入費)に対して補助金を支給の購入費)に対して補助金を支給の購入費)に対して補助金を支給	事業費 (②人件費 (ご 本 イ 型 )	り 作業 プレキ 3 改 元 コン 総 き オープン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	財源内訳 事 予執 数 正 兵 件 書 ま き か けて マンド・マンド・マンド・マンド・マンド・マンド・マンド・マンド・マンド・マンド・	都支出金地方債 その他 一般財源 費計(A) 可親額(B) 率(A)/(B) 正規   月給   時給) 見職員分 度任用職員等 費計(C) 費(A)+(C) 問題・反省点) つ:効率性	千円千円千円千円6千円千円千円千円	0 0 0 0 0 0 **************************	0 0 0 4,649 7,400 62.8% 0.15 0.00 0.00 1,350 0 1,350 5,999 まや見直しを図 オ:そ	4,349 0 2,630 0 7,252 11,000 65.9% 0.06 0.00 0.00 540 0 540 7,792 るった	2,189 0 0 1,462 3,651 4,047 90.2% 0.06 0.00 0.00 540 4,191 (2)事業 成果 持低下	2,820 0 1,913 4,733	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
市内の33の商店街(会)のうち、要望のあった10の商店街(会)に対して補助金を交付した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合によ) (事業の成果)商店街(会)が組織的に取り組むの購入費)に対して補助金を支給経営の下支えを行うことができた。	事業費   ②人件費    本   本   本   本   本   本   本   本   本	り事業者 ②人牛者 ③ 改 有 ロル 案	財源内訳 事 予 執 員 正 手 人 業 第 一 ・	都支出金 地方債 その他 一般財源 費計(A) 現職(B) 率(A)/(B) 正規   月給   時給) 段任用(C) 費(A)+(C) 提通・反効率性 ストストン で、対応に対しい。 で、対応に対しい。	千円千円千円千円千円4千円千円禁ただけ	0 0 0 0 0 ***・*************************	0 0 0 4,649 7,400 62.8% 0.15 0.00 0.00 1,350 5,999 きや見直しを図 オ:そ 策(マスクペ 備と、事業	4,349 0 2,630 0 7,252 11,000 65.9% 0.06 0.00 0.00 540 7,792 図った つの他	2,189 0 0 1,462 3,651 4,047 90.2% 0.06 0.00 0.00 540 4,191 (2)事業 成果 点性性で	2,820 0 1,913 4,733	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
市内の33の商店街(会)のうち、要望のあった10の商店街(会)に対して補助金を交付した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 (事業の成果)商店街(会)が組織的に取り組むの購入費)に対して補助金を支給経営の下支えを行うことができた。 (3)今後の事業の方向性(改革	事業費   ②人件費    本   本   本   本   本   本   本   本   本	り事業者 ②人牛者 ③ 改 有 ロル 案	財源内訳 事 予 執 員 正 手 人 業 第 一 ・	都支出金 地方債 その他 一般財源 費計(A) 現職(B) 率(A)/(B) 正規   月給   時給) 段任用(C) 費(A)+(C) 提通・反効率性 ストストン で、対応に対しい。 で、対応に対しい。	千円千円千円千円千円4千円千円禁ただけ	0 0 0 0 0 ***・*************************	0 0 0 4,649 7,400 62.8% 0.15 0.00 0.00 1,350 5,999 きや見直しを図 オ:そ 策(マスクペ 備と、事業	4,349 0 2,630 0 7,252 11,000 65.9% 0.06 0.00 0.00 540 7,792 図った つの他	2,189 0 0 1,462 3,651 4,047 90.2% 0.06 0.00 0.00 540 4,191 (2)事業 成果 点性性で	2,820 0 1,913 4,733	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u> 。	5 年度	事務	事業	マネシ	<u> ジメン</u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	10 5 年 6	3 月作成
事務事業名の商店街活性化イベ	ント等支	援事業			所属部	産業文化	スポーツ部	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 多様な産業の活性					予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 8 番号
基本事業名商店街・個店・もの	づくり産業	の魅力の向	了上 実施 (複数	<b>地形態</b>	全音	<b>『委託</b>	一部委託	✔ 補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返 平成2 年度~	左座	根拠	古台松本口	七分にゴ	ここのの湯	1	光弗坛山人	<b>人大八田</b>	<b>a</b>	
	年度 <b>〇</b>	去令等					業費補助金 金交付要綱		ij	
1 現状把握の部(1)事務事業	•	目的·結果			山山人坂	于不证约3	正人门女师	J		
①事業概要		数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
イベントを通じて地域に根ざした 商店街活動や販売活動などを	ア市内	 商店街(会)(	3月末現在)	街	36	35	35	33		
紹介し、商店街の魅力を市民に 再認識してもらうことを目的に、	立川		興組合連合	会	1	1	1	1		
商店街等が行うイベント等ソフト	1会ウ			エ	1	1	1	1		
事業の支援を行う。					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活動	指標		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア年間	イベント等事	業数	口	29	14	14	22		
イベントを開催することにより、 商店街の魅力づくりやにぎわい	1									
を創出するとともに、地域コミュ	ウ									
ニティの担い手として地域の活性化につなげる。	⑦成果	 指標		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)		************************************	 生	人	<b>実績</b> 654,544	<b>実績</b> 142,300	<b>実績</b> 179,700	<b>実績</b> 262,665	計画	計画
商店街の魅力を創出し、地域の		E  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -	未合奴	八	004,044	142,300	179,700	202,003		
活性化を図る。	1									
	ウ									
	(2)事美	業のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)		国	庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
商店街が実施する22のイベント		財力	7支出金	千円	24,331	6,094	7,059	12,726	26,840	0
事業に対し、支援した。	1	源 一	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	事	訳	その他	千円	0		0	0		0
	業費		-般財源	千円	17,931	4,288	5,000	9,543		0
			費計(A)	千円	42,262	10,382	12,059	22,269	45,744	0
			見額(B) 	千円 %	58,383 72.4%	15,208 68.3%	17,433 69.2%	31,440 70.8%	_	_
			: (A)/(D) 				0.36 0.00 0.00			0.00 0.00 0.00
	2		職員分	千円	3,330	3,240	3,240	3,240	3,240	0
	件		任用職員等		0	0	0	0	0	0
	費		貴計(C)	千円	3,330	3,240	3,240	3,240	3,240	0
	3	総事業費	(A)+(C)	千円	45,592	13,622	15,299	25,509	48,984	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・()	のみま.か	, 盖 <b>•</b> ② 押□	百. 反尖占)		おま	きや見直しを図	10t-	(2)車業	きの方針	
※課題の有無 (課題がある場合にメ)ア:目的妥当性			型* 及 旬		工:公平性		·の他	( <b>८</b> ) <del>ग</del> त	シングェ	スト
(課題がある場合にと) (事業の成果)	T-1 - 7-	· WIT [	」ノ・効ギは		<b>二.</b> 五十년		-71B	1		<u>`</u> 持 増加
商店街が独自に取り組むイベント										
とができた。令和4年度は、コロナ あったが、22のイベントに対し支持				で規模	の縮小を	余儀なくされ	<i>へたものも</i>	成排		
	,		3. 70					果 <u> 持</u>   低		
								一下		
								(廃止・	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革			1 45.288 -	z <del>         </del>	OJT. LU. 11.	O> /\ 1L 4L==	日日 (一年72年)	<i>t</i> .= -1	1 + 1 00	1 串 ※
事務効率と事業の質の向上につの支援を継続する。	いて関係	団体と協議	しなから、南	引占街	の活性化	マ公共的語	は	をアーマと	したイベン	ト事業へ

令和 4 年度事後評価	令和 5	5 左	F度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 5 年(	6 月作成
事務事業名商店街空き店舗対	策モデル	事業	:		所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 多様な産業の活性	化				予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 番号 9
基本事業名 商店街・個店・もの	づくり産業の	の魅力		地形態 「選択可)	全部	『委託 🔽	一部委託	<b>/</b> 補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返		根拠		1.41-		-H- //. 1	W I . I			
平成13 年度~       市長公約       主要施策		去令等	₹		- ヤレンジャ - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	2		-		
	<u> </u>	目的			11生化又1友	尹未冊奶笠	区义门安神	IJ.		
①事業概要	<b>⑤</b> 対象	数の打	<b>推移</b>	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
商店街での開業を望む出店者 と魅力店の出店を望む商店街		商店街	(会)数(3月末現	街	36	35	35	33		
が、共同で申請する事業(商店	往			15-1						
街チャレンジャー募集事業)を実施するほか、空き店舗情報サイ	1									
トを通じて新たな出店希望者の 誘致につなげる。	ウ						20 / 5	5 . be etc		50 to the
防奴にづなける。	<b>⑥活動</b> :	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア商店行集回		化事業補助金募	件	1	1	2	1		
商店街における空き店舗を解消	チャレ	ンジャ	アー事業への協力	街	36	35	35	34		
するとともに、新たな誘客によりにぎわい創出につなげる。	・を呼び	グカッけ	た商店街数							
1-C 12 1 /41 FHI ( > 1-21) . 00		比坪		54 T	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
-	⑦成果:		策モデル事業	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		牛数(組	迷続を含む)	件	0	0	0	0		
新たな店舗の出店を促すことに より、商店街のにぎわいや活性	オー商店行事業が	封チャ 芯募件	レンジャー募集 :数	件	3	4	4	2		
化、担い手づくりにつながる。	ウ奨励金	金を交	付した店舗数	店	2	2	4	2		
	(2)事業	± ∧ ¬	7 L	22 / L	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(乙)争。	長の) ゴ		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)		□⊥	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
商店街チャレンジャー募集事業 は、2件の計画を審査し、いず		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
れも交付対象として選定した。	1	内	地方債	千円 千円	0	0	0	0	0	0
東京都が運営する空き店舗情報サイト(市内空き物件情報を	事	訳	一般財源	千円	2,258	2,262	1,908	1,023		0
エリアごとにウェブ上で公開)の	費	昌		千円	2,258	2,262	1,908	1,023	2,095	0
紹介を通じて、創業希望者に情報提供を行った。			予算現額(B)	千円	2,313	2,285	2,285	2,089		_
		幇	1行率(A)/(B)	%	97.6%	99.0%	83.5%	49.0%	_	_
	2	職員	数(正規   月給   時給)		0.13 0.00 0.00	0.12 0.00 0.00	0.12 0.00 0.00	0.12 0.00 0.00	0.12 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人		E規職員分 ····································	千円	1,170	1,080	1,080	1,080	1,080	0
	件   費		年度任用職員等		0	0	0	1,000	0	0
			(件費計(C) 業費(A)+(C)	千円	1,170 3,428	1,080 3,342	1,080 2,988	1,080 2,103	1,080 3,175	0
2 評価の部	(3)	応争え	* (A) T (U)		3,428	3,342	2,988	۷,103	3,175	U
(1)全体総括(①事業の成果・②	②改革•改	善.	)課題•反省点)		改善	や見直しを図	った	(2)事業	きの方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性 [	イ:有	効性	✓ ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果)	1. 1.10 4.1	<b>6</b> 1111	++ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	<b>⊢</b> 1	: + 7 m/	>+61 -1-+	tot :-	)	削減 維	持 増加
商店街チャレンジャー募集事業は件を審査の結果、交付対象として			占者、商店街をプ	文援で	ざる形で実	き施し、応募	よいあった2	´        +		
(課題・反省点)			はと本坐の田畑)	- 47 \l	<del></del> → +	Φ \$r 1= 111		成 維 井		
商店街チャレンジャー募集事業にできるようにする必要がある。	27)(1(,	りで約	でも美の向知に	_劣(4)	、冏店街个	<b>沙</b> 新規出	占を依押し			
								(欧山)	    休止の場合に	おうなまり
(3)今後の事業の方向性(改革	*改善家	差)						(廃止・1	小皿ツ笏行り	*ルハ小安)
空き店舗情報サイトについては、			 是供元となるサイ	トのシ	ステム改修	に合わせ.	市のサイ	も改修が	必要になる	こと等か
ら、費用対効果を踏まえ、令和4年	手度は廃」	L する	こととし、代替措	置とし	て東京都の	の運営する	空き店舗情	青報サイト〜	へのリンクを	貼ること
で対応した。なお、令和5年度は 供を行っている。	冉い以前(	グ情報	対サイトを無償で[	別覧で	ごさる状況と	こなったため	)、_つ(ク)゙	ケイトへのり	ングを貼っ	(情報提

令和 4 年度事後評価	<u> </u>	<u> 15</u>	<u> 年度</u>	事務	<u> </u>	マネン	<u> ノメン</u>	トシー	<u>ト</u> 令和	10 5 年 6	<u>3 月作成</u>
事務事業名商店街活性化モデ	・ ル事	業 				所属部	産業文化	スポーツ音 <u></u>	課長名	奥野 武司	司 
政策名 都市基盤・産業						所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 多様な産業の活性	化					予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 番号 10
基本事業名商店街・個店・ものつ	づくり産	業の	魅力の向		<b>地形態</b>	✓ 全部	『委託	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		柝	見拠								
平成19 年度~	年度		令等	- 111 土産	W-7-7-	ごりい久間	1				
市長公約     主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業	の概点	要∙目	的•結果	立川市商業 • 活動• 成:		つくり余か					
①事業概要			の推移			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業対象となる商店街に対し、具体的な活性化へのシナリオと			実施した商							110-12	110 - 12
メニューを作成・実行し、商店街	ア数	Į.		1/1-1	街	26	25	24	24		
の活性化を図る。	1										
	ウ										
	⑥活	動指	標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア実		 業数		事業	4		4	4		
- 住民の生活に密着した地域商	1				$\vdash$						
店街の活性化を図ることにより、 地域の安全・安心や子育てにや	ウ				+ +						
さしいまちづくりなど、地域コミュ		1F	' <del></del>		336 J.L	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
ニティの活性化につなげる。		果指			単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)			(会)観光ッ		口	1	1	1	1		
商店街全体を活性化することに より魅力を創出し集客数を増加	<b>イ</b>  数		スタンプラ	リー(応募	人	248	784	872	1,278		
させる。	ゥ	<u>,                                     </u>									
					, ,	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)	事業(	のコスト		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)					千円	0	0	0	0	0	, and the second
商店街(会)観光ツアー事業、 農商連携事業、くるりんスタンプ			派 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	<b>『支出金</b>	千円	0	_	0	0	0	0
ラリー事業、個店の発信力強化	(		内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
事業を実施した。	7	事 詩	訳		千円	0	0	0	0	0	
1.26 5 62 5 62	1	<del>森</del> 1	ш,		- m		00	00	00	00	
1 7000 7000	1	· 業 費 一	_	-般財源	千円	5,500	,	5,500	5,500	5,500	
7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	1	業	事業費	貴計(A)	千円	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500 5,500	0
	1	業	事業費	費計(A) 見額(B)	千円	5,500 5,500	5,500 5,500	5,500 5,500	5,500 5,500		
	1	業	事業費 予算明 執行率	建計(A) 現額(B) (A)/(B)	千円 千円 %	5,500 5,500 100.0%	5,500	5,500 5,500 100.0%	5,500 5,500 100.0%	5,500 — —	
	4	業費	事業費 予算明 執行率 裁員数(正規	費計(A) 見額(B)	千円 千円 %	5,500 5,500 100.0%	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00	5,500 5,500 100.0%	5,500 5,500 100.0%	5,500 — —	0.00 0.00 0.00
		業費 ②人件 第	事業費予算明報行率 報員数(正規)	を計(A) 見額(B) (A)/(B) 見 月給   時給)	千円 千円 % 人 千円	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00	5,500 — — 0.07 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		業費②人は	事業費 予算班 執行率 銀員数 正規 正規 計 年度 係	B計(A) 現額(B) (A)/(B) <sub>見   月給   時給)</sub> 哉員分 壬用職員等	千円 千円 % 人 千円	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630	5,500 — — 0.07 0.00 0.00 630	0.00 0.00 0.00 0 0
	( ) 1 117	業費 ②人件費	事業費 予算野 執行率 裁員数(正規) 正規則 会計年度任	整計(A) 現額(B) (A)/(B) 見   月給   時給) 哉員分 壬用職員等 整計(C)	千円 4円 % 人 千円 千円	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 0	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630	5,500 — — 0.07 0.00 0.00 630	0.00 0.00 0.00 0.00 0 0
2 評価の部	( 1 11	業費②人件費③総	事業費 予算 野 執行率 職員数 正規 軍 大 年 度 任 人 件 費 事業費 (	B計(A) 現額(B) (A)/(B) 以   月給   時給)	千円 % 人 千円 千円 千円	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 0 631 0 631	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 0 6,130	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 0 631	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 0 630 6,130	5,500  0.07 0.00 0.00 630 0 630 6,130	
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②		業費 ②人件費 ③ · 改善	事業費	を計(A) 見額(B) (A)/(B) 見   月給   時給) 能員分 壬用職員等 を計(C) A)+(C)	千円 % 人 千円 千円 千円	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 6,130	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 630 6,130	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 630 6,130	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 0 630 6,130	5,500 	0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にマ) ア:目的妥当性		業費 ②人件費 ③ · 改善	事業費	B計(A) 現額(B) (A)/(B) 以   月給   時給)	千円 % 人 千円 千円 千円	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 0 631 0 631	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 630 6,130	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 630 6,130	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 0 630 6,130	5,500 	0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	②改革	<ul><li>業費</li><li>②人件費</li><li>③ 改有</li><li>参 善効</li></ul>	事業費 予算 教行率 裁員数 证 規 年 全 計 年 度 任 書 業 書 世 書 書 書 書 書 書 書 書 書 書 書 書 書 書 書 書	を計(A) 現額(B) (A)/(B) 思   月給   時給) 競員分 壬用職員等 を計(C) (A)+(C)	千円 % 人 千円 千円 千円	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 6,130 レ 改善	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 630 6,130 季や見直しを図	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 630 6,130	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 6,130 (2)事業	5,500 	0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にマ) (事業の成果)(改革・改善)	では、「一」では、「一、「一」では、「一、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一、「一」では、「一」では、「「一」では、「「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「「」に、「「」に、「「」に、「」に、「」に、「「」に、「「」に、「「」に、	<ul><li>業費</li><li>②人件費</li><li>③ 改有</li><li>※ 善効 来</li></ul>	事業費 予算事 執行率 戦員数(正規 正規財 会計年度任 事業費( 等・③課題 の冊子形	を計(A) 現額(B) (A)/(B) 思   月給   時給)	千円 千円 % 人 千円 千円 千円	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 6,130 レ 改善 エ:公平性	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 630 6,130 きや見直しを図 オ:そ	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 630 6,130	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 6,130 (2)事業	5,500	000 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)(改革・改善) くるりんスタンプラリーは、令和4年	では、「一」では、「一、「一」では、「一、「一」では、「一」では、「一、「「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一、「」では、「一、「一」では、「「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「「一」では、「「」では、「「」に、「「」に、「「」に、「「」に、「「」に、「」に、「「」に、「「」に	<ul><li>業費</li><li>②人件費</li><li>③ 改有</li><li>※ 善効 来</li></ul>	事業費 予算事 執行率 戦員数(正規 正規財 会計年度任 事業費( 等・③課題 の冊子形	を計(A) 現額(B) (A)/(B) 思   月給   時給)	千円 千円 % 人 千円 千円 千円	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 6,130 レ 改善 エ:公平性	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 630 6,130 きや見直しを図 オ:そ	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 630 6,130	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 6,130 (2)事業 「向上 成課持	5,500	0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)(改革・改善) くるりんスタンプラリーは、令和4年	では、「一」では、「一、「一」では、「一、「一」では、「一」では、「一、「「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一、「」では、「一、「一」では、「「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「「一」では、「「」では、「「」に、「「」に、「「」に、「「」に、「「」に、「」に、「「」に、「「」に	<ul><li>業費</li><li>②人件費</li><li>③ 改有</li><li>※ 善効 来</li></ul>	事業費 予算事 執行率 戦員数(正規 正規財 会計年度任 事業費( 等・③課題 の冊子形	を計(A) 現額(B) (A)/(B) 思   月給   時給)	千円 千円 % 人 千円 千円 千円	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 6,130 レ 改善 エ:公平性	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 630 6,130 きや見直しを図 オ:そ	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 630 6,130	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 6,130 (2)事業 向上維持低	5,500	0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)(改革・改善) くるりんスタンプラリーは、令和4年	では、「一」では、「一、「一」では、「一、「一」では、「一」では、「一、「「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一、「」では、「一、「一」では、「「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「「一」では、「「」では、「「」に、「「」に、「「」に、「「」に、「「」に、「」に、「「」に、「「」に	<ul><li>業費</li><li>②人件費</li><li>③ 改有</li><li>※ 善効 来</li></ul>	事業費 予算事 執行率 戦員数(正規 正規財 会計年度任 事業費( 等・③課題 の冊子形	を計(A) 現額(B) (A)/(B) 思   月給   時給)	千円 千円 % 人 千円 千円 千円	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 6,130 レ 改善 エ:公平性	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 630 6,130 きや見直しを図 オ:そ	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 630 6,130	5,500 5,500 100.0% 630 630 6,130 (2)事業 成果 点提 低下	5,500	000 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)(改革・改善) くるりんスタンプラリーは、令和4年	Table   Control of the control o	<ul><li>業費</li><li>②人件費</li><li>③ み有 を</li><li>が 善 効 来力</li></ul>	事業費事業の理解を対しています。	を計(A) 現額(B) (A)/(B) 思   月給   時給)	千円 千円 % 人 千円 千円 千円	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 6,130 レ 改善 エ:公平性	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 630 6,130 きや見直しを図 オ:そ	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 630 6,130	5,500 5,500 100.0% 630 630 6,130 (2)事業 成果 点提 低下	5,500	000 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (理題がある場合によ) (事業の成果)(改革・改善) くるりんスタンプラリーは、令和4年 加できるデジタル形式も併用して	では、「一」 には、「一」 には、「・」 に	業費 ②人件費 ③ · ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業 事 事 第 事 第 事 第 事 第 事 報 員 正年 件 書 (	計(A) 現額(B) (A)/(B) 現 月 解 日 時 解) 最 日 用 職 員 分 登 計(C) A)+(C) D・反省点) プ・対率性 が式に応店店	千円         千円         %         人円         千円         千円         正頭に	5,500 5,500 100.0% 630 0 630 6,130 ビ 改善 エ:公平性	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 630 6,130 きや見直しを図 オ:そ	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 6,130	5,500 5,500 100.0% 630 630 6,130 (2)事業 向上維持 低下 (廃止・作	5,500	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 ア:目的妥当性 [ (事業の成果)(改革・改善) くるりんスタンプラリーは、令和4年 加できるデジタル形式も併用して会	では、「一」 には、「一」 には、「・」 に	業費 ②人件費 ③ · ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業 事 事 第 事 第 事 第 事 第 事 報 員 正年 件 書 (	計(A) 現額(B) (A)/(B) 見 月給   時給) 哉員分 我用職員等 計(C) A)+(C) D・反省点) ウ:効率性 だ式に店店店	千円         千円         %         人円         千円         千円         正頭に	5,500 5,500 100.0% 630 0 630 6,130 ビ 改善 エ:公平性	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 630 6,130 きや見直しを図 オ:そ	5,500 5,500 100.0% 0.07 0.00 0.00 630 6,130	5,500 5,500 100.0% 630 630 6,130 (2)事業 向上維持 低下 (廃止・作	5,500	0 0.00 0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 0 0

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	<u> </u>	<u>,年</u> 月	度 事務	<u>事業</u>	マネシ	<u> ジメン</u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令和	和 5 年 (	6 月作成
事務事業名輝〈個店振興事業	:					所属部	産業文化	ー スポーツ部 <u></u>	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業						所属課	産業振興	課	係名	商工振興	
施策名 多様な産業の活性	· —					予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 番号 11
基本事業名 商店街・個店・ものへ	づくり屋	<b>産業</b> の	つ魅力の	向上 実加	施形態	✔ 全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返			根拠								
平成20 年度~	年度 <b>〇</b>		长令等								
1 現状把握の部(1)事務事業	)	要・	目的•結		.果						
①事業概要			数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市内の個店を、店づくりのデザイン性(外観・店内)や商品、ディ	<b>-</b> 1	市内商	あ店(個店)	· ·)数(経済セン	店	1,113					
スプレイ、接客・サービスなどの	1	サスより	<u>b)</u>		户	1,110	1,110	1,110	1,110		-
基準に基づき、輝く魅力を持つ 個店を選考し表彰するとともに、	1				$\downarrow \downarrow \downarrow$						
広く市内外に紹介する。	ウ										
	<b>6</b> 清	舌動指	旨標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア	推薦σ	 )あった彦	原店(個店)数	店	226		144	116		<b>F</b>
個店の活力を高めるとともに、地	1				+ +						-
域商店街の活性化を図る。					+						
	ウ					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑦成	<b></b>	旨標		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	アオ	長彰店	店舗数		店	5	5	5	5		
個店の魅力を創出し、市内中小 事業者の経営の安定化を図る。	1										
事業有の経呂の女足化を凶る。	ウ			-	† †						
						1101左座	DO左曲	DO左曲	D4左座	DE 左 由	L DC 左座
	(2)	事業	<b>美のコスト</b>	~	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)				国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
市内の魅力ある個店を市民等			財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
から推薦してもらい、審査委員 による審査を経て5店舗を表彰		1	源 —	地方債	千円		_	0	0	0	, ,
した。		事	訳	その他	千円			291	291	291	
輝く個店受賞店舗やまちの観光 情報等を紹介するウェブサイト		業 費 -	111	一般財源	千円			4,318	4,318	4,318	
「たらった立川」において、テー		^		養計(A)	千円		4,609	4,609	4,609	4,609	0
マ別の特集を通じて店舗やまちの情報発信を行った。				算現額(B) 率(A)//D)	千円		4,609	4,609	4,609	_	
NATIONALIA CITATA				<b>率 (A)/(B)</b> 正規   月給   時給)	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.19 0.00 0.00	2 00 0 00 0 0
		② 人		<sup>止現   月給   時給)</sup> 見職員分	千円			1,710	1,710	1,710	
		–		近城東刀 度任用職員等		0		0	0	0	_
		費		-費計(C)	千円	ŭ	, ,	1,710	1,710	1,710	
		3#		麦(A)+(C)	千円		6,319	6,319	6,319	6,319	1
2 評価の部											
(1)全体総括(①事業の成果・②							善や見直しを図 <b></b>		(2)事業	美の方針 	7.
※課題の有無 (課題がある場合によ)ア:目的妥当性 [		イ:有?	効性	ウ∶効率性		工:公平性	オ:そ	の他			スト    持   増加
(事業の成果) 市内の魅力ある個店の表彰を通し	",て、i	市内	産業の沿	E性化と身近	か観光	4情報等、	まちの魅力	発信につた	白向		.f寸   <sup>2</sup> 日 /)+
げることができた。また、受賞したり	店舗を								上 成 排 果 持	<b>  -</b>	
モチベーション向上等につながっ	った。								果持		
									低		
									<b>下</b> (廃止・	┃    ┃ 休止の場合に	は記入不要)
 (3)今後の事業の方向性(改革	. 改氰	<b>车案</b> 等	<b>车</b> )							,,,,,,,	S. 1
輝く個店受賞後のPR強化など賞				高めることで、	間接的	的な個店支	₹援を継続~	する。			

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	5	年度 事務	<u>事業</u>	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令和	和 5 年 6	3 月作成
事務事業名 工業団体支援事業	ž.	_	_	_	所属部	産業文化	ー スポーツ音	課長名	奥野 武司	_ 
政策名都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 多様な産業の活性	化				予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 番号 12
基本事業名商店街・個店・ものご	づくり産業	業の鬼		地形態 (選択可)	全部	<b>『委託</b>	一部委託	✔ 補助・	助成	連携∙協働
事業期間 単年度繰返	be the	根抗	拠							
平成10 年度~	年度	法令	· 生	<b>坐</b> 団体	*支援事業	補助金交付	4. 車網			
1 現状把握の部(1)事務事業	の概要	・目的			** <b>/ / / / / / / / / /</b>	1111-07-1-2-7-1	1 × 41.1			
①事業概要 工業者同士の横断的なつながり	⑤対≇	象数σ	り推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
を強化することを通じて、市内工	ア立	二二業	会加盟企業数	社	43	47	46	48		
業の振興を図る。	1 立/	工業		社	4	4	4	3		
	ウ									
	<u>/</u> ⑥活動	타난상	<del></del>	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
					実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)		<b>り金の</b>	交付回数	口	2	1	1	2		
市内工業を振興する。市内工業者の連携を強化する。	1									
	ウ									
	⑦成县	<b>果指</b> 桿	五	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア工	<b>業振興</b>	具事業実施回数	回	5		3	4		
市内製造業の集積を維持する。	1									
	ゥ									
					UO1左由	DO左曲	DO左曲	D.4 左 亩	DE左击	DC左由
	(2)事	業の	コスト	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
				平四	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0		<b>実績</b> 0	<b>実績</b> 0	計画 ()	0
立川工業会が自主的に運営す		財	国庫支出金	千円 千円	0	0	0	0	0	0
立川工業会が自主的に運営するホームページの管理や感染 症対策の取り組み、講演会、た		財源	国庫支出金	千円 千円 千円	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
立川工業会が自主的に運営するホームページの管理や感染	1	財源大	国庫支出金 材 数支出金 地方債 その他	千円 千円 千円 千円	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0
立川工業会が自主的に運営するホームページの管理や感染 症対策の取り組み、講演会、たま工業交流展への出展などに		財源内部	国庫支出金	千円 千円 千円	0 0	0 0 0 0 125	0 0	0 0	0 0 0	0 0
立川工業会が自主的に運営するホームページの管理や感染 症対策の取り組み、講演会、たま工業交流展への出展などに	① 事 業	財源内部	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円	0 0 0 0 300	0 0 0 0 125 125	0 0 0 0 300	0 0 0 0 215	0 0 0 0 300	0 0 0 0
立川工業会が自主的に運営するホームページの管理や感染 症対策の取り組み、講演会、たま工業交流展への出展などに	① 事 業	財源内訴	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 0 300 300 300	0 0 0 0 125 125 300 41.7%	0 0 0 0 300 300 300	0 0 0 0 215 215 300 71.7%	0 0 0 0 300 300 —	0 0 0 0 0 0
立川工業会が自主的に運営するホームページの管理や感染 症対策の取り組み、講演会、たま工業交流展への出展などに	① 事 業	財源内訴	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 300 300 300 100.0%	0 0 0 125 125 300 41.7%	0 0 0 300 300 300 100.0%	0 0 0 215 215 300 71.7%	0 0 0 300 300 	0 0 0 0 0 0 0 
立川工業会が自主的に運営するホームページの管理や感染 症対策の取り組み、講演会、たま工業交流展への出展などに	(1)事業費	財源内訴職	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 300 300 300 100.0%	0 0 0 125 125 300 41.7% 0.04 0.00 0.00	0 0 0 300 300 300 100.0% 0.04 0.00 0.00	0 0 0 0 215 215 300 71.7% 0.04 0.00 0.00	0 0 0 300 300  0.04 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 0 
立川工業会が自主的に運営するホームページの管理や感染 症対策の取り組み、講演会、たま工業交流展への出展などに	(1)事業費	財源内訴職員会	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 300 300 300 100.0% 0.03 0.00 0.00	0 0 0 125 125 300 41.7% 0.04 0.00 0.00 360 0	0 0 0 300 300 300 100.0% 0.04 0.00 0.00 360	0 0 0 215 215 300 71.7% 0.04 0.00 0.00 360 0	0 0 0 300 300  0.04 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 0 
立川工業会が自主的に運営するホームページの管理や感染 症対策の取り組み、講演会、たま工業交流展への出展などに	①事業費  ②人件費	財源内訴職会	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 300 300 300 100.0%	0 0 0 125 125 300 41.7% 0.04 0.00 0.00 360 0	0 0 0 300 300 300 100.0% 0.04 0.00 0.00	0 0 0 0 215 215 300 71.7% 0.04 0.00 0.00	0 0 0 300 300  0.04 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
立川工業会が自主的に運営するホームページの管理や感染症対策の取り組み、講演会、たま工業交流展への出展などに対して助成を行った。	①事業費	財源内訴 職 会 総	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C)	千円 千円 千円 千円 千円 % 人 千円 千円	0 0 0 300 300 300 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 0	$\begin{array}{c c} & 0 \\ & 0 \\ \hline & 0 \\ & 125 \\ \hline & 125 \\ \hline & 300 \\ \hline & 41.7\% \\ \hline & 0.04 & 0.00 & 0.00 \\ \hline & 360 \\ \hline & 0 \\ \hline & 360 \\ \hline & 485 \\ \hline \end{array}$	0 0 0 300 300 300 100.0% 0.04 0.00 0.00 360 0 660	0 0 0 215 215 300 71.7% 0.04 0.00 0.00 360 575	0 0 0 300 300  0.04 0.00 0.00 360 0 360	0 0 0 0 0 0 0 
立川工業会が自主的に運営するホームページの管理や感染症対策の取り組み、講演会、たま工業交流展への出展などに対して助成を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	①事業費  ②人件費	財源内訴 職 会 総 善・	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C)	千円         千円         千円         千円         千円         千円         千円         千円	0 0 0 300 300 300 100.0% 270 0 270	0 0 0 125 125 300 41.7% 0.04 0.00 0.00 360 0 485	0 0 0 300 300 300 100.0% 0.04 0.00 0.00 360 660	0 0 0 215 215 300 71.7% 0.04 0.00 0.00 360 575	0 0 0 300 300  0.04 0.00 0.00 360 660	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
立川工業会が自主的に運営するホームページの管理や感染症対策の取り組み、講演会、たま工業交流展への出展などに対して助成を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合に・) ア:目的妥当性	①事業費  ②人件費	財源内訴 職 会 総 善・	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C)	千円         千円         千円         千円         千円         千円         千円         千円	0 0 0 300 300 300 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 0	0 0 0 125 125 300 41.7% 0.04 0.00 0.00 360 485	0 0 0 300 300 300 100.0% 0.04 0.00 0.00 360 660	0 0 0 215 215 300 71.7% 0.04 0.00 0.00 360 575	0 0 0 300 300  0.04 0.00 0.00 360 660	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
立川工業会が自主的に運営するホームページの管理や感染症対策の取り組み、講演会、たま工業交流展への出展などに対して助成を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に))ア:目的妥当性[(事業の成果)新型コロナウイルス感染症の影響	①事業費 ②人件費 び 革・イ:により、	財源内訴 職 会 総 善 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) 事業費(A)+(C)	千円千円千円千円千円千円千円千円千円千円	0 0 0 300 300 300 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 0 270 570 立き	0 0 0 125 125 300 41.7% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 485 オ:そ	の の の 300 300 300 100.0% 0.04 0.00 0.00 360 660 るった	0 0 0 215 215 300 71.7% 0.04 0.00 0.00 360 575	0 0 0 300 300  0.04 0.00 0.00 360 660	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
立川工業会が自主的に運営するホームページの管理や感染症対策の取り組み、講演会、たま工業交流展への出展などに対して助成を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合に・) (事業の成果) 新型コロナウイルス感染症の影響たが、会員事業所における感染菜	① <b>(1 事業費</b>	財源内部 職 会 巻 勃 川組	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) 事業費(A)+(C) 事業費(A)+(C)	千円円千円円千円円千円円4円円千円円5100510051005100510051006100710081009100<	0 0 0 300 300 300 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 0 270 570 立 世 女 天 天 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	0 0 0 125 125 300 41.7% 0.04 0.00 0.00 360 485 すや見直しを図 オ:そ	0 0 0 300 300 300 100.0% 0.04 0.00 0.00 360 660	0 0 0 215 215 300 71.7% 0.04 0.00 0.00 360 575	0 0 0 300 300  0.04 0.00 0.00 360 660 ** の方針	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
立川工業会が自主的に運営するホームページの管理や感染症対策の取り組み、講演会、たま工業交流展への出展などに対して助成を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [環題がある場合によ) (事業の成果) 新型コロナウイルス感染症の影響	① <b>事業費</b> ② <b>人件費</b> ② <b>、</b> では、	財源内部   職   会   総   善 効   単   2   2   2   2   2   2   3   2   4   5   5   5   5   5   5   5   5   5	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) 事業費(A)+(C) 事業費(A)+(C) 事業費(A)+(C)	千円千円千円千円千円千円千円千円かきた	0 0 0 300 300 300 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 270 570 立業 エ:公平性	0 0 0 125 125 300 41.7% 0.04 0.00 0.00 360 485 まや見直しを図 オ:そ	0 0 0 300 300 300 100.0% 0.04 0.00 0.00 360 660	0 0 0 215 215 300 71.7% 0.04 0.00 0.00 360 575 (2)事業	0 0 0 300 300  0.04 0.00 0.00 360 660	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
立川工業会が自主的に運営するホームページの管理や感染症対策の取り組み、講演会、たま工業交流展への出展などに対して助成を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に)) ア:目的妥当性 [(事業の成果) 新型コロナウイルス感染症の影響たが、会員事業所における感染を環境の整備につながった。また、環境の整備につながった。また、こ	① <b>事業費</b> ② <b>人件費</b> ② <b>、</b> では、	財源内部   職   会   総   善 効   単   2   2   2   2   2   2   3   2   4   5   5   5   5   5   5   5   5   5	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) 事業費(A)+(C) 事業費(A)+(C) 事業費(A)+(C)	千円千円千円千円千円千円千円千円かきた	0 0 0 300 300 300 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 270 570 立業 エ:公平性	0 0 0 125 125 300 41.7% 0.04 0.00 0.00 360 485 まや見直しを図 オ:そ	0 0 0 300 300 300 100.0% 0.04 0.00 0.00 360 660	0 0 0 215 215 300 71.7% 0.04 0.00 0.00 360 575	0 0 0 300 300  0.04 0.00 0.00 360 660	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
立川工業会が自主的に運営するホームページの管理や感染症対策の取り組み、講演会、たま工業交流展への出展などに対して助成を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合により] (事業の成果) 新型コロナウイルス感染症の影響たが、会員事業所における感染を環境の整備につながった。また、会員相互の連携を深めるとともに	① <b>事業費</b> ② <b>人件費</b> ② <b>・・・</b> い取した かい いの エンな	財源内訴   職 会	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) ・③課題・反省点) 生 ウ:効率性 工業会として行う構造して行う構造して行うによっていた。	千円千円千円千円千円千円千円千円かきた	0 0 0 300 300 300 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 270 570 立業 エ:公平性	0 0 0 125 125 300 41.7% 0.04 0.00 0.00 360 485 まや見直しを図 オ:そ	0 0 0 300 300 300 100.0% 0.04 0.00 0.00 360 660	0 0 0 215 300 71.7% 0.04 0.00 0.00 360 575 (2)事業 (2)事業	0 0 0 300 300  0.04 0.00 0.00 360 660	の の の の の の の の の の の の の の
立川工業会が自主的に運営するホームページの管理や感染症対策の取り組み、講演会、たま工業交流展への出展などに対して助成を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に)) ア:目的妥当性[(事業の成果) 新型コロナウイルス感染症の影響たが、会員事業所における感染を環境の整備につながった。また、会員相互の連携を深めるとともに、(3)今後の事業の方向性(改革	①事業費 ②人件費 ぶに第川たた ・ 改 に の工たな ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	財源内訴   職 会 総 善 効 川組会ジ 等   (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	国庫支出金都支出金地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分計年度任用職員等人件費計(C) 事業費(A)+(C) ・③課題・反省点) ウ:効率性 工業会として行う先及に対する方式を表して行うたけではようである。	千千千千千千9       千千千千         千千千千9       千千千千         小大       千千千         小大       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         2       1	0 0 0 300 300 300 100.0% 270 0 270 570 立 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	0 0 0 125 125 300 41.7% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 485 ずナ:そ つ視察は見せで、出展等	0 0 0 300 300 300 100.0% 0.04 0.00 0.00 360 660 3co 660 3co 5co 5co 5co 5co 6co 6co 6co 6co 6co 6co 6co 6co 6co 6	0 0 0 215 300 71.7% 0.04 0.00 0.00 360 575 (2)事業 (2)事業	0 0 0 300 300  0.04 0.00 0.00 360 660 ** の方針	の の の の の の の の の の の の の の
立川工業会が自主的に運営するホームページの管理や感染症対策の取り組み、講演会、たま工業交流展への出展などに対して助成を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合により] (事業の成果) 新型コロナウイルス感染症の影響たが、会員事業所における感染を環境の整備につながった。また、会員相互の連携を深めるとともに	①事業費 ②人件費 ぶに第川たた ・ 改 に の工たな ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	財源内訴   職 会 総 善 効 川組会ジ 等   (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	国庫支出金都支出金地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分計年度任用職員等人件費計(C) 事業費(A)+(C) ・③課題・反省点) ウ:効率性 工業会として行う先及に対する方式を表して行うたけではようである。	千千千千千千9       千千千千         千千千千9       千千千千         小大       千千千         小大       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         1       1         2       1	0 0 0 300 300 300 100.0% 270 0 270 570 立 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	0 0 0 125 125 300 41.7% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 485 ずナ:そ つ視察は見せで、出展等	0 0 0 300 300 300 100.0% 0.04 0.00 0.00 360 660 3co 660 3co 5co 5co 5co 5co 6co 6co 6co 6co 6co 6co 6co 6co 6co 6	0 0 0 215 300 71.7% 0.04 0.00 0.00 360 575 (2)事業 (2)事業	0 0 0 300 300  0.04 0.00 0.00 360 660 ** の方針	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

令和 4 年度事後評価	<u> </u>	<u>- ر</u>	午皮 争恋	万争未	: Y 1\ 2	<u> </u>	<u> トンー</u>	<b>卜</b> 令和	<u>和 5 年 6</u>	3 月作成
事務事業名たま工業交流展					所属部	産業文化	スポーツ部	課長名	奥野 武司	司 
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	
施策名 多様な産業の活性					予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 番号 13
基本事業名商店街・個店・もの	づくり産業	の魅力	力の向上	実施形態	全部	『委託	一部委託	✔ 補助・	助成	連携·協働
事業期間 単年度繰返		根拠	Λ.							
平成13 年度~ 市長公約 主要施策		法令等	<b>生</b>	一 田 州	4日休浦田	金交付要約	<b>沙</b>			-
□ □ 艮公利   □ □ □ 土	<u> </u> 業の概要・	目的			(4) (4) (4)	<u> </u>	<u> </u>			
①事業概要	⑤対象			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
多摩地域21団体の広域連携により、中小企業の持つ優れた技					1			1	,,,,	
術や製品を一同に展示し、製品		<b>並欠い</b>	付団体数	団体	1	0	1	1		
開発や加工技術を紹介する展示会の開催を支援する。	1									
小云の財性で入扱する。	ウ									
	⑥活動:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア出展	企業数	<u></u> 数	社	137	<b>大順</b>	<b>一大</b> 順	133		BI E
新規市場の開拓や異業種との	イ来場	<b>去</b> 数		人	2,500	0	0	2,000		
マッチング、受注の確保につな		日弘			2,000			2,000		
げることで、ものづくり産業の活性化を図る。	ウ				1104年度	50年度	50年亩	5.4 左薛	55年帝	50年度
	⑦成果			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア受注	等の配	商談効果があった 業の割合	た %	32.0			21.0		
ものづくり産業の魅力を創出し、	イ イ	_/ <u>_</u> 1E.	悪い							
さまざまな業種の連携・融合により、多様な産業の活性化を図										
る。	ウ									
	(2)事業	業のΞ	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出会	金千円	0	0	0	0	0	
新型コロナウイルス感染症拡大の影響の群スカスが大		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
の影響の残る中ではあったが、 感染対策を行うことにより、第20	1	源内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
回たま工業交流展を開催し多く	事	訳	その他	千円	0	0	0	0	0	0
の来場者を迎えた。	業費		一般財源	千円	1,000	0	400	1,000	1,000	0
	貝	Ī	事業費計(A)	千円	1,000	0	400	1,000	1,000	0
			予算現額(B)	千円	1,000	1,000	1,000	1,000	—	_
		1	執行率(A)/(B)	%	100.0%	0.0%	40.0%	100.0%	_	_
	2	-	数(正規   月給   時	3 1947			0.04 0.00 0.00			
			正規職員分	千円	360	360	360	360	360	
	費		├年度任用職員 人件費計(C)	(寺 十円 千円	360	360	360	360	360	0
	3		ス件負計(C) 業費(A)+(C)	_	1,360	360	760	1,360	1,360	
L 2 評価の部		<b>心于</b> :	未其 (A) T (U	<i>)</i>	1,500	300	100	1,500	1,500	V
(1)全体総括(①事業の成果・(	②改革・改	[善(	③課題・反省,	点)	改善	きや見直しを図	<b>引った</b>	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性	【 イ: 有	勃性	:ウ:効率	性	エ:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果)	وميات د د د	. > >	BB 7W 3. FT	U.s. 2/#+ /+		~ was=#	··	一向	削減  維	持増加
新型コロナウイルス感染症の対策 工業交流展を開催することが出来		たりス	_での開催を目	指し準備	を進め、3	5年ふりにす	\$20回たま	上		
	10,00							成 維果 持		)
								未   <u>持</u>   低		
								下	:5.4	
		4-4- \						(廃止・	休止の場合は	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革			一人1.1 一八	ᄼᆓᄔᅛᅜ	n#4 D	1 1.45	つ、マー人が	<b>クルト →公</b> +n ,	アイ中米中	' n ± h
定期的に開催されているものづくニーズを踏まえつつ、これまで参										
けていく。			· , · · ·	• •	,	,	~ · · · =			<u> </u>

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	] <u>5</u>	年度	き 事務	事 <u>業</u>	マネシ	ブメ <u>ン</u>	ト <u>シー</u>	ト <sub>令和</sub>	和 5 年 6	6 <u>月作成</u>
事務事業名 立川産品販路拡大							産業文化				
政策名 都市基盤・産業						所属課	産業振興	 課	係名	商工振興	<del></del> 係
施策名 多様な産業の活性	化					予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 番号 14
基本事業名 商店街・個店・もの	づくり産	三業の!	魅力の「		<b>地形態</b>	全部	『委託	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返 平成22 年度~	年度		·····································								
市長公約 主要施策	1° ~ 10T					1販路拡大	等支援事業	<b></b> 業補助金交	付要綱		
1 現状把握の部 (1)事務事業 ①事業概要							- in the				
市内事業者が、市内外で開催される展示会等への出展や知的	一	去人市巨	の推移 民税法人	· 、税割課税対	単位者	<b>H31年度</b> 7,023	<b>R2年度</b> 7,141	<b>R3年度</b> 7,330	<b>R4年度</b> 7,493	R5年度	R6年度
財産権の取得、産業技術研究 センター等、公的な支援施設の 利用及び販路拡大に用いる媒	1	食者数_									
体の作成にかかる費用の一部	ウ										
を助成し、市内事業者の販路拡大を図る。	⑥活	動指	標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア店	、報、HI 日知回数	P、チラジ	ン配布等の	回	3		3	3	#1.	#. <u>-</u>
市内事業者の販路が拡大され		1 対助事業		-	件	6	12	6	11		
る。	ウ					' pdy			1 - win	1 - abo	'- <del>-</del>
		某指			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		反路拡大 針数	尺を図っ	た延べ事業	者	6		6	11		
市内事業者の新たな販路開拓や技術力の証明などを通じて、	1										
産業の魅力創出につながる。	ウ										
	(2)	事業0	のコスト	,	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国	庫支出金	千円	0		0	0	0	
展示会への出展や産業技術研究センター等の施設利用、製品			財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	, ,
サンプルの作成、特許権取得に		1	内	地方債	千円	0	<u> </u>	0	0	0	
かかる費用の一部を助成した。		事言業	訳		千円	1 120			_		
		来 費 <del>─</del>		一般財源 費計(A)	千円	1,129 1,129		1,389 1,389	2,996 2,996	3,000	0
				負計(A) 現額(B)	千円	3,000		3,000	3,000	<del></del>	_
				亥(A)/(B)	%	37.6%	73.0%	46.3%	99.9%	_	_
		② 職		規   月給   時給)	人		0.11 0.00 0.00			0.06 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		人	正規	職員分	千円	540	990	540	540	540	0
		件 会		任用職員等		0	_	0	0	0	ű
	, [				千円	540	990	540	540	540	
		(3)総等	事業費	(A)+(C)	千円	1,669	3,179	1,929	3,536	3,540	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革	•改善	• ③課	題•反省点)		改善	きや見直しを図	引った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性		イ:有効		ウ∶効率性		工:公平性		の他			スト
(事業の成果)			S lake -	2011 - He	~ 44	·· - / / 1 .	- 1 // F	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	, 	削減維	持増加
展示会等への出展にかかる経費得等にかかる費用の一部を助成									`    上		
た。展示会等の出展機会が徐々											)
利用があった。									延		
									一下	休止の場合に	+ 却 1 不 亜 )
 (3)今後の事業の方向性(改革	- 改善	室生)	)						(伊北)	小皿 り 物 ロ で	よ記ハイマノ
これまでに補助金を活用した事業				うなどして、こ	より高い	ハ効果に絹	告びつくよう	な支援につ	つなげてい。	<.	
	•//						7 -			•	

令和 4 年度事後評価	令和:	5 年度 事務	事業	ミマネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令	和 5 年 6	8 月作成
事務事業名 ものづくり企業地域	<b>大生推</b> 注	<b></b> 進助成事業		所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業				所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 多様な産業の活性	化			予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 番号 17
基本事業名 商店街・個店・もの	づくり産業		施形態		8番託	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携・協働
事業期間		根拠	**************************************						
平成28 年度~	年度 <b>う</b>	<b>+</b> 今 <b>年</b>	のづけ	N个来中点	共生推進	<b>出出 会 </b>	+亜纲		
	•			7 企業地域	兴生推进	<u> </u>	安神		
①事業概要		数の推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
ものづくり企業が実施する操業環境改善の取り組み(設備設置	東市内	の製造業事業所数	事業	255					
等)を支援することを通じて、市	/ (経済	マンサスより)	所	200	200	200	240		
内への立地継続を支援し、産業 集積を維持する。	1								
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ウ								
	⑥活動	指標	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア補助	 件数	件	0			0		
厳しい操業環境にあった事業者	1								
が、環境改善によって引き続き 市内で操業を継続することがで	ゥ								
きる。		16.17		H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑦成果	<b>指標</b> 環境改善を実施した件	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア数無	現現以音を美施し <u>に</u> 件	件	0	0	1	0		
事業者の操業環境が改善され、市内の産業集積が維持される。	1								
川ドルグ生来来傾が下町りですがる。	ウ								
	(8) 書き	* O – 7 l		H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)事。	業のコスト	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)		国庫支出金			0		0	0	_
前期・後期にわけて募集した が、申請はなかった。		財都支出金	千円		, ,	1,034	0	2,000	
( ) HI3133 3 1 =0	1	内地方領	千円		Ŭ		0	0	_
	事業	訳 その他 一般財源	千円				0	1,000	
	費	事業費計(A)	千円			1,552	0	3,000	
		予算現額(B)	千円		_				
		執行率(A)/(B)	%	0.0%	0.0%	34.5%	0.0%	_	_
	2	職員数(正規   月給   時終	(合) 人	0.04 0.00 0.00	0.03 0.00 0.00	0.04 0.00 0.00	0.04 0.00 0.00	0.04 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人	正規職員分	千円	360	270	360	360	360	0
	件   費	会計年度任用職員等			0	0	0	0	0
		人件費計(C)	千円			360	360	360	0
	(3)	総事業費(A)+(C)	千円	360	270	1,912	360	3,360	0
<u>(1)全体総括(①事業の成果・②</u>	②改革∙改	z善·③課題·反省点	.)	改割	島や見直しを図	図った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性 [	イ:有	可効性	ŧ	エ:公平性	<b>レ</b> オ:そ	の他		تر =	スト
(課題・反省点)		<u> </u>						削減維	持 増加
工場周辺の宅地化が進む中、周業者の実態把握と事業の周知に			してどの	りような課題	<b>重を抱えてい</b>	いるか、事	向		
来有の大窓に座と事来の何かで	<del>71</del> ∿7′0′2′13	安かながる。					成 維 果 持	(	
							朱  持		
							一下		
(0) 人然 の声巻の十六 牡 /=ヒ艹	· 1-*=	生					(廃止・	休止の場合は	は記入不要)
(3) 今後の事業の方向性(改革 今後も商工会議所等と情報共有し			-田の+	日鉄/アシトウ	1 アレン				
フ吸り阿上云硪川寺と旧報共有し	いよかり、	両皮ツ川和で別成品	コハロソノイ	ロ欧(こと)心	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				

令和 4 年度事後評価	行和	Цť	οπ	F度 事	- 務事	苿	マネシ	ノメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 5 年 (	6 月作成
事務事業名 技能功労褒賞事業	<b></b>						所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤•産業							所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 多様な産業の活性	比化						予算科目	会計 1	款 5	項 1	目 1	事業 3
基本事業名中小事業者の経営	安定化	<u>と</u> へ(	の支持	爰	実施形	態	全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携·協働
事業期間 単年度繰返			根拠		(核级)共初	(H)			·			
Tan	年度		去令等	<b>生</b>	古坛能工	<b>五光</b> =	者褒賞要	如				
	業の概	要・	目的			7777	日次貝女	NI <sup>M</sup> I				
①事業概要			数の技			.位Ⅰ	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
長年にわたり優れた技能・技術 で生計を営んできた方を表彰す				市民(11月1	1日租	-	1101 1/2					110 112
ることで、その技能の継承と技	<b>                                   </b>	王)		市民(11月1	1011		_	66,639	67,157	68,252		
能者の志気と地位の向上につ なげる。	<b>イ</b>	王)	МT.V	加氏(11万1	「日先」	(	54,285	54,790	55,244	55,672		
(41) (20	ウ											
	<b>⑥</b> 清	5動:	指標		単	.位 <sup>1</sup>	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)			を呼び	かけた技能	団体	<b>1</b>	<b>天根</b> 25	24		<del>天</del> 模 24		
優れた技能の継承及び技能者	<b>少</b>			· 性化推進員	真によ <sub>[[</sub>	1	9	0		6		
の志気・地位の向上につなげ		う聞き	<u>き取り</u> 0	り回数		1	3	0	0	0		
る。	ウ						H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑦瓦	大果:	指標		単	位 '	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア	支能	功労褒	受賞受賞者	)	\	9	7	8	6		
優れた技能を次世代につなぐこ	1											
とで、事業者の経営の安定化及 び地域産業の発展につながる。	ゥ											
							山21年度	DO任由	D2 年度	D4年度	DE年度	DG任由
	(2)	事第	巣の≒	スト	単	.位 '	H31年度 実績	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
							天限	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)	П			国庫支持	出金千	円	<del>天</del> 棋	<b>美</b> 額 ()	<b>美</b> 頼	<b>美積</b> 0	計画 0	
技能功労団体からの対象技能			財源	国庫支統都支出		円 円						0
技能功労団体からの対象技能 者の推薦と市報による公募によ		1	財源内	都支出 地方	d金 千 債 千	円円	0	0	0	0	0	0
技能功労団体からの対象技能者の推薦と市報による公募により、対象者を募り、市が選考し褒賞を行った。 候補者への経歴		事	源	都支出 地方位 その位	d金 千 債 千 他 千	円 円	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0 0	0 0 0	0 0 0
技能功労団体からの対象技能 者の推薦と市報による公募によ り、対象者を募り、市が選考し褒	Ш	事業	源内訳	都支出 地方( その( 一般)	は金 千 債 千 他 千 オ源 千	円 円 円	0 0 0 0 161	0 0 0 0 156	0 0 0 0 130	0 0 0 0 132	0 0 0 0 211	0 0 0 0
技能功労団体からの対象技能者の推薦と市報による公募により、対象者を募り、市が選考し褒賞を行った。候補者への経歴等聞き取り調査にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、候補者に書面で記	Ш	事	源内訳	都支出 地方の その( 一般財 事業費計()	計金     千       情     千       他     千       才源     千       A)     千	H H H H	0 0 0 0 161 161	0 0 0 0 156	0 0 0 0 130 130	0 0 0 0 132	0 0 0	0 0 0 0
技能功労団体からの対象技能 者の推薦と市報による公募により、対象者を募り、市が選考し褒賞を行った。候補者への経歴 等聞き取り調査にあたっては、 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、候補者に書面で記載いただいたものに基づき、電	Ш	事業	源内訳	都支出 地方( その( 一般財 事業費計() 予算現額(E	計金 千 債 千 他 千 材源 千 A) 千 B) 千	円 円 円 円	0 0 0 0 161 161 224	0 0 0 0 156 156	0 0 0 0 130 130 218	0 0 0 0 132 132 218	0 0 0 0 211	0 0 0 0
技能功労団体からの対象技能者の推薦と市報による公募により、対象者を募り、市が選考し褒賞を行った。候補者への経歴等聞き取り調査にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、候補者に書面で記		事業費	源内訳	都支出 地方( その( 一般財 事業費計(A 予算現額(E 4行率(A)/(	計金 千 債 千 他 千 オ源 千 A) 千 (B) 9	円 円 円 円 円	0 0 0 0 161 161 224 71.9%	0 0 0 0 156 156 224 69.6%	0 0 0 0 130 130 218 59.6%	0 0 0 0 132 132 218 60.6%	0 0 0 0 211 211 —	0 0 0 0 0 0
技能功労団体からの対象技能 者の推薦と市報による公募により、対象者を募り、市が選考し褒賞を行った。候補者への経歴 等聞き取り調査にあたっては、 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、候補者に書面で記載いただいたものに基づき、電話または短時間の対面形式に		事業費	源内訳 報員	都支出 地方( その( 一般財 業費計(A 予算現額(E 以行率(A)/( 数(正規   月経	計金 千 債 千 他 千 hi 千 A) 千 B) 千 (B) 9	円 円 円 円 円 ん し	0 0 0 161 161 224 71.9%	0 0 0 156 156 224 69.6%	0 0 0 130 130 218 59.6%	0 0 0 132 132 218 60.6%	0 0 0 211 211 	0 0 0 0 0 0 0 0 0
技能功労団体からの対象技能 者の推薦と市報による公募により、対象者を募り、市が選考し褒賞を行った。候補者への経歴 等聞き取り調査にあたっては、 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、候補者に書面で記載いただいたものに基づき、電話または短時間の対面形式に		事業費 ②人	源内訳	都支出 地方( その( 一般財 事業費計(A 予算現額(E 執行率(A)/( 数(正規   月総 正規職員分	計金 千 債 千 付源 千 A) 千 B) 千 (B) 9	円 円 円 円 円 へ し し 円 の し 円 の し 円 の し の し の し の し の し の	0 0 0 161 161 224 71.9% 22 0.18 0.00 1,980	0 0 0 0 156 156 224 69.6%	0 0 0 0 130 130 218 59.6%	$\begin{array}{c} 0 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 132 \\ 132 \\ 218 \\ 60.6\% \\ 0.22 & 0.25 & 0.00 \\ 1,980 \\ \end{array}$	0 0 0 211 211 — 0.22 0.25 0.00	0 0 0 0 0 0 0 
技能功労団体からの対象技能 者の推薦と市報による公募により、対象者を募り、市が選考し褒賞を行った。候補者への経歴 等聞き取り調査にあたっては、 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、候補者に書面で記載いただいたものに基づき、電話または短時間の対面形式に		事業費	源内訳 報員 会計	都支出 地方( その( 一般財 業費計(A 予算現額(E 以行率(A)/( 数(正規   月経	+ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	円 円 円 円 円 ん し 円 に 円 に 円 に の に の に の に の に の に の に の に	0 0 0 161 161 224 71.9% 22 0.18 0.00 1,980 630	0 0 0 156 156 224 69.6% 0.23 0.00 0.00 2,070	0 0 0 130 130 218 59.6% 0.22 0.00 0.00	0 0 0 132 132 218 60.6%	0 0 0 211 211 	0 0 0 0 0 0 0 
技能功労団体からの対象技能 者の推薦と市報による公募により、対象者を募り、市が選考し褒賞を行った。候補者への経歴 等聞き取り調査にあたっては、 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、候補者に書面で記載いただいたものに基づき、電話または短時間の対面形式に		事業費 ②人件費	源内訳	都支出 地方( その( 一般財 業費計(/ 予算現額(E 執行率(A)/( 数(正規   月報 正規職員分 年度任用職	+ 計金 千 情他 千 十 (B) 9 (B) 9 (B) 9 (B) 9 (B) 9 (B) 9 (B) 9 (B) 7 (C) 千	円 円 円 円 円 へ し し 円 の し 円 の し 円 の し の し の し の し の し の	0 0 0 161 161 224 71.9% 22 0.18 0.00 1,980	0 0 0 156 156 224 69.6% 0.23 0.00 0.00	0 0 0 130 130 218 59.6% 0.22 0.00 0.00 1,980	$\begin{array}{c} 0 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 132 \\ 132 \\ 218 \\ 60.6\% \\ 0.22 & 0.25 & 0.00 \\ 1,980 \\ 1,050 \\ \end{array}$	$\begin{array}{c} 0 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 211 \\ 211 \\ \\ 0.22 \begin{array}{c} 0.25 \\ 0.00 \\ 1,980 \\ 1,050 \end{array}$	0 0 0 0 0 0 0  0.00 0.00 0.00
技能功労団体からの対象技能 者の推薦と市報による公募により、対象者を募り、市が選考し褒賞を行った。候補者への経歴 等聞き取り調査にあたっては、 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、候補者に書面で記載いただいたものに基づき、電話または短時間の対面形式に		事業費 ②人件費	源内訳	都支出 地方( その( 一般財 事業費計(A)/( 数(正規   月総 正規職員分 年度任用職 人件費計((	+ 計金 千 情他 千 十 (B) 9 (B) 9 (B) 9 (B) 9 (B) 9 (B) 9 (B) 9 (B) 7 (C) 千	円 円 円 円 円 の し し し し し し し し し し し し し し	0 0 0 161 161 224 71.9% 22 0.18 0.00 1,980 630 2,610	0 0 0 156 156 224 69.6% 0.23 0.00 0.00 2,070	0 0 0 130 130 218 59.6% 0.22 0.00 0.00 1,980	0 0 0 132 132 218 60.6% 1,980 1,050 3,030 3,162	0 0 0 211 211 — 0.22 0.25 0.00 1,980 1,050 3,030 3,241	0 0 0 0 0 0 0  0.00 0.00 0.00
技能功労団体からの対象技能者の推薦と市報による公募により、対象者を募り、市が選考し褒賞を行った。候補者への経歴等聞き取り調査にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、候補者に書面で記載いただいたものに基づき、電話または短時間の対面形式にて実施した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	2改革	事業費②人件費③	源内訳	都支出 地方の そのほ ・ 一般財 ・ ・ ・ でのは ・ ・ でのは ・ ・ でのは ・ ・ でいます。 ・ のでは、 の	<ul><li>金 千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千</li></ul>	円 円 円 円 円 の し の の の の の の の の の の の の の	0 0 0 161 161 224 71.9% 22 0.18 0.00 1,980 630 2,610 2,771	0 0 0 156 156 224 69.6% 0.23 0.00 0.00 2,070 0 2,226	0 0 0 130 130 218 59.6% 0.22 0.00 0.00 1,980 0,1,980 2,110	0 0 0 132 132 218 60.6% 1,980 1,050 3,030 3,162	0 0 0 211 211  0.22 0.25 0.00 1,980 1,050 3,030 3,241	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
技能功労団体からの対象技能者の推薦と市報による公募により、対象者を募り、市が選考し褒賞を行った。候補者への経歴等聞き取り調査にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、候補者に書面で記載いただいたものに基づき、電話または短時間の対面形式にて実施した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・ ※課題の有無 (課題がある場合に) ア:目的妥当性	2改革	事業費②人件費③	源内訳	都支出 地方の そのほ ・ 一般財 ・ ・ ・ でのは ・ ・ でのは ・ ・ でのは ・ ・ でいます。 ・ のでは、 の	<ul><li>金 千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千</li></ul>	円 円 円 円 円 の し の の の の の の の の の の の の の	0 0 0 161 161 224 71.9% 22 0.18 0.00 1,980 630 2,610 2,771	0 0 0 156 156 224 69.6% 0.23 0.00 0.00 2,070 0 2,226	0 0 0 130 130 218 59.6% 0.22 0.00 0.00 1,980 0 1,980 2,110	0 0 0 132 132 218 60.6% 1,980 1,050 3,030 3,162	0 0 0 211 211 - - 0.22 0.25 0.00 1,980 1,050 3,030 3,241	0 0 0 0 0 0 
技能功労団体からの対象技能者の推薦と市報による公募により、対象者を募り、市が選考し褒賞を行った。候補者への経歴等聞き取り調査にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、候補者に書面で記載いただいたものに基づき、電話または短時間の対面形式にて実施した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性(事業の成果)	②改革	事業費 ②人件費 ③ 改 有	源内訳	都支出 地方の そので 一般財 業費親(E) 数では現り 月経 正規 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	<ul> <li>金 千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千</li></ul>	円 円 円 円 円 の し 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	0 0 0 161 161 224 71.9% 22 0.18 0.00 1,980 630 2,610 2,771 改善	0 0 0 156 156 224 69.6% 0.23 0.00 0.00 2,070 0 2,070 2,226 ず・見直しを図	0 0 0 130 130 218 59.6% 0.22 0.00 0.00 1,980 0 1,980 2,110	0 0 0 132 132 218 60.6% 1,980 1,050 3,030 3,162	0 0 0 211 211 - - 0.22 0.25 0.00 1,980 1,050 3,030 3,241	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
技能功労団体からの対象技能者の推薦と市報による公募により、対象者を募り、市が選考し褒賞を行った。候補者への経歴等聞き取り調査にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、候補者に書面で記載いただいたものに基づき、電話または短時間の対面形式にて実施した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(楽題がある場合により、ア:目的妥当性(事業の成果)様々な技能をもって長年にわたり、功労者として褒賞した。	②改革	事業費 ②人件費 ③ 改 有	源内訳	都支出 地方の そので 一般財 業費親(E) 数では現り 月経 正規 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	<ul><li>金 千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千</li></ul>	円 円 円 円 円 の し 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	0 0 0 161 161 224 71.9% 22 0.18 0.00 1,980 630 2,610 2,771 改善	0 0 0 156 156 224 69.6% 0.23 0.00 0.00 2,070 0 2,226 季や見直しを図	0 0 0 130 130 218 59.6% 0.22 0.00 0.00 1,980 0 1,980 2,110	0 0 0 132 132 218 60.6% 1,980 1,050 3,030 3,162	0 0 0 211 211  0.22 0.25 0.00 1,980 1,050 3,030 3,241 **の方針	000000000000000000000000000000000000
技能功労団体からの対象技能者の推薦と市報による公募により、対象者を募り、市が選考し褒賞を行った。候補者への経歴等聞き取り調査にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、候補者に書面で記載いただいたものに基づき、電話または短時間の対面形式にて実施した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(課題がある場合によりで)・ア:目的妥当性(事業の成果)様々な技能をもって長年にわたり、対労者として褒賞した。(課題・反省点)	②改革	事業費   ②人件費 ③     ・ イ・の	源内訳 職 会 総 善 対 変	都支出 地方の そのは 一般財 業 類 報 (A) / ( 数 近 規 職 任 財 報 任 費 (A) + ( 電 課 題 ウ : 交 を え 、後継	<ul> <li>金 千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千</li></ul>	円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	0 0 0 161 161 224 71.9% 22 0.18 0.00 1,980 630 2,610 2,771 改善	0 0 0 156 156 224 69.6% 0.23 0.00 0.00 2,070 0 2,070 2,226 キャ見直しをほ	0 0 0 130 130 218 59.6% 0.22 0.00 0.00 1,980 0 1,980 2,110	0 0 0 132 132 218 60.6% 1,980 1,050 3,030 3,162	0 0 0 211 211  0.22 0.25 0.00 1,980 1,050 3,030 3,241 **の方針	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
技能功労団体からの対象技能者の推薦と市報による公募により、対象者を募り、市が選考と優等聞き取り調査にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、候補者によび患者に対したが、は短時間の対面形式にて実施した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(課題がある場合により)で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、	2 ② 改革 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事業費   ②人件費   ③   改 有 産 団ケの	源内訳 職 会 総 善 対 業 か 推 が 産 が 産 が 産 が 産 が 産 が 産 が 産 が 産 が 産 が	都支出 ・ で で で で が 単 が 単 が 単 で で が 単 で で で が 単 で で で が 単 で で で が 単 で で で が 単 で で で が 単 で で で が 単 で で で で	金 (A) (B) (B) (B) (B) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C	円円円円円の6人円円円円       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       2       2       3       4       4       5       6       7       8       9       1       1       1       1       2       2       2       3       4       4       5       6       6       7       8       8       9       9       9       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1	0 0 0 161 161 224 71.9% 22 0.18 0.00 1,980 630 2,610 2,771 立き たって ある一方を	0 0 0 156 156 224 69.6% 0.23 0.00 0.00 2,070 2,070 2,226 すった。	0 0 0 130 130 218 59.6% 0.22 0.00 0.00 1,980 0 1,980 2,110	0 0 0 132 218 60.6% 1,980 1,050 3,030 3,162	0 0 0 211 211  0.22 0.25 0.00 1,980 1,050 3,030 3,241 **の方針	000000000000000000000000000000000000
大能功労団体からの対象技能者の推薦と市報による公募により、対象者を募り、市が選者を展り、市が選を行った。候補者へって近い調査にあたって近い調査にあたって近い調査により、供補者にあた。をいただいたものに基づき、電話または短時間の対面形式にて実施した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・で、実題の有無、課題の有無、課題がある場合によりで、事業の成果)様々な技能をもって長年にわたり、一次で表さした。(課題・反省点)近年、技能職団体の会員減等にて長年にわたり技術職に必って長年にわたり技術職に必ず商工会におたりを対策にあった。(課題・反省点)近年、大きにおたり大きにある場合により、表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表	2 ② 改革 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事業費   ②人件費   ③   改 有 産 団ケの	源内訳 職 会 総 善 対 業 か 推 が 産 が 産 が 産 が 産 が 産 が 産 が 産 が 産 が 産 が	都支出 ・ で で で で が 単 が 単 が 単 で で が 単 で で で が 単 で で で が 単 で で で が 単 で で で が 単 で で で が 単 で で で が 単 で で で で	金 (A) (B) (B) (B) (B) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C	円円円円円の6人円円円円       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       2       2       3       4       4       5       6       7       8       9       1       1       1       1       2       2       2       3       4       4       5       6       6       7       8       8       9       9       9       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1	0 0 0 161 161 224 71.9% 22 0.18 0.00 1,980 630 2,610 2,771 立き たって ある一方を	0 0 0 156 156 224 69.6% 0.23 0.00 0.00 2,070 2,070 2,226 すった。	0 0 0 130 130 218 59.6% 0.22 0.00 0.00 1,980 0 1,980 2,110	0 0 0 132 218 60.6% 0.22 0.25 0.00 1,980 1,050 3,030 3,162 (2)事業	0 0 0 211 211  0.22 0.25 0.00 1,980 1,050 3,030 3,241 <b>(の方針</b>	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
技能功労団体からの対象技能者の推薦と市報による公募により、対象者を募り、市が選考と褒賞を行った。候補者への経歴等聞き取り調査にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、候補者に書づき、電戦いただいたものに基づき、電話または短時間の対面形式にて実施した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(、課題の有無、、課題の有無、、課題の有無、、課題の有無、、課題の有無、、課題がある場合により、下:目的妥当性(事業の成果)様々な技能をもって長年にわたり技術職に従事に、技能職団体の会員減等にて長年にわたり技術職に従事して長年にわたり技術職に従事して長年にわたり技術職に従事して長年にわたり技術職に従事として、表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を	② <b>改革</b> · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	事業費 ②人件費 ③ 改 有 産 切の会	源内訳 職 会 巻 善 外 業 か 推員 計 事・作 を ら 声向	都支出 ・ でので ・ でので ・ でので ・ でででは、	金 (A) (B) (B) (B) (B) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C	円円円円円の6人円円円円       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       2       2       3       4       4       5       6       7       8       9       1       1       1       1       2       2       2       3       4       4       5       6       6       7       8       8       9       9       9       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1       1	0 0 0 161 161 224 71.9% 22 0.18 0.00 1,980 630 2,610 2,771 立き たって ある一方を	0 0 0 156 156 224 69.6% 0.23 0.00 0.00 2,070 2,070 2,226 すった。	0 0 0 130 130 218 59.6% 0.22 0.00 0.00 1,980 0 1,980 2,110	0 0 0 132 218 60.6% 0.22 0.25 0.00 1,980 1,050 3,030 3,162 (2)事業	0 0 0 211 211  0.22 0.25 0.00 1,980 1,050 3,030 3,241 **の方針	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

東京都のマイスター事業(東京都優秀技能者事業)等の類似事例も情報収集するなど、市内に潜在している優れた技術者を的確に把握する方策を検討する。推薦者となる既存の技能団体との関係を深めるほか、団体に属さない技能者の褒賞にもつながるよう、推薦制度を広く周知していく。優れた技術の継承及び技能者の志気を高めるとともに、技能者の地位向上につながるため、引き続き事業を継続していく。

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u> ;	5 年度	事務	事業	マネシ	<u> ジメン</u>	<u>トシー</u>	<u>ト</u> 令和	10 5 年 6	3 月作成
事務事業名勤労者福祉支援事	業				所属部	産業文化	スポーツ部 — <u>—</u>	課長名	奥野 武司	司 
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	
施策名 多様な産業の活性	化				予算科目	会計 1	款 5	項 1	目 1	事業 番号 6
基本事業名中小事業者の経営	安定化へ	の支援		地形態 (選択可)	全部	<b>『委託</b>	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携·協働
事業期間単年度繰返	for the	根拠								
昭和53 年度~	年度	去令等	→ 川 古 勘 ²	<b>分</b>	田東紫埔	助金交付規	<b>日日</b> (1			
1 現状把握の部(1)事務事業	 eの概要・	目的·結果			功爭未而	功亚文门人	光只!			
①事業概要		数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
一般社団法人立川市勤労者福 祉サービスセンターの運営にか		者数(経済セ	・・/+オトN)	者	112,294	112,294	112,294	112,294		
かる人件費等管理費や実施す		日数(座)の	·	18	112,294	112,294	112,294	112,294		
る各種事業の一部を助成する。	1									
	ウ									
	⑥活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア健康	維持事業利	用者数	人	6,197	4,714	5,845	6,271		
福利厚生の向上を図り、中小企業のよりは	イ研修数	会・講習会事	事業参加者	人	102	0	15	17		
業の人材確保と従業者の安定 した就労を促進する。	ウ									
	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア加入	事業所数(3)	月末現在)	所	525	514	495	476		
雇用の確保・安定によって、市	イ会員	数(3月末現	在)	人	4,387	4,365	4,279	4,194		
内中小企業の経営安定化につ ながる。	ウ									
	(2)事	業のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)		国	庫支出金	千円	()	()	()	()	0	0
健康の維持増進事業、自己啓		財	#支出金	千円	0	0	0	0	0	0
発や余暇活動事業、生活安定 事業等、市内会員事業所の従	1	源	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
業員を対象とした福利厚生の充	事	内     訳	その他	千円	0	0	0	0	0	0
実に寄与する取り組みを支援した	業費		一般財源	千円	28,177	28,450	28,047	27,930	27,555	0
た。	負	事業費	貴計(A)	千円	28,177	28,450	28,047	27,930	27,555	0
			見額(B)	千円	28,177	28,451	28,081	27,930		_
			(A)/(B)	%	100.0%	100.0%	99.9%	100.0%		_
	2		現 月給 時給)	_ ` `					0.04 0.00 0.00	
	人   件		職員分 任用職員等	千円	360	270	360	360	360	0
	費		世用臧貝寺 <b>貴計(C)</b>	十円	360	270	360	360	360	0
	(3)	総事業費		千円	28,537	28,720	28,407	28,290	27,915	0
2 評価の部			, . (0)	, , ,	_5,551	20,120	_0,101		_,,510	
(1)全体総括(①事業の成果・②	②改革·改	₹·③課	風・反省点)		改善	きや見直しを図	つた	(2)事業	きの方針	
※課題の有無 (課題がある場合によ)	イ: 有	対性 ノ	ウ:効率性		工:公平性	✓ オ:そ	の他			スト
(事業の成果) 小規模事業所の廃業に伴う退会:	生む 目にも	1た一七ベ	<b>今目廿十</b>	キャン	~~\^\&\	 >昌.	いこの幻念	向	削減 維	持増加
による加入促進等、会員数を増や	やす取り組	みを行った	こ。コロナ禍	による	制限が徐ん			上		
ら、会員相互の交流を図る事業等 (課題・反省点)	きも元に戻	りつつある	状況が見ら	れた。				成 集 持		)
中小事業者の安定した雇用や働	きやすい	職場づくりに	こ寄与するも	らので	あり、人手	不足感に悩	悩む中小事	低		
業者の支援策として重要な役割をな運営、会員拡大等の取り組みを			会員のスケ	ールフ	リットを生れ	かし、効果的	的·効率的	(肉上,	休止の場合に	おおえて悪い
(3)今後の事業の方向性(改革		-						(発圧・1	小皿の場合に	ま記八小安)
一般社団法人として、さらに自立			がある。							
		- •	-							
Ī										

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	5 4	年度 事務	事業	マネシ	<u> ジメン</u>	トシー	<b>卜</b> 令7	和 5 年 6	3 月作成
事務事業名 勤労者福祉支援事 共済制度掛金補助	事業(中	小企業	従業員特定退職	裁金			スポーツ部		奥野 武司	<u> </u>
政策名 都市基盤・産業	<u>]'\t.</u> /				所属課	産業振興	 課	係名	商工振興	<del></del> 係
施策名 多様な産業の活性	 :化				予算科目		款 5	項 1	目 1	事業 6
基本事業名中小事業者の経営	•	への支	援実施	<b>も形態</b>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	<b>✓</b> 補助・		連携・協働
事業期間 単年度繰返		#日 #b	11/4 %	放選択可)			<u>-</u>	<u> </u>		
昭和48 年度~	年度	根拠 法令等	<b>生</b>	* 1	1 2 male	Tratistic	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
市長公約   主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業	上の押!		立川市中/		<b>Ě特定退職</b>	金共済制度	<b></b>	:付規則		
①事業概要		象数の		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
企業の福利厚生制度の充実に			<b>性移</b>  不詳を含む・公務	1 1					KO干皮	RO干皮
より従業員の確保とその定着を 支援し、特定退職金共済団体			済センサスより)	所	9,905	9,905	9,905	9,811		
である立川商工会議所に対し、補助金を交付する。	1									
	ウ						_	_		Ī
	<b>⑥活</b>	動指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア加	入事業病	 所数(3月末)	所	138			130		
安定した退職金制度の確立によ	1 hr	入者数(	(3日末)	人	945	967	970	1,091		
り、従業員が安心して働けるようになる。	ウ				0.10	50.		1,001		
		果指標		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)				件	<b>実績</b> 84	<b>実績</b> 87	<b>実績</b> 70	<b>実績</b> 70	計画	計画
市内中小企業の経営が安定化			職一時金)		88,635,000	77,510,853	66,401,241	88,135,994		
する。	ウ									
					1104左曲	- D O 左 庄	- D 2 左 庄	5.4 <i>F</i> .#	55.F.#	50左座
	(2)₽	事業のコ	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円		0	0	0	0	_
特定退職金共済制度の加入、給付金支払い等、福利厚生の		財源	都支出金	千円		0	0	0	0	, ,
充実につながる取組を支援し		① 内	地方債	千円				0	0	
た。		事 │ 訳 業 │		千円						
		患 ——	│ 一般財源     事業費計(A)	千円		6,485 6,485	6,561 6,561	7,157 7,157	7,000 7,000	
			尹未負	千円				7,157		_
			· 异乳酸(B) 執行率(A)/(B)	%	100.0%	100.0%	99.4%	100.0%	_	_
			<b>数</b> (正規   月給   時給)		0.02 0.00 0.00			0.02 0.00 0.00	0.02 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
			正規職員分	千円	180	180	180	180	180	0
	4	牛 会計	十年度任用職員等	千円	0	0	0	0	0	0
		•	人件費計(C)	千円			180	180	180	
2 評価の部		③総事	業費(A)+(C)	千円	6,384	6,665	6,741	7,337	7,180	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2000	- 改善-	③課題・反省点)		改善	きや見直しを図	引った	(2)事業	<u></u> 美の方針	
※課題の有無 マ・日的平当性 [		· <b>◇</b> □ ∵有効性			エ:公平性			1		スト
(課題がある場合によ) ・日間ダヨロ (事業の成果)								<b>-</b>	削減維	持増加
独力で退職金制度を設けることが 中小企業の振興に寄与することが			業が活用できる#	制度で	*あり、その·	一部を助成	えすることで			
中小企業の派典に前すりること# 	1691	-0						成 維 果 持		
								果 <u>持</u>   低		
								下		
								(廃止•信	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革			一 がは マ字状	1	,					
中小企業の勤労者の福利厚生等	きヘロメ	く抜とし	<ul><li>( 、 が本か定し、 し <del>大</del> JML</li></ul>	L ( v	1					

令和 4 年度事後評価	<u>令和:</u>	5 年度	<u>事務</u>	<u>事業</u>	マネシ	ジメン	<u>トシー</u>	ト <sub>令</sub>	11 5 年 (	6 月作成
事務事業名 商工関連事務					所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 多様な産業の活性	:化				予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 1番号
基本事業名中小事業者の経営	安定化へ	の支援		形態 選択可)	全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返 年度~	年度 、	根拠								
市長公約 主要施策	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	去令等								
1 現状把握の部 (1)事務事業	美の概要・	目的·結果	₹·活動·成	果						
① <b>事業概要</b> 消耗品類購入等事務、産業振		数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
興団体(TAMA協会)への負担金 やサンサンロードで開催されるイ	ア一商工	関係及び産	業振興団体	団体	39	38	38	36		
ベントの電気料、水道料の支払	イ 対象	事業数		事業	17	21	21	20		
いなど、商工振興に必要な事務 を行う。	ウ									
	⑥活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア消耗	品費執行済	額	円	54,008	53,599	25,625	26,988		
事務を滞りなく遂行するととも	イ郵便	料執行済額		円	41,353	101,565	92,531	95,404		
に、商工関連団体等との連携強 化を図る。	ウ									
	⑦成果	 指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア帝かる	く遂行でき	た事務の割	%	100.0	100.0		100.0		пЩ
事務を滞りなく遂行するととも	1									
に、商工関連団体との連携を強化し、中小事業者の経営安定	ウ									
化につなげる。					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)事	業のコスト		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)			庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
・商工事務に関連する消耗品購入・郵送事務の支払い		酒	#支出金	千円	0	0	0	0	0	_
・TAMA産業活性化協会への負	1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	
担金支払い ・サンサンロードで開催されるイ	事業	ы, ,	その他	千円				100	0	
ベントの電気料、水道料の支払	費		-般財源	千円	106	165		132	394	0
V >			費計(A) ■額(B)	千円 千円	106	165		132	394	0
			見額(B)  E(A)/(B)	тгэ %	125 84.8%	98.8%	98.5%	132		
			- ( <b>ハ</b> // ( <b>ロ</b> / 規   月給   時給)			0.09 0.00 0.00		0.04 0.00 0.00	0.04 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	2		職員分	千円	720	810	360	360	360	0
	件	会計年度	任用職員等	-	0	0	0	0	0	0
	費	人件對	貴計(C)	千円	720	810	360	360	360	0
T	3	総事業費	(A)+(C)	千円	826	975	488	492	754	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	5. 本	′善・③課品	<b>■</b> - 反省占)		一改善	きや見直しを図	<b>すった</b>	(2)事業	の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合にレ			_		工:公平性		の他			スト
(課題がある場合によ) (事業の成果)			] >		, , ,			I	削減組	持増加
事務の執行を適正かつ滞りなく行	うった。							向		
								成 維 持		
								果 <u>持</u>  低		
								一		
								(廃止・	木止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	•改善案	等)								
1 6 7/4 3 <del>14 1111 11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-</del>										
今後も商工関連事務について適の影響を注視する必要がある。	切に執行	する。なお	、サンサンロ	ードつ	で開催され	るイベントの	の電気料に	ついては、	今後の物	価高騰等
今後も的工関連事務について適の影響を注視する必要がある。	切に執行	する。なお	、サンサンロ	ルードで	で開催され	るイベントの	の電気料に	ついては、	今後の物	価高騰等

令和 4 年度事後評価	令和:	5 <b></b>	年度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 5 年 6	6 月作成
事務事業名 ビジネス総合支援	事業(補月	助金に	は別途評価)		所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武司	司
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 多様な産業の活性	化				予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 2 番号 2
基本事業名中小事業者の経営	安定化へ	の支持		地形態 (選択可)		<b>『委託</b>	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携•協働
	年度 ;	根拠法令等	<b>室</b>							
市長公約     主要施策   ① 1 現状把握の部(1)事務事業			立川市商		台団体補助	金交付要約	岡			
1 現仏化性の印(1)事務事ま					山红左南	DO左连	DO左曲	D4左连	DE左曲	DC左连
立川商工会議所が実施する市	<b>⑤対象</b>	致い DJ 上の	<b>在19</b> D市民(4月1日現	単位		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
内中小企業及び創業者への経 営指導や経営相談をはじめとす	1土)	<u>ут</u> ,	> 11, EQ(1), 1 H 9L	人	160,059	160,582	161,188	161,993	162,636	
る経営改善普及事業に対し、助成する。	1									
DX 9 00	ウ									
	⑥活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア経営	指導員	員等による巡回相	口	1,362	1,137	1,472	1,043	пш	пш
市内中小企業経営者等の経営		指導員	員等による窓口・電	□	794	2,569	2,583	2,339		
安定を図る。	1 方	談		П	131	2,505	2,000	2,000		
					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑦成果		でぶってもまたはな	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア報告	な又位	爰ができた事例等	口	12	12	12	12		
法人市民税法人税割課税対象 者数の増加	1									
1 3 3 V V V V V V V V V V V V V V V V V	ウ									
	(2)事	<u></u>	L	22 / L	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(Z) <del>=</del>	<del>₹</del> 07-		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動) 専門指導員による経営改善指		   財	国庫支出金	千円		0	0	0	0	0
等等を支援した。		源	都支出金 地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	事	内訳	その他	千円	Ü		0	0		
	業	八百	一般財源	千円		13,645	13,645	13,645		0
	費	1	事業費計(A)	千円		13,645	13,645	13,645	·	0
			予算現額(B)	千円	13,645	13,645	13,645	13,645	_	
			执行率(A)/(B)	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	_	_
	2		数(正規   月給   時給)						0.04 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人件		正規職員分 十年度任用職員等	千円		270	360	360	360	0
	費		「年度任用職員寺 人件費計(C)	千円	360	270	360	360	360	0
	3		<u> </u>	千円		13,915	14,005	14,005		0
2 評価の部					,	,	,			
(1)全体総括(①事業の成果・②						きや見直しを図 		(2)事業	きの方針	- 1
※課題の有無 ア:目的妥当性	イ: 有	勃性	ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他		削減 維	スト <u>持</u> 増加
(事業の成果) 商工会議所が行う事業所の経営	相談や創	業支	援等の取り組みな	*支援	し、市内中	小事業者の	の経営安定	向	门3//火 小庄·	7.0 14日711
化等に寄与した。コロナ禍におい	て市内事	業者	への影響とその対	付策等	について	共有してき7	と「新型コロ			
ナウイルス感染症影響事業者支持 議」を新たに立ち上げ、新型コロ	医対束理が ナウイルス	哈会」 感染	「の役割を引き継い 症の影響に限ら	ハに」 ず市内	ユ川市内∜ 引事業所の	P業者サか 全般的状況	ート連給会 兄を関係者	果 持		
間で情報共有し、連携を図った。								低下		
									休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革										
事業所のニーズを的確に把握しる改善が求められる。今後は市や										

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u> :	<u>5 年度</u>	事務	<u>事業</u>	マネミ	<b>ジメン</b>	トシー	ト <sub>令利</sub>	和 5 年 6	<u>6 月作成</u>
事務事業名 ビジネス総合支援	 事業(専	 門家派遣曹	 }用補助金	:)	所属部	産業文化	<u>ー</u> ー スポーツ音	課長名	奥野 武司	司
政策名 都市基盤•産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	·係
施策名 多様な産業の活性	:化				予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 2番号 2
基本事業名中小事業者の経営	安定化への	の支援		<b>も形態</b>	全音	8季託	一部委託	<b>ノ</b> 補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠		[共1/				<u>-</u>		· <u> </u>
令和3 年度~		法令等	マ川 市車!	- 田安沂	·	助金交付	## 公沼			
1 現状把握の部(1)事務事業	_	目的・結果			(追負/11 1111		<u> </u>			
①事業概要 東京都中小企業振興公社の専		数の推移			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
門家派遣制度を利用する際の	事業所	所数(不詳を		所			9,905	9,811		
自己負担分の一部を補助することで、制度の有効な活用を促す	/ を除く イ	く)(経済セン・	サスより)				-,	-,		
とともに、経営の早期立て直しを	カウ			$\vdash$					<del></del>	<u> </u>
支援する。				,	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活動:			単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア補助化	件数		件			4	1	l!	l!
市内中小企業者の経営力、技術力、人材力等の強化又は向	1					「 <u></u>	_	_	!	Γ
上を図る。	ウ									
	⑦成果	指標		単位	H31年度 宝績	R2年度 宝績	R3年度 宝績	R4年度 宝績	R5年度	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	- 経営領	安定化につる	ながった件	件	実績	実績	<b>実績</b> 4	<b>実績</b> 1	計画	計画
市内中小事業者の経営の安定	が数									
化につながり、地域産業が活性				-					<del></del>	
化される。	ウ									<u> </u>
	(2)事訓	業のコスト	I	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			庫支出金	千円	0			0	0	
東京都中小企業振興公社の専門家派遣の利用料を一部補助		酒   — —	#支出金	千円	0		0	0	0	· ·
することで、経営の安定化につ	1	内	地方債	千円			, ,	0	_	Ů
なげることができた。	事業	ш, с		千円				_		
	費		-般財源 貴計(A)	千円			320 320	80 80		
			見前 (A) 現額(B)	千円						_
			E(A)/(B)	%			32.0%	10.0%		
	2		規 月給 時給)			0.00 0.00 0.00	0.04 0.00 0.00	0.04 0.00 0.00	0.04 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人		職員分	千円		_	360	360		
	件   費		任用職員等			_	0	0	0	, i
		人件費 総事業費(	費計(C) (A)+(C)	千円			360 680	360 440	360 760	1
2 評価の部		応尹未良、 ———	A) T (0)				000	TIV	100	· · · · · ·
(1)全体総括(①事業の成果・②	②改革∙改	(善・③課題	夏•反省点)		- 改善	善や見直しを図	<b>引った</b>	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性 [ (課題がある場合に レ)	イ: 有	i 効性	ウ:効率性		エ:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果) コロナ禍の影響により厳しい経営	小小治に黒	かわている	山小車業ま	区)~牡	·1	一田田台で	古」を支援	向	削減 維	持 増加
することができた。	伙//□(□□,	11-110 CV 2	中小 予 木 🕨	11/->1	し、性白っ	干別业、	<b>当して 大</b> 級		<del></del>	
								成 集 持		
								低下		
									┃   ┃ 休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	- 改善案	等)								
より多くの中小事業者を支援でき	るよう、事	業の周知を	:強化する必	〉要が	ある。					

令和 4 年度事後評価	<u> </u>	<u>15</u>	· 午及	<u>, 尹                                   </u>	尹、未	ミマイン	ンメン	トンー	<b>卜</b> 令	和 5 年 (	<u>6 月作成</u>
事務事業名 中小企業融資支援給金)	き事業(	中小	<b>卜企業事</b>	業資金利-	子補	所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業						所属課	産業振興	課	係名	商工振興	
施策名 多様な産業の活性	化					予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 番号 4
基本事業名中小事業者の経営	安定化	~O			施形態	全部	『委託	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携·協働
事業期間 単年度繰返			根拠								
昭和46 年度~	年度 <b>つ</b>		令等		小企業	(事業資金	助成条例				
1 現状把握の部(1)事務事業		要•[	目的∙結具								
① <b>事業概要</b> ・融資のあっせんを通じて中小	⑤対	象数	めの推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
企業の経営活動を支援する。			「数(不詳る (経済セン	·含む·公務	所	9,905	9,905	9,905	9,811		
・事業資金の融資を市内契約金 融機関に対してあっせんすると	1	<u> </u>  尓\ノ	【胜伊 こ~	(リ ヘより)							
ともに、金利の一部を負担する。	ゥ										
		<b>≠</b> ↓ +\	~.1 <del></del>		24 /J	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活				単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア申	請件	-数		件	402	466	384	355		
経営活動を支援し、地域産業の 活性化を図る。	1申	請額	<u></u>		千円	2,276,580	2,290,150	2,325,360	1,787,320		
	ウ	_	_	_					_		
	⑦成	果指	<b></b> 信標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア実	 :行件	-数		件	319	410	344	325		HIM
市内金融機関等と連携し、市内	イ実		<u> </u>		千円	1,673,160	1,982,350	2,021,226	1,532,240		
中小企業者の経営安定化を図る。	ウ										
						1101年亩	DO左曲	D2左帝	R4年度	DE左连	DC左庄
	(2)	事業	のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	実績 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)				庫支出金	千円		0	0	0	0	0
融資あっせんや利子補給の支 払い、金融機関の報告漏れ等			財源	都支出金	千円		0	0	0	0	0
による過払い金の返還等の事		1	内	地方債その他	千円	0	0	0	0	0	0
務を行った。	1	事業	訳		千円		50,126	44,901	46,133		0
		費-		費計(A)	千円	·	50,126	44,901	46,133		0
			予算:	現額(B)	千円	52,000	52,000	55,000	47,000	_	_
			執行導	≅(A)/(B)	%	86.3%	96.4%	81.6%	98.2%		_
		<i>&lt;)</i>  -		規 月給 時給			0.67 0.92 0.80			0.67 0.60 0.00	
		人    牛   <sub>:</sub>		職員分 任用職員等	千円	· ·	6,030 5,464	4,860 4,120	4,680	6,030 2,520	
		· 貴		世州戦員署 費計(C)	千円	5,570	11,494	8,980	8,800	8,550	
		3 彩		(A)+(C)	千円		61,620	53,881	54,933		0
2 評価の部										A.I.	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 ア・目的妥当性				_			きや見直しを図 		(2)事第	美の方針 「 <del></del>	7.1
	1	:有多	効性 [	」ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	·の他			スト
			禍におけ						向上		.,,
通常の融資あっせんメニューに加				立 ダルカ	安定化			京都中小	上上		
特別借換資金」を新たに加え、事	業者の	)資金	金繰り支担			つかげた			八人   祁田		
特別借換資金」を新たに加え、事 企業制度融資との連携を模索し、 (課題・反省点)	業者の 調整の	)資金	金繰り支打 二、令和5	年度からの	連携に			V.L 7 L 10	上		
特別借換資金」を新たに加え、事企業制度融資との連携を模索し、	業者の 調整の 引子補紹	)資金 Dうえ 給金	金繰り支打 二、令和5	年度からの	連携に			ぶあるなど、	果持低下		
特別借換資金」を新たに加え、事企業制度融資との連携を模索し、 (課題・反省点) 金融機関の報告漏れなどによる利管理・運営のしくみを再考する余り	業者の 調整の リ子補約 地はある	)資金 のうえ 給金 る。	金繰り支打 、令和5 :の過払い	年度からの	連携に			ぶあるなど、 	低下	休止の場合に	
特別借換資金」を新たに加え、事企業制度融資との連携を模索し、 (課題・反省点) 金融機関の報告漏れなどによる系管理・運営のしくみを再考する余量 (3)今後の事業の方向性(改革	業者の 調整の 引子補系 地はあっ ・改善	) 資 分 え 給 る <b>案</b>	金繰り支払 、令和5 の過払V 等)	年度からの	連携に どに手!	間を割いて	いる現状が		(廃止・		
特別借換資金」を新たに加え、事企業制度融資との連携を模索し、 (課題・反省点) 金融機関の報告漏れなどによる利管理・運営のしくみを再考する余り	業者の 調整の 引子補系 地はあっ ・改善	) 資 分 え 給 る <b>案</b>	金繰り支払 、令和5 の過払V 等)	年度からの	連携に どに手!	間を割いて	いる現状が		(廃止・		

			事務		ミマネシ	ジメン	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令和	11 5 年 6	6 月作成
事務事業名 中小企業融資支援補助金)	受事業(信	用保証協	会信用保証	E料	所属部	産業文化	スポーツ部	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 多様な産業の活性	化				予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 4 番号 4
基本事業名中小事業者の経営	安定化へ	の支援		地形態 (選択可)		<b>『委託</b>	一部委託	<b>✓</b> 補助・	_	連携•協働
事業期間 単年度繰返		根拠			•					
昭和40 年度~	年度	法令等	李川丰中,	1. 人型	<b>美事業資金</b>	H-L				
<sup>□   日   日   日   日   日   日   日   日   日   </sup>	_	目的・結果			<b>《</b> 尹 果 頁 位	助成条例				
①事業概要		数の推移	1 123 77		H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
・融資のあっせんを通じて中小企業の経営活動を支援する。	<b>,</b> 事業	所数(不詳る	と含む・公務						112	
・事業資金の融資を市内契約金	を除っ	く)(経済セン	サスより)	所	9,905	9,905	9,905	9,811		
融機関に対してあっせんすると ともに、信用保証料の一部を助	1									
成する。	ウ									
	⑥活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア申請	件数		件	319	466	285	325		
経営活動を支援し、地域産業の	イ申請	額		円	20,996,435	25,718,029	22,460,839	18,959,502		
活性化を図る。	ウ									
	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア実行	件数		件	319	466	285	325	111	111
市内金融機関等と連携し、市内	<b>イ</b> 実行	額		円	20,996,435	25,718,029	22,460,839	18,959,502		
中小企業者の経営安定化を図る。	ウ									
	(2)事	業のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)		国	庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
信用保証料の申請受付・支払		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
い、繰上償還に伴う返戻金の返還等の事務を行った。	1	源 —	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	事	訳	その他	千円						
	業費		一般財源	千円		25,718	22,461	18,960	25,000	0
			費計(A)	千円		25,718	22,461	18,960	25,000	0
			現額(B) 巫(A)/(B)	千円 %	28,000 75.0%	51,936 49.5%	24,000 93.6%	22,700 83.5%		_
			# ( <b>ハ</b> //(ロ/ 規 月給 時給)				0.27 0.00 0.00		0.27 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	<b>②</b> 人		<del>测                                    </del>	千円	1,260	2,430	2,430	2,430	2,430	0
	件	会計年度	任用職員等	千円	0	0	0	0	0	0
	費	人件:	費計(C)	千円	1,260	2,430	2,430	2,430	2,430	0
	3	総事業費	(A)+(C)	千円	22,256	28,148	24,891	21,390	27,430	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革・改	女善•③課題	韻·反省点)		改善改善	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	引った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性			」ウ∶効率性		工:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果)	1曲、ロナポ	はよってこ	☆ 由↓車 <sup>*</sup>	<del>!! = 1</del> 0	、田 温まご次	△ 帰りに ○	+\18 +	向	削減 維	持 増加
事業者が借入時に負担する初期 (課題・反省点)										
事業開始当初には想定されていいるため、対象者の管理、未払者							数発生して	成 維 果 持		
2 2 ( ) 1 2 H 2 H 2 L ( ) N 1 A L			. , ,,,, , ,,,	4 101	, 0,2			低下		
									木止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	₫•改善案	等)								
現状では、借入時の初期費用を										
部資金について、令和5年度よりら補助を受けることができ、予算能				秀する	ことにより、	16用保証	州の補助が	中からのネ	用助に代わ	つて都か
1 ,		- ,								

令和 4 年度事後評価	11 TH	<u>5</u>	年度 事務	<u> 争                                   </u>	<u>: マネン</u>	<u>ノメン</u>	<u>トンー</u>	<b>卜</b> 令	和 5 年 6	<u>月作成</u>
事務事業名 子育て応援キャン	ペーン	事業		<u> </u>	所属部	産業文化	 スポーツ音	課長名	奥野 武司	司
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	<del></del> 課	係名	商工振興	係
施策名 多様な産業の活性	<u>-</u> 化				予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 番号 18
基本事業名中小事業者の経営	安定化·	への支		施形態	✓ 全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・		連携·協働
事業期間 期間限定複数年度		根抽		发]共小、						
ずべがら     令和3 年度~ 令和4       市長公約     主要施策	年度	法令								
1 現状把握の部(1)事務事業	美の概要	<b>₹・目</b> 自	ーーー 内・結果・活動・成	果 _						
①事業概要 子育て関連の商品やサービス			D推移		H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
等を取り扱う市内店舗を巡る、ス	<b>,</b> 子	育て中	の保護者がいる世	世帯			13,877	13,877		
タンプラリー形式のキャンペーン を行う。	一	歳未満	R2年度国勢調査 世帯員のいる一般	-			= ,	- ,		
(2.11 \( \) (2.11 \( \) (3.11 \( \) (4.11	1世々	<u></u>		1 1						
		والمالة و		/L	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		動指標		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	アスタ	タンプ耳	<b>负得数</b>	個			-	9,708		
「まちぐるみで子育て応援」の気 運を醸成するとともに、春の卒	1									
業・入学・進学シーズンにおける	ウ			$\top$						
地域での消費喚起を図る。	⑦成:	果指標	五	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア応	——— 募者数		人	大小只	入权	<b>大小</b> 只	<del>天視</del> 944	D) Eq	
まちぐるみで子育てを応援する	1	~	•	+-						
気運が醸成され、市の魅力向上 や地域での消費喚起につなげ	ウ			+						
る。							- 4- <del></del>	<del>-</del> -		<del>-</del> -
	(2)事	⋾業の	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
令和4年3月10日から5月10日 まで「立川デジタルスタンプラ		財		千円		Ü	0	0	0	0
				千円	0	0	0	0	0	0
リー」を実施し、子育て世代を中				_		0	0	0	0	
リー」を実施し、子育て世代を中心に、多くの参加があった。	事	事   訳	その他	千円	0					
		手		_	0	0	0 0	20,000 20,000	0 0	0
	事業	手	その他 一般財源	千円	0	0	0	20,000	0	0
	事業		その他 一般財源 事業費計(A)	千円 千円 千円 千円 %	0 0 0	0 0	0 0	20,000 20,000 20,000 100.0%	0 0 - -	0 0 - -
	事業		その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給	千円 千円 千円 千円 % 分	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.00 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	20,000 20,000 20,000 100.0%	0 0 - -	0 0 - -
	事業費 (2)人	職	その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給 正規職員分	千円 千円 千円 % 人 千円	0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0 0 0 0.03 0.00 0.00 270	20,000 20,000 20,000 100.0% 0.03 0.00 0.00 270	0 0  0.00 0.00 0.00 0	0 0 - 0.00 0.00 0.00
	事業費	職。	その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給 正規職員分	千円 千円 千円 4円 % 分 人 千円	0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0	0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0	0 0 0 0 0.03 0.00 0.00 270	20,000 20,000 20,000 100.0% 0.03 0.00 0.00 270	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0  0.00 0.00 0.00
	事業費 2人件費	職会	その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給 正規職員分	千円 千円 千円 % 人 千円	0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0	0.00 0.00 0.00	0 0 0 0.03 0.00 0.00 270	20,000 20,000 20,000 100.0% 0.03 0.00 0.00 270	0 0  0.00 0.00 0.00 0	0.00 0.00 0.00
心に、多くの参加があった。 2 評価の部	事業費 ②人件費 (	事 計 報 会計	その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C)	千円 千円 千円 % 人 千円 千円 千円	0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0	0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0	0 0 0 0.03 0.00 0.00 270 0 270	20,000 20,000 20,000 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 0 270 20,270	0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0 0	0 0 0 0.00 0.00 0.00 0.00 0 0
心に、多くの参加があった。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	事業費 2人件費 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	事業	その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C)	千円 千円 千円 % 十一 千円 千円 千円	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0.03 0.00 0.00 270 0 270 270	20,000 20,000 20,000 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 0 270 20,270	0 0  0.00 0.00 0.00 0 0 0	0 0 0 0.00 0.00 0.00 0.00 0 0
心に、多くの参加があった。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (課題がある場合によ)	事業費 2人件費 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	事業	その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C)	千円 千円 千円 % 十一 千円 千円 千円	0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0.03 0.00 0.00 270 0 270	20,000 20,000 20,000 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 0 270 20,270	0 0  0.00 0.00 0.00 0 0 0 0	0 0 0 0.00 0.00 0.00 0.00 0 0
心に、多くの参加があった。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性[環題がある場合によ) (事業の成果) 立川市商店街振興組合連合会と	事業費   ②人件費   ( ) 革ィー、	事 : 數 3 改有 通常 · 数 有 通常	その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) ・③課題・反省点 生 ウ:効率性	千円 千円 千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0.03 0.00 0.00 270 270 270	20,000 20,000 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 0 270 20,270	0 0  0.00 0.00 0.00 0 0 0	0 0 0 0.00 0.00 0.00 0.00 0 0
心に、多くの参加があった。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合によ) (事業の成果) 立川市商店街振興組合連合会とするなど、まちぐるみで子育て応打	事業費   ②人件費   ・ す に	事 き り	その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) ・③課題・反省点が 生 ウ:効率性 のスタンプラリーよ	千円 千円 千円 ・千円 ・千一 ・千一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0.03 0.00 0.00 270 270 270 270	20,000 20,000 20,000 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 20,270 (2)事業	0 0  000 000 000 0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0 0 0 0.00 0.00 0.00 0.00 0 0
心に、多くの参加があった。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性[ (事業の成果) 立川市商店街振興組合連合会と		職     会       3     改有通をたる       4     基準	その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) 事業費(A)+(C) で3課題・反省点が ウ:効率性 のスタンプラリーよったと後、 できたで、一人できた。	千円 千円 千円 ・千円 ・千一 ・千一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0.03 0.00 0.00 270 270 270 270	20,000 20,000 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 20,270 (2)事業	0 0  000 000 000 0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0 0 0 0.00 0.00 0.00 0.00 0 0
心に、多くの参加があった。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [ (事業の成果) 立川市商店街振興組合連合会とするなど、まちぐるみで子育て応打たデジタルスタンプラリーの仕組		職     会       3     改有通をたる       4     基準	その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) 事業費(A)+(C) で3課題・反省点が ウ:効率性 のスタンプラリーよったと後、 できたで、一人できた。	千円 千円 千円 ・千円 ・千一 ・千一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0.03 0.00 0.00 270 270 270 270 270	20,000 20,000 20,000 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 20,270 (2)事業	0 0  000 000 000 0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0 0 0 0.00 0.00 0.00 0.00 0 0
<ul> <li>心に、多くの参加があった。</li> <li>(1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合にど)</li> <li>(事業の成果)</li> <li>立川市商店街振興組合連合会とするなど、まちぐるみで子育て応打たデジタルスタンプラリーの仕組る行うイベントに活用可能な基盤の</li> </ul>	<b>  ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・  </b>	事     動       会     会       書     対       対     対       事     対       対     対       で     が       で     が       で<	その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) 事業費(A)+(C) で3課題・反省点が ウ:効率性 のスタンプラリーよったと後、 できたで、一人できた。	千円 千円 千円 ・千円 ・千一 ・千一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0.03 0.00 0.00 270 270 270 270 270	20,000 20,000 100.0% 0.03 0.0 0.00 270 20,270 (2)事業 成 持 低 下	0 0  000 000 000 0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 大 持 増加
心に、多くの参加があった。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [ (事業の成果) 立川市商店街振興組合連合会とするなど、まちぐるみで子育て応打たデジタルスタンプラリーの仕組る	<b>  ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・  </b>	事     動       会     会       書     対       対     対       事     対       対     対       で     が       で     が       で<	その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) 事業費(A)+(C) で3課題・反省点が ウ:効率性 のスタンプラリーよったと後、 できたで、一人できた。	千円 千円 千円 ・千円 ・千一 ・千一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0.03 0.00 0.00 270 270 270 270 270	20,000 20,000 100.0% 0.03 0.0 0.00 270 20,270 (2)事業 成 持 低 下	0 0 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 大 持 増加
<ul> <li>心に、多くの参加があった。</li> <li>(1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合にど)</li> <li>(事業の成果)</li> <li>立川市商店街振興組合連合会とするなど、まちぐるみで子育て応打たデジタルスタンプラリーの仕組る行うイベントに活用可能な基盤の</li> </ul>	<b>  ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・  </b>	事     動       会     会       書     対       対     対       事     対       対     対       で     が       で     が       で<	その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) 事業費(A)+(C) で3課題・反省点が ウ:効率性 のスタンプラリーよったと後、 できたで、一人できた。	千円 千円 千円 ・千円 ・千一 ・千一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0.03 0.00 0.00 270 270 270 270 270	20,000 20,000 100.0% 0.03 0.0 0.00 270 20,270 (2)事業 成 持 低 下	0 0 	0 - 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

令和 4 年度事後評価	<u> 고 에 (</u>	<u>, 干/</u>	<del>  一世子   10   11   11   11   11   11   11   1</del>	<u>尹未</u>	ミマイン	<u> </u>	トンー	<b>卜</b> 令和	和 5 年 (	<u> 6 月作成</u>
事務事業名中小事業者物価高	ҕ騰等緊 <i>症</i>	急支援事 ——	<b>事業</b>		所属部	産業文化	スポーツ部	課長名	奥野 武	司 — <u>—</u>
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 多様な産業の活性	化				予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 番号 19
基本事業名中小事業者の経営	安定化への	の支援		<b>も形態</b> <b>(選択可)</b>	全音	<b>『委託</b>	一部委託	✔ 補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度のみ 令和4 年度~		根拠								
市長公約   主要施策		去令等								
1 現状把握の部(1)事務事業	<u></u> (の概要・	目的・糸	<u>■</u> 結果・活動・成	果						
①事業概要	⑤対象			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
一定の要件を満たす市内中小 事業者に対し、令和3年にか					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, , _ , , , ,				
かった水道光熱費、燃料費を積		ンに刈 豕=	事業者数	件				1,000		1
算根拠とした支援金を支給す	1									
る。	ウ			[ [			[			
	⑥活動:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア申請係	牛数		件	30130	20120	30,130	1,818		RI E-
令和3年の水道光熱費、燃料費										
を積算根拠とした支援金を支給	イ交付を	犬疋1十数 ————	•	件				1,764		1
することで、物価高騰等の影響 を受ける中小事業者の事業の	ウ			Щ						
継続と経営の下支えを行う。	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア交付法	 央定額		千円	<b>3</b> C43C	JC45C	20130	372,603		BI F
中小事業者物価高騰等緊急支				' '				,		
援金の支給により、事業の継続	1			$\vdash$						
及び経営の下支えにつながっ た。	ウ									
/0	(2)事訓	業のコス	. <b>-</b>	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0		203,817	0	
申請のあった1,818件のうち、取		財	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
下げや不交付としたものを除く、 1,764件に対して、合計372,603	1	┃源	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
千円の支援金を交付した。	事		その他	千円	0	0	0	0	0	0
	業		一般財源	千円	0	0	0	169,406	0	0
	費	事業	業費計(A)	千円	0	0	0	373,223	0	0
		予算	算現額(B)	千円	0	0	0	390,642		_
		執行	j率(A)/(B)	%				95.5%		
	2		(正規 月給 時給)			0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人		規職員分	千円	0	0	0	3,690	0	, ,
	件   費		度任用職員等		0	0	0	10,800	0	_
			件費計(C)	千円	0		_	14,490	0	
2 評価の部	(3)	総事業	費(A)+(C)	千円	0	0	0	387,713	0	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革•改	善.③計	果題•反省点)		一改善	善きや見直しを図	図った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア・日的妥当性 [		· 位	ウ:効率性		工:公平性		の他			スト
(課題がある場合によ) (事業の成果)		///						¶	削減維	持増加
感染症による影響に加え、物価高		響により	り中小事業者~	への影	響が長期	化する中、	事業の継	向		
続及び経営の下支えを行うことが	できた。							成維	<del>                                     </del>	
								果 持		
								低下		
									休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	- 改善案	等)								
令和4年度のみの単年度事業。」 た検討を行う。	原油価格·	·物価高	騰等の影響を	受けた	た市民や事	業者への	支援策につ	いては、引	川き続き状	況に応じ
1 - 17(4,1 - 1,1/2)										

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	<u>5</u> :	年度 事務	<u>事業</u>	マネシ	<u> ジメン</u>	<u>トシー</u>	ト <sub>令</sub> 表	10 5 年 6	3 月作成
事務事業名生活応援キャンペ	ーン事	業			所属部	産業文化	スポーツ部	課長名	奥野 武司	<b>司</b>
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	
施策名 多様な産業の活性	化				予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 番号 20
基本事業名中小事業者の経営		への支		施形態		\$P\$ (1)	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 期間限定複数年度 令和2 年度~ 令和4		根拠								
市長公約 主要施策		法令	等 ————————————————————————————————————							
1 現状把握の部 (1)事務事業	の概要	・目的	ӯ҉結果∙活動∙成	果		•				
①事業概要 対象の事業者の店舗で、キャッ	_	象数の		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
シュレス決済(QRコード決済)で	ア市の公司	内事業	所数(不詳を含む・ く) (経済センサス)	所		9,905	9,905	9,811		
食事や買い物等をした際に最大20%のポイントを付与する	1	<u> うて アハ、</u>	八性角 ログラフリ	$\dagger$						
キャンペーンを実施した。	ゥ			+						
		- 15 15			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活動	動指標	į	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	アポー	イント還	元額	ポイント		57,376	306,729	807,865		
コロナ禍や原油価格・物価高騰	1									
等による市民生活や市内事業 者の経営への影響を踏まえ、生	ウ			† †						
活応援、売上向上に資するキャッシュレス決済を推進する。		果指標	<u> </u>	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)			<u> </u>	千円	実績	実績 420 487	<b>実績</b> 1,398,009	<b>実績</b> 5,323,110	計画	計画
キャンペーン対象店舗における		H >>>> / \\	(人)(五块/	1 1 1		420,101	1,000,000	0,020,110		
キャッシュレス決済(PayPay)の	1			1						
売上が増加した。また、新たに キャッシュレス決済(PayPay)を	ウ									
導入した店舗も増えた。	(2)事	事業の:	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	62,125	66,779	324,621	0	0
令和4年12月にキャンペーンを 実施し、キャンペーン期間中の		財源	i MAME	千円	0	0	232,941	238,635	0	0
実施し、キャンペーン期间中の ポイント還元額が予算(4億円)	1		1 地力頃	千円	0	0	0	0	0	0
を大幅に上回り、約8億円となる など、生活応援とともに大きな経	事	₹│訳	その他	千円			,	0		
など、生活心族とともに入さな絵	業	<b>}</b>	一般財源	千円			0	278,831	0	0
			事業費計(A) 予算現額(B)	千円	0	,	321,559 321,559	842,087 842,227	0	0
				十円	U	82.8%	100.0%	100.0%	_	_
	<u></u>	TE 5			0.00 0.00 0.00	0.34 0.00 0.20			0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	<b>②</b> 人	9	正規職員分	千円	0	3,060	900	3,420	0	0
	件	会計	計年度任用職員等	千円	0	400	600	0	0	0
			人件費計(C)	千円	0	3,460	1,500	3,420	0	0
- == / <del></del>		3 総事	葉費(A)+(C)	千円	0	65,585	323,059	845,507	0	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	小井 某。	か 美。	② 珊蝠. 豆尖占`		一一改美	長や見直しを図	7	<b>【(2)</b> 重当	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性					エ:公平性		go/c -の他	(2) 77		スト
(課題がある場合にと) (事業の成果)		行かに	·	ш	1. ATIL	c		4 <u></u>	削減 維	
コロナ禍や原油価格・物価高騰等								向上		
をし、地域経済の活性化に貢献す を希望する声が挙がるなど、本事						っ同様のキー	ャンペーン	上 成 排 果		
	ZC1-/-;	) 9///	14 Cher 0 1 //4/14 / /	<b>\</b> C C	1,1,1,0,0			果持		
								低下		
									休止の場合に	は記入不要)
(3) 今後の事業の方向性(改革	- 改善3	案等)								
新型コロナウイルス感染症や原油			騰等の影響を受り	ナた市	民や事業	者への支援	策につい	て、状況に	応じた検討	を行う。

令和 4 年度事後評価	令本	日 5	5 年	達 事務	事 業	マネシ	ノメン	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令和	和 5 年 6	6 月作成
事務事業名 創業支援事業						所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業						所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 地域に根ざした働	く場の	創出	Ц			予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 番号 15
基本事業名 地域特性を生かした	た創業	支援	Ž	実	<b>施形態</b>	全部	『委託 ●	/ 一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返 平成25 年度~	年度		根拠		以扶作印						
	o l	浯	去令等								
1 現状把握の部(1)事務事業	業の概	腰∙	目的·	結果·活動·成	果						
① <b>事業概要</b> 創業支援にかかる市内関連団	<b>⑤</b> 対	付象数	数の推	<b>養</b>	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
体(市•商工会議所•金融機関				男性市民(4月1	人	75,993	76,254	76,588	76,724	76,991	
等)で構成する「たちかわ創業応	2	日現在 20歳り	以上の	女性市民(4月1	-	·					
援プロジェクト」が一体となって セミナー等の創業・起業支援策	1	日現在	生)		人	77,468	77,796	78,656	78,883	79,313	
を実施する。	ウ										
	0	舌動技			甲四	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)			いわ創業 開催回	業応援プロジェク ╗数	回	1	1	2	1		
市内の創業者が増加するととも			·一の開		回	5	4	4	6		
に、情報の共有化による一体的な創業支援策を展開する。	ウ				+ +						
75月1米人坂水で展開する。		n — 1				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(7)万	<b>戊果</b> 扌	指標		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		相談件			件	106	51	56	116		
市内での創業を支援することで、法人市民税法人税割課税			業資金 清件数	融資あっせん制	件	28	28	55	33		
対象者数の増加につなげる。	<u> </u>	<del>章 - 1</del> <b></b>	業資金	融資あっせん制	千円	208,550	180,500	351,600	138,500		
	(2)	事業	美のコン	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)	(2)	事業	美のコン	スト		H31年度 実績 0	実績	実績	R4年度 実績 0	R5年度 計画 0	計画
④令和4年度実績(事業活動) 創業に関するセミナーの開催、	(2)	事業	財		単位 千円 千円	実績	実績	実績	実績	計画	計画 0
創業に関するセミナーの開催、 たちかわ創業応援プロジェクト	(2)		財源	国庫支出金	千円	<b>実績</b> ()	<b>実績</b> 0 0	<b>実績</b> 0 0	<b>実績</b> ()	計画 0	計画 0 0
創業に関するセミナーの開催、 たちかわ創業応援プロジェクト の会議開催などを行った。 創業	(2)	1	財源内	国庫支出金 都支出金	千円	<b>実績</b> 0 0	<b>実績</b> 0 0 0	<b>実績</b> 0 0 0	<b>実績</b> 0 0 0	計画 0 0 0	計画 0 0 0
創業に関するセミナーの開催、 たちかわ創業応援プロジェクト の会議開催などを行った。創業 支援セミナーはTOKYO創業ス テーションTAMAを会場として開	(2)	① 事業	財源	国庫支出金 都支出金 地方債	千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0	<b>実績</b> 0 0 0 0 0	<b>実績</b> 0 0 0	<b>実績</b> 0 0 0	計画 0 0 0	計画 0 0 0 0
創業に関するセミナーの開催、たちかわ創業応援プロジェクトの会議開催などを行った。創業支援セミナーはTOKYO創業ステーションTAMAを会場として開催した。中央図書館との連携に	(2)	① 事	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他	千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 0	<b>実績</b> 0 0 0 0 0	<b>実績</b> 0 0 0 0 0	実績       0       0       0       0       0	計画 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0
創業に関するセミナーの開催、たちかわ創業応援プロジェクトの会議開催などを行った。創業支援セミナーはTOKYO創業ステーションTAMAを会場として開催した。中央図書館との連携によるセミナーは、TOKYO創業ステーションTAMAから講師を派	(2)	① 事業	財源内訳事	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 0 505	<b>実績</b> 0 0 0 0 197	<b>実績</b> 0 0 0 0 301	<b>実績</b> 0 0 0 0 234	計画 0 0 0 0 0 430	計画 0 0 0 0 0
創業に関するセミナーの開催、たちかわ創業応援プロジェクトの会議開催などを行った。創業支援セミナーはTOKYO創業ステーションTAMAを会場として開催した。中央図書館との連携によるセミナーは、TOKYO創業ス	(2)	① 事業	財源内訳事	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A)	千円 千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 0 505 505	<b>実績</b> 0 0 0 0 197 197	<b>実績</b> 0 0 0 0 301 301 588 51.2%	<b>実績</b> 0 0 0 0 234 234 430 54.4%	計画 0 0 0 0 430 430 —	計画 0 0 0 0 0 0 
創業に関するセミナーの開催、たちかわ創業応援プロジェクトの会議開催などを行った。創業支援セミナーはTOKYO創業ステーションTAMAを会場として開催した。中央図書館との連携によるセミナーは、TOKYO創業ステーションTAMAから講師を派	(2)	①事業費	財源内訳事予執員	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) ラ算現額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 0	<b>実績</b> 0 0 0 0 505 505 658	<b>実績</b> 0 0 0 197 197 637 30.9%	<b>実績</b> 0 0 0 0 301 301 588 51.2%	<b>実績</b> 0 0 0 0 234 234 430 54.4%	計画 0 0 0 430 430 ————————————————————————————————————	計画 0 0 0 0 0 0 0 
創業に関するセミナーの開催、たちかわ創業応援プロジェクトの会議開催などを行った。創業支援セミナーはTOKYO創業ステーションTAMAを会場として開催した。中央図書館との連携によるセミナーは、TOKYO創業ステーションTAMAから講師を派	(2)	①事業費 ②人:	財源内訳事予執	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 等現額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時格 E規職員分	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績       0       0       0       505       658       76.7%       0.02       0.07       0.08	実績       0       0       0       0       197       637       30.9%       0.36     0.08     0.00       3,240	実績       0       0       0       301       388       51.2%       0.30     0.15     0.00       2,700	実績       0       0       0       234       234       430       54.4%       0.30     0.15     0.00       2,700	計画 0 0 0 430 430 ————————————————————————————————————	計画 0 0 0 0 0 0 
創業に関するセミナーの開催、たちかわ創業応援プロジェクトの会議開催などを行った。創業支援セミナーはTOKYO創業ステーションTAMAを会場として開催した。中央図書館との連携によるセミナーは、TOKYO創業ステーションTAMAから講師を派	(2)	①事業費 ②人件	財源内訳事予執貨工会	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 等現額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時格 E規職員分 軍度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績       0       0       0       505       555       658       76.7%       0.22     0.07       1,980       245	実績       0       0       0       0       197       637       30.9%       0.36   0.08   0.00       3,240       336	実績       0       0       0       301       588       51.2%       0.30   0.15   0.00       2,700       630	実績 0 0 0 234 234 430 54.4% 0.30 0.15 0.00 2,700 630	計画 0 0 0 430 430 — 0.30 0.15 0.00 2,700 630	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
創業に関するセミナーの開催、たちかわ創業応援プロジェクトの会議開催などを行った。創業支援セミナーはTOKYO創業ステーションTAMAを会場として開催した。中央図書館との連携によるセミナーは、TOKYO創業ステーションTAMAから講師を派	(2)	①事業費 ②人件費	財源内訳事予執資工会	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 等現額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時格 臣規職員分 軍度任用職員等	千円	実績       0       0       505       658       76.7%       1,980       245       2,225	実績       0       0       0       0       197       637       30.9%       0.36 0.08 0.00       3,240       3,576	実績       0       0       0       301       388       51.2%       0.30     0.15       0.700       630       3,330	実績       0       0       0       234       234       430       54.4%       0.30     0.15     0.00       2,700     630       3,330	計画 0 0 0 430 430 ————————————————————————————————————	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
創業に関するセミナーの開催、たちかわ創業応援プロジェクトの会議開催などを行った。創業支援セミナーはTOKYO創業ステーションTAMAを会場として開催した。中央図書館との連携によるセミナーは、TOKYO創業ステーションTAMAから講師を派遣してもらい開催した。	(2)	①事業費 ②人件費	財源内訳事予執資工会	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 等現額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時格 E規職員分 軍度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績       0       0       0       505       555       658       76.7%       0.22     0.07       1,980       245	実績       0       0       0       0       197       637       30.9%       0.36   0.08   0.00       3,240       336	実績       0       0       0       301       588       51.2%       0.30   0.15   0.00       2,700       630	実績 0 0 0 234 234 430 54.4% 0.30 0.15 0.00 2,700 630	計画 0 0 0 430 430 — 0.30 0.15 0.00 2,700 630	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
創業に関するセミナーの開催、たちかわ創業応援プロジェクトの会議開催などを行った。創業支援セミナーはTOKYO創業ステーションTAMAを会場として開催した。中央図書館との連携によるセミナーは、TOKYO創業ステーションTAMAから講師を派遣してもらい開催した。		①事業費 ②人件費 ③約	財源内訳事予執賀正年人業	国庫支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 等現額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月絵   時総 E規職員分 軍度任用職員等 件費計(C) 等費(A)+(C)	千円 千円 千円 千円 千円 4円 4円 4円 4円 4円 4円 4円 4円 4円 4円 4円 4円 4円	実績       0       0       0       505       658       76.7%       0.22       0.980       245       2,225       2,730	実績       0       0       0       197       637       30.9%       0.36     0.08       0.00     3,240       336       3,576       3,773	実績 0 0 0 301 301 588 51.2% 0.30 0.15 0.00 2,700 630 3,330 3,631	<b>実績</b>	計画 0 0 0 430 430 ————————————————————————————————————	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
創業に関するセミナーの開催、たちかわ創業応援プロジェクトの会議開催などを行った。創業支援セミナーはTOKYO創業ステーションTAMAを会場として開催した。中央図書館との連携によるセミナーは、TOKYO創業ステーションTAMAから講師を派遣してもらい開催した。	2改革	①事業費 ②人件費 ③ ・ 改	財源内訳事予執員正社人業事・	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) う算現額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時格 臣規職員分 再度任用職員等 件費計(C) き費(A)+(C)	千円	実績       0       0       0       505       658       76.7%       1,980       245       2,730       改善	実績	実績	<b>実績</b>	計画 0 0 0 430 430 430 030 0.15 0.00 2,700 630 3,330 3,760	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
創業に関するセミナーの開催、たちかわ創業応援プロジェクトの会議開催などを行った。創業支援セミナーはTOKYO創業ステーションTAMAを会場として開催した。中央図書館との連携によるセミナーは、TOKYO創業ステーションTAMAから講師を派遣してもらい開催した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無、課題の有無、課題がある場合に・)ア:目的妥当性	2改革	①事業費 ②人件費 ③ ・ 改	財源内訳事予執賀正年人業	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) う算現額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時格 臣規職員分 再度任用職員等 件費計(C) き費(A)+(C)	千円	実績       0       0       0       505       658       76.7%       0.22       0.980       245       2,225       2,730	実績	実績 0 0 0 301 301 588 51.2% 0.30 0.15 0.00 2,700 630 3,330 3,631	<b>実績</b>	計画 0 0 0 430 430 430 0.30 0.15 0.00 2,700 630 3,330 3,760	計画
創業に関するセミナーの開催、たちかわ創業応援プロジェクトの会議開催などを行った。創業支援セミナーはTOKYO創業ステーションTAMAを会場として開催した。中央図書館との連携によるセミナーは、TOKYO創業ステーションTAMAから講師を派遣してもらい開催した。	2改革	①事業費 ②人件費 ③ 改 有	財源内訳事予執費正針人業の	国庫支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) ラ算現額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時総 E規職員分 再度任用職員等 (件費計(C) 業費(A)+(C)	千円	実績       0       0       0       505       658       76.7%       0.22     0.07       1,980       2,225       2,730       本	実績	実績	実績       0       0       0       234       430       54.4%       0.30     0.15       0.00     630       3,330     3,564       (2)事業       向	計画 0 0 0 430 430 430 0.30 0.15 0.00 2,700 630 3,330 3,760	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
創業に関するセミナーの開催、たちかわ創業応援プロジェクトの会議開催などを行った。創業支援セミナーはTOKYO創業ステーションTAMAを会場として開催した。中央図書館との連携によるセミナーは、TOKYO創業ステーションTAMAから講師を派遣してもらい開催した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に)) (事業の成果) 創業希望者にメリットの多いセミラでTOKYO創業ステーションTAM	<b>②改革</b>	①事業費 ②人件費 ③ 改 有 催	財源内訳事予執賀正は人業のである。	国庫支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) を 算現額(B) 行率(A)/(B) 数 (正規 月 月 経 月 時 経 E 規職員分 事度任用職員等 (件費計(C) を 費(A)+(C) に 対 での (を で で の (を で で ) を で の (を で ) を で で の (を で ) を で ) を で の (を で ) を で ) を で の (を で ) を で ) を で か (を で ) を で ) を で ) を で か (を で ) を で ) を で ) を で ) を で ) を で ) を で ) を で ) を で ) を で ) を で ) を で ) を で ) を で ) を す ) を ) を	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円         十円       千円         大円       千円         大円       千円         大円       千円	実績	実績	実績	実績       0       0       0       234       234       430       54.4%       0.30     0.15       630       3,330       3,564    (2) 事業	計画	計画
創業に関するセミナーの開催、たちかわ創業応援プロジェクトの会議開催などを行った。創業支援セミナーはTOKYO創業ステーションTAMAを会場として開催した。中央図書館との連携によるセミナーは、TOKYO創業ステーションTAMAから講師を派遣してもらい開催した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 課題がある場合に・)ア:目的妥当性 (事業の成果) 創業希望者にメリットの多いセミラ	2 ひ よ は A を 活	①事業費 ②人件費 ③ 改有 催す	財源内訳 事予執賀正針人業 ③ [ なと	国庫支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 等現額(B) 行率(A)/(B) 数(正規 月給   時総 E規職員分 再度任期職員等 (A)+(C) 課題・反省点 ウ:効率性 が、関係機関とで、関係機関という。	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円         ボ連       千円         ボック       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実績	実績	実績	実績       0       0       0       234       430       54.4%       0.30     0.15       0.00     2,700       630     3,330       3,564    physical image in the control of the	計画	計画
創業に関するセミナーの開催、たちかわ創業応援プロジェクトの会議開催などを行った。創業支援セミナーはTOKYO創業ステーションTAMAを会場として開催した。中央図書館との連携によるセミナーは、TOKYO創業ステーションTAMAから講師を派遣してもらい開催した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(課題がある場合にょ) (事業の成果) 創業希望者にメリットの多いセミラでTOKYO創業ステーションTAMな支援につなげることができた。また、立川商工会議所が事務局により、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	②改革 トーを IAを務め で一や	①事業費 ②人件費 ③ 改有 催す 「気薬	財源内訳 事予執費 正針人業 ③ [ なと 市の	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 等現額(B) 行率(A)/(B) 数に規則 月給   時給 E規職員分 再度任用職員 件費計(C) 業費(A)+(C) 課題・反省点 で、関、本質 がで、関、本質 がで、関、本質 がで、関、本質	・ 一円円円円円円円       ・ 一円円円円         ・ 一円円円円円       ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実績	実績	実績	実績       0       0       0       234       430       54.4%       0.30     0.15       0.00     2,700       630     3,330       3,564    (2) 事業    向上維持低	計画	計画
創業に関するセミナーの開催、たちかわ創業応援プロジェクトの会議開催などを行った。創業支援セミナーはTOKYO創業ステーションTAMAを会場として開催した。中央図書館との連携によるセミナーは、TOKYO創業ステーションTAMAから講師を派遣してもらい開催した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に))ア:目的妥当性(事業の成果)創業希望者にメリットの多いセミラでTOKYO創業ステーションTAMな支援につなげることができた。また、立川商工会議所が事務局:	②改革 トーを IAを務め で一や	①事業費 ②人件費 ③ 改有 催す 「気薬	財源内訳 事予執費 正針人業 ③ [ なと 市の	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 等現額(B) 行率(A)/(B) 数に規則 月給   時給 E規職員分 再度任用職員 件費計(C) 業費(A)+(C) 課題・反省点 で、関、本質 がで、関、本質 がで、関、本質 がで、関、本質	・ 一円円円円円円円       ・ 一円円円円         ・ 一円円円円円       ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実績	実績	実績	実績       0       0       0       234       430       54.4%       0.30     0.15     0.00       2,700     630       3,330       3,564    (2) 事業    Chapter   Chapte	計画	計画

### (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等)

「創業しやすいまち、立川」の実践に向け、より一層関係団体との連携を深めるとともに、創業後の事業の経営安定化に対しても継続的に支援していく。併せて、中小事業者の喫緊の課題でもある事業承継について、地域の支援機関の連携を図ることで課題の解決を目指す。

令和 4 年度事後評価	令和:	5 年度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	ト <sub>令和</sub>	和 5 年 6	6 月作成
事務事業名 労働関連事務				所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武司	司
政策名 都市基盤・産業				所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 地域に根ざした働ぐ	く場の創と	Ц		予算科目	会計 1	款 5	項 1	目 1	事業 番号 2
基本事業名就労機会の創出			<b>も形態</b>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携・協働
<b>事業期間</b> 単年度繰返 年度~	年度 ;	根拠	CB47(-17						
市長公約   主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業			<b>H</b>						
①事業概要		日的・紀末・冯 <u>斯・</u> 及 数の推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
消耗品の購入、印刷製本、郵便 料の支払いなど労働関連事務	ア担当		人	1	1	1.0 1 /2	1	1	110 112
を滞りなく遂行する。		以上の市民(4月1日現	1			1 21 100			
	イ 在)	), TT > 10 P4(T) 1 T 10 PE	人	160,059	160,582	161,188	161,993	162,636	
	6活動	 指標	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)		<b>小労働法作成部数</b>	部	1,000	1,000	1,000	1,000		
滞りなく事務を遂行するととも に、労働法等の法令の周知によ	イパート 作成	トタイム労働ガイドブック 知数	部	1,000	900	900	1,000		
り、法令遵守に基づく雇用就業	<b>エ</b> これた	だけはおさえておきたい 生のポイント作成部数	部	100	100	100	0		
を促進する。	⑦成果		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		<b>ル労働法配布部数</b>	部	1,000	1,000	1,000	1,000		
市内における雇用機会の創出、雇用環境の整備につなげる。	<b>1</b> ガイド	・タイム・有期雇用労働 ブック配布部数	部	1,000	900	900	1,000		
VENION DEVINE DI SALVI DO	_ これた	ごけはおさえておきたい 生のポイント配布部数	部	100	100	100	0		
	(2)事美	業のコスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)		国庫支出金	千円		0	0	0	0	0
・消耗品の購入、郵送事務・ポケット労働法、パートタイム・		財都支出金	千円		0	0	0	0	0
有期雇用労働ガイドブックの作	1	内型型分值	千円		0		0	0	0
成。これだけはおさえておきた い労働法のポイントは、東京都	事業	訳といいます。	千円			43	43	_	0
で更新終了とのことなので、そ	費	一般財源 事業費計(A)	千円		132	43	43	44	0
の分パートタイム・有期雇用ガイ ドブックを増刷した。		予集員可(A) 予算現額(B)	千円	44			44	— 44	
1 > >> @ PARTO 1C0		執行率(A)/(B)	%	100.0%	98.5%	97.7%	97.7%	_	_
		職員数(正規   月給   時給)	人	0.03 0.00 0.00	0.04 0.00 0.00			0.04 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	②	正規職員分	千円	270	360	360	360	360	0
	件	会計年度任用職員等	千円	0	0	0	0	0	0
	費	人件費計(C)	千円	270	360	360	360	360	0
2 評価の部	3	総事業費(A)+(C)	千円	314	492	403	403	404	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	②改革•改	:善·③課題·反省点)		改善	きや見直しを図	図った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 (課題がある場合によ)	イ:有	「効性 ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他		コス	
(事業の成果)			2-2-4	000-11111-1			向	削減 維	持増加
ポケット労働法を1,000部、パート 布することで労働契約等に関する						設等で配			
							成維持		
							低		
							(廃止・	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	· 改善案	等)							
今後もポケット労働法及びパート			クを作	成し、関係	法や労働	契約等の啓	発を行う。		

事務事業名若年者就業支援事			1 12	<b>、 于</b> 7万·	<u> ナ                                   </u>	. \ '  ' >		トンー	<b>节</b> 7	和 5 年 6	л <u>пти</u>
	事業					所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業						所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 地域に根ざした働	く場の創	削出				予算科目	会計 1	款 5	項 1	目 1	事業 4 番号
基本事業名就労機会の創出					地形態 (選択可)	✓ 全部	『委託	一部委託	補助・	助成	連携∙協働
事業期間 単年度繰返		根	抑								
平成16 年度~	年度	法令									
市長公約     主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業		更•日6	钓•結耳	  -活動・成	里						
①事業概要			<u>カ推移</u>	× 10 43 1%	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
学生やフリーター、無業状態の 若者を対象に、就労のきっかけ				民(4月1日							
となる職業体験事業を実施し、		在)	5//3/2 > 1   3	EQ(1),1 H	人	21,237	21,138	20,973	21,011	21,102	
若者の社会人基礎力を養うこと	1										
で、地域産業の担い手として送り出す。	ウ										
ν μ γ δ	⑥活	動指標	=		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
@ <b></b>	1-11-			事業実施回		実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	数数	. 11.421			□	342	290	507	462		
地域社会で受け入れ、社会体験の場を提供する。	1										
	ウ										
	(7)成	果指標	票		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<b>②</b> 4+ 田	1-5/2			事業進路決		実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		者数			人	13	3	7	10		
若年者の就業につながる。	1										
	ウ										
	(0)=	± 444 - 6				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)	事業()	コスト		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)			_	庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
専門家による随時相談、就活セ		則	<del> </del>	如士山仝				_			
				都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
ミナー開催、インターンシップ、 各種就職支援機関の紹介等を		』  源	東 <del></del>	地方債	千円	0	0	0	0	Ü	
各種就職支援機関の紹介等を 通じて、若年者の就業を支援し	<b>三</b>		京	地方債その他	千円 千円	0	0	0	0	0	0
各種就職支援機関の紹介等を 通じて、若年者の就業を支援し た。 インターンシップ やボラン			京 - F	地方債 その他 -般財源	千円 千円 千円	0 0 2,000	0 0 2,000	0 0 1,980	0 0 1,958	0 0 1,980	0 0
各種就職支援機関の紹介等を 通じて、若年者の就業を支援した。インターンシップやボラン ティア、企業見学など企業側の 受入れ再開や求人数の回復な			事業費	地方債 その他 一般財源 費計(A)	千円 千円 千円	0 0 2,000 2,000	0 0 2,000 2,000	0 0 1,980 1,980	0 0 1,958 1,958	0 0 1,980 1,980	0 0
各種就職支援機関の紹介等を 通じて、若年者の就業を支援し た。インターンシップやボラン ティア、企業見学など企業側の 受入れ再開や求人数の回復な どが見られ、延べ参加者数の増			事業費	地方債 その他 一般財源 費計(A) 現額(B)	千円 千円 千円 千円	0 0 2,000 2,000 2,000	0 0 2,000 2,000 2,000	0 0 1,980 1,980 2,000	0 0 1,958 1,958 1,980	0 0 1,980 1,980 —	0 0
各種就職支援機関の紹介等を 通じて、若年者の就業を支援した。インターンシップやボラン ティア、企業見学など企業側の 受入れ再開や求人数の回復な		がある。 ・	事業費	地方債 その他 一般財源 貴計(A) 現額(B)	千円 千円 千円 千円 千円	0 0 2,000 2,000 2,000 100.0%	2,000 2,000 2,000 100.0%	0 0 1,980 1,980 2,000 99.0%	0 0 1,958 1,958 1,980 98.9%	0 0 1,980 1,980 —	0 0 0 0 -
各種就職支援機関の紹介等を 通じて、若年者の就業を支援し た。インターンシップやボラン ティア、企業見学など企業側の 受入れ再開や求人数の回復な どが見られ、延べ参加者数の増	Initir duty index	1)事業費 職	事業費	地方債 その他 一般財源 費計(A) 現額(B) <sup>3</sup> (A)/(B) 規   月給   時給)	千円 千円 千円 千円 千円 %	2,000 2,000 2,000 100.0%	2,000 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.00 0.00	0 0 1,980 1,980 2,000 99.0% 0.06 0.00 0.00	0 0 1,958 1,958 1,980 98.9%	0 0 1,980 1,980 — — 0.06 0.00 0.00	000 0.00 0.00
各種就職支援機関の紹介等を 通じて、若年者の就業を支援し た。インターンシップやボラン ティア、企業見学など企業側の 受入れ再開や求人数の回復な どが見られ、延べ参加者数の増		1)事業費 2人	事業登執行率	地方債 その他 一般財源 費計(A) 現額(B) 基(A)/(B) <sup>現(A)</sup> / <sub>(B)</sub> 現(月給(時給)	千円 千円 千円 千円 4円 % 人	2,000 2,000 2,000 100.0% 0.00 0.02 0.00 540	2,000 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.00 0.00 540	0 0 1,980 1,980 2,000 99.0% 0.06 0.00 0.00	0 0 1,958 1,958 1,980 98.9% 0.06 0.00 0.00	0 0 1,980 1,980 — 0.06 0.00 0.00 540	0 0 0 0 0 
各種就職支援機関の紹介等を 通じて、若年者の就業を支援し た。インターンシップやボラン ティア、企業見学など企業側の 受入れ再開や求人数の回復な どが見られ、延べ参加者数の増		1)事業費 2人	事業等執行率執行率。	地方債 その他 一般財源 費計(A) 現額(B) 猛(A)/(B) 規 月給 申給 職員分 任用職員等	千円 千円 千円 4円 6 十円 十円	2,000 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.02 0.00 540	2,000 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.00 0.00 540	0 0 1,980 1,980 2,000 99.0% 0.06 0.00 0.00 540	0 0 1,958 1,958 1,980 98.9% 0.06 0.00 0.00	0 0 1,980 1,980 — 0.06 0.00 0.00 540	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
各種就職支援機関の紹介等を 通じて、若年者の就業を支援し た。インターンシップやボラン ティア、企業見学など企業側の 受入れ再開や求人数の回復な どが見られ、延べ参加者数の増		1)事業費 2人牛費 2人牛費	事業等等,對於一個人工	地方債 その他 一般財源 計(A) 現額(B) 現(A)/(B) 規(月給(時給) 職員分 任用職員等	千円 千円 千円 千円 % 人 千円 千円	0 0 2,000 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.02 0.00 540 70	0 0 2,000 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.00 0.00 540	0 0 1,980 2,000 99.0% 0.06 0.00 0.00 540	0 0 1,958 1,958 1,980 98.9% 0.06 0.00 0.00 540	0 0 1,980 1,980 — 0.06 0.00 0.00 540 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
各種就職支援機関の紹介等を 通じて、若年者の就業を支援し た。インターンシップやボラン ティア、企業見学など企業側の 受入れ再開や求人数の回復な どが見られ、延べ参加者数の増		1)事業費 2人牛費 2人牛費	事業等等,對於一個人工	地方債 その他 一般財源 費計(A) 現額(B) 猛(A)/(B) 規 月給 申給 職員分 任用職員等	千円 千円 千円 4円 6 十円 十円	2,000 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.02 0.00 540	2,000 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.00 0.00 540	0 0 1,980 1,980 2,000 99.0% 0.06 0.00 0.00 540	0 0 1,958 1,958 1,980 98.9% 0.06 0.00 0.00	0 0 1,980 1,980 — 0.06 0.00 0.00 540 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
各種就職支援機関の紹介等を通じて、若年者の就業を支援した。インターンシップやボランティア、企業見学など企業側の受入れ再開や求人数の回復などが見られ、延べ参加者数の増加や進路決定につながった。	off state states	①事業費 ②人牛費 ③ 総	事 予 執 数 規 計 人 業 十 人 業	地方債 その他 一般財源  豊計(A) 現額(B)  選(A)/(B)  規   月給   時給)  職員分 任用職員等 豊計(C) (A)+(C)	千円 千円 千円 % 人 千円 千円 千円	0 0 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.02 0.00 540 70 610 2,610	0 0 2,000 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.00 0.00 540	0 0 1,980 2,000 99.0% 0.06 0.00 0.00 540 0 2,520	0 0 1,958 1,958 1,980 98.9% 0.06 0.00 0.00 540 0,498	0 0 1,980 1,980 — 0.06 0.00 0.00 540 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
各種就職支援機関の紹介等を通じて、若年者の就業を支援した。インターンシップやボランティア、企業見学など企業側の受入れ再開や求人数の回復などが見られ、延べ参加者数の増加や進路決定につながった。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無	2 改革	①事業費 ②人牛費 ③	事 等	地方債 その他 一般財源  豊計(A) 現額(B)  選(A)/(B)  規   月給   時給)  職員分 任用職員等 豊計(C) (A)+(C)	千円 千円 千円 % 人 千円 千円 千円	0 0 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.02 0.00 540 70 610 2,610	0 2,000 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.00 0.00 540 0 2,540	0 0 1,980 2,000 99.0% 0.06 0.00 0.00 540 0 2,520	0 0 1,958 1,958 1,980 98.9% 0.06 0.00 0.00 540 0,498	0 0 1,980 1,980  0.06 0.00 0.00 540 0 2,520	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
各種就職支援機関の紹介等を通じて、若年者の就業を支援した。インターンシップやボランティア、企業見学など企業側の受入れ再開や求人数の回復などが見られ、延べ参加者数の増加や進路決定につながった。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(業題がある場合に)ア:目的妥当性(事業の成果)	<ul><li>②改革</li><li>「 イ</li></ul>	① 事業費 ② 人牛費 ③ 改有 就 善 就 善 就 善 就 一 会 」 総 善	事予執数規 上年 人業 課 上年	地方債 その他 一般財源 費計(A) 現額(B) 現(A)/(B) 現 月給 「時給) 職員分 任用職員分 任用(C) (A)+(C) 頃・反省点)	千円 千円 千円 % 人 千円 千円 千円	0 0 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.02 0.00 540 70 610 2,610 改養	0 2,000 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.00 0.00 540 0 540 2,540 オ:そ	0 0 1,980 1,980 2,000 99.0% 0.06 0.00 0.00 540 0 2,520	0 0 1,958 1,958 1,980 98.9% 0.06 0.00 0.00 540 2,498	0 0 1,980 1,980  0.06 0.00 0.00 540 0 2,520	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
各種就職支援機関の紹介等を通じて、若年者の就業を支援した。インターンシップやボランティア、企業見学など企業側の受入れ再開や求人数の回復などが見られ、延べ参加者数の増加や進路決定につながった。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(*課題の有無(課題がある場合によ)) (事業の成果) 年間を通じて随時募集する形で:	<ul><li>②改革イ</li><li>実施する</li></ul>	1) 事業費 2人牛費 3 改有 この	第7R 事 予執数に年人業 課 個々 で、 個本 で は で で は で は で で は で で は で は で で か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	地方債 その他 一般財源 費計(A) 現額(B) 現(A)/(B) 現 月給   時給) 職員分 任用職員分 任用(C) (A)+(C) 頃・反省点) の特性に合	千円 千円 千円 4円 4円 千円 千円 千円	0 2,000 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.02 0.00 540 70 610 2,610 立きを変われている。	0 2,000 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.00 0.00 540 0 540 2,540 オ:そ	0 0 1,980 2,000 99.0% 0.06 0.00 0.00 540 2,520	0 0 1,958 1,958 1,980 98.9% 540 0 540 2,498	0 0 1,980 1,980  0.06 0.00 0.00 540 0 2,520 *の方針	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
各種就職支援機関の紹介等を通じて、若年者の就業を支援した。インターンシップやボランティア、企業見学など企業側の受入れ再開や求人数の回なが見られ、延べ参加者数の増加や進路決定につながった。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(課題がある場合にメント) 中間を通じて随時募集する形でがっている。令和4年度は、企業インティア、企業見学など、企業	<ul><li>() () () () () () () () () () () () () (</li></ul>	1) 事業費 2人牛費 ③ 改有 こける 3 公	第7R 事 予執 数 正 年 人 業 第 5 年 近 制 人 業 課 値が が が か が か か か か か か か か か か か か か か	地方債 その他 一般財源 計(A) 現額(B) 現(A)/(B) 現 月給   時給) 附員分 任用職員分 任用職員分 (A)+(C) 頃・反 3 本性 の々に緩和	千円 千円 千円 4 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	0 2,000 2,000 2,000 100.0% 540 70 610 2,610 立きを変わった。	0 2,000 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.00 0.00 540 0 540 2,540 オ:そ	0 0 1,980 1,980 2,000 99.0% 0.06 0.00 0.00 540 0 2,520	0 0 1,958 1,980 98.9% 540 0 540 2,498	0 0 1,980 1,980  0.06 0.00 0.00 540 0 2,520 *の方針	000000000000000000000000000000000000
各種就職支援機関の紹介等を通じて、若年者の就業を支援した。インターンシップやボランティア、企業見学など企業側の受入れ再開や求人数の回復などが見られ、延べ参加者数の増加や進路決定につながった。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(*課題の有無(課題がある場合により)・ア:目的妥当性(事業の成果) 年間を通じて随時募集する形できがっている。令和4年度は、コロラ	<ul><li>() () () () () () () () () () () () () (</li></ul>	1) 事業費 2人牛費 ③ 改有 こける 3 公	第7R 事 予執 数 正 年 人 業 第 5 年 近 制 人 業 課 値が が が か が か か か か か か か か か か か か か か	地方債 その他 一般財源 計(A) 現額(B) 現(A)/(B) 現 月給   時給) 附員分 任用職員分 任用職員分 (A)+(C) 頃・反 3 本性 の々に緩和	千円 千円 千円 4 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	0 2,000 2,000 2,000 100.0% 540 70 610 2,610 立きを変わった。	0 2,000 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.00 0.00 540 0 540 2,540 オ:そ	0 0 1,980 1,980 2,000 99.0% 0.06 0.00 0.00 540 0 2,520	0 0 1,958 1,980 98.9% 0.06 0.00 0.00 540 2,498 (2)事業	0 0 1,980 1,980 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
各種就職支援機関の紹介等を通じて、若年者の就業を支援した。インターンシップやボランティア、企業見学など企業側の受入れ再開や求人数の回なが見られ、延べ参加者数の増加や進路決定につながった。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(課題がある場合にメント) 中間を通じて随時募集する形でがっている。令和4年度は、企業インティア、企業見学など、企業	<ul><li>() () () () () () () () () () () () () (</li></ul>	1) 事業費 2人牛費 ③ 改有 こける 3 公	第7R 事 予執 数 正 年 人 業 第 5 年 近 制 人 業 課 値が が が か が か か か か か か か か か か か か か か	地方債 その他 一般財源 計(A) 現額(B) 現(A)/(B) 現 月給   時給) 附員分 任用職員分 任用職員分 (A)+(C) 頃・反 3 本性 の々に緩和	千円 千円 千円 4 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	0 2,000 2,000 2,000 100.0% 540 70 610 2,610 立きを変わった。	0 2,000 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.00 0.00 540 0 540 2,540 オ:そ	0 0 1,980 1,980 2,000 99.0% 0.06 0.00 0.00 540 0 2,520	0 0 1,958 1,980 98.9% 540 0 540 2,498	0 0 1,980 1,980 	000000000000000000000000000000000000
各種就職支援機関の紹介等を通じて、若年者の就業を支援した。インターンシップやボランティア、企業見学など企業側の受入れ再開や求人数の回復などが見られ、延べ参加者数の増加や進路決定につながった。  (1)全体総括(①事業の成果・(課題がある場合にン) ア:目的妥当性(事業の成果) 年間を通じて随時募集する形でがっている。令和4年度は、企業や進路決定につながった。	<b>②改革イ</b> すれに受力 すれに受力 する できます できます はい また できます から できます はい また できます から しゅう	①事業費 ②人牛費 ③ 改有 こけれ 一 職 会 総 善 効 とる再	事 予 執 貴 正 年 人 業 第 5 年 で 割 開 が や で が 求	地方債 その他 一般財源 計(A) 現額(B) 現(A)/(B) 現 月給   時給) 附員分 任用職員分 任用職員分 (A)+(C) 頃・反 3 本性 の々に緩和	千円 千円 千円 4 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	0 2,000 2,000 2,000 100.0% 540 70 610 2,610 立きを変わった。	0 2,000 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.00 0.00 540 0 540 2,540 オ:そ	0 0 1,980 1,980 2,000 99.0% 0.06 0.00 0.00 540 0 2,520	0 0 1,958 1,980 98.9% 540 0 540 2,498 (2)事業	0 0 1,980 1,980 	の の の の の の の の の の の の の の
各種就職支援機関の紹介等を通じて、若年者の就業を支援した。インターンシップやボランティア、企業見学など企業側の受入れ再開や求人数の回なが見られ、延べるがった。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(課題がある場合にメンターンを表現のでは、事業の成果)年間を通じて随時募集する形でであっている。令和4年度は、企業や進路決定につながった。		①事業費 ②人牛費 ③ 改有 こけれ 案 第 か とる再 等)	第7R 事 予執	地方債 その他 一般財源 豊計(A) 現額(B) 現(A)/(B) 規 員額(B) (A) (B) 規 員分 (B) (C) (A) + (C) 頃・反 効 性緩回の (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	千円 千円 千円 % 人 千円円 千円 われたど	0 2,000 2,000 2,000 100.0% 540 70 610 2,610 立き エ:公平性 た支援プロンドラ	0 0 2,000 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.00 0.00 540 2,540 オ:そ オンターン 延べ参加者	0 0 1,980 1,980 2,000 99.0% 540 0 540 2,520 2,520	0 0 1,958 1,980 98.9% 0.06 0.00 0.00 540 2,498 (2)事業	0 0 1,980 1,980 - 0.06 0.00 0.00 540 0 2,520 *の方針	の の の の の の の の の の の の の の
各種就職支援機関の紹介等を通じて、若年者の就業を支援した。インターンシップやボランティア、企業見学など企業側の受入れ再開や求人数の回復などが見られ、延べ参加者数の増加や進路決定につながった。  (1)全体総括(①事業の成果・(課題がある場合にン) ア:目的妥当性(事業の成果) 年間を通じて随時募集する形でがっている。令和4年度は、企業や進路決定につながった。	a   a   c   c   c   c   c   c   c   c	①事業費 ②人牛費 ③ ・ ・ この	Total	地方債 その他 一般財源 計(A) 現額(B) 現(A)/(B) 現 員分 時間(C) (A)+(C) 頃・反 効 性緩回であると、人数の回で	千円千円千円%千円かれたどか上かれたどか	0 0 2,000 2,000 2,000 100.0% 540 70 610 2,610 立き エ:公平性 た支援プレ ことにより、	0 2,000 2,000 2,000 100.0% 0.06 0.00 0.00 540 2,540 2,540 オ:そ オンターンメ 近べ参加者	0 0 1,980 2,000 99.0% 0.06 0.00 0.00 540 2,520 3つた での他	0 1,958 1,980 98.9% 0.06 0.00 0.00 540 2,498 (2)事 向上維持低下 (廃止・	0 0 1,980 1,980 - 0.06 0.00 0.00 540 0 2,520 *の方針	000000000000000000000000000000000000

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	12:	年度 事務	<u> </u>	マネン	ノメン	トンー	<u>P</u> 令和	和 5 年 6	<u>6 月作成</u>
事務事業名アクティブシニア就	ì業支 <b>i</b>	援事業			所属部	産業文化	スポーツ部	課長名	奥野 武司	司
政策名 都市基盤•産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	
施策名 地域に根ざした働	く場のク	創出			予算科目	会計 1	款 5	項 1	目 1	事業 番号 5
基本事業名就労機会の創出				<b>を形態</b>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	✔ 補助・	助成	連携∙協働
事業期間 単年度繰返 平成15 年度~	年度	根拠								
市長公約 主要施策	十/又	法令	<b>等</b> 立川市商.	 工観光	·団体補助	金交付要約				
1 現状把握の部(1)事務事業	きの概!	要•目的								
①事業概要 市内及び周辺地域の事務所に	⑤対	象数の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
精通している立川商工会議所が			の市民(4月1日現	人	64,682	65,850	67,444	67,555	68,597	
運営する無料職業紹介所に対し助成する。	ア イ	<u>:</u> )			,	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>	
CBINK Y SO				-						
	ウ				1101年亩	50年度	50年亩	D.4.左击	55年産	50年亩
	<b>⑥活</b>	動指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	アポ	<b></b>		人	1,771	945	1,026	997		
中高年齢者の就業促進と中小	<b>イ</b> 求	₹人開拓,	 人数	人	9,868	9,010	7,954	8,167		
企業の雇用促進	ウ					-		-		
		- TF-13		>>2 /_L	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		果指標		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア就	比職者数		人	151	68	66	70		
中高年齢者の就業促進と中小企業の雇用促進を図り、地域産	1									
企業の准用促進を図り、地域産業の活性化につなげる。	ウ									
					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)	事業の:	コスト	単位	大 実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
就業相談、就職あっせん、就労		財源	都支出金	千円	0 5,952	0 5,952	0 5,952	0 5,952	Ů	0
	(	│	都支出金 地方債	千円	5,952	5,952 0	Ů		5,952	0 0
就業相談、就職あっせん、就労 関係情報の提供等の事業を支	4	↓	都支出金 地方債 その他	千円 千円 千円	5,952 0 0	5,952 0	5,952 0 0	5,952 0 0	5,952 0 0	0 0
就業相談、就職あっせん、就労 関係情報の提供等の事業を支	1	源 (1) 事 (1) 事 (2) 第 (3) 第 (4) 第 (4) 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	都支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円	5,952 0 0 8,062	5,952 0 0 7,682	5,952 0 0 8,083	5,952 0 0 8,082	5,952 0 0 8,084	0 0 0
就業相談、就職あっせん、就労 関係情報の提供等の事業を支	1	源 (1) 事 (1) 事 (2) 第 (3) 第 (4) 第 (4) 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	千円 千円 千円 千円	5,952 0 0 8,062 14,014	5,952 0 0 7,682 13,634	5,952 0 0 8,083 14,035	5,952 0 0 8,082 14,034	5,952 0 0 8,084 14,036	0 0 0
就業相談、就職あっせん、就労 関係情報の提供等の事業を支	1	源内 引事業 書 世	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B)	千円 千円 千円 千円	5,952 0 0 8,062 14,014 14,015	5,952 0 0 7,682 13,634 14,034	5,952 0 0 8,083 14,035 14,036	5,952 0 0 8,082 14,034	5,952 0 0 8,084 14,036	0 0 0
就業相談、就職あっせん、就労 関係情報の提供等の事業を支		源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円	5,952 0 0 8,062 14,014 14,015 100.0%	5,952 0 0 7,682 13,634 14,034 97.1%	5,952 0 0 8,083 14,035 14,036	5,952 0 0 8,082 14,034 14,034	5,952 0 0 8,084 14,036 —	0 0 0 0 0
就業相談、就職あっせん、就労 関係情報の提供等の事業を支		源内訳 職 電	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円 八	5,952 0 0 8,062 14,014 14,015 100.0% 0.05 0.02 0.00	5,952 0 0 7,682 13,634 14,034 97.1%	5,952 0 0 8,083 14,035 14,036 100.0% 0.04 0.00 0.00	5,952 0 0 8,082 14,034 14,034 100.0%	5,952 0 0 8,084 14,036 — 0.04 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 
就業相談、就職あっせん、就労 関係情報の提供等の事業を支	Color and and	① 事業費 ② 人件 会計	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円 % 人	5,952 0 0 8,062 14,014 14,015 100.0%	5,952 0 0 7,682 13,634 14,034 97.1%	5,952 0 0 8,083 14,035 14,036	5,952 0 0 8,082 14,034 14,034	5,952 0 0 8,084 14,036 — 0.04 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 
就業相談、就職あっせん、就労 関係情報の提供等の事業を支	Color and and	①事業費 ②人件费 ②人件费 ② ② (	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分	千円 千円 千円 千円 千円 % 人	5,952 0 0 8,062 14,014 14,015 100.0% 0.05 0.02 0.00 450	5,952 0 7,682 13,634 14,034 97.1% 0.04 0.00 0.00 360	5,952 0 0 8,083 14,035 14,036 100.0% 0.04 0.00 0.00 360	5,952 0 0 8,082 14,034 14,034 100.0% 0.04 0.00 0.00 360	5,952 0 0 8,084 14,036 — 0.04 0.00 0.00 360	0 0 0 0 0 
就業相談、就職あっせん、就労 関係情報の提供等の事業を支	Color and and	① 事業費 ② 人件費 ② 人件費	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 % 人 千円	5,952 0 0 8,062 14,014 14,015 100.0% 0.05 0.02 0.00 450 70	5,952 0 0 7,682 13,634 14,034 97.1% 0.04 0.00 0.00 360 0	5,952 0 0 8,083 14,035 14,036 100.0% 0.04 0.00 0.00 360 0	5,952 0 0 8,082 14,034 14,034 100.0% 0.04 0.00 0.00 360	5,952 0 0 8,084 14,036 — 0.04 0.00 0.00 360 0 360	0 0 0 0 0 0 
就業相談、就職あっせん、就労 関係情報の提供等の事業を支 援した。 2 評価の部	C A st.	① 事業費 ② 人件費 ③ 総	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C)	千円 千円 千円 千円 % 人 千円 千円 千円	5,952 0 8,062 14,014 14,015 100.0% 0.05 0.02 0.00 450 70 520 14,534	5,952 0 0 7,682 13,634 14,034 97.1% 0.04 0.00 0.00 360 0 13,994	5,952 0 0 8,083 14,035 14,036 100.0% 0.04 0.00 0.00 360 0 14,395	5,952 0 0 8,082 14,034 14,034 100.0% 360 0 34,394	5,952 0 8,084 14,036 — 0.04 0.00 0.00 360 0 14,396	0 0 0 0 0 0 
就業相談、就職あっせん、就労 関係情報の提供等の事業を支援した。 2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	2改革	①事業費 ②人件費 ③ 改 善 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) に業費(A)+(C)	千円 千円 千円 千円 4 千円 千円 千円	5,952 0 8,062 14,014 14,015 100.0% 450 70 520 14,534	5,952 0 7,682 13,634 14,034 97.1% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 13,994	5,952 0 0 8,083 14,035 14,036 100.0% 0.04 0.00 360 0 14,395	5,952 0 0 8,082 14,034 14,034 100.0% 360 0 34,394	5,952 0 0 8,084 14,036  0.04 0.00 0.00 360 0 14,396	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
就業相談、就職あっせん、就労 関係情報の提供等の事業を支援した。 2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合に)	2改革	① 事業費 ② 人件費 ③ 総	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) に業費(A)+(C)	千円 千円 千円 千円 4 千円 千円 千円	5,952 0 8,062 14,014 14,015 100.0% 0.05 0.02 0.00 450 70 520 14,534	5,952 0 7,682 13,634 14,034 97.1% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 13,994	5,952 0 0 8,083 14,035 14,036 100.0% 0.04 0.00 0.00 360 0 14,395	5,952 0 0 8,082 14,034 14,034 100.0% 360 0 34,394	5,952 0 0 8,084 14,036 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
就業相談、就職あっせん、就労 関係情報の提供等の事業を支援した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合に・) (事業の成果)	2改革	① 事業費 ② 人件費 ③ · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) (3) 課題・反省点) 注 ウ:効率性	千円         千円         千円         千円         4         5         6         7         8         8         9         10         10         11         12         12         13         14         15         16         17         18         18         19         10         10         10         11         12     <	5,952 0 8,062 14,014 14,015 100.0% 450 70 520 14,534 工:公平性	5,952 0 7,682 13,634 14,034 97.1% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 13,994 そや見直しを図 オ:そ	5,952 0 8,083 14,035 14,036 100.0% 0.04 0.00 0.00 360 0 14,395	5,952 0 8,082 14,034 14,034 100.0% 360 0 360 14,394	5,952 0 0 8,084 14,036 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
就業相談、就職あっせん、就労関係情報の提供等の事業を支援した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に)) フ:目的妥当性[(事業の成果) コロナ禍における行動制限等は後数を制限しながらの運営となった	2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	①事業費 ②人件費 ③ 改有 和動 さ指	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) に対象率性	千円千円千円千円千円%千円千円年横ば	5,952 0 8,062 14,014 14,015 100.0% 450 70 520 14,534 こ引き続きさいの状況と	5,952 0 7,682 13,634 14,034 97.1% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 13,994 ※や見直しを図 オ:そ	5,952 0 8,083 14,035 14,036 100.0% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 14,395	5,952 0 8,082 14,034 14,034 100.0% 360 0 360 14,394 (2)事業	5,952 0 0 8,084 14,036 0.04 0.00 0.00 360 14,396	000000000000000000000000000000000000
就業相談、就職あっせん、就労関係情報の提供等の事業を支援した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に))フ:目的妥当性[(事業の成果)コロナ禍における行動制限等は後数を制限しながらの運営となったが対象の事業のため、感染予防・	2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	①事業費 ②人件費 ③ 改有 和動 さ指	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) に対象率性	千円千円千円千円千円%千円千円年横ば	5,952 0 8,062 14,014 14,015 100.0% 450 70 520 14,534 こ引き続きさいの状況と	5,952 0 7,682 13,634 14,034 97.1% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 13,994 ※や見直しを図 オ:そ	5,952 0 8,083 14,035 14,036 100.0% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 14,395	5,952 0 8,082 14,034 14,034 100.0% 360 0 34,394 (2)事業 向上 維持	5,952 0 8,084 14,036 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
就業相談、就職あっせん、就労関係情報の提供等の事業を支援した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に)) フ:目的妥当性[(事業の成果) コロナ禍における行動制限等は後数を制限しながらの運営となった	2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	①事業費 ②人件費 ③ 改有 和動 さ指	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) に対象率性	千円千円千円千円千円%千円千円年横ば	5,952 0 8,062 14,014 14,015 100.0% 450 70 520 14,534 こ引き続きさいの状況と	5,952 0 7,682 13,634 14,034 97.1% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 13,994 ※や見直しを図 オ:そ	5,952 0 8,083 14,035 14,036 100.0% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 14,395	5,952 0 8,082 14,034 14,034 100.0% 360 0 34,394 (2)事業 向上維 長	5,952 0 8,084 14,036 	000000000000000000000000000000000000
就業相談、就職あっせん、就労関係情報の提供等の事業を支援した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に))フ:目的妥当性[(事業の成果)コロナ禍における行動制限等は後数を制限しながらの運営となったが対象の事業のため、感染予防・	2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	①事業費 ②人件費 ③ 改有 和動 さ指	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) に対象率性	千円千円千円千円千円%千円千円年横ば	5,952 0 8,062 14,014 14,015 100.0% 450 70 520 14,534 こ引き続きさいの状況と	5,952 0 7,682 13,634 14,034 97.1% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 13,994 ※や見直しを図 オ:そ	5,952 0 8,083 14,035 14,036 100.0% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 14,395	5,952 0 8,082 14,034 100.0% 360 0 360 14,394 (2)事業	5,952 0 8,084 14,036 	000000000000000000000000000000000000
就業相談、就職あっせん、就労関係情報の提供等の事業を支援した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に))フ:目的妥当性[(事業の成果)コロナ禍における行動制限等は後数を制限しながらの運営となったが対象の事業のため、感染予防・	20 <b>改革 1</b> ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	①事業費 ②人件費 ③ ・ イ: 緩活識 ぶ内訳 職 会 総 善 効 さ指高 さがお で は かん す かん	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) に対象率性	千円千円千円千円千円%千円千円年横ば	5,952 0 8,062 14,014 14,015 100.0% 450 70 520 14,534 こ引き続きさいの状況と	5,952 0 7,682 13,634 14,034 97.1% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 13,994 ※や見直しを図 オ:そ	5,952 0 8,083 14,035 14,036 100.0% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 14,395	5,952 0 8,082 14,034 100.0% 360 0 360 14,394 (2)事業	5,952 0 0 8,084 14,036	000000000000000000000000000000000000
就業相談、就職あっせん、就労関係情報の提供等の事業を支援した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に)) フ:目的妥当性[(事業の成果) コロナ禍における行動制限等は後数を制限しながらの運営となったが対象の事業のため、感染予防・績が伸びない一因となった。 (3)今後の事業の方向性(改革今後、中高年齢者の就労意欲も)	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	①事業費 ②人件費 ③ ・ イ: 緩活識 案 側源内訳 職 会 総 善 効 さ指高 等 の の で で かん で で で で で で で で で で で で で で で で	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費訊(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規用月給   時給) 正規職員分 十年度任期職員分 十年度任費計(C) 「業費(A)+(C) 「業費(A)+(C) 「業費(A)+(C) 「業費のの、特別を担いた。成職活動を控え、就職活動を控え、	千円円千円円千円円千円円・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5,952 0 8,062 14,014 14,015 100.0% 450 70 520 14,534 こ引き続きさいの状況とかのが見らか	5,952 0 7,682 13,634 14,034 97.1% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 13,994 や見直しを図 オ:そ 事前子約制 ことも思	5,952 0 8,083 14,035 14,036 100.0% 360 0 360 14,395 つった つの他 ご来所者 こうように実	5,952 0 8,082 14,034 14,034 100.0% 360 0 360 14,394 (2)事業 向上維持低下 (廃止・	5,952 0 0 8,084 14,036	000000000000000000000000000000000000
就業相談、就職あっせん、就労関係情報の提供等の事業を支援した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に))フェ目的妥当性[(事業の成果)コロナ禍における行動制限等は必数を制限しながらの運営となったが対象の事業のため、感染予防・績が伸びない一因となった。 (3)今後の事業の方向性(改革	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	①事業費 ②人件費 ③ ・ イ: 緩活識 案 の	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費訊(A) 予算現額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規用月給   時給) 正規職員分 十年度任費計(C) 「業費(A)+(C) 「業費(A)+(C) 「業費(A)+(C) 「業費を行う。まだした。 で、就職活動を控え ないました。 で、成職によった。 で、成職によった。 で、成職によった。 で、成職によった。 で、成職によった。 で、、またものの、 で、、またものの、 で、、またもにいる。 で、、またもに、またもに、またもに、またもに、またもに、またもに、またもに、またも	千千千千	5,952 0 8,062 14,014 14,015 100.0% 450 70 520 14,534 エ:公平性 こ引き続きさいのが見らか	5,952 0 7,682 13,634 14,034 97.1% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 13,994 や見直しを図 オ:そ 事前子約集 いたことも思	5,952 0 0 8,083 14,035 14,035 14,036 100.0% 360 0 360 14,395 つた つの他 ご来所者 うように実	5,952 0 8,082 14,034 14,034 100.0% 360 0 360 14,394 (2)事業 向上維持低下 (廃止・何	5,952 0 0 8,084 14,036	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1

令和 4 年度事後評価	<u> 令和</u>	5 年度	事務	事業	マネシ	<u> ジメン</u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	10 5 年 6	3 月作成
事務事業名 シルバー人材セン	ター助成	事業			所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 地域に根ざした働・	く場の創と	Н			予算科目	会計 1	款 5	項 1	目 1	事業 番号 7
基本事業名就労機会の創出				<b>地形態</b>	全部	『委託	一部委託	✔ 補助・	助成	連携∙協働
事業期間 単年度繰返 昭和53 年度~	左座	根拠								
市長公約 主要施策	年度	去令等	// / / / / / / / / / / / / / / / / / /	生人力	が川市シル	バー しおけ	こンター補具	b)全态付更	巨網	
1 現状把握の部(1)事務事業	美の概要・	目的·結果			C) 11111 0 / 0	, , )(h) (	/ Im-	为亚人门多	₹/NPJ	
①事業概要		数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
高齢者の就業や社会参画を支援することで老後の生きがいづ	ア会員を		生)	人	1,501	1,481	1,449	1,439		
くりや社会経験豊富な人材の労働力はアスの近男につかばア		9X(0)1) \(\frac{1}{2} \(			1,001	1,101	1,113	1,100		
働力としての活用につなげる。 シルバー人材センターの運営に	1									
かかる人件費の助成を行う。	ウ									
	<b>⑥活動</b> :	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア受託			件	8,346			7,341		
老後の生きがいづくりや社会経	1									
験豊富な人材の労働力としての 活用につなげる。	ウ									
111/11/1 - 3(1) 30	7成果:			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア就業			%	<b>実績</b> 79.6	実績 77.6	<b>実績</b> 80.5	<b>実績</b> 79.5	計画	計画
高齢者の生きがいづくりと就労										
機会の確保につなげる。	イ就業	美人数 ————		人	1,198	1,150	1,166	1,145		
	ウ									
	(2)事業	業のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)		玉	庫支出金	千円	0		0	0	0	0
就業機会の開拓・確保、事業の		財者	了支出金	千円	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495	0
開発、適正就業、安全就業の確保と安全意識の啓発、中期事業	1	源	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
計画の着実な達成等の取り組	事	訳	その他	千円	0	0	0	0	0	0
みを支援した。	業費	_	-般財源	千円	35,443	37,040	37,123	37,123	37,123	0
	貝	事業費	貴計(A)	千円	47,938	49,535		49,618	49,618	0
			見額(B)	千円	49,568		49,618	49,618		
			(A)/(B)	%	96.7%		100.0%	100.0%		
	2	-	<sup>現 月給 時給)</sup> <b>職員分</b>	人 千円		270	270	270	270	0.00 0.00 0.00
	人   件		<sup>既良刀</sup> 任用職員等		0	0	0	0	0	0
	費		*///	千円	270	270	270	270	270	0
	3	総事業費の		千円	48,208	49,805	49,888	49,888	49,888	0
2 評価の部		*				<u> </u>		/C/ 击型	*	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無			_			善・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(2)事業	美の方針 	<b>スト</b>
※ 課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)	イ:有	幼性	ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他			<u>⟨</u> ト 持
(事業の成果)  高齢者の生きがいづくりや社会紹	経験豊富な	:人材の活月	用につなが、	ったと	ともに、高に	齢者世帯の	家計を支	向	111//00 1/12	11 11/11
える収入源のひとつとして、大きなの事業において引き続き受託機:								3 上 上		
契約金額は増額となった。	云似グツ	シ音と又り	/C80/0/, 15	ホベ(こ	- 囲 市 ツ 仏・	態に戻りし	3/2220	果 持		)
								低下		
									休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	- 改善案	等)								
高齢社会の進行とともに、今後ま 就業支援事業)との情報共有等遅						立川商工	会議所無料	<b> 職業紹介</b>	所(アクティ	ブシニア
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	1375で(木の)	、利风云具	マンル田木寺(	L 1/4	(I) (V '\o					

令和 4 年度事後評価	<u> </u>	5 年 5	<b>基</b> 事務	争某	マイン	<u> ノメ ン</u>	<u>トンー</u>	<b>卜</b> 令	10 5 年 6	<u> </u>
事務事業名 シルバー人材セン金)	ター助成	事業(管理	<b>里連宮費</b> 補	助	所属部	産業文化	スポーツ部	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 地域に根ざした働ぐ	く場の創品	Ц			予算科目	会計 1	款 5	項 1	目 1	事業 番号 7
基本事業名就労機会の創出				施形態 <sub>数選択可)</sub>	全部	『委託	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返	for the	根拠								
T	年度	去令等	小	注 / イ	が川串シル	バーしホオナヨ	アンター補助	h 全	三 4 日	
1 現状把握の部(1)事務事業	 ¢の概要・	目的·結			-/1 1 1 \ \ / \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		-マン 1m5	<u>列亚文门</u> 5	C 小叫	
①事業概要	⑤対象	数の推移	,	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
高齢者の就業や社会参画を支援することで老後の生きがいづ		数(3月末現		人	1,501	1,481	1,449	1,439		
くりや社会経験豊富な人材の労		数(3万 / 10万	711-/		1,501	1,401	1,443	1,433		
働力としての活用につなげる。 シルバー人材センターの運営に	1									
かかる管理運営費の助成を行	ウ									
う。	⑥活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア受託	件数		件	8,346			7,341		
老後の生きがいづくりや社会経	1									
験豊富な人材の労働力としての 活用につなげる。	ウ									
伯用に グなける。		<b>-</b>		22/ 11	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
- · · -	⑦成果			単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア就業	率 —————		%	79.6	77.6	80.5	79.5		
高齢者の生きがいづくりと就労 機会の確保につなげる。	イ就業	実人数		人	1,198	1,150	1,166	1,145		
	ウ									
	(2)事	業のコスト		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<b>小人和4万英字结/声类活動</b> )					実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動) 就業機会の開拓・確保、事業の			国庫支出金 都支出金	千円	0	0	0	0	0	
開発、適正就業、安全就業の確		源	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
保と安全意識の啓発、中期事業 計画の着実な達成等を支援し		┃ 内	その他	千円	0	_	0	· ·	_	
た。	業		一般財源	千円	7,945		7,945	7,945		0
	費	事業	費計(A)	千円	7,945	7,945	7,945	7,945	9,804	0
		予算	現額(B)	千円	7,945	7,945	7,945	7,945		_
		執行率	枢(A)/(B)	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	_	_
	2		規 月給 時給	, , ,			0.03 0.00 0.00			
	人件		職員分	千円	270	270	270	270	270	
	費		任用職員等 費計(C)	千円	270	270	0 270	270	270	0
	(3)		(A)+(C)	千円	8,215	8,215	8,215	8,215	10,074	0
2 評価の部		小心子不只	(0)		0,210	0,210	0,210	0,210	10,011	
(1)全体総括(①事業の成果・②	②改革·改	(善・③課	題·反省点	)	改善	きや見直しを図		(2)事業	の方針	
※課題の有無 (課題がある場合に・) ア:目的妥当性	イ: 有	対性	ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果) 高齢者の生きがいづくりや社会経	(験典官士	ことせの狂	田につわれ	こったし	いたたっす	<b>龄≠</b> ₩世 <i>α</i>	会計を支	向	削減 維	持 増加
える収入源のひとつとして、大きな	な役割を果	見たした。発	所型コロナウ	イルス	感染症の影	影響につい	ては、一部	, I I   H		
の事業において引き続き受託機会 契約金額は増額となった。	会減少の影	影響を受け	けたものの、	徐々に	通常の状!	態に戻って	きたことで、	成排		
大小が取扱は相似ではりた。								低		
								<b>下</b> (廃止・	木止の場合は	は記入不要)
 (3)今後の事業の方向性(改革	· 改善案	等)						(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
高齢社会の進行とともに、今後ま	すます社会	会的な役割				立川商工	会議所無料	職業紹介	 所(アクティ	ブシニア
T部業工物車業/Lの標却サイ数は	すせ チングしん	立[14] 人	III hele		. 12					
就業支援事業)との情報共有等連	場で係め	、新規会」	員の催保等	につな	けていく。					

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	5 年度	<b>基事務</b>	事業	マネシ	<u> </u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	10 5 年 6	3 月作成
事務事業名就職氷河期世代就	让労支护 ——	爰事業 ———			所属部	産業文化	スポーツ部 ———	課長名	奥野 武司	司 
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	
施策名 地域に根ざした働く	く場の倉	削出			予算科目	会計 1	款 5	項 1	目 1	事業 番号 8
基本事業名就労機会の創出				<b>地形態</b>	✓ 全部		一部委託	補助・	助成	連携∙協働
事業期間 令和2 年度~	年度	根拠								
	年度 〇	法令等	東京都地域	或就職	<b>战</b> 氷河期世	代支援加速	東化交付金	交付要綱		
1 現状把握の部(1)事務事業	_	要・目的・結り		,						
①事業概要 市内在住・在勤等の就職氷河	⑤対:	象数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
期世代の方々を対象とした就労		職氷河期世代	での市民(4月	人		43,518	43,519	43,615	43,681	
支援事業を行う。	/ 1 H	刊現在)				<u> </u>	,	,	,	
	ウ				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活	動指標		単位	実績	来Z年度 実績	実績 実績	字積 実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア個!	別面談(延べ)	)	口		71	1,308	1,336		
非正規から正規雇用への転換	イ講児	 座		口		37	170	247		
や無業状態からの社会参加等 を後押しし、より安定的な就労	ウ									
や経済的自立につなげる。		 果指標		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)		談者数		人	実績	<b>実績</b> 22	<b>実績</b> 116	<u>実績</u> 122	計画	計画
地域における企業の雇用確保			٧. ¥٦.							
や消費活動の活性化につなが		座等の受講者		人		15	67	42		
り、ひいては地域経済全体の好 循環につなげる。	ウ就	<b>労等進路決</b> 定	<u>全</u> 者数	人		3	45	45		
PHAIN.	(2) 導	事業のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			庫支出金	千円	0	0	0	0	22,500	0
就職氷河期世代の方々を対象 とした個別相談、講座開催等の		財源	都支出金	千円	0	17,325	21,285	21,285	0	0
就労支援を行った。	1	〕   内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
令和4年度から窓口サービスセンターにて月1回出張相談を開	事業	[ ] 訳		千円	0			7,005		
始。	オ   オ   君	事	一般財源	千円	0	5,775	7,095	7,095	·	
ホームページ、チラシ配布、市 広報へ掲載するとともに、関係			費計(A) 現額(B)	千円	0	23,100 23,100	28,380 28,452	28,380 28,452	30,000	0
機関への情報提供を行い、事			<b>攻領(□)</b> 率(A)/(B)	тп %	U	100.0%	99.7%	99.7%	_	
業の周知を行った。	C		三規   月給   時給)		0.00 0.00 0.00				0.19 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	<b>②</b> 人		!職員分	千円	0	2,250	2,250	2,250	1,710	0
	4 世		任用職員等	千円	0	0	0	0	0	0
		人件:	費計(C)	千円	0	2,250	2,250	2,250	1,710	0
の一部体の部	(	③総事業費	(A)+(C)	千円	0	25,350	30,630	30,630	31,710	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②		·改善·③課			改善改善	きや見直しを図	<b>国った</b>	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア・日的妥当性 [					工:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果)			_						削減維	持 増加
就職氷河期世代の方々を対象とし 必要なスキルの獲得、就労等進路								向		
の出張相談を開始したことにより、								- 成維		
向上することができた。   (課題・反省点)								果摂低		
国が示す事業期間が令和6年度		さっているため	<b>か、その後の</b>	事業絲	継続の必要	怪等につ	いて、成果	下		
検証と併せ、整理する必要がある	-	<b>⇔</b> /* \						(廃止・	休止の場合に	は記入不要)
(3) 今後の事業の方向性(改革 より効果的な取組となるよう関係機			引き結き行.	ってい	,					
より対本的は収配となるより対応係	対例と圧	がしなかり、	710形で11、	J ( ( ·	<b>\</b> 0					

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u> 5	5 左	F度 事務	事業	マネシ	<u> ジメン</u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令和	105年(	3 月作成
事務事業名ビジネス支援ライス	ブラリー事	業			所属部	産業文化	スポーツ剖	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤•産業					所属課	産業振興	課	係名	商工振興	係
施策名 地域に根ざした働	く場の創出	4			予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 2	事業 3番号 3
基本事業名就労機会の創出				地形態 (選択可)	全音	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携·協働
事業期間 単年度繰返		根拠								
平成15 年度~ 市長公約 主要施策		去令等								
	<u> </u>	目的	<u> </u> ·結果·活動·成	 果						
①事業概要	<b>⑤</b> 対象			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
中央図書館でビジネス関連情報の閲覧、貸出、相談、展示を	_ 16歳」		市民(4月1日現	人	160,059		161,188	161,993		
行う。	1土)			八	100,033	100,562	101,100	101,995	102,030	
	1									
	ウ									
	<b>⑥活動</b>	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア購入	図書数		₩	96		55	71		
情報収集をサポートし、市内の	<b>イ</b> 相談[			□	102	58	41	93		
産業振興を図る。	<b>占</b> 相談[		こましんWinセン	同	44	13	3	0		
	フ <sub>ター)</sub> ⑦成果:			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
@ A.L			図書館、たましん		実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	Wint	ンター	-)	件	234	72	42	152		
中小事業者が経営・創業しやすい環境を整備する。		牛数(ī	†役所窓口)	件	45	78	141	65		
	ウ									
	(2)事第	美のコ	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	()	()	()	()	<u>п</u> ()	0
ビジネス関連図書・日経テレコ		財	都支出金	千円	0	_	0	0	0	0
ンの購入、ビジネス関連の相談を行った。	1	源内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
E11 2/C°	事	訳	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	業費		一般財源	千円	419	414	420	420	421	0
	具		事業費計(A)	千円	419		420	420	421	0
			予算現額(B)	千円	419	421	421	421		
			1.行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給)	从	100.0% 0.12 1.61 0.00	98.3%	99.8%	99.8%	0.03 1.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	<b>②</b> 人		文(正規)月和(時和) 正規職員分	千円	1,080		270	270	270	
	件		年度任用職員等		5,635		4,200	4,200	4,200	
	費	)	人件費計(C)	千円	6,715	4,470	4,470	4,470	4,470	0
	3	総事美	業費(A)+(C)	千円	7,134	4,884	4,890	4,890	4,891	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	0 3 苯 - 3 4	·羊. <i>C</i>	か		北美	きや見直しを図	70t-	(2) 車業	の方針	
※課題の有無 ア・日的平当性	<u> </u>		<u></u> _		工:公平性		の他	(乙) 尹末		スト
(課題がある場合によ) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 . H	WIT	7. 奶午日		<b>-</b> . <b>A</b> + <b>E</b>					持 増加
感染症や物価高騰等で苦しむ事								向		
等の相談業務を行い、創業機会はや他の業務との兼ね合いから、た								-15 7.14		
施したほか、市役所窓口でも随時								果  <u>持</u>   低		
								下		
(0) 人络《古类《土土地》— **		<i>te∤e</i> ∖						(廃止・	木止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革中央図書館で実施しているビジネ			車業を継続1 ア	丰梅1	創業ぬき	小茶 むたり	マドンシラフコ	Farian+	ナナ 生 ニー	かばる笠
一歩を後押しするともに、感染症・										
談等につないでいく。										

令和 4 年度事後評価	令和	和 5	5	<b>F度</b>	事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令和	和 5 年 6	6 月作成
事務事業名 農業委員会運営							所属部	農業委員	会	課長名	奥野 武	TT.
政策名 都市基盤・産業							所属課	農業委員	会事務局	係名	農地係(兼	美務)
施策名 都市と農業の共生							予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 1	事業 番号 1
基本事業名都市農地保全の推議	進					地形態 (選択可)	全部	『委託	一部委託	補助・	助成	連携·協働
事業期間 単年度繰返 年度~	年度		根拠 去令等	曲			関する法律	律				
市長公約 主要施策												
1 現状把握の部 (1)事務事業 ①事業概要					5動・成							
定期的に農業委員会総会を開	<b>(5</b> )	対象	数の	推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
催し、相続税納税猶予制度の 適格者、生産緑地の買取申出		農業				人	14	14	14	14	14	
の主たる従事者の証明や農地 の新規登録・移転の許可などを	イ	農地和	利用最	最適化推進	進委員	人	3	3	3	3	3	
審議し議決を行う農業委員会の	ウ											
運営事務を行う。	6	活動	指標			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア	農業	委員会	会の開催		口	12	13	12	12	13	
農地法等に基づく手続きの適正な執行を確保し、都市農業の振	1	農地	パトロ・	ール		回	3	1	3	3	3	
興に資する。	ウ	委員》	舌動作	<b>‡数</b>		件	605	412	414	571		
	7	成果	指標			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア	農業	委員会	会議決数		件	114	92	112	110		
都市農地が適切に管理されると ともに、都市農業・農地の多面 的な機能の発揮に寄与する。	ィウ											
	(2	)事第	ξの=	コスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)				国庫	支出金	千円	0	0	0	0	0	0
総会を12回開催し、相続税納税 猶予の適格者の認定など法律			財源		出金	千円	0	0	0	0	3,342	0
に規定された農業委員会の業		1	内		方債 - //	千円	0	0	0	0	0	
務に関し事務を行った。また、 都市農地貸借円滑化法に基づ		事業	訳		の他	千円	10.072		11.717	11.004		
く農地の貸し借りについて意向		費	3	 事業費計	:財源 -(A)	千円	12,073 12,073	11,789 11,789	11,717 11,717	11,984 11,984		0
調査を行うとともに、農地バンク 制度を開始し、農業委員会によ				尹禾貝叫 予算現額		千円	12,430		12,321	12,349	— — — — — — — — — — — — — — — — — — —	
るマッチングにより貸借契約の				<u>ユデラルの</u> 执行率(A)		%	97.1%	93.8%	95.1%	97.0%	_	_
成立につなげた。併せて、近年 拡大傾向にある鳥獣被害の状		2	_	数(正規   )		人	1.65 0.00 0.00	1.65 0.00 0.00	1.65 0.00 0.00	1.65 0.00 0.00	1.65 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
況調査を行った。		人		正規職員	分	千円	14,850	14,850	14,850	14,850	14,850	0
		件費	会計	·年度任用	職員等	千円	0	0	0	0	0	0
				人件費計		千円	14,850	14,850	14,850	14,850		0
2 証価の部		3	総事:	業費(A)	+(C)	千円	26,923	26,639	26,567	26,834	32,442	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	) <b>7</b> /5 (2	<b>斯·</b> 改	盖。(	3]課題・J	豆省占)		✓ 改善	きや見直しを図	¶⊃ <i>t</i> -	(2)事業	<u></u> きの方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合によ)				アプウ			エ:公平性		の他	(=/ -/ -/ /		スト
(事業の成果)(改革・改善) 貴重な都市農地の保全及び適正 興に寄与した。また、農地の貸し 集約する農地バンク制度を開始で の促進につながった。 (課題・反省点) 農業者の適切な農地管理を推進 けた情報発信が一層必要になる。	告りにするこ	ことで、	て意 マッ に、 !	向調査を チングに	:行うとと よる貸借	もに、 持契約	貸借の意[ が成立し、	句を持つ方 農地の有刻	の情報を めな利活用	上 成 維 果 長 低 下		は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革農地バンク制度の周知やそれを立た、都の補助を利用し農地の創出よる市民の利便性の向上にも取り	通じて 出・再	(成立 生を[	した 図り、									

令和 4 年度事後評価	令和	<u> </u>	5 年[	度 事務	事業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令	和 5 年 6	3 月作成
事務事業名都市農地保全支援	ピプロ	ジェ	クト事業			所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤·産業						所属課	産業振興	課	係名	農業振興	<del></del> 係
施策名 都市と農業の共生						予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 3	事業 番号 15
基本事業名都市農地保全の推	進			実施	<b>地形態</b>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返			根拠	東京都都市	農地倪						見について
平成30 年度~	年度		<b>长</b> 令等	立川市都市	<b></b>	也保全支援	プロジェク	卜事業補助	金交付要約	岡	
□ 市長公約 □ □   主要施策 □ □ □ 1 現状把握の部(1)事務事業	し し し し し し し し し し し し し し し	要・	目的・結		果						
①事業概要			数の推利		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市街化区域内農地を対象に、 農地の多面的機能を一層発揮	ア	対象農	製業者数		人	119	122	122	119	110	
させるための施設整備や都市農業の理解推進のための整備等				用井戸数	基	42	42	42	42	43	
を支援する。		9J 9C A	K/II/ <del>E/X</del>	/IJ/  / · <del>g</del> X	<b>A</b>	72	72	72	12	10	
	ウ					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	6);	舌動技	旨標		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア	事業作	<b>井数</b>		件	9	0	4	6	4	
農業者の経営基盤を強化するとともに、都市農地の必要性が市	1										
民に理解され、都市農地の保全	ウ										
が図られる。	<b>⑦</b> 原	<b>戊果</b> 扌	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)				ンターみのー	人	180,373	184,458	172,523	<u>大順</u> 155,554		
農地の多面的機能が市民に理	イ	11立)	来客数			,	,	,	,	,	
解され、都市農地の保全、有効な利用が促進される。	ウ										
は利用が促進される。	')										
	(2)	事業	<b>美のコス</b>	<b>-</b>	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)				国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
既存の防災兼用井戸で使用する非常用発電機の設置を3件			財源	都支出金	千円	13,238	0	10,027	8,507	8,548	0
行ったほか、自動販売機の設		1	内 —	地方債	千円	0	0		0	0	0
置、防水柵の設置、果樹農家に 不可欠の防薬シャッターの設置		事業	訳	その他	千円		0		0		0
を実施した。		費	車場	一般財源 養計(A)	千円	·	0	666 10,693	564 9,071	569 9,117	0
		-		現前(A) 算現額(B)	千円	23,420	0	21,957	9,071	9,117	
		-		率(A)/(B)	%	63.0%	0	48.7%	100.0%	_	_
		2	職員数	正規 月給 時給)	人	0.11 0.00 0.00	0.04 0.00 0.00	0.09 0.00 0.00	0.11 0.00 0.00	0.11 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		人	正規	見職員分	千円	990	360	810	990	990	0
		件   費		度任用職員等		0	0	0	0	0	0
				-費計(C)	千円	990	360	810	990	990	0
2 評価の部		(3)1	総事業領	費(A)+(C)	千円	15,734	360	11,503	10,061	10,107	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革	≛∙改	善•③誤	題•反省点)		✓ 改善	・や見直しを図	引った	(2)事業	きの方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性	V	イ∶有	効性	ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果)都市における農地の											持増加
進めたことで、都市農地への理解ながった。	を促り	し、欧	1火機能	を允実するこ	とで有	郊な利活	用を推進す	ることにつ			)
(改革・改善)農業者からの要望のきた。	実施	に向り	け、事前	に都の担当者	針と申!	請内容を確	電認する体質	制が定着で	成 維 井		
(課題・反省点)農業者からの要望									低		
ジェクト」として、農地の創出事業れる可能性がある。	を合え	つせて	継続実	施となったが	、新規	事業として	実施時期	が後半にす		休止の場合は	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	- 改書	<b>善案</b>	等)						,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	201	
本事業は、都市農地の保全と環境	竟整備	青や災	(害時対	応に寄与する	らことか	「でき、農業	美者の自己	負担も低く	、使い勝手	のいい補具	助メニュー
であることから活用を希望する声	が多レ 削出連	ヽ。令 罫業と	和5年度合わせ	Eまでの期間降 て継続して実	艮定の 施され	)補助メニュ ることとか、	ーであった。 った。 農業	こが、令和で 者への制度	5年度以降 『説明を通	□未来に残 して要望を	す東京の伺いなが
ら、引き続き都市農地の保全や環					C N C	, y , ,	- 100 DET	√ (tri) /≥	CH/11/11/11	・、久土で	1104.

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	<u>5</u> 4	年度 事務	<u>事業</u>	マネシ	ブメン	トシー	ト <sub>令利</sub>	和 5 年 6	<u> 6 月作成</u>
事務事業名 国有農地管理事務	<del></del>			_	所属部	農業委員	会	課長名	奥野 武司	司
政策名 都市基盤・産業					所属課	農業委員	会事務局	係名	農地係(兼	衰務)
施策名 都市と農業の共生					予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 4	事業 番号
基本事業名都市農地保全の推議	進			<b>も形態</b>		<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返		根拠	農業委員会		2関する法律	律				
年度~ 主要施策	年度	法令								
1 現状把握の部(1)事務事業	<u></u> きの概要	·目的	 J·結果·活 <u>動·成</u>	果 _						
①事業概要 国が自作農創設の目的で取得	⑤対象	象数の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
した農地や開拓財産で残存す	ア国有	農地		m²	7,826	7,366	7,366	6,046	6,046	
るものの管理を国からの法定受 託事務として東京都が実施し、	1									
市が現況確認等を行い、その利	ウ									
用状況を定期的に報告する。				14 ( <u>구</u>	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活重			単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)		也調査領	実施回数	□	2	2	2	2	2	<u> </u>
国により国有農地等が処分されるまでの間、目的に見合った	1									
(農耕貸付・転用貸付・未貸付)	ウ								!	l
管理を行う。	⑦成果	<b></b>   上指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア現況	 卍確認 <sup>[</sup>	率	%	100.0		100.0	100.0		
国有農地を適切に管理するとと	1									<u> </u>
もに、都市農地の保全につなげ る。	ウ									<u> </u>
.J.										
	(2)事	業のコ	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
4月と2月の2回、農耕貸付・転 用貸付・未貸付の市内に所在		財源	いる日並	千円	19	20	23	21	28	
する国有農地(20件15筆	1	内	地力領	千円			0	0	_	, ,
6,046.03㎡)を巡回し、その利用 状況を確認し、東京都に報告し	事業	訳	その他	千円			0	0	0	
た。なお、昨年比で面積等の差	費	,		千円			23	21	28	
異は都による地籍更正登記及 び分筆に基づくものである。		-	予算現額(B)	千円			24	21	_	_
			執行率(A)/(B)	%	82.6%	83.3%	95.8%	100.0%		
	2	/	<b>員数</b> (正規   月給   時給)	/ / `		0.20 0.00 0.00			0.20 0.00 0.00	
	人		正規職員分	千円		1,800	1,800	1,800	1,800	
	件	, டு	十年度任用職員等 	_		-	1 200	1 200	1 200	ŭ
		•	人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円	· ·	1,800 1,820	1,800 1,823	1,800 1,821	1,800 1,828	
2 評価の部		グルで・チ	未貝(A) I (U)	1 1 3	1,010	1,020	1,020	1,021	1,020	
(1)全体総括(①事業の成果・②	②改革·i	改善・	③課題・反省点)		✓ 改善	善や見直しを図	1ot:	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 (課題がある場合にマ)	イ:	有効性	ウ:効率性	V	工:公平性	オ:そ	の他			スト・はし始か
(事業の成果)(改革・改善) 市内に所在する国有農地を年2回	可巡回1	利田	一日中温を確認の上	市宁				向	削減 維	持 増加
(課題・反省点)						-				
道路・公園など恒久的な転用貸付	すについ	ては、	他の所管課からの	り聞き	取りなどに、	よる省力化	を進める。	成維持		)
								低下		
									休止の場合に	よ記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	- 改善第	《等)								
国としての本来の自作農創設とい	う目的か	ぶ、一気	定程度達成された	ところ	から国有農	<b>急地の解消</b>	を、引き続	き国に要望	退していく。	

令和 4 年度事後評価	<u> </u>		<u> 争</u>	<del>手</del> 耒	<u>: イイン</u>	<u> ノメ ン</u>	トンー	<b>卜</b> 令	<u>和 5 年 (</u>	<u>6 月作成</u>
事務事業名 体験型市民農園整	<b>E備事業</b>				所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	農業振興	係
施策名 都市と農業の共生					予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 3	事業 番号 5
基本事業名立川農業の魅力発信	言			形態 <sub>選択可</sub> )	全部	『委託	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	立川市体駅	<b></b>	「民農園開	設等補助金	金交付要綱	i		
平成14 年度~		去令等								
1 現状把握の部(1)事務事業	の概要・	 目的·結果	•活動•成:	果						
①事業概要 良好な農地保全を図るため、農	<b>⑤</b> 対象	数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
業経営の一手法として体験型市	ア体験	型市民農園数	 汝	農園	5	5	5	5	5	
民農園を開設する農業者を支 援する。農家が農園を整備し、	イ区画	 数		区画	378	378	381	379	379	
入園契約を結んだ市民が農園 主の指導により農作業を体験・	ウ									
収穫する事業で、現在5園開設。	⑥活動:	 指標		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<ul><li>②目的(対象をどのような状態にしたいのか)</li></ul>		入園希望者数	 汝	人	<b>実績</b> 6	<b>実績</b> 13	<b>実績</b> 19	<b>実績</b> 18	計画 20	計画
市民が農業に触れ合うことによ	<b>イ</b> 補助(			件	1	1	1	1	1	
り、農業に対する理解が深まり、 農地保全につながる。 合わせて	ウ									
農業経営の強化が図られる。	⑦成果:	 指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア入園	 者数		人	355		356	344	350	
立川農業の魅力を知る機会を	1									
得て、農業への理解が深まる。	ウ									
					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)事第	美のコスト		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)			東支出金	千円	0	Ü	0	0	0	0
広報を通じて新規入園希望者 の募集(追加募集含む)を行っ		「	支出金	千円	0	0	0	0	0	0
たほか、契約更新時における説	1	内	也方債	千円	0	0	0	46	0	0
明会の会場確保や運営補助、 体験型農園の整備等に関する	事業		その他 ・般財源	千円 千円	45 155		45 155	154	54 146	0
補助等の支援を行った。	費	事業費		千円	200	200	200	200	200	0
		予算現		千円	200	200	200	200		_
		執行率		%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	_	_
		職員数征規				0.19 0.00 0.00		0.08 0.00 0.00	0.08 0.02 0.00	0.00 0.00 0.00
	② 人	正規單		千円	1,530	1,710	1,530	720	720	0
	件	会計年度任	E用職員等	千円	0	0	0	0	84	0
	費	人件費	計(C)	千円	1,530	1,710	1,530	720	804	0
	3	総事業費(	A)+(C)	千円	1,730	1,910	1,730	920	1,004	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	心 古 • 改	·盖•③理罪	j• 反名占)		✓ みき	<b>きや見直しを図</b>	10t=	(2)	美の方針	
※課題の有無 アーロ的妥当性「		. 善・③ 味 趣 「効性 ┃	・・及 <b>日 点</b> / ウ∶効率性			マーオ:そ		( <u>-</u> / <del>-</del> / <del>-</del> / <del>-</del> /-/-/-/-/-/-/-/-/-/-/-/-/-/-		スト
(課題がある場合にと) (事業の成果)(改革・改善)	1:相	MIT	7. 幼平注		工. 五十注	/ 1:で	<b>₩</b>			· :持
体験型市民農園の利用促進を図								向上		
に、農作業を通じた園主と利用者 の保全、地産地消意識の向上に			など、市民の	の都市	う農業への	理解促進	と都市農地			
(課題・反省点)			JN 12-12	나네고	Pirlanava	k 7 -	★出京	果持低		
現状、市南部地域には体験型市」は農業者自らが経営毛法のひと								一一一一位		

## も難しく、地域の偏在性解消には大きな課題がある。 (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等)

体験型市民農園は、現行の立川市第5次農業振興計画においても、「市民参加型の農業の推進」や「立川農業への理解促進と地産 地消の拡大」の主要な施策となっている。市民が農業と触れ合う機会をつくる事業として、また、農業を通じた市民の交流拠点として整 備及び活用の支援をしていく。引き続き広報やホームページなどで入園希望者を募り、立川農業の魅力を発信していく。

(廃止・休止の場合は記入不要)

事務事業名農業祭の開催							所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武司	司
政策名 都市基盤・産業							所属課	産業振興	課	係名	農業振興	係
施策名 都市と農業の共生	:						予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 3	事業 6番号 6
基本事業名立川農業の魅力発	 :信					<b>拖形態</b>	全部	ii 委託	一部委託	✔ 補助・	助成	連携・協働
<b>当任</b> 唐編 迈				立月		選択可) 業祭補	     助金交付	要綱				
事業期間 昭和57 年度~	年度		根拠 ま令等		,			24,114				
市長公約 主要施策												
1 現状把握の部 (1)事務事業	業の概	要・	目的	・結果・活	動•成	果						
①事業概要 市内で生産される農作物を広く	<b>⑤</b> \$	付象:	数の	准移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
紹介するため、立川市農業祭運	ア	豊家万	三数(層	農業センサ	ス)	戸	341	341	277	277	277	
営委員会が主体となって、たち												
かわ楽市にて農産物品評会と 合わせて開催する。参加農業団	1					-						
体ごとに農産物の直売やイベン	ウ											
ト等を実施し、広く立川農業をP Rする。	<b>6</b> %	舌動:	指標			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
2目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア	会力n ls	典 柴 日	1休粉		団体	<del>天</del> 根 9	<del>大</del> 根 ()	<del>天</del> 根 ()	<del>天</del> 根 8	8	
市内で生産される農作物の魅							9	0	0	0	0	
力と農業の重要性を市民に理	1											
解してもらえるよう、立川農業の	ウ											
PRを図る。	<b>7</b> ) F	戊果:	指標			単位	H31年度 実績	R2年度	R3年度	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)				市来場者数	Ktr	人	<del>美</del> 根 110,000	実績	実績	<del>美</del> 稹 42,265		
立川農業の魅力が理解され、都			~42 <del>X</del>	111八勿日 5		7	110,000			42,200	100,000	
市農地の保全が推進される。	7											
	ウ											
	(2)	中 4	きの=	17 L		22 / L	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)	<b>尹</b> 月	<b>₹</b> 07_	171		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)	ш			国庫支		千円	0	0	0	0	0	0
3年ぶりにたちかわ楽市と併せ て農業祭及び農産物品評会を	ш		財源	都支出		千円	0	0	0	0	0	0
実施した。感染症対策を講じて	ш	1	内	地方		千円	0	0	0	0	0	0
入場者数を制限し、飲食の販売	ш	事	訳	その		千円	0	0	0	0	0	0
をしない形式での開催となった ことで、来場者数は減ったもの	ш	業費		一般		千円			121	2,480		
の、野菜の宝船の宝分けや、野	ш	,		事業費計		千円	· ·	154	121	2,480	2,480	0
菜、果物、椎茸、うど、花苗、植木の販売を通して、立川産農産	ш			予算現額(		千円	2,480	300	150	2,480	_	
物の魅力の発信につながった。	H			执行率(A)/ ***		%	100.0%	51.3%	80.7%	100.0%	_	
		2		数(正規   月							0.32 0.05 0.00	
		人件		正規職員 年度任用		千円	2,250	1,260	2,430	2,880	2,880	0
	ш	費					0 250	1 260	0 2 420	2,880	210	0
	l H	<u>(2)</u> :		人件費計( 業費(A)+		千円	2,250 4,730	1,260 1,414	2,430 2,551	5,360	3,090 5,570	0
L 2 評価の部		<u> </u>	<b>心</b> 尹:	未貝(A)T	-(0)	ТП	4,730	1,414	2,001	5,300	5,570	U
(1)全体総括(①事業の成果・②改革・改善・③課題・反省点) v 改善や見直しを図った (2)事業の方針												
※課題の有無 ア:目的妥当性	(課題がある場合にと) アン・ロロダニは 1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・											
(事業の成果)(改革・改善) 感染症対策を講じながらの開催	だった	がって	想定な	トトロスタ	くの来	タがね	あるかど さ	7川産農産	物の魅力	向	1737/9人 小住	1/1 AE \\\
の発信に大きく寄与した。また、月	農業者	の技	術研	鑽の機会	である	農産物	物品評会は	t、昨年同樣	策、即売を	上		
行わない形で展示のみを行い、はすることで、農福の連携につなが		れた	農産	物は、社会	会福祉	<b>劦議</b> 会	会を通して加	施設等に無	償で配布	成 集 持		
(課題・反省点)										低		
飲食の販売をしない等、様々な制						が、次	(年度以降	の通常開作	崖に向けて		仕止る坦へ	나를 1 1 <b>구 표</b> \
経験を積み、シミュレーションする	_			機会となる	つに。					(廃止・	休止の場合に	よ配八个要)
	3) 今後の事業の方向性(改革・改善案等) 分後も、立川農業をアピールするための最大のイベントとして、立川市農業祭運営委員会が主体となって取り組む農業祭を支援して											
ココロタロ、リカロラ 未々 ノ しょ ノビ りる	シノーベノし	/ノ月又.	ノヘマノイ	レーンしてし	ノ し 、 <u>ル</u>	フロロげ	女术尔坦肖	コ女只云が	上げてはつ	くれメンが且し	一成木尓で.	人 1欠しし

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

令和 5 年 6 月作成

4 年度事後評価

令和

555

いく。あわせて、農業者の技術研鑽の場であり、立川産農産物の技術力の高さを見てもらう場としての農産物品評会を継続して開催していく。また、家族連れの来場者も見込める機会なので、大人から子どもまで農業に関心が持てるような企画を検討する。

令和 4 年度事後評価	<del>介</del> 和	<b>日</b> 5	5 左	F度	<u>事務</u>	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	10 5 年 (	6 月作成
事務事業名 地域市民との交流	畑事	業					所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業							所属課	産業振興	課	係名	農業振興	係
施策名 都市と農業の共生							予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 3	事業 8番号 8
基本事業名立川農業の魅力発	信					医施形態 複数選択可)		『委託 ■	一部委託	補助・	助成	連携·協働
事業期間 単年度繰返			根拠									
平成2年度~	年度		去令等									
1 現状把握の部(1)事務事業	きの根	要・	目的	・結身	<u> </u>	成果						
①事業概要	<b>(5)</b>	対象数	数の	推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市内小学生と保護者を対象に、市内の農業後継者で構成され	マ	古冊を	芸粉(名	<b>生産1</b>	月1日)	世帯	92,288	93,435	94,682	95,713	95,500	
る「立川市農研会」の指導を受けなる。		1111 155 1	11 87/	T/X1	/,1 11 //	111 24	32,200	30,100	31,002	30,113	30,000	
けながら農作業を行い、農業の楽しさや収穫の喜びを体験する	1											
機会を提供する。	ウ	_	_	_								
	6;	舌動拮	指標			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア	収穫体	本験ま	尾施回	数	□	1	1	1	1	1	
市内小学生と保護者が農作業	1	農業体	本験ま		数	回	3	1	2	3	3	
を体験することで、都市農業の 大切さや農地の重要性に触れ	ゥ											
るとともに、都市農業の大変さや意義等の理解を深める。		<b></b>	<b>上</b> 煙			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
				r k k	加世帯数		実績	<b>実績</b> 72	<b>実績</b> 87	<b>実績</b> 85	<u>計画</u> 90	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか) 立川農業の魅力が発信され、農							86					
業への理解が深まる。市民参加		親子总	<b>農業</b> 4	陳	加世帯数	組	101	82	86	90	90	
型の農業が推進される。	ウ											
	(2)	事業	ξの=	コスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)	Γ			国	庫支出会	1000円	0	0	0	0	0	0
新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、親子農業体験			財源	‡	『支出金	千円	0	0	0	0	0	0
で はいから、 税丁辰未 体験 (ジャガイモとトウモロコシ)は、4		1	内		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
月の種植えと5月の草取り、7月の収穫の3回すべてを実施する		事業	訳		その他	千円						
ことができ、90組247人の親子が		费	7		-般財源			·	2,039	2,039	2,050	0
参加した。11月には、ミニハクサイ・ミニダイコン・カブ・水菜・ラ					豊計(A) 現額(B)	千円千円	2,039 2,039	2,039 2,039	2,039 2,039	2,039 2,039	2,050 —	0
ディッシュ・小松菜の親子収穫					元台(B) ≤(A)/(B)	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		_
体験を行い、85組253人の親子 が参加した。	ŀ	2	_		規 月給 時			0.22 0.00 0.00			0.17 0.05 0.00	0.00 0.00 0.00
N ≥ NH ∪ 1 ⊂ 0		人		正規	職員分	千円	1,890	1,980	1,710	1,530	1,530	0
		件	会計	年度·	任用職員	等千円	0	0	0	0	210	0
		費			貴計(C)	千円	1,890		1,710	1,530	1,740	
[ 2 評価の部		31	総事:	業費	(A)+(C)	千円	3,929	4,019	3,749	3,569	3,790	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革	ⅰ改	善(	3課	題•反省。	<u>(</u>	✓ 改善	きや見直しを図	回った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性		イ:有	効性		ウ:効率	性	工:公平性	<b>ノ</b> オ:そ	の他			スト
(事業の成果)(改革・改善)市民の										, 向		持 増加
ことができた。また、新型コロナウの工夫をするなど、委託先の立川												)
て事業を実施することができた。 (課題・反省点)農業資材の価格が	(直陽	新 ア	いス>	- レ竺	かた もん	つは様は	験の会加	豊を500□・	ሕ₄ቬ1 በበ∩□	成 維果持		
に見直したが、これまで同様、リヒ	゜ータ	一から	うの目	申し込	:みが多く	、早々に	定員は埋	まった。今々		」 低		
験の魅力を新たな層に伝えていく	くため	、周知	印方》	去等0	つ改善を	検討する	必要がある	<b>5</b> 。		下 (廃止・	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	. 改	善案	等)							(,),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
参加者の希望を反映させた品目	の選別	定や参	多加了									
委託先の立川市農研会と課題をていくためには、適切な土壌管理												
要がある。	ここが出	1,1 0	~ v · \	、心女	14・00ノソ、足	二十字百	こり1、尽り	トル・ツひ、後	· — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	×	ローへと別り	1177 (2)光1

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	5 :	<u> 年度</u>	<u> 事務</u>	事 業	マネシ	ノメン	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令和	10 5 年 (	3 月作成
事務事業名 緑育・食育推進事	業					所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤•産業						所属課	産業振興	課	係名	農業振興	係
施策名 都市と農業の共生						予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 3	事業 番号 12
基本事業名立川農業の魅力発	信				<b>地形態</b>	✓ 全部	『委託	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返		根拟	Л								
平成22 年度~	年度 <b>つ</b>	法令									
□ □ 長公利   □   土姜旭泉   へ   1 現状把握の部 (1)事務事業	_	- 目的	・結果・デ	舌動•成	果						
①事業概要		象数の			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市内小学生を対象に、緑の大切さを伝え、地元産植木産業へ		内小学			校	19	19	19	19	19	
の理解を深める緑育と、地元農		(1/1)、子(			110	19	19	19	19	19	
産物を素材として食の大切さを 伝える食育の推進を小学校の	1										
教育現場で実施する。	ウ										
	<b>⑥活</b> 動	動指標			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア緑	<b>育実施</b>	校数		校	0		0	0	2	
将来を担う子どもたちに地元産	イ食	育実施			校	9	6	7	7	7	
の農作物を通じて、食と農業の 意義、立川農業の魅力を理解し	ウ									<u> </u>	
てもらう。		# +K.tm			ᄣᄺ	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
0.11=		果指標			単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア緑	育参加!	児童数		人	0	0	0	0	120	
市内小学生に立川農業の魅力や重要性についての理解が促	イ食	育参加!	児童数		人	797	821	1,035	600	800	
進され、立川産農産物への関心	ウ										
や郷土愛が育まれる。	(2)重	業の:	コフト		** /*	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)=	未の.			単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)		l n+		支出金	千円	0	0	0	0	0	0
農業後継者など若手農業者で 構成する立川市農研会に事業		財源		出金 方債	千円	0	0	113	113	142	0
の運営を委託して実施した。食 育については、感染予防対策を	1			の他	千円	0	0	0	0	0	0
講じた上で、小学生でも興味が		訳		対源	千円	392	215	136	114	428	0
わくよう、クイズ形式などを取り入れた授業を、市内の小学校7校	費	Ì	事業費計		千円	392	215	249	227	570	0
で実施した。緑育については、1			予算現額		千円	412	505	505	505	_	_
校で予定していたが、コロナ禍 の影響により未実施となった。		1	執行率(A	)/(B)	%	95.1%	42.6%	49.3%	45.0%	_	_
マルカでは、アント大心になった。	2	職員	<b>員数</b> (正規   )					0.15 0.00 0.00			
	人	·	正規職員		千円	1,080	1,440	1,350	990	990	
	件	ننتا خ	十年度任月			1,000	1 440	1.250	0	0000	0
			人件費計 業費(A)		千円 千円	1,080	1,440	1,350	990	990	0
[		少応手	*未复(A)	T(U)	十円	1,472	1,655	1,599	1,217	1,560	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	改革•	改善∙	③課題・	反省点)		✓ 改善	きや見直しを図	<b>ふった</b>	(2)事業	の方針	
※課題の有無 (課題がある場合にマ)	1:	有効性		:効率性	V	工:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果)(改革・改善)	<del>55.</del> ₩1 1	700	# *** 9~ 111	Str. Life SNIA	Ø HP	حــــد د	Դ <u>+</u> - → ₩-	ヒーニナフト	向	削減 維	持 増加
食育について学ぶことで、地域の 川市農研会と学校給食課で栄養											
からも好評を得ることができた。	,	- •							成維持		
(課題・反省点) 今後も、事業者と担当課が連携を	取りなれ	がら、学	<b>×校給食</b> 認	果や学校	側と訓	問整をしてい	ハくことが必	必要である。	低		
									(廃止・	木止の場合に	計記入不更)
 (3)今後の事業の方向性(改革	- 改善	案等)							(万七11.*)	/・ユニ <i>ンン物</i> 口 (	ΦΠ//(1`女/
食育事業については、市担当者の			な給食課と	:学校関(	系者か	ぶ一緒に協	議する場を	定例化され	せ、都の食	育関連補助	<b>助金を活</b>
用した事業として教育と農業振興	の両面	から効	率的•効果	果的な実	施方法	法の検討を	継続してい	く必要がる	ある。緑育	事業につい	ては、校
庭内の樹木等を地図に落とした「の3者で今後のあり方を検討して				い、残りさ	51父 (*)	一巡するだ	しめ、巾と事	来有である	0 丛川巾農	<b>깻会、字</b> 核	く関係者

令和 4 年度事後評価	令和:	5 年原	度 事務	事業	ミマネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 5 年 6	3 月作成
事務事業名ファーマーズセング	ターみの・	一れ立川	運営事業		所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武司	司
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	農業振興	係
施策名 都市と農業の共生					予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 3	事業 番号 14
基本事業名立川農業の魅力発	信			<b>も形態</b>	全音	『委託 』	一部委託	補助・	助成	連携・協働
	年度 ;	根拠 去令等	1 (122		•					
□ 市長公約 □ □   主要施策 □ ○ 1 現状把握の部 (1)事務事業			用. 活動. 成	Ħ						
①事業概要		西の 数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
ファーマーズセンターみのーれ 立川、北側広場の円滑な運営を										110千皮
図る。		戸数(農業	センザス) 会員農家数	戸	341	341	277	277	277	
	1 (各年	度総会時		戸	182	184	187	183	185	
	ウ									
	⑥活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア管理	運営協議:	<del></del>	口	2	1	1	1	2	
農産物の販路拡大や市民の地	イ運営	委員会		口	8	2	5	6	6	
元野菜の消費拡大のほか、情 報発信、市民交流の拠点を確				□	1	1	1	1	1	
保する。	7成果			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)			ンターみのー	人	<b>実績</b> 180,373	<b>実績</b> 184,458	<b>実績</b> 172,523	<b>実績</b> 155,554	計画 160,000	計画
立川農業に関する情報の発信	<b>イ</b>	川来客数			100,010	101,100	1.2,020	100,001	100,000	
や販売を通じて、農業への理解										
や地産地消の推進が図られ、農 業者の経営基盤安定化につな	ウ									
がる。	(2)事	業のコスト	~	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)		-	国庫支出金	千円		0	0	0	0	0
運営主体のJA東京みどりと行政で構成する管理運営協議会、		財源	都支出金	千円		Ü	0	0	0	0
農業者の代表で構成する運営	1	内	地方債 その他	千円	0	0	0	0	0	0
委員会において、ファーマーズ センターみのーれ立川の円滑な	事業	訳		千円		1,608	2,210	2,251	2,593	0
運営を図った。近隣に出店した競合店の影響はあったものの、	費	事業	费計(A)	千円		1,608	2,210	2,251	2,593	0
集客につながるセールや市役		予算	現額(B)	千円	3,898	2,379	2,351	2,351	_	_
所、柴崎体育館等での直売会 の回数を増やし、来客数や売り		執行	率(A)/(B)	%	94.9%	67.6%	94.0%	95.7%	_	_
上げの向上を図った。	2		E規 月給 時給)						0.23 0.05 0.00	
	人件		見職員分 医任用職員等	千円	· ·	2,520	2,610	2,070	2,070	
	費		·費計(C)	千円	2,340	2,520	2,610	2,070		0
	3		(A)+(C)	千円		4,128	4,820	4,321	4,873	0
2 評価の部										
(1)全体総括(①事業の成果・②						きや見直しを図 		(2)事業	€の方針 	7.1
※課題の有無 ア:目的妥当性	イ: 有	対性 🗸	ウ:効率性	Ш	工:公平性	オ:そ	の他		削減 維	スト 持 ┃ 増加
(事業の成果)(改革・改善) コロナ禍における行動制限等が後	余々に緩和	口されたこ	とから、集客	につた	よがるイベン	/トの開催[	回数を増や	向	111//20 1/12	10 -875
したほか、市役所、柴崎体育館で場に出向いて立川農業のPRに	の出張販	売や、民	間のイベント	に出る	苦しての直	売の実施等	学、様々な			
ニュー開発や陳列方法の見直し							/ <b>エ</b> V)/	成維果持		
(課題・反省点) 北側広場におけるイベント等の利	]用機会を	拡充する	とともに、その	り集客	を店舗の引	売上につか	げる工夫や	低下		
仕掛けが必要とされている。				/IN II					休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革				- 100 *		79 II 5-1 5		7.	2	
今後の運営については、単に農 CMの撮影場所としての活用等を の改善などを通じて、市民の認知	通して、ゴ	Z川農業の	り魅力発信拠	L点とし	能のみなら しての発展	ず、北側広 を目指す。	場を活用しまた、出張	ンたイベント 販売やネッ	や映画やトル販売や作	ドラマ・ 青報発信
1	·		- 1							

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	5 :	年度 事	務事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 5 年 (	6 月作成
事務事業名 地場産農産物消費	数大支	援事	業		所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	農業振興	係
施策名 都市と農業の共生					予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 3	事業 番号 16
基本事業名立川農業の魅力発	信			実施形態	全部	『委託	一部委託	✔ 補助・	助成	連携・協働
事業期間 期間限定複数年度 令和3 年度~令和5 市長公約 主要施策		根拠 法令								
1 現状把握の部(1)事務事業	美の概要	・目的	h·結果·活	動·成果		_				
①事業概要 地場産農産物の消費拡大に向	<b>⑤</b> 対拿	象数の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
け、立川産農産物としてのイメー	ア農家	京戸数(	(農業センサス	以 戸			277	277	277	
ジアップやブランド化の取組等 を支援する。	イ販売	· 農家	数(農業センナ	サス) 戸			209	209	209	
	ウ									
	<b>⑥活</b> 重	计十户十年	5	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
8711					実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア会語	養実施	回数	口			9	6	7	
立川産農産物の価値や魅力が 浸透することで、市民が積極的	1									
に立川産を選択する状況が生まれることで、農業者の経営力を	ウ									
強化する。	⑦成县	<b></b>   上指標	Į	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		上マー	-ズセンター <i>3</i> 安粉	タの一 人	2430	2412	172,523	155,554	160,000	
立川産農産物に対する市民の	1	<u> </u>	台奴							
理解や愛着が深まることで、市民が積極的に立川産を選択し	ウ									
消費する行動につながる。					山外左南	D0/F#	D0 / T #	D4 # #	DE #	D0 # #
	(2)事	業の	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支		0	0	0	0	0	
立川農業振興会議が主体となって行う、立川産農産物全体		財源	HF ~ L		0		8,267	3,026		
のブランド化の取り組みとして、	1	内	地方"	-	0		0	0	0	
各生産団体が「立川印」を活用 して制作する出荷資材等製作	事業	訳	その一般則		0	_	1,644	3,028		
費用や個々の農園の経営力を 上げるためのセミナー開催、庭	費	,	<u></u> 事業費計(		0	ŭ	9,911	6,054	5,000	
先直売所に設置するのぼり旗の			予算現額(E		0	0	9,974	7,500		_
製作、みの一れ立川での地産地消を一層促進するためのアド			執行率(A)/(				99.4%	80.7%	_	_
バイザー派遣費用を、都の補助	2	· —	員数(正規   月終				0.33 0.00 0.00			
制度を活用して支援した。	人件		正規職員2 十年度任用職		0		2,970	2,970	2,970	
	費	تنت ،	T年度任用版 人件費計(		0	0	2,970	2,970	3,054	C
			スロ 負 m へ 業費(A)+		0		12,881	9,024	8,054	C
2 評価の部							, -			
(1)全体総括(①事業の成果・(				· · · · · <u></u>		きや見直しを図 		(2)事第	きの方針	7 1
※課題の有無 ア:目的妥当性 (課題がある場合によ)	イ:	有効性	[ / ウ:対	为率性	工:公平性	オ:そ	の他			スト 持   増加
(事業の成果) 農商連携の一つとして「立川印」。	のデザイ	ンを活	5用した「市口	内産食材使	用店マッフ	゜」が作られ	、飲食店等	向		.171   本日 ///
の来店者へのPRにつながる等、いる料理研究家の影響力もあり、	立川産児	農産物	の認知度向	]上に寄与し	た。アドバ	イザーとし	て関わって	·         上		
に向けた足掛かりをつくることがで		大学し	川川生艮材	(を) かり (2)	成云が追り	<b>〜⊘′よ⊂、</b> ′	71ない成開	果 持		
(課題・反省点)  今後の「立川印」の活用を含め、	ブランド	との形	り組みに対	する理解度	や必要性』	こついて	生産者一 4	低下		
ひとりの理解と活用を促し、経営					、心女氏(			`	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革										
東京都の補助金を活用した取り組みれるものについては、事業の継									り組みが必	必要と判断

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u> :	<u>5 年</u>	度 事務	<u>事業</u>	マネシ	ジメン	トシー	ト <sub>令</sub> テ	和 5 年 6	<u>6 月作成</u>
事務事業名 農業者年金事務					所属部	農業委員	<del></del>	課長名	奥野 武司	司
政策名 都市基盤・産業					所属課	農業委員	会事務局	係名	農地係(兼	<b>長務</b> )
施策名 都市と農業の共生					予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 1	事業 2番号 2
基本事業名持続可能な農業振	興策の推済	進		<b>を形態</b>	全音	8委託	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	(独)農業者		基金法					
年度~ 市長公約 主要施策	年度	法令等								
巾長公利   1 土 要施束   1 現状把握の部(1)事務事業	<u> </u>	目的・	 結果·活動·成	果						
①事業概要	<b>⑤</b> 対象			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
農業者の老後の安定と福祉の 向上を図るため、新規加入の促			加入対象者数	人	64	64	58	57	57	
進、受給者の現況確認等を行い、年金基金に報告する。	1		ABY 10.4 - 4 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10	<del>                                     </del>					<del>                                     </del>	
(大型金型に共口)の				$\vdash$				<del>                                     </del>	<del> </del>	
!	ウ				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活動:	指標		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア農業	者年金カ	加入者数	人	7	7	7	6	6	
農業者の老後の生活安定を支援する	1									
援する。	ウ									
!	⑦成果:	指標		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
②红田 / 15~1~4/4-田 (- 4+75 1-14-7-4-)			 加入者数		<b>実績</b> 7	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか) 持続可能な農業経営に寄与す			川八白 <u>奴</u>	人	(	'	· '	6	6	<del>                                     </del>
付就可能な辰未在呂に前子りる。	1								<u> </u>	
!	ウ									
	(2)事美	業のコン	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
農業者の会議で加入促進のチラシを配布、農業委員会だより		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	, , ,
への記事掲載、受給者の現況	1	次	地方債	千円			0	0	_	·
届受付送付などを行った。	事業	訳		千円			6			
!	費	車	一般財源	千円		_	0	0	0	, ,
!		-	「業費計(A) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	千円			6 7	6 7		0
			<sup>7</sup> 昇現領(B) 行率(A)/(B)	\	71.4%		85.7%	85.7%	_	_
!			<b>数</b> (正規   月給   時給)					0.10 0.00 0.00		0.00 0.00 0.00
!	<b>②</b> 人		E規職員分	千円	900	900	900	900	900	0
!	件		<b>丰度任用職員等</b>	千円	0	0	0	0	0	0
!	費		.件費計(C)	千円			900	900	900	
	3	総事業	美費(A)+(C)	千円	905	907	906	906	907	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	が、 単名の	7美•③	) 理題• 反省点)		レ改善	<b>善り見直しを図</b>	21-t-	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性								1		スト
(課題がある場合によ)(改革・改善)		1701 L	7 : 703 1 12	<u> </u>	, ,_ ,		05 [2]	<b>-</b>		持増加
農業者年金事務を通じて、農業者	者の老後0	り生活多	安定、持続可能	な農業	業経営につ	)ながった。				
(課題・反省点) 現に年金を受給している農業者に	には、必要	な事務	らである。 新規加	『入が	伸びていた	よいところか	ら、制度の		(	
周知を引き続き行っていく。								果 持   低		
								下		
	,							(廃止・作	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	- 改善案	等)								
現状を維持していく。										

令和 4	年度事後評価	令	和 5	5 1	丰度 事務	事業	ミマネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 5 年(	6 月作成
事務事業名	都市農業振興事業	É					所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名	都市基盤•産業						所属課	産業振興	課	係名	農業振興	係
施策名	都市と農業の共生						予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 3	事業 1番号
基本事業名	持続可能な農業振	興策	の推済	隹	( 浓恒 光分	・ で で で で で で で で で で で で で	LU		/ 一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間	単年度繰返			根拠	カ川 市 農業	業後糺	迷者顕彰実	施要綱				
	平成19 年度~	年度		*************************************								
市長公約	┃  ┃主要施策┃ @ 屋の部(1)事務事業	O きのホ	肝亜・	日的	・結里・活動・成	里						
①事業概要			如女 対象	_		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	横断的組織である							NZ 干皮		八千十茂	NO 干皮	NO千度
五川 農業版	興会議を中心に、 振興を図る。	ア	農家河	三数()	農業センサス)	戸	341	341	277	277	277	
		1			枚(農業センサス)	戸	269	269	209	209	209	
		ウ	農業症	・	し口(農業センサ	人	583	583	413	413	413	
		6	<u>///</u> 活動:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象を	どのような状態にしたいのか)	ア			長興会議理事会の	口	5	6	3	1	3	пш
	興会議を中心に、		開催舞立川原	農業排	長興会議役員会の		0	0	7	7		
農業者の経	営力強化、農地の	1	開催数	汝	也視察研修参加者	口	3	3	- 1	(	6	
	D魅力発信をするこ との振興を図る。	ウ	数	T.)连月	E 祝祭如 修 多 加 有	人	=	-	-	=	1	
C C 32/11/R/3	Rv71放発で図る。	7	成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのよ	<b>ような結果に結び付けるか</b> )	ア	作付到	正べ正	面積(年度2年前)	ha	336	334	329	324	320	
	経営基盤強化が図	1			頁(植木·緑肥作物 度2年前)	百万 円	1,095	1,087	1,073	1,061	1,070	
	農業に対する市民 うれ、農業者の経営	ウ	を除く	<u>, +/</u>	支24-削)	门						
の発展を後担	押しする。都市農地											
の保全につれ	ながる。	(2	2)事第	ξのΞ	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
_	度実績(事業活動)				国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	興会議の事務局と :・役員会等の開催			財源	都支出金	千円	52	0	0	0	52	0
	と な貝云寺の開催しまり 写真コンテストの		1	内	地方債	千円		0	0	0	0	0
実施、「立川	育ち」発行を実施し		事	訳	その他	千円		0		0	0	0
	みどりに対しては、 委員会(農産物品		業費		一般財源	千円		1,214	575	562	712	0
評会含む) σ	事務局や生産団		~		事業費計(A)	千円		1,214	575	562	764	0
	問整、支部回覧等に への情報発信に係る				予算現額(B)	千円	708	1,366		722		_
業務を委託し	た。先進地等視察				执行率(A)/(B)	从	96.3%	88.9% 0.27 0.00 0.00	79.1% 0.23 0.00 0.00	77.8%	0.19 0.05 0.00	
は、コロナ禍 した。	の影響により中止と		2		数(正規   月給   時給) 正規職員分	十円	2,610	2,430	2,070	1,710	1,710	0.00 0.00 0.00
			人件		正			2,430	2,010	0	210	0
			費		<u> </u>	十円	2,610	2,430	2,070	1,710	1,920	0
			(3)		業費(A)+(C)	千円		3,644	2,645	2,272	2,684	0
2 評価の音	ß											
	括①事業の成果・②	2)改	革∙改	善•(	3課題・反省点)		✓ 改善	きや見直しを図	図った	(2)事業	きの方針	
※課題の有無	悪ニア:目的妥当性		イ・有	か性	・ ウ・効率性		T·公亚性	<b>+</b> · 7	- の他		<b>□</b>	スト

(1) 王体杨扬(() 争亲() 成朱•②战甲•战告•③秣超•及自点)	以書や見直しを図った
※課題の有無 ア:目的妥当性 イ:有効性 レ ウ:効率性	エ:公平性 オ:その他
(事業の成果)(改革・改善)立川農業振興会議において、各生産団体	間の情報共有や「立川印」を活用
した冬種取り組みを進めてきたが、新刑コロナウイルス咸逸症の影響が	ら 農業者向けの 講習 会け 

した各種取り組みを進めてきたが、新型コロナウイルス感染症の影響から農業者向けの講習会は実施できなかった。その中で、「立川育ち」の発行による市内産農産物の紹介、写真コンテストの募集と展示会を通して周知につながった。

(課題・反省点)第5次農業振興計画に掲げたブランド化の推進に向けて、立川農業振興会議が主体となって事業を進めることで、各生産団体や各農業者、JAが協力して立川農業の周知につなげていき、各施策を推進する主体者となるようにし、第6次農業振興計画の策定に向けて取り組む必要がある。

### 

(廃止・休止の場合は記入不要)

#### (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等)

立川農業振興会議は、農業委員会、農業経営者クラブ、認定農業者協議会、植木生産組合、農業技術振興会、果樹組合、うど生産組合、畜産組合、農研会、東京みどり農業協同組合の各代表により構成されている組織であり、立川農業の意思決定機関として、効率的、効果的な農業施策を行う。講習会や研修会を通じて、生産者に日頃から問題意識を持って農業に取り組んでもらい生産性、経営力の向上を図ることで、農業振興につなげる。第5次農業振興計画の施策の推進及び進捗確認を行い、第6次農業振興計画に向けて、主体的役割を担う。

令和 4 年度事後評価	I J J H	5	午及	事務:	手耒	ミマイン	ノメン	トシー	<b>卜</b> 令和	10 5 年 6	3 月作成
事務事業名特產品普及推進事	事業					所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武司	司
<b>政策名</b> 都市基盤・産業						所属課	産業振興	 課	係名	農業振興	 係
施策名 都市と農業の共生						予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 3	事業 2
基本事業名持続可能な農業振	興策の	推進			<b>地形態</b>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	✓ 補助・		連携・協働
事業期間単年度繰返		<del>1</del> 8	拠		選択可) 産品普	· 及推進事	業補助金	交付規則			
平成18 年度~	年度		令等								
<ul><li>□ 市長公約     主要施策  </li><li>1 現状把握の部(1)事務事業</li></ul>	○┃	車•日	的•結里	•活動•成	里						
①事業概要			の推移	70 30 7%	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	 R6年度
加工品開発や特産品のパッ ケージデザイン、包装用ビニー			全団体数								
ル袋等の作成等の取り組みを支		<b>兼生</b> 原	医凹怦剱		団体	5	5	5	5	5	
援し、立川産農産物の普及やPR、需要拡大を図る。	1										
TO THE STATE OF TH	ウ										
	<b>⑥活</b>	動指	標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア補	助金甲	申請件数		件	3	4	7	4	10	
農業団体等が特産品の開発や	1										
PRに取り組み、立川産農畜産物の付加価値向上と普及につ	ゥ										
なげ、経営力の強化を図る。		田北	<b>∔</b> m		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑦成			i ava Iri. No.		実績	実績	実績	実績	計画	計画
3結果(どのような結果に結び付けるか)			加工品開		件	1	1	0	2	4	
農業者の経営力強化が図られる。 る。 意欲ある 農業者を支援し、	イ販	売促込	生・PR件 <sup>装</sup>	<b>汝</b>	件	2	3	7	2	6	
新たな取り組みを発掘することで、立川農業の魅力の発信、振	ウそ	の他作	牛数		件	0	0	0	0	0	
興につながる。	(2)	事業の	カコスト		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
④令和4年度実績(事業活動)			田	車支出金	千円	<b>実績</b> ()	<b>実績</b> ()	<b>実績</b> ()	<u>実績</u> ()	計画 ()	計画 ()
立川産トマトの統一ビニール		ļ		*文田亚 3支出金	千円	0	0	0	0	0	0
袋、エコ農産物認証シール、椎			原 ——	也方債	千円	0	0	0	0	0	0
茸菌床原産地表示ラベルシール(2件)の製作を支援した。「立	1	≸ I i	为	その他	千円	0	0	0	0	0	0
川印」を活用した新たな出荷資	3	<b>*</b>		·般財源	千円	702	628	999	223	1,200	0
材の製作については、都の補助	1 1	<b>₽</b>	古坐車	計(A)	$\perp$ $\square$	700	000	0.00	000		0
事業を優先的に活用するよう促			争未复		千円	702	628	999	223	1,200	0
したことから、不用額が発生し			予算現	額(B)	千円	1,000	1,000	1,000	1,000	1,200 —	
		Πψ	予算3 執行率	(A)/(B)	千円 %	1,000 70.2%	1,000 62.8%	1,000 99.9%	1,000 22.3%	_ _	
したことから、不用額が発生し			予算3 執行率 战員数(正規	(A)/(B) 引 月給   時給)	千円 % 人	1,000 70.2% 0.10 0.00 0.00	1,000 62.8% 0.13 0.00 0.00	1,000 99.9% 0.13 0.00 0.00	1,000 22.3% 0.13 0.00 0.00	0.13 0.00 0.00	
したことから、不用額が発生し			予算現 執行率 裁員数(正規 正規耶	(A)/(B) 引月給   時給) 战員分	千円 % 人 千円	1,000 70.2% 0.10 0.00 0.00 900	1,000 62.8% 0.13 0.00 0.00 1,170	1,000 99.9% 0.13 0.00 0.00 1,170	1,000 22.3% 0.13 0.00 0.00 1,170	0.13 0.00 0.00 1,170	0.00 0.00 0.00
したことから、不用額が発生し	Q A		予算功 執行率 战員数(正規 正規軍	(A)/(B) 引月給 時給)	千円 % 人 千円	1,000 70.2% 0.10 0.00 0.00	1,000 62.8% 0.13 0.00 0.00	1,000 99.9% 0.13 0.00 0.00	1,000 22.3% 0.13 0.00 0.00	0.13 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
したことから、不用額が発生した。			予算现 執行率 裁員数(正規 正規軍 計年度低	(A)/(B) 計月給   時給) <b>战員分</b> 壬用職員等	千円 % 人 千円 千円	1,000 70.2% 0.10 0.00 0.00 900 0	1,000 62.8% 0.13 0.00 0.00 1,170	1,000 99.9% 0.13 0.00 0.00 1,170	1,000 22.3% 0.13 0.00 0.00 1,170 0	0.13 0.00 0.00 1,170	0.00 0.00 0.00
したことから、不用額が発生した。 た。 <b>2 評価の部</b>	() 1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	3総	予算3 執行率 战員数(正規 正規財 計年度( 人件費 事業費(	(A)/(B) 計 月給   時給 ) 競員分 任用職員等 計 (C) A)+(C)	千円 % 人 千円 千円 千円	1,000 70.2% 0.10 0.00 0.00 900 0 900 1,602	1,000 62.8% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 1,798	1,000 99.9% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 2,169	1,000 22.3% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 1,393	0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 2,370	0.00 0.00 0.00 0.00
したことから、不用額が発生した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・	2改革	会会。	予算现 執行率 或員数(正規 正規即 注計年度任 人件書 事業費(	(A)/(B)   月給   時給)   日期職員等   計(C)   A)+(C)	千円 % 人 千円 千円 千円	1,000 70.2% 0.10 0.00 0.00 900 0 900 1,602	1,000 62.8% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 1,798	1,000 99.9% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 2,169	1,000 22.3% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170		0.00 0.00 0.00 0.00
したことから、不用額が発生した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無 ア:目的妥当性	2改革	会会。	予算现 執行率 或員数(正規 正規即 注計年度任 人件書 事業費(	(A)/(B) 計 月給   時給 ) 競員分 任用職員等 計 (C) A)+(C)	千円 % 人 千円 千円 千円	1,000 70.2% 0.10 0.00 0.00 900 0 900 1,602	1,000 62.8% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 1,798	1,000 99.9% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 2,169	1,000 22.3% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 1,393	0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 2,370	- 0.00 0.00 0.00 0.00 0 0 0
したことから、不用額が発生した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無 (課題がある場合に)・)・目的妥当性(事業の成果)(改革・改善) 各生産団体が行う特産品の販売	②改革レイ促進や	(大牛達) (3) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	予算野 執行率 裁員数(正規 計年度任 大件費 事業費( 上規事 大件費 事業費( に関いては、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	(A)/(B) は月給   時給 ) 数員分 任用職員等 計(C) A)+(C) ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	<ul><li>千円</li><li>%</li><li>人</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	1,000 70.2% 0.10 0.00 0.00 900 0 900 1,602 レ 改善	1,000 62.8% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 1,798 まや見直しを図 オ:そ	1,000 99.9% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 2,169	1,000 22.3% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 1,393		- 0.00 0.00 0.00 0.00 0 0 0
したことから、不用額が発生した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無 (課題がある場合に)) ア:目的妥当性 (事業の成果)(改革・改善) 各生産団体が行う特産品の販売農産物のPRと農業者の経営力所	2 改革 レイ 促進や	(大牛達) (3) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	予算野 執行率 裁員数(正規 計年度任 大件費 事業費( 上規事 大件費 事業費( に関いては、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	(A)/(B) は月給   時給 ) 数員分 任用職員等 計(C) A)+(C) ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	<ul><li>千円</li><li>%</li><li>人</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	1,000 70.2% 0.10 0.00 0.00 900 0 900 1,602 レ 改善	1,000 62.8% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 1,798 まや見直しを図 オ:そ	1,000 99.9% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 2,169	1,000 22.3% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 1,393		
したことから、不用額が発生した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無 (課題がある場合に) ア:目的妥当性 (事業の成果)(改革・改善)各生産団体が行う特産品の販売農産物のPRと農業者の経営力引(課題・反省点) 少量多品目生産が特徴の立川農	2 で 企 企 他 は に は に に に に に に に に に に に に に		予算事業は一個では、特別では、特別では、特別では、特別では、特別では、特別では、特別では、特別	(A)/(B) 川月給   時給) 戦員分 任用職員等 計(C) A)+(C) ・反省点) ウ:効率性 けた資材の	千円       %       人       千円       千円       千円       千円       千円       千円       千円       千円       ・	1,000 70.2% 0.10 0.00 0.00 900 1,602 レ 改善 エ:公平性	1,000 62.8% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 1,798 キや見直しを図 オ:そ	1,000 99.9% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 2,169 図った つの他	1,000 22.3% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 1,393 (2)事業		
したことから、不用額が発生した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無 ア:目的妥当性 (事業の成果)(改革・改善)各生産団体が行う特産品の販売農産物のPRと農業者の経営力引(課題・反省点)少量多品目生産が特徴の立川農界がある。これまでの取組を継続	②改革 イ やに と	<b>3 改有</b> 音ない援 ・ <b>3 本</b> 音ない援	予算事 執行正規 正規 ま計年度 子 書・③ 課 世 にったい にったい にったい にったい にったい にったい にったい にったい	(A)/(B) 川月給   時給) 戦員分 任用職員等 計(C) A)+(C) ・反省点) ウ:効率性 けた資材の の品異ブラ	千円       %       人       千円       千円       千円       千円       千円       千円       千円       千円       ・	1,000 70.2% 0.10 0.00 0.00 900 1,602 レ 改善 エ:公平性	1,000 62.8% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 1,798 キや見直しを図 オ:そ	1,000 99.9% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 2,169 図った つの他	1,000 22.3% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 1,393 (2)事業		
したことから、不用額が発生した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・( 事業の成果)(改革・改善) 各生産団体が行う特産品の販売農産物のPRと農業者の経営力引(課題・反省点) 少量多品目生産が特徴の立川農界がある。これまでの取組を継続とって効果的な活用方法への見	2 改革 イ や 進化に 大 () () () () () () () () () ()	会   総	予行では 事 ・ 性 促っ はつない はつない はつない はのない はのない はのない はのない はのない はのない はのない はの	(A)/(B) 川月給   時給) 戦員分 任用職員等 計(C) A)+(C) ・反省点) ウ:効率性 けた資材の の品異ブラ	千円       %       人       千円       千円       千円       千円       千円       千円       千円       千円       ・	1,000 70.2% 0.10 0.00 0.00 900 1,602 レ 改善 エ:公平性	1,000 62.8% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 1,798 キや見直しを駆 オ:そ	1,000 99.9% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 2,169 図った つの他	1,000 22.3% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,393 (2)事業 (2)事業		
したことから、不用額が発生した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・⑥※課題の有無 ア:目的妥当性 (事業の成果)(改革・改善)各生産団体が行う特産品の販売農産物のPRと農業者の経営力引(課題・反省点)少量多品目生産が特徴の立川農界がある。これまでの取組を継続とって効果的な活用方法への見ば、(3)今後の事業の方向性(改革)	2 改 単 で で で で で で で で で で で で で	3   3   3   3   3   4   4   5   5   5   5   5   5   5   5	予算事業は一個ではつなった。	(A)/(B) は月緒   時給   は員分 性用職員等 計(C) A)+(C) ・反省点) ウ:効率性 けた資材の の品業ブラ	千円%人千円千円千円本門本門本型 <td>1,000 70.2% 0.10 0.00 0.00 900 0 900 1,602 レ 改善 エ:公平性 に対し支払 限定した特</td> <td>1,000 62.8% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 1,798 まや見直しを図 オ:そ 爰することで</td> <td>1,000 99.9% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 2,169 Godennte</td> <td>1,000 22.3% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,393 (2)事業 (2)事業</td> <td>- 1,170 0,13 0,00 0,00 1,170 2,370    の方針 コン 削減 雑</td> <td>0 0 0 0 <b>スト</b> 持 増加</td>	1,000 70.2% 0.10 0.00 0.00 900 0 900 1,602 レ 改善 エ:公平性 に対し支払 限定した特	1,000 62.8% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 1,798 まや見直しを図 オ:そ 爰することで	1,000 99.9% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 2,169 Godennte	1,000 22.3% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,393 (2)事業 (2)事業	- 1,170 0,13 0,00 0,00 1,170 2,370    の方針 コン 削減 雑	0 0 0 0 <b>スト</b> 持 増加
したことから、不用額が発生した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・( 事業の成果)(改革・改善) 各生産団体が行う特産品の販売農産物のPRと農業者の経営力引(課題・反省点) 少量多品目生産が特徴の立川農界がある。これまでの取組を継続とって効果的な活用方法への見		<b>3 改有 普な い援要 案 ランド ままか なが ていと 等 ド</b>	予算事 執過 正規 ままま は は で は で は で で か で で か で か で か で か で か	(A)/(B)  1月8   時給)  2月8   時給)  2日   現象   時給)  2日   現象   時給)  2日   現象   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	千円%人千円千円千円千円千円千円・・・<	1,000 70.2% 0.10 0.00 0.00 900 0 900 1,602 レ 改善 エ:公平性 に対し支払 限定した特立川印」の	1,000 62.8% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 1,798 キや見直しを駆 オ:そ 愛することで 産化を進む活用により	1,000 99.9% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 2,169  図った ・の他  ぶ、立川産 かるには限 、農業者に	1,000 22.3% 0.13 0.00 0.00 1,170 0 1,170 1,393 (2)事業 (産业・	- 1,170	

令和 4 年度事後評価	令和	5 全	丰度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 5 年(	6 月作成
事務事業名 環境保全型農業技	<b>推進事業</b>				所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	農業振興	係
施策名 都市と農業の共生	•				予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 3	事業 3 番号
基本事業名持続可能な農業振	興策の推	進		を 施形態 (数 選択 可 )	全音	『委託	一部委託	✔ 補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	カ川市3		>型農業推	進事業補具	助金交付規	則		
平成7年度~	年度	法令等								
市長公約       主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業	 業の概要	•目的	 ・結果・活動・J	<del></del>						
①事業概要 市内農業団体に対し、畜産有	<b>⑤</b> 対象				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
機堆肥等の購入費を一部助成	ア農業	美生産区		団体	5	5	5	5	5	
し、環境保全型農業の拡大を図る。	イ農業	*後継者	*************************************	団体	1	1	1	1	1	
	ウ									
	<b>⑥活</b> 重	抽指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア補助	金申請	 青農業団体数	団体	<b>天</b> 根 5	<b>天</b> 根 5	<b>天</b> 根 5	<b>天</b> 根 5		
- 有機堆肥を用いて土壌を作るな										
ど環境保全型農業に取り組む 生産者を増やすことで、消費者	ウ									
に安全な農産物を提供する。		9 +12.1		34 /T	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
0.11=	⑦成界		<b>Eした畜産有機質</b>	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ゲ  堆肌	門購入客	頁	下门	479	734	373	334	366	
安心安全な立川産農産物の生産を後押しする。環境保全型の		トで生産 児購入客	至した畜産有機質 質	千円	2,433	2,571	2,824	2,713	3,180	
農業生産方式を支援することで土壌改善が図られ、都市農業の	ウその	他の有	「機質堆肥購入額	頂 千円	3,322	4,655	6,013	5,917	7,321	
振興に寄与する。	(2)事	業の=	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	1 千円	0	0	0	281	0	0
農業生産団体が取り組む、環境 負荷の軽減を目指した生産のた		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
めに購入する有機質堆肥購入	1	内	地方債	千円	0	Ů	0	0	0	0
費用の一部を助成することで、 環境に配慮した持続可能な農	事業	訳	その他	千円			_			
業を推進した。また、急激な物	費		│ 一般財源 事業費計(A)	千円	1,881 1,881	2,363 2,363	2,601 2,601	2,551 2,832	3,682 3,682	0
価高騰に伴う、堆肥等の値上が り分について、国の交付金を活			予集員的 (A) 予算現額(B)	千円	2,382	2,451	2,604	3,551		
用して増額分を加算して支援し		_	执行率(A)/(B)	%	79.0%	96.4%	99.9%	79.8%	_	_
た。	2	職員	数(正規   月給   時	給) 人	0.10 0.00 0.00	0.10 0.00 0.00	0.11 0.00 0.00	0.10 0.00 0.00	0.10 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人		正規職員分	千円	900	900	990	900	900	0
	件		年度任用職員		0	0	0	0	0	0
			人件費計(C)	千円	900	900	990	900	900	0
L		が 争:	業費(A)+(C)	千円	2,781	3,263	3,591	3,732	4,582	0
(1)全体総括(①事業の成果・(	②改革•	<b>汝善・</b> 〔	3課題・反省点	ā)	✓ 改善	きや見直しを図	図った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性	V 1:	有効性	ウ:効率	生	工:公平性	オ:ぞ	の他			スト
(事業の成果)(改革・改善)	-1 - 4	. A ? H	to —two all 2. 15.3 we	7217 <del></del>	~	->>	> 45)	向	削減 維	持増加
環境に配慮した農業を支援する。ることができた。また、立川産堆脈							い、文援す			
(課題・反省点)							ン字ものファロナ	成 維 持		
市内産堆肥を生産する畜産農家間や人が割けないことから、使用	する農家	の減り	りにつながるこ	とが懸念	されている	5。利用促t		低		
周知を図るとともに、生産者と購え	入者相互	の協力	7体制が組める	よう検討	していく必	要がある。		(	休止の場合に	+記 7 不再)
								(廃止・	ハトエル゙レクー物で、	ょ此ハ小安)

#### |(3)今後の事業の方向性(改革・改善案等)

食の安全・安心を求める消費者が、年々増加していることにより、有機農業や自然循環機能の維持増進を図ろうとする環境保全型農業への関心も高まっている。 意欲的に有機農業や環境保全型農業に取り組む生産者や生産団体に対して、生分解性の農業資材の活用を促す等、引き続き支援し啓発していく。また、物価高騰に伴う農業用資材の高騰の影響について、引き続き注視していく必要がある。

令和 4 年度事後評価	<u>令和</u>	5 4	年度 事務	事業	ミマネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	10 5 年 (	6 月作成
事務事業名らど優良根株栽培	推進事業	É			所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	農業振興	係
施策名 都市と農業の共生					予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 3	事業 番号 4
基本事業名持続可能な農業振	興策の推	進		<b>色形態</b>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	✓ 補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返	<i>F</i>	根拠	立川市うど	優良	根株栽培丼	推進事業補	助金交付	規則		
平成7 年度~       市長公約       主要施策	年度	法令	<del>等</del>							
1 現状把握の部 (1)事務事業	きの概要	・目的	」·結果·活動·成	果						
①事業概要 うどの特産化を推進するため、	<b>⑤</b> 対象	数の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市内のうど生産農家が群馬県の	ア うど 点)	生産組	l合会員数(総会時	人	19	16	16	15	15	
高冷地に優良根株の栽培委託 をしている委託料に対し、補助	1									
金を交付する。	ウ									
	<u>/</u> ⑥活動	, 十七 十西	ı	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
0 = 11					実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)			農業者数	人	11	11	11	10	10	
立川市の特産品であるうどの品質向上を図るため、優良根株を	イ委託			a	110	120	140	120	160	
高冷地で栽培する委託料の一部を補助し、生産の安定化を図	ウ量		面積に対する生産	kg	27,020		36,200	26,415	ŕ	
る。	⑦成果	!指標	!	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	<b>ア</b> うど1	乍付面	i積(各年度2年前)	a	483	483	478	478	480	
うど生産者の経営力の向上を後	<b>イ</b> うど」	<b>収穫量</b>	(各年度2年前)	t	54	54	53	53	55	
押しし、立川農業の魅力が発信できる。	ウ都内	うど収	【穫量シェア(各年	%	35.0	32.2	32.3	32.9	33.0	
		<u> 年前)</u>			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)事	業の:	コスト	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	十円	0	0	0	0	0	0
質の高いうど生産に欠かせない 根株の委託栽培を支援すること		財源	都支出金	千円	0	Ü	0	0	0	0
で、良質な立川産うどの生産向	1	内	地方債	千円		_	0	0	0	
上を図った。	事業	訳	一般財源	千円			311	223	400	0
	費		事業費計(A)	千円		250	311	223	400	0
			予算現額(B)	千円	306	250	400	400	_	_
			執行率(A)/(B)	%	77.8%		77.8%	55.8%	_	
	2	職員	型数(正規   月給   時給)			0.08 0.00 0.00				0.00 0.00 0.00
	人   件	会計	正規職員分 +年度任用職員等	千円		720	720	720	720	0
	費			千円		720	720	720	720	0
	3		業費(A)+(C)	千円		970	1,031	943	1,120	0
2 評価の部		<b>-</b> <del>×</del>			, at 4	± 4 P ± 1 ± 2	7 . +	(0)事业	±_0+_6	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 フ·日的妥当性			③課題・反省点) :		. —	善・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(2)事第	きの方針	スト
(課題がある場合にと) (事業の成果)(改革・改善)立川門										持 増加
障害対策としての根株の委託栽地	音は欠か	せない	ものとなっている	が、生	上産農家の	支援策の-	ーつとして	向上		0
維持することで、良質な立川産う。 (課題・反省点)生産農家の減少	どの生産 を食い止	回上/ めるた	及びフランド刀のネ こめ、特産品として	維持に 都内	こつなける。 第1位の生	ことができた 産量を誇る	ニ。 る「立川産う	成維		
ど」の周知に向けた取り組みを、こしかし、受託先農家からは高齢化	立川農業	ブラン	/ド「立川印」の活。	用と合	わせて強化	化していく	公要がある。	果 持 低		_
拓も含めた改善が必要。	こと生田り	-×pl	」 アススクル 里で 10人	JCC (	ω c	可、例が安	µ ロノロマフ プガ	下		
(2) 今後の声業の十点性 (25世	. 과 美安	**\						(廃止・	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革立川特産品として、うどのブランド			ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	対なが	受けろ機会	も多い う	じの特産品	としての品	質、生産が	カ、ブラン
ド力を守るため、現行の助成制度	の拡充も	含め	て継続の必要性は	は高V	、また、市	内小学校で	での社会科	見学先とし	ての要望を	ら多く、学
校給食のメニューにも使用されて を進めていく必要がある。	おり、りと	'生産	長多の仔続や認力	加度()	7円上に同	けた他東に	-加えて、担	型い于文援	寺について	い仮討

令和 4 年度事後評価	<u>令和;</u>	5 年度	事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	ト <sub>令和</sub>	10 5 年 6	6 月作成
事務事業名 農産物品評会事業	É				所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武司	司
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	農業振興	係
施策名 都市と農業の共生					予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 3	事業 番号 7
基本事業名持続可能な農業振り	興策の推議	焦	実施	<b>地形態</b>	全部	『委託	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返	f a sta	根拠								
市長公約   中央   中央   中央   中央   中央   中央   中央   中		去令等	-							
1 現状把握の部(1)事務事業	 の概要・	目的·結界	፱ ·活動·成	果						
①事業概要 農産物の品評会を実施し、立川	<b>⑤</b> 対象	数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
農業全体の生産技術の向上を	ア農家	戸数(農業さ	アンサス)	戸	341	341	277	277	277	
図る。	1									
	ウ									
		lle l <del>er</del>			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活動	指標		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア品評	会回数		口	5	4	5	5	5	
栽培技術・肥培管理の改善を通して、農産物の品質向上を図	1									
る。	ウ									
	⑦成果:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア出品	 点数		点	563		372	450	500	пе
生産者の技術向上、意欲向上	イ出品	 者数		人	169	113	118	123	150	
につながる。 品評会での受賞農 産物を展示することで、広く立川	ウ出品	戸数		戸	131	87	91	96	120	
農業の魅力が周知できる。					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)事第	業のコスト		単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)			庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、JA東京みどり		財源	都支出金	千円	0		0	0	0	0
や各生産団体、東京都の関係	1	内 —	地方債	千円	0	_	0	0	0	0
機関等との連携により、トマトの   立毛、夏野菜、果実、農産物(3	<del>事</del>    業	訳	その他 一般財源	千円	94	72	98	84	84	0
年ぶりに植木も実施)、うどの各	費			千円	94	72	98	84	84	0
品評会を開催することで、生産 技術や生産意欲の向上につな			現額(B)	千円	95	78	127	95	— O1	
げた。			≤(A)/(B)	%	98.9%	92.3%	77.2%	88.4%	_	_
	2	職員数征	規 月給 時給)	人	0.33 0.00 0.00	0.47 0.00 0.00	0.36 0.00 0.00	0.32 0.00 0.00	0.32 0.07 0.00	0.00 0.00 0.00
	人		職員分	千円	2,970	4,230	3,240	2,880	2,880	0
	件   費		任用職員等		0	0	0	0	294	0
			費計(C)	千円	2,970	· ·	3,240	2,880	3,174	0
2 評価の部	(3)	総事業費	(A)+(C)	千円	3,064	4,302	3,338	2,964	3,258	0
(1)全体総括(①事業の成果・②		(善・③課題	題•反省点)		✓ 改善	善や見直しを図	引った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性 [	イ:有	対性 🗸	ウ:効率性		工:公平性		の他			スト
(事業の成果)(改革・改善)	A /:	<del></del>	1141 > 101 =		3 )o . ## 30	K +	w 11 -tw 1.1.4h	自向	削減 維	持 増加
品評会に合わせて実施した即売 と生産意欲の向上につながった。								'丨丨 丨上丨		
農産物を社会福祉協議会等に無							,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	成維持		
(課題・反省点) 農業者のメリットや生産意欲の向。	上につなれ	がるよう、各	-生産団体と	も協調	義をしながら	ら必要に応	じた見直し	.      低		
の検討が必要と考えられる。								一下	休止の場合に	おうなまり
 (3)今後の事業の方向性(改革	• 改善室	等)						(死业。)	下止マノが口で	*・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
農業者が減少傾向にある現状に			模を維持し	ていく	ことを当面	の目標とも	さるを得な	こいが、消費	貴者の視点	に立った
市民や飲食店による審査を加える効果的な品評会のあり方を模索し	るなど、先									
か不りな叩け云いのリカを候業し	∠ ( v '\o									

令和 4 年度事後評価	<u> </u>	1 5	) 牛皮 事	+ 務	手	マイン	<u> ノメン</u>	<u>トンー</u>	<u> </u>	令和	<u>和 5 年 6</u>	6 月作成
事務事業名 各種病害虫防除等	事業					所属部	産業文化	スポーツ音	課長	名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業						所属課	産業振興	課	係:	名	農業振興	係
施策名 都市と農業の共生						予算科目	会計 1	款 6	項	1	目 3	事業 番号 9
基本事業名持続可能な農業振り	興策の	推注	隹		形態	全部	『委託	一部委託	補	助·	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返			根拠									
昭和32 年度~	年度		去令等 ——									
1 現状把握の部(1)事務事業	の概	要∙	目的·結果·活動	動·成身	果							
①事業概要 畜産農家周辺の宅地化に伴	⑤対	象	数の推移	<u>i</u>	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年	度	R5年度	R6年度
い、虫の発生や臭気に対する苦	ア音	産組			人	8	8	8		8	8	
情を軽減するため、家畜(牛・豚・鶏)用の殺虫剤、消臭剤を購	1				, .							
入し、畜産農家に配布する。												
	ウ					山红左南	DO左连	DO左连	D4/T	ф.	DE C G	DC左连
	<b>⑥活</b>	動	指標	ن ا	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年 実績		R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア殺	虫科	剤の購入数		袋	16	20	20		0	20	
畜産農家に殺虫剤等を配布し、	イ消	臭剤	剤(牛)の購入数		袋	45	47	47		50	50	
虫の発生や臭気を軽減すること により、周辺環境を維持し、周辺	ウ消	臭剤	剤(豚・鶏)の購入数	汝	袋	72	64	72		86	80	
住民の理解を得る。	7成				単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年		R5年度	R6年度
②4+ 田 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	亚		性牛、肥育牛、繁殖			実績	実績	実績	実績		計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか) 周辺住民の畜産農業に対する	<b>y</b> 0	頭数	汝		頭	152		153		154	150	
理解が得られ、都市農業の支援	1 肥	門	豕、繁殖豚の頭数	:	頭	1,180	1,180	1,100		900	1,000	
と都市農地保全につながる。	ウ排	<b>-</b> 列系	鳥、肉用鶏の羽数	:	羽	7,400	6,500	6,000	5,	500	6,000	
	(2)	事第	美のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年 実績		R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支	出金	千円	0		0	X19	0	0	(
市内の畜産農業を支援するた			財都支出		千円	0	0	0		0	0	(
め、家畜(牛・豚・鶏)用の消臭 剤を購入し、8軒の畜産農家に		1)	源 地方	債 -	千円	0	0	0		0	0	(
配布した。	3	事	訳その	他	千円	0	0	0		0	0	(
		業費	一般則	才源 →	千円	709	722	715	7	722	776	(
	1	艮	事業費計(/		千円	709	722	715		722	776	(
			予算現額(E		千円	710		722		722	_	
			執行率(A)/(		从	99.9%	0.06 0.00 0.00	99.0%	100	_	0.05 0.00 0.00	
		2	職員数(正規   月給 正規職員分		<u>へ</u> 千円	540	540	540		150	450	0.00 0.00 0.0
		人  牛	会計年度任用職			0	0	0	-	0	0	(
		費	人件費計(		千円	540	540	540	4	150	450	(
		3	総事業費(A)+	-	千円	1,249	1,262	1,255		72	1,226	(
2 評価の部									1			
(1)全体総括(①事業の成果・②				_			きや見直しを図 		(2)	事業	美の方針 	<del>-</del> 1
※課題の有無 ア:目的妥当性 [ (課題がある場合に)	1	′∶有	∵効性 _ 🗸 _ ウ:欬	功率性 [		工:公平性	オ:そ	の他				スト .持 I 増加
(事業の成果)(改革・改善) 家畜用消臭剤の配布により、周辺	住民(	の牛	活環境に配慮1	た畜産	全農業	きの支援に	こつながった	_。令和2年		向	口3//火 小住	· 1/1   *日/川
度から、梅雨入り前(一部は秋頃)								·= 1		上維		
(課題・反省点) 宅地化が進んだことにより、周辺信	主民へ	の身	臭気に対する配肌	恵がより	)一層	求められる	る状況にあ	る。本事業		持		
を通じて、継続的な支援を続ける	とともに	二、茅	新鮮な畜産物を <sup>*</sup>	供給し	ている	る生産者へ	の市民の	理解を促す	-	低下		
ことも併せて行う必要がある。 今年	-	ПЩ	1水はパツに枚生	3月リ(し~	ノVヽ(	. /ょ、収扱=	尹未日と賻	ハヶる际り	/			

# (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等)

調整を行う必要がある。

都市部における畜産農家は減少傾向にあり、立川市では8軒を残すのみとなっている。周辺の地域住民への配慮として臭気を抑えるため、本事業を継続して補助していくことは必要である。一方で、臭気を抑えるためには施設面での対応も必要となるため、国や都の支援に関する情報収集に努めるとともに、JA東京みどりや畜産農家との協議の場を持ち、持続可能な都市農業の振興に努める。

(廃止・休止の場合は記入不要)

令和 4 年度事後評価	令和:	5 年度	事務事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令和	和5年6	6 月作成
事務事業名 各種病害虫防除等	事業(家	畜防疫事業権	献金)	所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武司	司
政策名 都市基盤・産業				所属課	産業振興	課	係名	農業振興	係
施策名 都市と農業の共生				予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 3	事業 番号 9
基本事業名持続可能な農業振	興策の推済	進	実施形態	全部	『委託	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携∙協働
事業期間 単年度繰返	左左	根拠	川市家畜防疫	要業補助	金交付規則	則			
平成5 年度~	年度	去令等							
1 現状把握の部(1)事務事業	美の概要・	目的·結果·流	括動∙成果						
①事業概要 東京都が4年に1度行う、家畜	⑤対象	数の推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
伝染病予防法第6条の規定によ	ア乳用・	牛、肉用牛経営	者数 人	4	4	4	4	4	
る牛の伝染性疾病の発生を予 防検査に対し、事業費の3分の	1								
1を補助する。	ъ								
	<u>~</u> ⑥活動:	—————————————————————————————————————	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
@ F !!	0	7 <b>61宗</b> 內病検査頭数(4	年に1	実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか) 家畜経営に関わる経費を助成		病検査頭数(H3	1000年	_	_	_	128	_	
し、家畜伝染病の発生を予防に	1  施した	(イソな	骐	_	_	_	-	_	
向けた支援をする。	ウ以降	セラ病検査頭数 実施しない)	((H31) 頭	_	-	-	-	-	
	⑦成果	指標	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア乳用	牛数	頭	116	116	108	110	110	
伝染病予防により、安定した畜	イ 肉用	牛数	頭	49	49	45	44	45	
産業を営むことが可能になり、 畜産農業の持続的な経営が図	ウ								
られる。		W I		H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)事第	業のコスト	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)			支出金 千円				0	0	_
ョーネ病(牛)の防疫検査を、4 軒(酪農:3軒、肉用牛:1軒)で		消	出金・千円				0	0	0
実施した。だが、1軒から補助金 の申請が提出されなかったた	事	I I∕3	方債千円ひ他千円				0	0	
め、3軒に対して支援した。	業	ы .	財源 千円		0		8	0	
	費	事業費計		0	0	0	8	0	0
		予算現額		0	15	0	13	_	
		執行率(A)			0.0%		61.5%	_	_
	2	職員数征規 月	140 Leader > 4	_				0.00 0.00 0.00	
	人件	正規職員会計年度任用		0	360	90	180	0	0
	費	人件費計			360	90	180	0	0
	3	総事業費(A)·	+(C) 千円	0	360	90	188	0	0
2 評価の部 (1) 全体が長(3) 東番の世界 (2)		*羊 ②無賠 に	二小上)	76.7	* <b>5 1 1 1 1 1 1 1</b>	m - 4	(0) 車架	美の方針	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 ア:目的妥当性	<u> </u>		又 <b>自</b>	工:公平性	きや見直しを図 ┣━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━	の他	(4)争者	トリカ町コス	スト
(課題がある場合にと) (事業の成果)	1.75	ix)正 [	. 劝华住	工.公十任		. O) IE			持 増加
近年、鳥インフルエンザや豚コレ							1 I I F		
告されているため、各畜産農家へ 要となっている。	、	Fするとともに、	現状について	.の把握を(	したりえ。での	)対束か必	成 維 持		
							果 <u>  持</u>   低		
							下		
(2)今後の車業の士白州/34草	. 办羊安	生)					(廃止・	休止の場合は	は記入不要)
(3) 今後の事業の方向性(改革 都市部における農業の中で、特に			3り、家畜防疫	の検査間	隔は広がっ	ているが	支援を継続	売していく心	公要性があ
3.			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		~ ~ <b>~</b> ~ <b>~</b>			2,124 07
1									

令和 4 年度事後評価	<u> </u>	o 牛	<u> </u>	事業	マネシ	シメン	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	和 5 年 6	6 月作成
事務事業名認定農業者支援事	スポーツ音	課長名	奥野 武司	司						
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業振興	課	係名	農業振興	係
施策名 都市と農業の共生					予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 3	事業 番号 10
基本事業名持続可能な農業振	興策の推	進		<b>地形態</b>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	農業経営	基盤強	化促進法					
平成10 年度~	<sup>年度</sup>	去令等				の認定手続		る規則		
市長公約     主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業		目的・			以普又抜	センター設	. 直安綱			
①事業概要	<ul><li>5対象</li></ul>				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者制度を推進し、										
意欲をもって農業経営に取り組	アー辰多	尸奴(辰	業センサス)	戸	341	341	277	277	277	
む認定農業者を支援することに より、今後の立川農業の発展を	1									
図る。	ウ									
	⑥活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)			農業者協議会の	口	<b>大順</b> 5	<b>大順</b> 5	7	<u> </u>	<b>計画</b> 6	
認定農業者等に対する支援を	用用值	数				3	'			
充実させることにより、経営改善	1									
計画の達成、経営基盤の強化が図られる。	ウ					20 / 5	20 5 5	5 . le etc		2055
	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア新規	認定農業	<b>業者経営体数</b>	経営体	1	2	3	0	1	
認定農業者の農業経営や取組	イ新規	認定農業	 業者数	人	1	4	4	0	1	
を支援することで、農業の経営 基盤強化を図り、立川農業の振	<b>」</b> 期限		忍定農業者経営	経営	1	1	1	9	0	
興につなげる。	一人体数			体	1	1	1		Ů	
	(2)事	業のコス	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
53名の更新対象者のうち、引き		財	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
続き更新を希望する方を対象 に、今後5年間の経営改善計画	1	源 │	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
を作成するにあたっての現状把	事	訳	その他	千円	0	0	0	0		0
握や目標設定に向けた相談会 を開催し、更新をサポートした。	業費		一般財源	千円	14	17	17	27	27	0
また、立川市認定農業者協議			業費計(A)	千円	14	17	17	27	27	0
会の事務局として、会の運営支援のほか、認定農業者向けの			算現額(B) 行率(A)/(B)	千円 %	82.4%	17	17	100.0%	_	
市や都の支援制度を紹介する			(正規   月給   時給)			0.20 0.00 0.00			0.28 0.03 0.00	0.00 0.00 0.00
説明会を実施した。	<b>②</b> 人		規職員分	千円	1,710	1,800	1,890	2,520	2,520	0
	件	会計年	度任用職員等		0	0	0	0	126	0
	費	一人	件費計(C)	千円	1,710	1,800	1,890	2,520	2,646	0
	3	総事業	:費(A)+(C)	千円	1,724	1,817	1,907	2,547	2,673	0
2 評価の部		· 羊 ②	田昭 こか E \			—————————————————————————————————————	1-+	(0) 古半	* n + A	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 マ・日的ジャ性						や見直しを図		(乙)事弟	美の方針 「 <del>「っ</del>	スト
※課題の有無 (課題がある場合にを) (事業の成果)(改革・改善)	1 イ: 種	幼性	<u>∨</u> ワ:効半性	ш	エ:公平性	オ:そ	の他			<u>^                                    </u>
5年ごとの更新を迎えた認定農業								向	1 1	
更新希望者を対象に新たな目標 認定農業者のメリットである支援制	設定に向	けた相	談会を実施し、	42名の	の方の更新	をサポート	した。また、	、		
知を図った。	四/支いがり	リ云どき	マ旭レ、史材 吁(	ノ心性	まんて必安。	こヶ公又1抜	ri分VJ同	成維持		
(課題・反省点) 認定農業者更新に係る計画書等	の作出タ	日埂扒	空笙の老き七	た学↑	はおい て	面部分色=	生にかる~1	低		
総足展業有更新に係る計画書等 のメリットを実感できるような支援						文利 刈 豕1	3 (C/40C)	-	 休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	- 改善案	等)								
年度により更新対象となる経営体										
ある支援制度の活用を促進することが重要。そのための機会として	ことで、各) 、説明会を	畏家の と 年度早	農業経営基盤の しゃに開催し、	り強化 引き続	人立川農業 き認定農業	系全体の更 巻者として見	なる発展に 夏新する意	こつながるこ 欲を持って	ことを理解し こもらうよう賃	ってもらうこ 動きかけ

事務事業名	<b>《百文</b> 货争	事業(認正展業有等文援事業補助					所属部産業文化スポーツ			部 課長名 奥野 武司		
政策名 都市基盤	強∙産業						所属課	産業振興	課	係名	農業振興	係
施策名都市と農	業の共生						予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 3	事業 番号 10
基本事業名 持続可能	な農業振興	単策の推	進			形態	全音	· 香託	一部委託	✓ 補助・	助成	連携・協働
<b>東米地</b> 間 単年度線	<b></b>		T= 160	立		選択可) 定農業		事業補助金	金交付規則	_ <b></b>		
事業期間 平成18 年月	度~	<b>手度</b>	根拠 法令等		· · ·							
	要施策	)   `		-								
1 現状把握の部(1)	事務事業	の概要・	目的	·結果·	舌動•成	果						
①事業概要 認定農業者及び認定親	新規就農	⑤対象	数の	推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
者、農業生産団体、農	業後継者	ア農業	生産団	体数		団体	5	5	5	5	5	
団体に対し、農業用施や農機具購入について		イ農業	後継老	 計団体数		団体	1	1	1	1	1	
成し、経営基盤の強化				ППТЖ		131 IT.	1	1	1	1	1	
		ウ					1101 5 5	D0/F/F	B0/E	D 4 /5 /5	DE /E #	B0/E
		⑥活動	指標			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態)	こしたいのか)	ア補助	金申請	· 情団体数		団体	6	6	6	6	6	
認定農業者及び認定業	新規就農 新規就農	イ補助	全由語	<b></b> 青認定農業	<b>坐</b>	人	3	3	6	Δ	3	
者、農業生産団体、農			715' . I . BE		** D 9A			J		1		
経営基盤を強化し、立場振興を図る。	川辰条の	ウ					山竹左南	D0/F #	D0 左 库	D4左连	DE F F	DO左连
		⑦成果				単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び	び付けるか)	アパイン数	プハウン	ス・果樹棚	朋等整備	棟	2	3	2	2	1	
都市農業の経営基盤強		,農業	用機板	は・農機具	.等整備	台	1	0	4	2	2	
られ、認定農業者等をた取組が立川農業の振		り										
ながる。	23410 )	.7										
		(2)事	業の=	スト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和4年度実績(事	業活動)			国庫	支出金	千円	0	0	0	5,268	0	0
農業生産者団体5団体			財	都支	出金	千円	0	0	0	0	0	0
継者団体1団体及び4. 農業者個人に対して、		1	源内	地	方債	千円	0	0	0	0	0	0
備設置費、農業資材·用	肥料の購	事	訳	そ	の他	千円	0	0	0	0	0	0
入費などについての助 た。また、急激な物価高		業		一般	段財源	千円	3,042	3,070	4,800	85	4,363	0
う、資材等の値上がり分		費	Į.	事業費計	†(A)	千円	3,042	3,070	4,800	5,353	4,363	0
て、国の交付金を活用			-	予算現額	<b>(B</b> )	千円	3,205	4,186	6,885	8,215	_	_
分を加算して支援した。				丸行率(A		%	94.9%	73.3%		65.2%	_	_
		2			月給 時給)				0.17 0.00 0.00			0.00 0.00 0.00
		人		正規職員	***	千円	1,440	1,710	1,530	1,350	1,350	0
		件   費			用職員等		0	0	0	0	0	0
				人件費計		千円	1,440	1,710	1,530	1,350	1,350	0
		(3)	総争	業費(A)	+ (C)	千円	4,482	4,780	6,330	6,703	5,713	0
(1)全体総括(①事業	の成果・②		(善・(	3)課題・	反省点)		✓ 改善	きや見直しを図	図った	(2)事業	きの方針	
※課題の有無 ア・日	的妥当性	イ: <b></b>					工:公平性		の他			スト
(課題がある場合に) (事業の成果)(改革・改	_						- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			<b> </b>	削減 維	持 増加
補助金の活用により、認	忍定農業者											
がった。また、本事業以で経営基盤の強化につ							ることにより	、農業者に	とつて有益	成 推 井		
(課題・反省点)						-	WH			果持		
国や都の支援の周知に者協議会を通じた周知										低下		
	ハーハリハー、ノ	/ <b>*</b> + + C	KL 1/	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	NIKE DT 7 '	o.4€	~め古で1	1 ~ ( 1 . / 0			休止の場合に	は記入不要)
	수 ル# / <b>7</b> ৮ 보	•改善案	笙)							-		

事務事業マネジメントシート

令和 5 年 6 月作成

令和

569

農業経営改善計画の書式変更に伴い、認定農業者等になることのメリットとして更新時の説明を丁寧にしていくとともに、補助制度等の内容を広く明示することで認定農業者の増加につなげていく。また、認定農業者として受けられる市や都の支援制度の活用を促進

するため、説明会等を実施し、農業経営基盤を強化に向けた販路の拡大や立川農業の更なる発展につなげる。

数							<u> </u>			10 5 年 (	
事務事業名   認定農業者支援事	●兼(ル		云뙈児	別刈取制	<b>予</b> 無佣	所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業						所属課	産業振興	課	係名	農業振興	係
施策名 都市と農業の共生						予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 3	事業 番号 10
基本事業名持続可能な農業振	興策の	推進			実施形態		8番託	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返		根	фп				策事業補助	助金交付規	則		
平成26 年度~	年度	法令									
市長公約   主要施策   ( 1 現状把握の部(1)事務事業	<u>リ</u> Eの概:	亜・日	的。結里	<u> </u> ■.活動。	成里						
①事業概要			カルス の推移	· /11 3/J	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
端境期にファーマーズセンター みの一れ立川へ出荷する認定	7			<u>員農家数</u>							
農業者を対象に、施設園芸に	ア	各年度	総会時)	<b>只</b> 成次外	戸	182	184	187	183	185	
係る燃油費用を補助し、安定的な出来し、公開では、	1										
な出荷量の確保につなげる。	ウ										
	<u>⑥汪</u>	動指			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
@ <b>  4</b>						実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)ファーマーズセンターみの一れ			□請者数		リット	11		7	9	10	
ファーマースセンターみの一れ 立川における端境期の出荷量	イ補	前助対象	別油量		ル	11,160	24,051	18,212	49,151	15,000	
を増やす。	ウ補	助対象	東重油量		リット	4,980	6,158	0	0	5,000	
	⑦成	果指	票		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)	<b>-</b> 3	ルのーオ	立川へ	の補助対	象 kg	<del>天</del> 模 11,260		<del>美</del> 根 5,762	<del></del>	計画 10,000	計画
ファーマーズセンターみの一れ	7.	は荷量(! ^のー/	野菜他) ι立川へ	の補助対	_		-	,		-	
立川における端境期の出荷量	1 1	荷量(	野菜苗•	花苗他) の補助対	<u>}</u>	6,020	9,120	6,560	11,553	7,000	
が増えることにより、経営力の強化が図られ、立川農業の振興に			5五/11°へ <u>刃花他)</u>	V 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	本	26,000	2,149	1,235	970	3,000	
つながる。	(2)	事業の	コスト		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
④令和4年度実績(事業活動)			田	庫支出金		<b>実績</b>	<b>実績</b> ()	<b>実績</b> ()	実績	計画 ()	計画
ファーマーズセンターみの一	-	月		译文山 3 『支出金			Ü	0	0	0	0
れ立川に出荷している認定農業			原 ————————————————————————————————————	地方債	千円		_	0	0	0	- ·
者9経営体に対し、燃料費として灯油49,1510分を対象に支援		①   p 事   i	り   尺	その他	千円		Ü	0	0	_	_
を行った。		業		一般財源			320	320	400	400	0
	:	費一	事業費	貴計(A)	千円	284	320	320	400	400	0
	-		予算理	見額(B)	千円	320	320	320	400	_	_
			執行率	(A)/(B)	%	88.8%	100.0%	100.0%	100.0%	_	_
	(	② 閲		規 月給 時	1 4 HI /			0.07 0.00 0.00			0.00 0.00 0.00
		싰		職員分	千円			630	630	630	0
		件 <u> </u> 会 費		任用職員			0	0	0	0	0
				費計(C) (A) → (C	千円 ) 千円		990	630 950	1 020	1 020	0
2 評価の部		●応	尹禾頁	(A)+(C	TH	1,094	1,310	900	1,030	1,030	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	②改革	·改善	• ③課是	夏·反省;	点)	✓ 改善	善や見直しを図	引った	(2)事業	きの方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性	1	ſ:有効 <sup>∙</sup>	性	ウ:効率	性	工:公平性	レ オ:そ	の他		٦;	スト
(事業の成果)(改革・改善)										削減組	持 増加
冬期のハウス栽培に係る燃料費を る端境期の出荷量確保につなが		補助す	つることに	こより、ファ	アーマー	ズセンター	・みのーれュ	立川におけ			
(課題・反省点)									成維	(	
立川産農産物の生産量増加と年している原油価格を参考とするな											
みについては、国や都の動向を見						27m:11.57 K		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	下		
/a\ A.W. a 主业 a 土 土 ll /cl ギ		che hte \							(廃止・	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革				マ山 七月	で伝んロリテビ	5) + 4- 4-1 <i>4</i> **	レーケー	エの粉油ル	の古晄ナロ	水土ニナー	757 71 ×
ファーマーズセンターみの一れ立 続き支援を行っていく。	ムハロマンダ	而児别	にわげる	い口何重	1年1木(二)	引けに対東	としく、母*	ナツ然田代	<b>少                                    </b>	宙よんに上	じもりざ

令和 4 年度事後評価	令和	<u> 5</u>	年	度 事務	事業	ミマネシ	ジメン	トシー	ト <sub>令利</sub>	和 5 年(	6 月作成
事務事業名 援農ボランティア制	削度普	及事	業			所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業						所属課	産業振興	 課	係名	農業振興	係
施策名 都市と農業の共生						予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 3	事業 番号 11
基本事業名持続可能な農業振	興策の	推進			形態	全部	『委託 ▶	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		<b>‡</b>	<b>退拠</b>	(个发-双	映7八円] /						
平成15 年度~	年度 〇		令等								
1 現状把握の部(1)事務事業	•	要・目	]的•	 結果·活動·成:	 果						
①事業概要		寸象数			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
農家の高齢化や後継者不足による労働力不足を補うため、農	アル	皇家戸	· 数(曹	業センサス)	戸	341	341	277	277	277	
業に関心のある市民等が、農業 経営を支える労働力として農家		×3\(\)	3A ()IR	(* CV / / /	,	511	511	211	211	211	
の指導を受けながらボランティア	1										
活動を行う。あわせて認定農業者に依頼して援農ボランティア	ウ					1104 75 75	D0 / F / F	50 <del>/ F</del>	D.4 5 5		B0左京
基礎講座を実施する。		5動指			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)		新規援 人者数		ランティア保険加	人	17	27	8	3	10	
援農ボランティアを養成し、農業	ノミ	折担受	入希	望農家数	人	0	0	0	0	0	
者の高齢化や後継者不足など に悩む都市の農業経営を支え	ゥ‡	爰農ボ	ランラ	イア基礎講座回	П	6	6	6	6	6	
る担い手として活用していく。		<u>攻</u> <b>戈果</b> 指			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
②红田	1±			ティア数(3月31日	<b>十四</b> 人	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか) 労働力不足に悩む農業者に対	J E	見在)		家数(3月31日現		83	91	77	65	80	
し、農業を手伝いたい援農ボラ	1	王)	土灰	3,3,0,101 H 5E	人	40	40	39	29	35	
ンティアをマッチングすること で、労働力が強化され、都市農	ウ										
業の経営力の強化につながる。	(2)	事業	のコ	スト	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
④令和4年度実績(事業活動)				国庫支出金	· 一 千円	実績	<b>実績</b> ()	<b>実績</b> ()	<b>実績</b>	計画	計画
接農ボランティアを希望する方			財	都支出金	十円		148	148	148	148	0
の募集を行い、9名の方から応募があったが、コロナ禍の状況		1)	源中	地方債	千円		0	0	0	0	0
一条かめったか、コロナ 間の状況 下によりマッチングは3件のみと		事	内訳	その他	千円		0	0	0	0	0
なった。また、援農ボランティア基礎講座を実施し、7名が参加		業		一般財源	千円	243	248	231	217	269	0
を使講座で 天旭し、7石が参加 した。		費	事	業費計(A)	千円	391	396	379	365	417	0
				5算現額(B)	千円	436	414	414	417		
		1		行率(A)/(B)	%	89.7% 0.16 0.00 0.00	95.7%	91.5%	87.5% 0.09 0.00 0.00		
		ا ب		数 <sub>(正規   月給   時給)</sub> E規職員分	人 千円	1,440	1,890	1,620	810	810	0.00 0.00 0.00
		人			千円		0	0	0	126	0
		費 L		.件費計(C)	<u>· · · ·</u> 千円	1,440	1,890	1,620	810	936	
		3 総		美費(A)+(C)	千円		2,286	1,999	1,175	1,353	0
2 評価の部		,	¥ ~				·		/c\ = 4	* •	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 ファロ ロッツ 1 日			_				・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(2)事第	美の方針 「一一」	スト
※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)(改革・改善)		イ∶有3	沙性 [	✓ ウ∶効率性		工:公平性	オ:そ	の他			<u>^┍</u> 持
コロナ禍の状況が続いたことによ									向		
聞き取り等を通じて、3名を良好な ナ禍の状況もあり7名の参加にと									上		
で、受け入れ農家に対する理解に				:1又川 / 八甲成でラ	1 (C >	71)1=41/	ノイノで用	11X 9 DCC	果 持		
(課題・反省点) 農家が必要とする時期に紹介でき	きスレい	ナ限に	ナトレン	ため 都の広園	摇曲,	ボランティア	/制度につい	ハても、活田			
	農家が必要とする時期に紹介できるとは限らないため、都の広域援農ボランティア制度についても活用 【 <b>「下」 </b> を促していく。講座については参加状況等に応じて開催方法等を柔軟に見直す必要がある。 (廃止・休止の場合は記入不要)										
(3)今後の事業の方向性(改革											
今後も積極的にボランティア募集 制度やアプリの活用なども併せて											
制度やアプリの福用なども併せて計を行う。	141	C V '\	。よだ	- 、巫땣碑/坐り秀	未力	14~天旭	r i分(C <sup>-</sup> J(	・しは、安市	いいい辰豕	.こ死担しに	- 1円17 / 二代

令和 4 年度事後評価	令和:	5 年度	事務	<u>事業</u>	マネシ	ジメン	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令和	和 5 年(	6 月作成
事務事業名 都市農業経営力強	能化事業				所属部	産業文化	スポーツ音	課長名	奥野 武	司
政策名 都市基盤・産業					所属課	産業観光	課	係名	農業振興	·係
施策名 都市と農業の共生					予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 3	事業 番号 17
基本事業名立川農業の魅力発	信			地形態 (選択可)	全部	<b>『委託</b>	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	東京都都市			化事業実	— 拖要綱			-
令和4 年度~	年度	依拠 法令等	東京都都下							
市長公約   主要施策   ( 1 現状把握の部(1)事務事業	つ Eの概要・	日的•結耳	立川市都市		<b>《</b> 经 图 刀 强	化爭美補助	切金父付罗	子緔		
①事業概要		数の推移	70 30 70	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
都市農業を将来にわたって担う認定農業者等に対して、経営力					1101-12	112+12	八〇十八文			
の強化、新技術の導入、生産基		戸数(農業も		戸				277	277	
盤の高度化、地域農業の活性 化に向けて行う、農業施設等の	イ販売	農家数(農業	(センサス)	戸				205	205	
整備を支援する。	ウ									
	⑥活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア申請	 件数		件	<b>X</b> 18	人们	)\(\frac{1}{2}\)	1	2	
高い営農意欲を持つ農業者等	<b>イ</b> 対象			千円				40,955	61,271	
が行う農業施設等の整備を支援 することで、農業経営力の向上		<b>于</b> 术貝		1 1 1				10,333	01,211	
や特性を生かした農業の稼ぐ力	ウ				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
の強化につながる。	⑦成果	<u>指標</u> -マーズセン	(h. 7. 1)	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		川来客数	· ターみの一	人				155,554	160,000	
補助事業を活用する農業者が 増えることで、経営力がより強化	1									
され収益が増加するとともに、市	ウ									
内産農産物をより多くの方が享 受することができる。	(0) 車:	業のコスト		· · · / · I	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(4)争:			単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動) 1軒の農家が、イチゴの施設栽		I - 1		千円		0	0	0	0	
培用のビニールハウス及び高設		酒 └ └	『支出金 <u></u> 地方債	千円	0	0	0	20,477	31,444	
栽培設備等を整備した。			<u>地力頃</u> その他	十円	_		0	0		
	事	ш, С	-般財源	千円			0	5,000	10,000	
	費		表計(A)	千円			0	25,477	41,444	
		予算理	見額(B)	千円	0	0	0	25,600	_	_
		執行率	(A)/(B)	%				99.5%	_	
	2		見 月給   時給)			0.00 0.00 0.00			0.31 0.00 0.00	
	人件		職員分 (5円間号等	千円		0	0	1,890	2,790	
	費	<u> </u>	任用職員等 <u></u> 費計(C)	十円	0	0	0	1,890	2,790	·
	3	総事業費		千円		0	0	27,367	44,234	
2 評価の部		心子水头	(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		- C	· ·	Ü	21,001	11,201	
(1)全体総括(①事業の成果・②	②改革・改	攻善・③課題	夏·反省点)		一改善	きや見直しを図	引った	(2)事業	きの方針	
※課題の有無 (課題がある場合にマ)	イ: 本	可効性	ウ:効率性		工:公平性	✓ オ:そ	の他			スト    持   増加
(事業の成果)  立川市では、少量多品目の生産	が主である	るが、収益値	4の高い品	目にえ	かい かいかい かいかい かいかい かいし おいま かいし おいし かいし かいし かいし かいし かいし かいし かいし かいし かいし か	力の向上を	ト目指す農	向		
業者に対して支援することで、他の						,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	211111772			<u> </u>
(課題・反省点) 農家からの要望をもとに都に申請	するにあ	たり、農家・	への聞き取り	)や見	積等の資料	料提供の体	·頼、書類作	成 維 果 持		
成時の支援等、担当職員の業務度に行う事業の件数を抑制する等	負担が非	常に大きい	。引き続き	都への	)要望を継					
	+、只1型♡ 	/〒º16(⊆  	≒107に上犬/	w·妮/多 	<b></b>				休止の場合に	ま記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	•改善案	等)								
対象となる認定農業者等に、制度る。	医内容の周	周知や導入	事例の紹介	等を	行うことで、	経営力強	化に前向き	な農業者の	つ意欲向上	:につなげ
`•∕₀										

令和 4 年度事後評価	<del>令和</del>	<b>旬</b> 5	<u>5年</u>	度事務	<u>事業</u>	マネシ	ジメン	<u>トシー</u>	ト 令	和 5 年 6	3 月作成
事務事業名農業者物価高騰等	緊急	急支援	<b>賽事業</b>			所属部	産業文化	_ スポーツ剖	課長名	奥野 武司	_ 司
政策名 都市基盤・産業						所属課	産業振興	課	係名	農業振興	
施策名 都市と農業の共生						予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 3	事業 番号 18
基本事業名持続可能な農業振り	興策の	の推進	<u> </u>	(複数	<b>他形態</b>		<b>『委託</b>	一部委託	✔ 補助・	助成	連携•協働
事業期間単年度のみ	~ rt:		根拠	立川市農	業者物	加価高騰等	緊急支援金	金交付要綱			
ずべがら     令和4 年度~       市長公約     主要施策	年度		<b>长</b> 令等								
1 現状把握の部(1)事務事業	の根	要•	目的·結	果·活動·成	果						
①事業概要 一定の要件を満たす市内の販	<u></u>	対象数	数の推和	多	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
売農家に対し、令和3年にか	ア	農家戸	三数(農業	キャンサス)	戸				277		
かった肥料費・飼料費・諸材料費・動力光熱費の合計額を積算	1	販売島	專家数(農	 }業センサス)	戸				205		
根拠として支援金を支給する。	ウ	/2-2									
		エチャナ	·6·4=		34 (J.	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		活動技			単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア	申請作	牛数		件				111		
急激な物価高騰等の影響を受けている農業者を支援する。	1										
	ウ										
	<b>7</b>	戓果扌	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア	対象事	事業費		千円	7417.	7 - 12 - 1	74.04	25,651	н. —	н. —
急激な物価高騰による生産コス	1										
ト増の影響を、一時的な給付措 置を講じることで緩和し、安定的	・ウ				$\vdash$						
な農業経営につなげる。		JI				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)	)事業	<b>美のコス</b>	٢	単位	実績	実績	実績	実績	計画	計画
④令和4年度実績(事業活動)				国庫支出金	千円	0	0	0	25,665	0	0
国の新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金を活			財□	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
用し、物価高騰の影響を受けた		1	内	地方債 その他	千円	0	0	0	0	0	0
農業者に対し緊急支援金を支給した。		事   業	訳	 一般財源	千円	0	0	0	0	0	0
		費	 事第	<u>//////////////////////////</u> と 費計 (A)	千円	0	0	0	25,665	0	0
			予算	算現額(B)	千円	0	0	0	25,900	_	_
			執行	·率(A)/(B)	%				99.1%		_
				正規 月給 時給)	/\					0.00 0.00 0.00	
		人   件		現職員分 要任用職員等	千円	0	0	0	1,170	0	0
		費		▼世の戦員→ 上費計(C)	千円	0	0	0	1,170	0	0
	ı	31			千円	0	0	0	26,835		0
2 評価の部										k = 1 A1	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 ファ・日的妥当性 [				<u> </u>			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(2)事業	美の方針 	7 L
※詳題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)	<i>\</i>	イ:有	効性	ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他			スト <u></u> 持  増加
農業者向けの緊急支援金は初の									向		
組みを参考に、申請時の農家の望25,651千円を支給した。	手間~	や負担	旦を最小	限にする方法	で実力	施し、1114	中の申請に	対して	·   成 維		
(課題・反省点)	<del>!→+/-</del> -1	·			r /+: }	/ * <del>- *                                     </del>	ш т э т	+,≃±1, 2,	果 持 低		
一部の農業者で、同時期に都がかったケースが見られたことから、								申請しな	下		
									(廃止・	休止の場合に	‡記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革				の見く細いまっしょ	~ ).l	コルをよっ	出の利力	\$P #7.0	チャントン	日・アレント	ノエジキ
物価高騰に伴う肥料、飼料、農業 る。	円頁	付 寺	の一角騰の	// 影響につい	(17,	りは舵さり	「場の割回	や国、郁の	関さど往☆	えしていて火	う安かめ